山形県埋蔵文化財センター調査報告書第50集

塔の腰遺跡

発掘調査報告書

財団法人
山形県埋蔵文化財センター
6-1997-1710-01

1997
1710
6

1997

財団法人　山形県埋蔵文化財センター

塔の腰遺跡

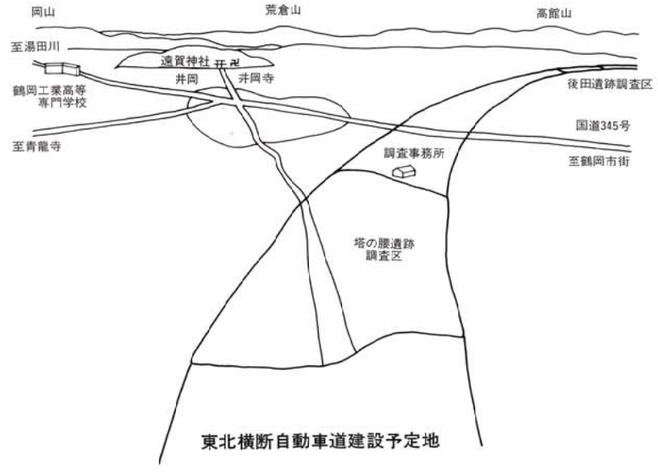
発掘調査報告書

平成9年10月

財団法人　山形県埋蔵文化財センター

蔵書
97.10.21
財団法人
山形県埋蔵文化財センター
1997－1710

調査区全景（東上空より）


岡山
荒倉山
高館山
至湯田川
遠賀神社
井岡
井岡寺
鶴岡工業高等
専門学校
至青龍寺
後田遺跡調査区
国道345号
至鶴岡市街
調査事務所
塔の腰遺跡
調査区
東北横断自動車道建設予定地

37-21
36-18
37-23
40-27
45-14
45-15
45-16
40-25
40-18
43-21
36-28
43-1
45-13
36-29
47-24
43-5

輸入磁器

序

本書は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、塔の腰遺跡の調査成果をまとめたものです。

塔の腰遺跡は山形県の北西部、鶴岡市に位置しています。鶴岡市は、日本有数の稲作地帯庄内平野の南西端にあり、西は日本海に面しています。古代から北陸方面や北方からの人の動きが認められる地です。近年鶴岡市は、交通網・情報網の整備を進め、山形県の日本海側の中心都市として発展を続けています。

この度、東北横断自動車道酒田線の建設工事に伴い、工事に先立って塔の腰遺跡の発掘調査を実施しました。

調査では、平安時代および中世の人々が生活を営んだ跡を確認することができました。鎌倉時代には、井戸や溝を持つ屋敷跡が道路に面してあったことがわかりました。

近年、高速自動車道やバイパス、農業基盤整備事業など国県等の事業が増加していますが、これに伴い事業区域内で発掘調査を必要とする遺跡が増加の傾向にあります。これらの埋蔵文化財は、祖先が長い歴史の中で創造し、育んで来た貴重な国民的遺産といえます。この祖先から伝えられた文化財を大切に保護するとともに、祖先の足跡を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちの貴重な責務と考えます。その意味で、本書が文化財保護活動の啓発・普及、学術研究、教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査においてご協力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

平成９年10月

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
理事長　　木　場　清　耕

例　言

1　本書は東北横断自動車道酒田線建設工事（朝日～酒田間）に係る「塔の腰遺跡」緊急発掘調査報告書である。

2　調査は、平成６年度に日本道路公団仙台建設局（現東北支社）の委託により、財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した。

3　調査要項は下記の通りである。

遺　跡　名　　塔の腰遺跡（ＡＴＯＴＫ）　遺跡番号　昭和63年度新規登録
所　在　地　　山形県鶴岡市大字井岡字塔の腰
調 査 主 体　　財団法人山形県埋蔵文化財センター
調 査 期 間　　発掘調査　平成６年４月１日～平成７年３月31日
　　現地調査　平成６年５月９日～平成６年９月14日
　　資料整理　平成７年４月１日～平成９年６月30日

発掘調査担当者
　　調査研究課長　　佐々木洋治（現研究課長）
　　主任調査研究員　　野尻　侃（現調査第二課長）
　　調査研究員　　須賀井新人（現場主任）
　　調査研究員　　水戸弘美

資料整理担当者
　　調査第一課長　　佐藤庄一（平成７～９年度）
　　主任調査研究員　　阿部明彦（平成７・８年度）
　　主任調査研究員　　佐藤正俊（平成９年度）
　　調査研究員　　須賀井新人
　　調査研究員　　水戸弘美
　　調査研究員　　佐竹桂一

4　発掘調査及び本書を作成するにあたり、日本道路公団仙台建設局（現東北支社）鶴岡工事事務所、鶴岡市教育委員会、山形県教育庁文化財課、庄内教育事務所の協力を得た。また、資料整理にあたって、秋保良氏、及川司氏、大澤榮繕氏、飯村均氏、木戸口俊子氏、斎木秀雄氏、菅原計二氏、鈴木江利子氏、瀬田哲夫氏、高橋博志氏、田中靖氏、本澤愼輔氏、眞壁建氏、松本建速氏、水澤幸一氏、八重樫忠郎氏、山口博之氏にご指導を賜った。ここに記して感謝申し上げる。

5　本書の作成は、須賀井新人・水戸弘美・佐竹桂一が当たり、本文執筆は水戸弘美が担当した。編集は丸山晶子・森谷昌央が担当し、全体について佐藤庄一が監修した。

6　委託業務は下記の通りである。

遺構の写真測量・実測　　株式会社シン技術コンサル
資料の理科学分析　　パリノ・サーヴェイ株式会社

7　出土遺物・調査記録類については、財団法人山形県埋蔵文化財センターが一括保管している。

凡　例

1　本書で使用した遺構・遺物の分類記号は次の通りである。

ＳＥ…井戸跡　　ＳＢ…掘立柱建物跡　　ＳＤ…溝跡・溝状遺構・畝状遺構
ＳＫ…土坑　　ＳＰ…柱穴・ピット　　ＳＧ…川跡
ＲＰ…登録土器・土製品　　ＲＱ…登録石製品　　ＲＷ…登録木製品
Ｐ…土器　　Ｓ…石　　Ｗ…木

2　遺構番号は、現地調査段階での番号をそのまま報告書の番号として踏襲した。

3　報告書執筆の基準は下記の通りである。

（１）　遺跡概要図・遺構配置図・遺構実測図中の方位は磁北を示している。
（２）　グリッドの南北軸は、Ｎ－44°20′－Ｗを測る。
（３）　遺構実測図は1/60～1/600他の縮図で採録し、各挿図毎スケールを付した。
（４）　遺物実測図・拓影図は、原則的に１/３（井戸部材は１/10、木製品は１/６）で採録し、おのおのスケールを付した。なお、実測図中のスクリーントーンは炭化物付着・黒色処理・使用痕（石鉢）を、黒ベタは須恵器を表す。拓影図は原則的に断面図の左に外面、右に内面を提示している。擂鉢等に例外がある。
（５）　遺物観察表中の計測値欄の（　）数値は図上復元による復元値を示す。出土地点欄の「Ｇ」はグリッドを示す。層位では「Ｆ」は遺構覆土内出土、「Ｙ」は遺構底面出土を各示する。計測値の「口」は口径、「底」は底径、「高」は器高、「高台」は高台径を示す。胎土の細礫は１㎜未満、小礫は１～３㎜、中礫は３～５㎜を示す。
（６）　遺物図版については、原則的に遺物実測図と同じ縮尺で採録している。
（７）　遺物番号は、遺物実測図・遺物観察表・遺物図版ともに共通したものである。遺構挿図中に図示している遺物も同様である。図版等で示す○－△は第○図△番を示す。図版中、遺物番号の無いものは、出土地点で示している。
（８）　遺構覆土の色調・遺物観察表の色調の記載については、1987年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」に拠った。
（９）　遺構覆土の中で共通する層について便宜的にアルファベットで表示している。内容は下記の通りである。

Ａ層　2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト
Ｂ層　2.5Ｙ4/1黄灰色砂質シルト
Ｃ層　2.5Ｙ4/4明褐色細砂
Ｄ層　7.5ＹＲ4/6粘土質シルト
Ｅ層　2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト
Ｆ層　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色細砂

目　次

Ⅰ　調査の経緯……1
　1　調査に至る経過……1
　2　調査の経過……1
Ⅱ　遺跡の概観……4
　1　遺跡の立地と環境……4
　2　基本層序……6
　3　遺構の分布……6
Ⅲ　検出された遺構……7
　1　平安時代……7
　2　中　　世……7
Ⅳ　出土した遺物……39
　1　平安時代……39
　2　中　　世……40
Ⅴ　まとめ……81

報告書抄録

付編……巻末
　「塔の腰遺跡　自然科学分析」

表

表 1　井戸跡観察表……8
表 2　土坑観察表……14
表 3　溝跡観察表……15
表 4　屋敷区画観察表……15
表 5　遺物観察表……58
表 6　井戸部材観察表……78
表 7　鎌倉時代遺物組成……80

挿　図

第 1 図　調査概要図……2
第 2 図　地籍図……3
第 3 図　遺跡位置図……5
第 4 図　基本層序概要図……6
第 5 図　遺構配置図……11
第 6 図　遺構実測図(1)……16
第 7 図　遺構実測図(2)……17
第 8 図　遺構実測図(3)……18
第 9 図　遺構実測図(4)……19
第10図　遺構実測図(5)……20
第11図　遺構実測図(6)……21
第12図　遺構実測図(7)……22
第13図　遺構実測図(8)……23
第14図　遺構実測図(9)……24
第15図　遺構実測図(10)……25
第16図　遺構実測図(11)……26
第17図　遺構実測図(12)……27
第18図　遺構実測図(13)……28
第19図　遺構実測図(14)……29
第20図　遺構実測図(15)……30
第21図　遺構実測図(16)……31
第22図　遺構実測図(17)……32
第23図　遺構実測図(18)……33
第24図　遺構実測図(19)……34
第25図　遺構実測図(20)……35
第26図　遺構実測図(21)……36
第27図　遺構実測図(22)……37
第28図　遺構実測図(23)……38
第29図　遺物実測図(1)……41
第30図　遺物実測図(2)……42
第31図　遺物実測図(3)……43
第32図　遺物実測図(4)……44
第33図　遺物実測図(5)……45
第34図　遺物実測図(6)……46
第35図　遺物実測図(7)……47
第36図　遺物実測図(8)……48
第37図　遺物実測図(9)……49
第38図　遺物実測図(10)……50
第39図　遺物実測図(11)……51
第40図　遺物実測図(12)……52
第41図　遺物実測図(13)……53
第42図　遺物実測図(14)……54
第43図　遺物実測図(15)……55
第44図　遺物実測図(16)……56
第45図　遺物実測図(17)……57
第46図　遺物実測図(18)……68
第47図　遺物実測図(19)……69
第48図　遺物実測図(20)……70
第49図　遺物実測図(21)……71
第50図　遺物実測図(22)……72
第51図　遺物実測図(23)……73
第52図　遺物実測図(24)……74
第53図　遺物実測図(25)……75
第54図　遺物実測図(26)……76
第55図　遺物実測図(27)……77
第56図　平安時代遺物出土地点集計図……84
第57図　中世陶器出土地点集計図……85
第58図　土師質土器・磁器出土分布図……86
第59図　輸入磁器集成……87
第60図　土師質土器集成……88
第61図　周辺の遺跡出土土師質土器……89
第62図　土師質土器出土遺跡……90

図　版

巻頭図版１　調査区全景(空中写真)
巻頭図版２　輸入磁器
図版１　遺跡遠景・調査区全景
図版２　調査風景
図版３　プラン検出・調査区全景
図版４　平安時代の遺構
図版５　平安時代の遺構
図版６　ＳＢ１掘立柱建物跡
図版７　ＳＢ１掘立柱建物跡
図版８　ＳＢ１掘立柱建物跡
図版９　ＳＢ１掘立柱建物跡、ＳＤ411・ＳＸ363
図版10　ＳＤ101・102・408・446・447
図版11　ＳＤ106・107、ＳＥ34・301
図版12　ＳＥ302・303・323・520
図版13　ＳＥ304・360・309・314
図版14　ＳＥ350、ＳＫ21・23・25・158・159
図版15　ＳＫ27・32・33・37・39・44
図版16　ＳＫ41・45・48・49・50・76・77・88・140
図版17　ＳＫ36・78・47・56・57・58
図版18　ＳＫ54・55・60・61・62・63・69・70
図版19　ＳＫ66・67・68・71・72・73
図版20　ＳＫ74・75・87・305・308・310・311
図版21　ＳＫ324・334・336・337・339・341・342・344
図版22　ＳＫ352、ＳＤ483・484・465・478・370
図版23　屋敷の区画、土坑・井戸の集中
図版24　塔の腰遺跡の周辺
図版25　塔の腰遺跡の周辺
図版26　出土遺物(１)
図版27　出土遺物(２)
図版28　出土遺物(３)
図版29　出土遺物(４)
図版30　出土遺物(５)
図版31　出土遺物(６)
図版32　出土遺物(７)
図版33　出土遺物(８)
図版34　出土遺物(９)
図版35　出土遺物(10)
図版36　出土遺物(11)
図版37　出土遺物(12)
図版38　出土遺物(13)
図版39　出土遺物(14)
図版40　出土遺物(15)
図版41　出土遺物(16)
図版42　出土遺物(17)
図版43　出土遺物(18)
図版44　出土遺物(19)
図版45　出土遺物(20)
図版46　出土遺物(21)
図版47　出土遺物(22)
図版48　出土遺物(23)
図版49　出土遺物(24)
図版50　出土遺物(25)
図版51　出土遺物(26)

Ⅰ　調査の経緯

１　調査に至る経過

鶴岡市南西部の塔の腰遺跡周辺では、昭和30年代前半に水田の盤下げや暗渠管埋設等の排水工事が行われている。その際、土器等の遺物が発見され、遺跡の存在が知られていた。昭和62年度から県営ほ場整備事業（鶴岡西部地区）が実施され、これに伴う周辺の遺跡の緊急発掘調査が行われている。

この地域を含む鶴岡市南西部に、東北横断自動車道酒田線建設が計画された。これを受けて、山形県教育委員会では、昭和63年度、計画路線に沿って表面踏査を実施した。塔の腰遺跡は、この確認調査で新規登録された遺跡のひとつである。やや小高い畑地を中心に、東西290m、南北230mの範囲が遺跡と考えられている。平成４年12月に、遺跡の内容を把握するための試掘調査が行われている。工事予定地区内に、試掘坑46ケ所を設定して調査した結果、平安時代から鎌倉時代の集落跡と推定された。その結果をもとに、遺跡の取り扱いについて事業主体の日本道路公団と協議を重ね、記録保存を目的とした緊急発掘調査で対応することとなった。

平成６年度に日本道路公団仙台建設局（現東北支社）の委託を受け、財団法人山形県埋蔵文化財センターが調査主体となり現地調査が行われた。

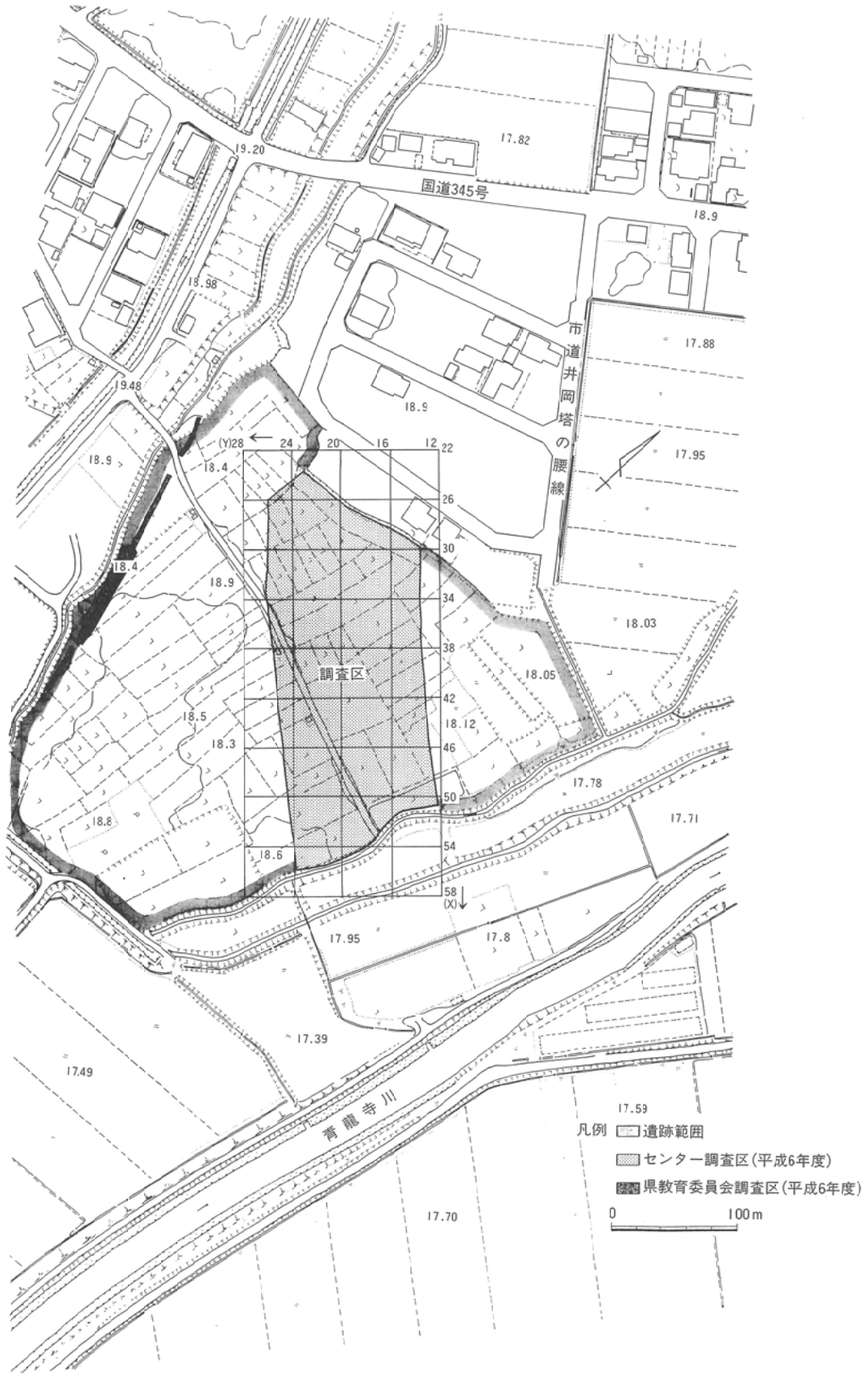
２　調査の経過

現地での調査は、平成６年５月９日から平成６年９月14日までの実働87日間行った。調査の対象面積は、9,200㎡である。

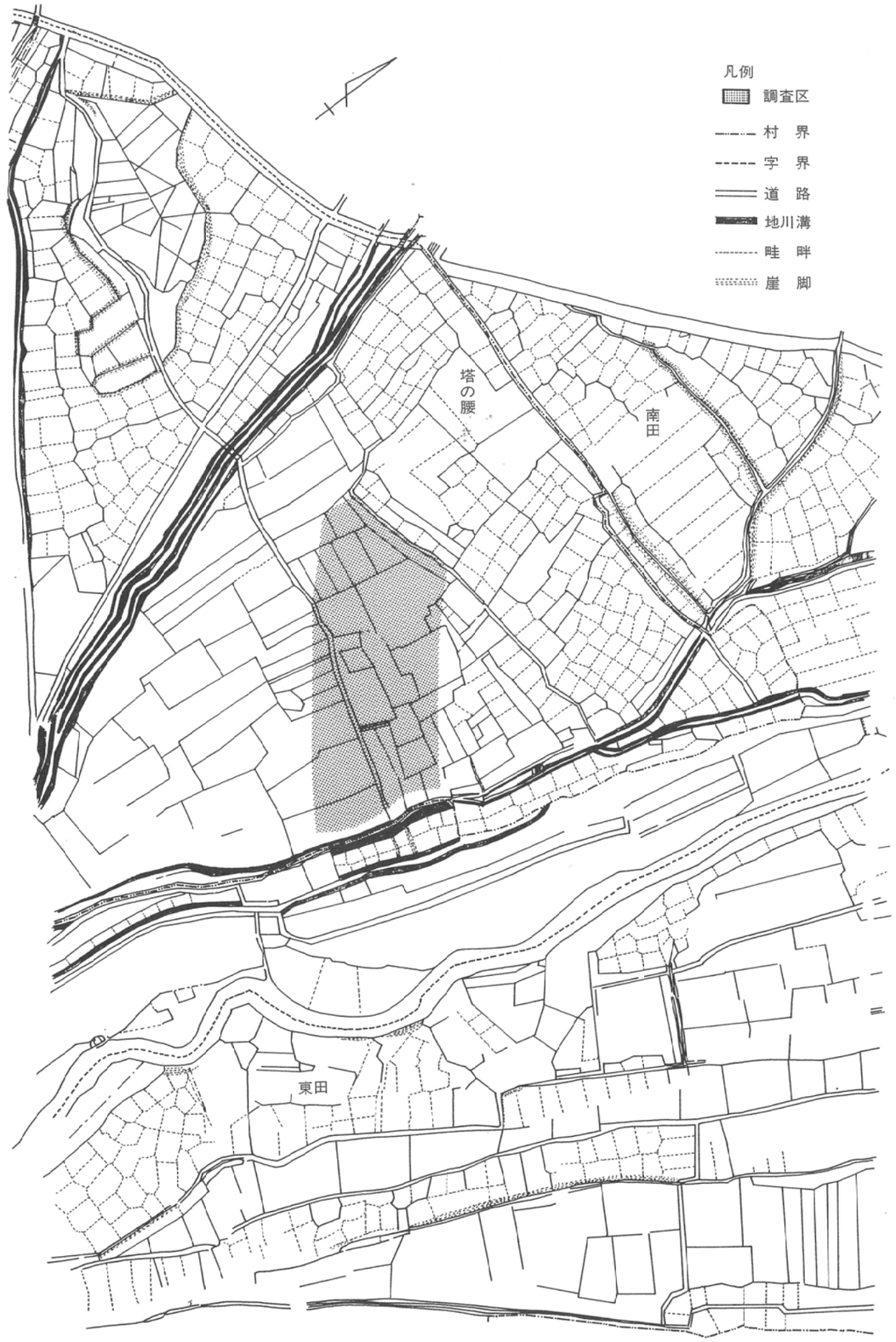
調査の開始にあたり、東北横断自動車道酒田線（朝日～酒田間）建設工事の道路幅中心杭ＳＴＡ123＋20とＳＴＡ123＋40を基準として、５×５ｍを単位とするグリッドを設定した。グリッドの南北軸（実際は南東北西軸）は磁北から西に44°20′傾く。ＳＴＡ123＋20を30―20Ｇとし、南北軸（Ｘ軸）は北から南に、東西軸（Ｙ軸）は西から東に、アラビア数字による番号を割り当てた。調査は、重機による表土除去・面整理・遺構検出・遺構精査・記録という工程で進めた。なお、調査区内の農道の付け替え部分について、先行して調査を行った。

現地調査の主な進行状況は、下記の通りである。

５月９日　機材搬入　環境整備　調査区設定
５月10日　鍬入れ式（塔の腰遺跡の調査区内にて後田・大道下遺跡調査担当者と合同で実施）
５月12日　表土除去開始（～５月26日）　面整理開始（～６月13日）
６月14日　遺構精査開始（～９月13日）
７月14日　農道付け替え（～７月15日）
９月７日　現地説明会（参加90名）
９月８日　空中写真測量撮影
９月14日　機材搬出　環境整備



第1図　調査概要図(S=1:2500)



第2図　地籍図　明治27年(S=1:2500)

Ⅱ　遺跡の概観

1　遺跡の立地と環境

塔の腰遺跡は、山形県鶴岡市大字井岡字塔の腰に所在する。鶴岡市街地の中心部から南西約２㎞に位置している。遺跡周辺も宅地化が進み、東から北側は水田を縫うように市街地が広がっている。遺跡は、水田に囲まれた畑地に広がる。出羽山地に源を発する青龍寺川の自然堤防上にあり、標高約18mを測る。

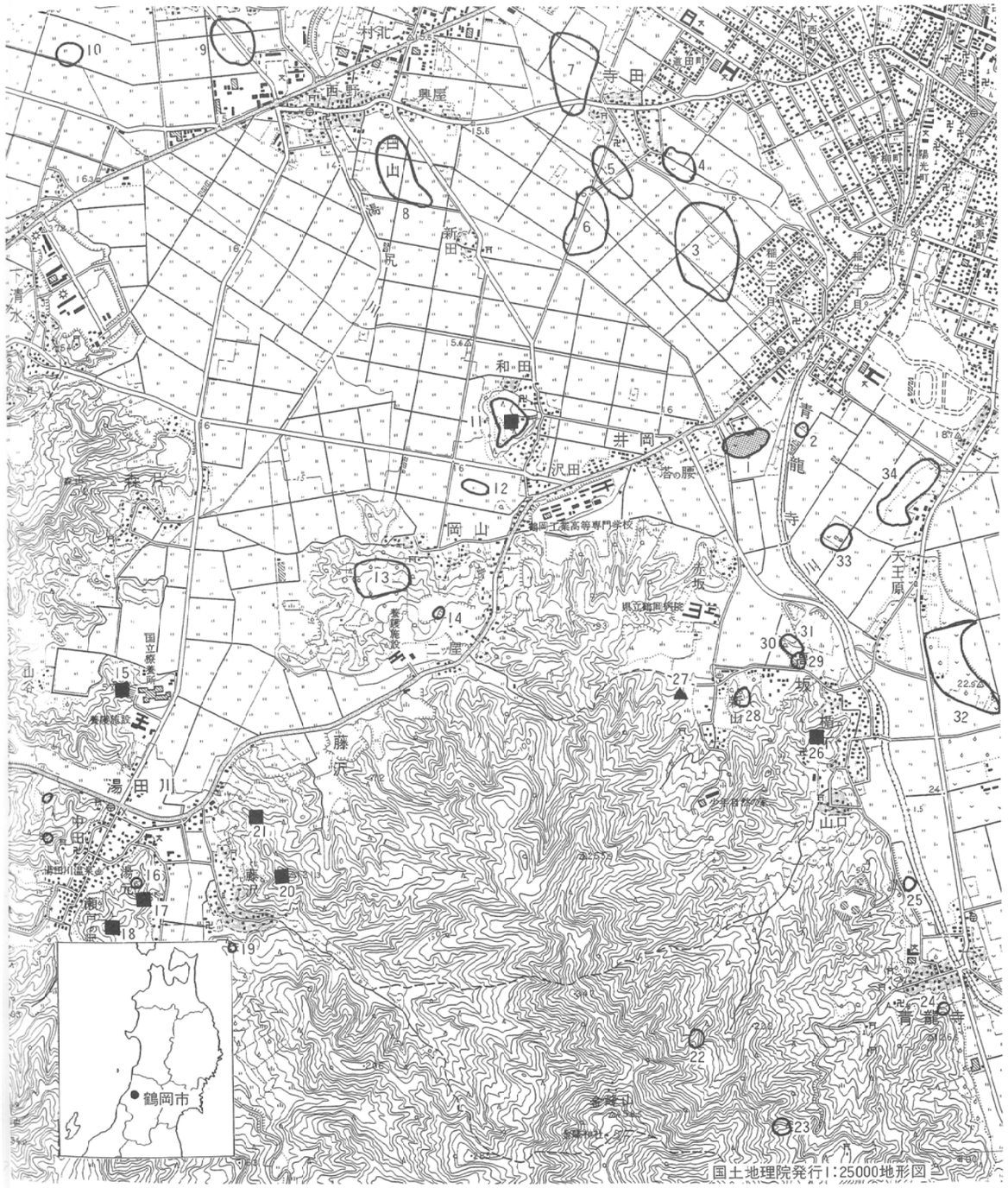
山形県の北西部に所在する庄内平野は、南北約50㎞東西約11㎞、約530㎢の面積を有する。西は、日本海に面し、海岸沿いに庄内砂丘が延びる。東の出羽山地によって内陸地方と区別され、北は秋田県、南は新潟県と接している。最上川をはじめとする河川が、東から西に平野を貫流し、三角州を形成し沖積地が成立している。現在は、水田が平野の90％を占める国内有数の稲作地帯となっている。その庄内平野の南端に鶴岡市塔の腰遺跡は位置する。塔の腰遺跡の西方、田川・湯田川地区から、新潟県側に抜ける古代の陸路が推定されている。また、塔の腰遺跡の北西大山地区の海岸には入江の地形が見られ、さらに北には武藤氏の外港と言われる加茂港がある。

塔の腰遺跡の南側丘陵には、岡山遺跡をはじめとする縄文時代の集落跡が確認されている。現在水田として利用されている平地には、古墳時代・奈良時代・平安時代・鎌倉時代の遺跡が多数確認されている。

平成５年度には、北陸地方の強い影響がみられる古墳時代前期の集落跡が、鶴岡市畑田遺跡で調査された。また、鶴岡市教育委員会が調査を進められている山田遺跡からは、北大式の土器が出土し、北からの人の動きも認められる。６世紀に入ると助作遺跡・矢馳Ａ遺跡・後田遺跡等の集落が営まれ、古墳時代の遺跡の多いことでは、庄内平野の他地域では見られない特殊性を示す。これらの状況と地理的条件は、次の出羽建郡の動きの中でも重要な意味を持つ地域であったことを推定させる。平成５～７年度に調査された西谷地遺跡では、奈良時代の良好な資料と平安時代前半の官衙的様相を示す集落が確認されている。

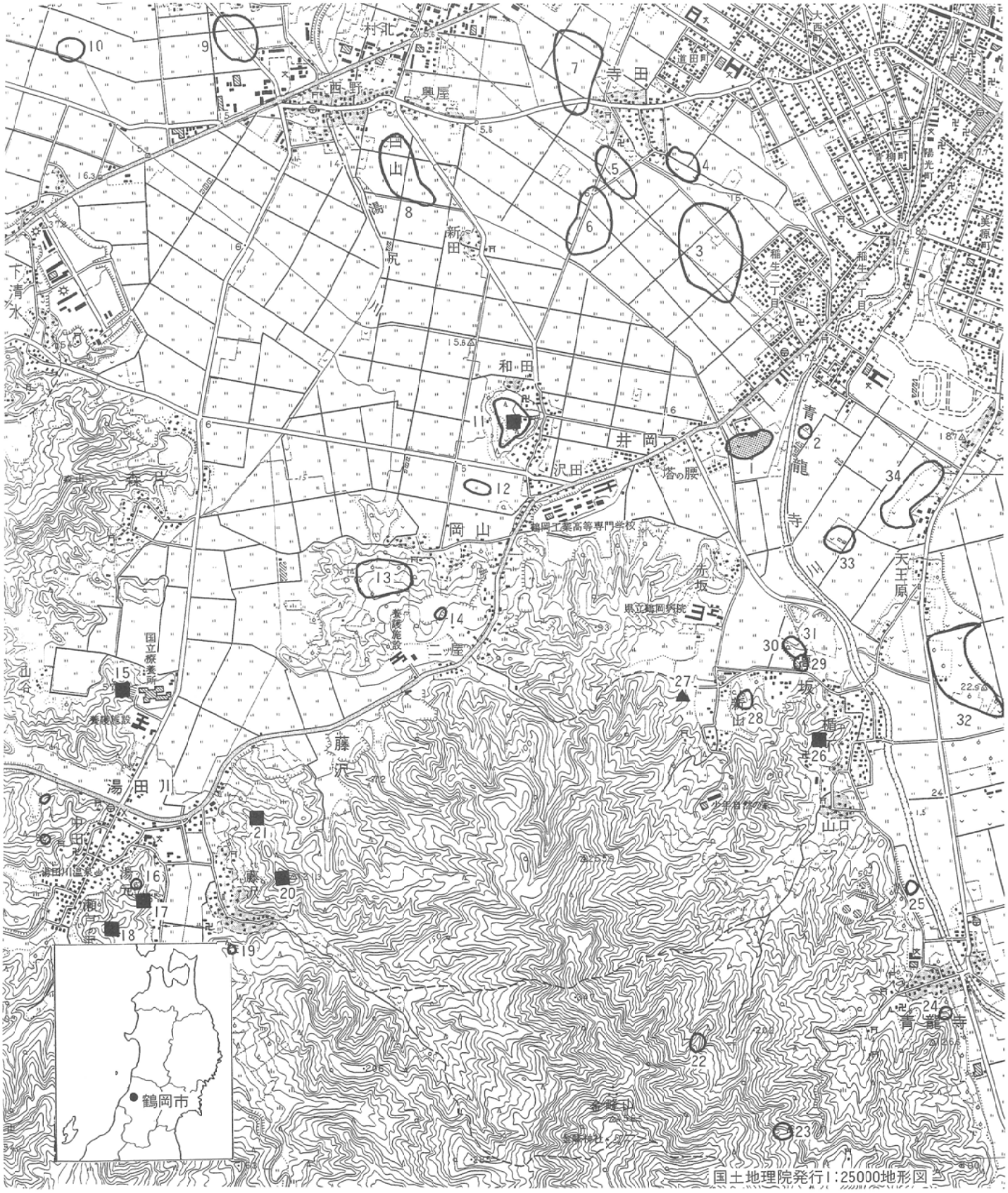
鎌倉時代に入ると塔の腰遺跡周辺は、武藤氏が地頭を務める大泉荘域となる。この地域の史料はほとんど残されていないが、近年の発掘調査によって中世の様相が少しずつ明らかなっている。先述の西谷地遺跡では、塔の腰遺跡とほぼ同時期の13・14世紀の集落が、土師質土器・青磁を伴って検出されている。塔の腰遺跡の北西約１㎞に位置する後田遺跡・月記遺跡では川跡から笹塔婆が出土し、鎌倉時代の供養の在り方を示している。中世城館についても調査が進められ、多数確認されている。その殆どは越後に抜ける街道沿いに集中している。城館の営まれた時期の、街道の持つ意味をよく物語っている。

山形県と新潟県の境には金峰山・母狩山・摩耶山が位置する。塔の腰遺跡の南を取り巻くように鎮座している。時には北方鎮護の山神として、地域の農耕神・水神・航海安全の神として、人々の信仰の対象となっている(文献22)。三山は、庄内平野の南玄関口であったこの地域の歴史を、見守ってきたものと思われる。



1塔の腰　2番田　3池ノ内　4大東　5月記　6後田　7大道下　8囲地田　9助作　10矢馳Ｂ　11井岡城　12井岡　13岡山Ａ　14岡山Ｂ　15鉢巻山館　16隼人山墳墓　17高野山館　18かき山館　19遊行上人墳墓　20藤沢館　21鍋倉Ａ・鍋倉Ｂ館　22金峯Ｂ　23小杉ケ沢　24山の内　25北内　26高坂館　27仏供沢窯　28杉ケ沢Ｄ　29杉ケ沢Ｃ　30杉ケ沢Ａ　31杉ケ沢Ｂ　32天王原　33三ケ水口　34鳥居上

第３図　遺跡位置図



1塔の腰　2番田　3池ノ内　4大東　5月記　6後田　7大道下　8囲地田　9助作　10矢馳B　11井岡城　12井岡　13岡山A　14岡山B　15鉢巻山館　16隼人山墳墓　17高野山館　18かき山館　19遊行上人墳墓　20藤沢館　21鍋倉A・鍋倉B館　22金峯B　23小杉ケ沢　24山の内　25北内　26高坂館　27仏供沢窯　28杉ケ沢D　29杉ケ沢C　30杉ケ沢A　31杉ケ沢B　32天王原　33三ケ水口　34鳥居上

第3図　遺跡位置図

2　基本層序

塔の腰遺跡の基本層序は、下記のⅠからⅤで示すことができる。

Ⅰ　2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト

Ⅱ　10YR3/3暗褐色砂質シルト

Ⅲ　5Y6/2灰オリーブ色シルト（10YR4/6褐色シルト混入）地山1

Ⅳ　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（一部褐色の変化がみられる）地山2

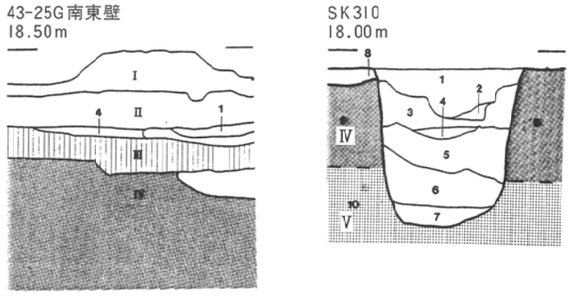
Ⅴ　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂　地山3

Ⅰ層は耕作土・客土、Ⅱ～Ⅴ層は安定した堆積層である。遺構の検出面はⅡ層下部である。地山と判断されるⅢ～Ⅴ層は、便宜的に各地山1～3と呼び、土層注記の中で記している。土層断面図では、地山1を縦縞、地山2を細砂目、地山3を粗砂目のスクリントーンで示している（第4図）。調査区の概ねは、地山1を掘り込むかたちで遺構が検出されている。粘性の強い地山2は、地山1を約50cm以上掘り込む遺構（SK74・310等）の壁に認められる。調査区中央を、東西に縦走するように砂層の堆積が認められた。河川跡と考えられるが、これを掘り込む遺構が存在することや河川跡覆土に遺物を含まないことから集落形成以前のものと判断される。河川跡覆土とほぼ同質の地山3が調査区の東側で地山1・2の下層や遺構検出面に吹き出した状態で見られる。河川跡が何度も流路を変えながら、粘土～砂層を堆積させて行ったものと推定される。江戸時代に改修された青龍寺川が調査区の東を西流しており、河川跡はその支流と思われる。

遺構の検出面は、標高17.60m～18.20mを測り南東側が小高くなっている。

3　遺構の分布

遺構は、調査区のほぼ全域で確認できる。最も遺構が集中する地区は、検出面の高い南東側である。堅くしまった地山1が認められる地区である。塔の腰遺跡の遺構要素である、井戸・土坑・柱穴・溝が重複して認められる。平安時代の遺物もこの地区に集中すること（第56図）から、平安時代・中世と利用されていたことが分かる。調査区外である南東側に遺構の集中地域が広がることが予想される。



第4図　基本層序概要図（S＝1:40）

今回の調査では、単一面の検出面に止まっている。基本層序の観察から、検出面下層の生活面は存在しないと判断される。一方、地山3を掘り込む遺構が、調査区中央付近に集中し、整地が広い範囲で行われていたことが推定される。断面での遺構の分布を、今回の調査では確認することができなかった。

Ⅲ　検出された遺構

検出された遺構は、掘立柱建物跡・井戸跡・溝跡・土坑・柱穴・畝状遺構・河川跡等である。遺構の詳細な記述は観察表に譲り、以下時期ごとに概要を述べる。

1　平安時代

平安時代の遺構は、中世以降に破壊されている。また、平安時代の遺物は摩滅した状態で多量に出土している。その集中地点を見ると、44～50―21～25G、33～35―18～20G、29―16・17Gの3地区あることが分かる。平安時代の遺構はおおよそこの地区に密集してあったものと理解される。

明瞭に検出されたのは、SK175・316～318・623土坑と調査区北西半の畝状遺構等である。SK316～318は、調査区北側の、遺構が希薄なところで検出されている。直径約1.5～2.0mの不整形を呈し、SK317・318は深さ約15cmと浅い。SK316は深さ118cmを測り、床面がロート状に落ち込む。深さ20～40cmのところに堆積する覆土4～6層に火山灰が流れ込むように認められ、その下層に黒色砂質シルトが帯状に堆積する。SK175・623は長軸約100cm、短軸約60cmの楕円形を呈する。確認面からの深さはSK175が20cm、SK623が30cmを測る。覆土はともに単層で、今回の調査の中では遺存状態のよい遺物が含まれている。

27～33―16～23Gに、畝状遺構が確認された。各畝のプランを明確に検出することが難しく、雨上がりにラインとして把握するという状況であった。深さは10～20cmを測り、床面は凸凹がある。SD378・388等の覆土にレンズ状・ブロック状に堆積する火山灰が認められる。火山灰は堆積状況が少量であり一様でないため、流れ込みと判断したい。火山灰同定の自然科学分析の結果は「十和田aテフラに由来する。To―aは、A.D.915年に十和田カルデラで、東北地方一帯で認められている。」となっている。畝の主軸はおおよそN―25°―Wを測る。この傾きが、平安時代の軸線であると理解される。42～45―23・24Gにも、この軸線と等しい浅い溝が認められ、畝状遺構の広がりが推定される。遺物の出土状況から、平安時代の建物も存在したと考えられるが、今回の調査では確認することができなかった。

2　中　　世

鎌倉時代の遺構として確認できたものは、掘立柱建物跡1棟、井戸跡（井戸枠が依存し確認できたもの）11基、溝跡、土坑、柱穴等である。以下種別に概要を述べる。

掘立建物跡

SB1掘立建物跡（第9図）

位置　　調査区中央北側　36～39―14～17G

平面形　　変則的なL字形

規模　　長軸4間（18m）×短軸3間（12m）の母屋に、間尺を異にする2間（8m）×2間（8m）、東側一部3間の変則的な張り出しを有する。

柱間は母屋長軸15尺、短軸14尺（南面廂部は12尺）、張り出しは母屋の軸に等しい尺を測る（東面廂部は12尺）。換算尺は唐尺で計算している。

面積　母屋216m²　張り出し78m²　総面積296m²

長軸方向　N—85°—W

掘り方　直径　40cm～100cm　深さ10cm～40cm

廂　母屋南面と張り出し東面に可能性あり

構造ほか　総柱建物跡

長軸が４間と間尺・軸線ともに通るため、ＳＰ804・674を母屋の柱と考え、北に張り出しが伸びると判断した。しかし、ＳＰ577に重複が認められ、張り出し部分が３間×２間の別棟である可能性が残る。

井戸跡

塔の腰遺跡では素掘り井戸と木組井戸が検出されている。ここでは、井戸部材の遺存が認められるものについて説明する。素掘り井戸については、判然としない部分があるため、土坑の項で分類し、改めて識別を図りたい。井側の遺存しているものは少なく、埋土からラインを追うことができる。浄水施設である井筒の遺存するものは少ないが、当初から存在しないものか不明である。構造が把握できるのは、ＳＥ301・314・323等である。当遺跡では井戸の内側に角材で桟を組んだ木組方形縦板組横桟型が主流であったと思われる。各井戸跡について以下に示す。

表１　井戸跡観察表

遺構	ＳＥ34	ＳＥ301
挿図	第12図	第12図
位置	46・47—23・24G	25—23G
構造	木組方形縦板組横桟型	木組方形縦板組横桟型
掘り方平面形	円形	隅丸方形
規模	径約280cm　深さ170cm	長軸150cm短軸120cm深さ140cm
遺物	井側内覆土珠洲（36—9・10）	井側内覆土珠洲（39—1）曲物（39—2）
備考	人為的埋土 ＳＤ138→ＳＥ34→ＳＫ79	隅柱遺存　人為的埋土

遺構	ＳＥ302	ＳＥ303
挿図	第12図	第12図
位置	26—24・25G	29—25G
構造	不明	木組方形縦板組横桟型？
掘り方平面形	隅丸方形	楕円形
規模	一辺約130cm　深さ約120cm	長径軸240cm短径210cm深さ120cm
遺物		井筒内覆土曲物（39—3）
備考	井筒遺存　人為的埋土	井筒・縦板一部遺存

遺構	ＳＥ304	ＳＥ309
挿図	第13図	第13図
位置	29—24G	33—24G
構造	木組方形縦板組横桟型	木組方形縦板組横桟型
掘り方平面形	隅丸方形	楕円形
規模	一辺約100cm　深さ約140cm	長径軸160cm短径130cm深さ150cm
遺物	井側底面珠洲（39—6） 曲物（39—5）	井筒底面曲物（39—16） 覆土珠洲（39—9～15）
備考	人為的埋土　壁に鍬痕 ＳＤ374→ＳＥ304	井筒・縦板一部遺存

遺構	ＳＥ314	ＳＥ323
挿図	第13図	第９・14図
位置	35—19・20G	37・38—14・15G
構造	木組方形縦板組横桟型	木組方形縦板組横桟型
掘り方平面形	楕円形	楕円形
規模	長径軸150cm短径110cm深さ160cm	長径軸250cm短径200cm深さ190cm
遺物	井側底面珠洲（39—6） 曲物（39—5）	井側内覆土柄杓（38—15）曲物（38—16）木製品 木製品（38—17）珠洲（38—12～14）
備考		横桟２段遺存

遺構	ＳＥ350	ＳＥ360
挿図	第13図	第13図
位置	48—17G	50—14G
構造	木組方形縦板組横桟型	木組方形縦板組横桟型？
掘り方平面形	楕円形	円形
規模	長径軸160cm短径140cm深さ180cm	径150cm深さ109cm
遺物	覆土珠洲（40—18）箸（40—17）	覆土珠洲（40—26） 青磁（40—27） 曲物（40—28）
備考	井筒・横桟２段遺存	横桟一部遺存 人為的埋土　崩落により詳細不明

遺構	ＳＥ520
挿図	第14図
位置	44・45―18・19Ｇ
構造	不明
掘り方平面形	不整楕円形
規模	長径軸330cm短径220cm深さ150cm
遺物	覆土珠洲（43―3）瓷器系陶器（43―2）白磁（43―1）
備考	縦板一部遺存　人為的埋土　ＳＥ520→ＳＫ519　ＳＥ520→ＳＫ554

土坑

多数検出され、塔の腰遺跡を特徴付ける要素のひとつである。以下の内容で分類を行う。

	基本平面形	平面規模cm	確認面からの深さcm	壁面	その他	用途
ａ類	円形・楕円形	径130～200	120～	急	円筒状	井戸
ｂ類	円形・楕円形	径130～200	100～120	急	ロート状	井戸？
ｃ類	円形・楕円形	径100前後	100前後	急		井戸？
ｄ類	円形・楕円形	径200～	～50	緩		
ｅ類	方形	一辺60～270	10～40	急		
ｆ類	上記の分類に入らないもの					

以下、各類についての補足を行い、各土坑については観察表に譲る。

ａ類　ＳＫ68・71・73・305・308等がある。底面の形状が平坦であること、滞水層に達しているものが多いことから、素掘りの井戸である可能性が高い。掘り方が円筒形を呈し、上面にかけて緩やかに広がる特徴がある。

ｂ類　ＳＫ58・60・67等がある。確認面での観察では、井戸跡や土坑ａ類と等しいが精査を進めるとロート状となる。壁面の酸化鉄の付着が著しい。ａ類の周辺に認められる。ａ類・ｂ類共に、覆土堆積状況は人為的埋土と観察される。ＳＫ63・71等に柱穴状の堆積痕が残るものがあり注目される。埋め戻し時の祭祀行為の可能性がある。

ｃ類　ＳＫ45・55・310・344等がある。覆土状況は、自然埋土と人為的埋土がある。ＳＫ342は埋め戻し後の、集石がある。屋敷の区画内に点在し用途も多様と考えられる。ａ類を小型化し、円筒状を呈するものもあり、井戸跡の可能性を残す。

ｄ類　ＳＫ39・49・54・339等がある。整った円形を呈するものが多い。覆土の堆積状況は、細かい分層が可能で、Ａ層が帯状に堆積する特徴を持つ。用途は不明である。

ｅ類　ＳＫ21・22・24・25等の小型のものと、ＳＫ36・64等の大型のものがある。大型と小型では性格が異なると思われるが、方形を呈する遺構が少ないため同類とした。小型のものは、43・44―23・24Ｇに集中する。覆土の堆積状況は、人為的埋土である。

ｆ類　ａ～ｅ類に分類できないものをまとめてある。ＳＫ32・33のように円筒形を呈し約１ｍの深さを測るもの、ＳＫ77のように不整形のもの、ＳＫ87・89のように砂層を掘り込み壁

第5図　遺構配置図(S=1:400)

が安定しないもの等がある。

溝跡

多数検出されており、塔の腰遺跡の性格を考えるときに土坑と共に重要な要素となる。a～dに分類する。以下、各類に属する主な溝跡について説明する。

a類　幅2m前後で直線的に走るもの。

ＳＤ450・451（第28図ほか）調査区の中央南寄りに2条平行して走る。幅約1m～2.5m、深さ0.5mを測る。壁は、床面から緩やかに立ち上がる。遺構が明瞭に確認できない調査区中央に堆積する、にぶい黄褐色粘土質シルトが覆土に含まれる。ＳＤ450・451は、東西70mの範囲で確認され、溝間に遺構が検出できないことから、道路状遺構を示すと判断したい。溝間は2～2.5m、道幅は約4～5mを測る。この道路状遺構上に、現在の農道がある。農道は明治年間の地籍図でも確認され、ＳＤ450・451には、13世紀代の遺物が伴う。これは、中世の道路が現在まで使用されていることを示す。

ＳＤ408（第11図）ＳＢ1掘立柱建物跡の西側に位置する。幅0.5～0.8m、深さ0.6～0.9mを測り、断面形U字型を呈する。北側でわずかに蛇行し、ＳＸ365と接し、ＳＤ411と合流する。南端でも緩やかに収縮する。ＳＢ1掘立柱建物跡の短軸と向きを同じくすることか、建物跡に伴うものと推定される。東側にＳＤ812がほぼ平行して走る。ＳＤ408は、33―15Gで90度東に向きを変え、規模を変えＳＤ411となる。ＳＤ408がＳＤ411と軸線を同じにするＳＤ409を切ることから、区画線の変更を行っていると考えられる。調査区西端のＳＤ813が類似する。

b類　幅1m未満で直線的に走るもの。

ＳＤ458（第27図）調査区中央東よりに位置する。幅約0.5～1m、深さ約0.25mを測り、断面形U字型を呈する。南北に約25mにわたり検出された。ＳＤ450と直行し、北側でＳＤ370に切られる。ＳＤ370と平行に、ＳＤ484が走る。ＳＤ458の南端では、西側にＳＤ96が平行に走る。ＳＤ450・451道路状遺構を南に越えて、ＳＤ128がＳＤ96延長線上に南に伸びる。

ＳＤ489（第27図）ＳＤ458の北西側に直行する方向で位置する。幅約0.6～0.9m、深さ約0.20mを測り、断面形U字型を呈する。東西約16.5mにわたり検出された。ＳＤ489の西端から南北に走るＳＤ479が南に伸びて認められる。ＳＤ489に類似するものにＳＤ101・102・103・104・105・106（第26図）139（第20図）・140（第22図）・144・205（第16図）等がある。

c類　幅1m前後で蛇行して走るもの。

ＳＤ492（第5図）調査区東端に位置する。覆土に入っている砂層から、流水の可能性がある。幅約0.9～1.9m、深さ約0.5～0.8m、約30mにわたり蛇行して検出された。断面形、緩いV字状を呈す。

d類　上記の分類に入らないもの。

ＳＤ465（第22図）調査区中央、ＳＤ487北側に位置する。幅約0.4～1.5m、深さ約1.2を測り、断面形箱型を呈す。黒色土が帯状に堆積する。他に、屋敷地内で、建物に伴うと推定されるＳＤ488・489（49～50―17G）701・814・815（第9図）等がある。

表 2　土坑観察表

遺構番号	挿図番号	位置(グリット)	規模(cm)	深さ(cm)	分類	区画
SK316	6	31・32-15G	200×150	120	平安	
SK317	6	32-16・17G	174×156	19	平安	
SK318	6	32・33-17G	208×160	15	平安	
SK623	6	33～34-18G	90×70	41	平安	
SK21	15	43-24G	100×80	39	e	I
SK22	15	43-24G	100×80	39	e	I
SK23	15	43-24G	200×50	30	f	I
SK24	15	44-24G	110×75	28	e	I
SK25	15	44-24G	95×80	26	e	I
SK27	15	45-22G	径140	143	a	I
SK28	5	45-23G	200×98	45	b	I
SK30	5	46-23G	径170	156	a	I
SK31	12	46-23・24G	径146	62	f	I
SK32	15	45・46-24G	径190	98	f	I
SK33	15	46-24G	230×180	94	f	I
SK36	20	47-24G	280×240	30	d	H
SK37	21	47・48-22G	155×135	150	a	H
SK38	5	48-22G	130×120	11	f	H
SK39	21	48-21G	径225	45	d	H
SK40	21	48-21G	250×120	15	f	H
SK41	22	48・39-22G	径160	90	c	HG
SK42	21	48・49-21G	106×58	15	f	H
SK43	16・21	49-21G	126×94	119	c	H
SK44	16・21	49-21G	径150	140	a	H
SK45	16・21	49-22G	径135	100	c	G
SK47	16・17	49・50-22G	270×240	150	f	G
SK48	16・20	50-21G	162×110	16	e	G
SK49	16・20	50-21G	径420	40	d	G
SK50	16・20	50-21G	120×100	30	e	G
SK51	16	50-22G	184×158	31	f	G
SK52	16	50・51-22G	176×160	24	f	GF
SK53	16	50-22G	350×180	26	d	G
SK54	16・17	50・51-21・22G	径200	45	d	GF
SK55	16	51-21G	120×100	80	c	GF
SK56	16・17	51-23G	130×120	70	c	F
SK57	16・17	52-19・20G	径130	60	c	F
SK58	16・17	52-20G	径150	140	b	F
SK59	16・17	52・53-20G	240×135	15	e	F
SK60	16・17	52-20G	130×100	140	b	F
SK61	16・18	52-20G	径115	99	c	F
SK62	16	52-21G	径130	70	c	F
SK63	16・18	52-21G	径190	123	b	F
SK64	16・18	52-22・23G	265×230	11	e	F
SK65	16	52・53-22G	180×140	8	f	F
SK66	16・18	53・54-20・21	径175	83	c	F
SK67	16・18	53-20・21G	径200	145	a	F
SK68	16・19	53-20・21G	190×140	140	a	F
SK69	16・18	53-21G	190×170	80	f	F
SK70	16・18	52・53-21G	径160	92	f	F
SK71	16・19	53・54-21G	160×140	123	a	F
SK72	16・19	53・54-21G	200×160	117	b	F
SK73	16・19	53-21G	径160	151	a	F
SK74	16・19	53-21・22G	径190	152	a	F
SK75	16・19	53-22G	径140	60	f	F
SK76	22	48-23G	径260	125	f	H
SX77	22	48-24G	250×210	20	f	H
SK78	20	47・48-24G	130×100	50	f	H
SK80	20	47・48-24G	径150	76	c	H
SK81	22	48-24G	500以上	12～20	f	H
SK87	23	44-19G	190×140	50	f	B
SK88	22	48-22G	径16	156	f	H
SK89	23	45-19・20G	160×85	20	f	c
SK94	5	50・51-15G	224×84	57	d	E
SK150	16・20	49・50-20・21G	200×94	21	f	H
SK158	15	43-24G	88×74	32	e	I
SK159	15	44-24G	90×60	29	e	I
SK160	15	44-24G	70×60	9	f	I
SK165	5	44・45-22G	82×66	22	f	I
SK175	6	45-22G	100×50	24	f	I
SK183	12	47-23G	96×90	33	f	H
SK187	21	48・49-21G	320×186	35	f	H
SK188	21	48-21G	90×80	13	f	I
SK191	22	48-22G	88×42	34	f	I
SK195	16	49-21G	76×56	12	f	I
SK197	16	49-21・22G	径80	55	c	I
SK203	16	51-20・21G	90×68	4	f	GF
SK211	16	53-21G	径60	15	f	F
SK212	16・19	53-21・22G	60×54	19	f	F
SK213	16・19	53-22G	80×74	18	f	F
SK290	5	31・32-25G	74×64	88	c	K
SK305	23	29-23・24G	135×115	125	a	K
SK308	23	34-24G	125×100	110	c	K
SK310	23	34-23G	100×90	105	c	K
SK311	23	34-21・22G	120×80	95	c	L
SK313	5	35-21G	110×98	139	c	L
SK320	7	33-19G	170×102	27	f	L
SK321	5	34・35-19・20G	径150	102	a	L
SK322	5	36-19G	126×120	15	f	L
SK324	23	42-21G	径115	50	f	B
SK327	9	38-14G	150×150	21	f	A
SK329	9	39-14G	220×140	12	f	A
SK330	9	39-15G	140×110	12	f	A
SK331	27	39-17G	径110	26	f	B
SK334	23	43-18G	径110	100	c	B
SK336	24	46-18G	140×120	100	c	C
SK337	24	43-18G	130×115	82	c	B
SK338	24	46-18G	200×140	20	d	C
SK339	24	46-15G	径150	126	a	E
SK340	5	46・47-14・15G	276×176	18	d	E
SK341	24	46・47-15G	160×145	46	f	E
SK342	24	46・47-15G	径125	120	c	E
SK344	24	46・47-19G	120×100	100	c	C
SK345	24	47-17G	径165	139	a	C
SK351	25	47-17G	150×135	123	a	C
SK352	25	47-17G	150×120	134	a	C
SK353	5	48-13G	径168	73	a	E
SK354	5	48-13・14G	250×200	22	d	E
SK355	25	48-17G	径100	84	c	C
SK357	5	50-15・16G	150×144	3～76	f	E
SK359	5	50-15G	径100	80	c	E
SK516	9	38・39-15G	200×110	35	d	A
SK519	14	44-18G	94×88	100	c	B
SK522	5	29-20G	径60	70	c	J
SK525	5	34-20G	230×84	25	f	L
SK534	16	54-21G	154×150	137	a	F
SK541	25	48-16・17G	90×80	80	c	E
SK542	25	49-18G	80×70	75	c	D
SK548	5	30-22G	84×78	95	c	J
SK552	7	46・47-18G	径86	70	c	C
SK553	5	47・48-19G	径100	130	c	C
SK554	14	44・45-18G	94×82	112	c	B
SK597	5	29-25G	72×58	83	c	K
SK704	9	38-15・16G	420×110	10	f	A
SK710	24	46・47-15G	径42	50	f	E
SK760	5	41-19G	径350	85	f	B
SK766	5	37-24G	200×120	54	d	
SK768	9	37-18G	径70	123	c	A

表 3　溝跡観察表

遺構番号	挿図番号	位置(グリット)	規模(m)	深さ(cm)	分類	区画
SD378	7	26～31-20～22G	33×1.2	19～47	平安	
SD388	7	28～33-17～19G	27.9×0.7	12～16	平安	
SD410	11	30～35-13～14G	35.5×1.1	22	平安	
SD418	5	33～34-20～21G	6.3×0.4	11	平安	
SD424	5	31～32-20～21G	6.5×0.5	10	平安	
SD430	29	31・32-23G	9.2×0.5	6	平安	
SD709	5	44・45-23G	6 ×0.7	20	平安	
SD86	5	43-18・19G	2.2×0.6	33～51	d	B
SD96	5	45-20G	1.9×0.5	13	b	B
SD101	26	37～42-24～25G	23.1×0.6	20	b	
SD102	26	39～42-24～25G	14.2×0.6	25	b	
SD103	26	40～42-24～25G	11×0.5	32	b	
SD104	26	41・42-24G	2.7×0.45	10	b	
SD105	26	42～43-24～25G	12× 1	53	b	I
SD106	26	42～43-24～25G	12× 1	53	b	I
SD112	5	43～45-23～24G	4 ×0.5	21	d	I
SD113	5	43～44-22～23G	8 × 1	14	d	I
SD118	22	48-23・24G	2 ×0.3	15	d	H
SD120	5	44-22G	2.2×0.8	6	b	H
SD128	5	46-21・22G	4.7×0.5	29	b	H
SD136	12	47-23G	3.8×0.5	28	b	H
SD138	12	45～47-23～24G	1.3×0.4	23	b	I
SD139	16・20・21	48～50-20～21G	11.5×0.6	11～50	b	H
SD140	22	48-22・23・24G	13×0.7	42～84	b	H
SD143	20	50・52-21・24G	15.2×0.5	11～25	b	GF
SD144	16・18	51・52-21・23G	12.7×0.4	2	b	GF
SD145	16	51・52-21・22G	5.2×0.7	9	b	GF
SD146	16	53-19G	5 ×0.6	28	d	F
SD147	16	53-19G	1.2×0.3	25	d	F
SD210	16・19	53～20G	0.8×0.4	17	d	F
SD464	27	39・40-17G	5 ×0.8	38	d	A
SD370	27	44・45-17・18G	6.4×0.6	45	b	B
SD374	13	26-30・23・24G	23.3×0.85	12～23	d	K
SD408	11	33～37-14～19G	34× 6	6～87	a	A
SD409	11	34～36-14～15G	12.5×1.9	28	b	A
SD411	11	33～34-13～14G	7 ×0.9	23	b	A
SD413	5	36・37-14G	2.5×0.5	15	b	A
SD446	5	34～36-24～25G	9.7×0.9	20～49	d	K
SD447	5	35～36-24～25G	7.5× 1	60～70	d	
SD448	26	35～41-23～25G	×1.6	70	d	
SD450	28	39～52-18～23G	92× 3	45	a	道路溝
SD451	28	40～52-18～24G	91.5×2.5	40	a	道路溝
SD457	5	44-19・20G	3.3×0.7	31	b	B
SD458	27	43～46-16～20G	26× 1	16～34	b	B
SD460	5	39・40-19G	4.2×0.3	24	b	
SD465	27	39～40-16～17G	10.4×1.4	14～71	d	A
SD467	9	37・38-17・18G	5.4×1.6	18	d	A
SD468	9	38・39-16・17G	2.6×0.8	11	d	A
SD470	9	38・39-14・15G	4.3×0.9	7	d	A
SD471	9	38～39-13～14G	5.8×0.3	15	b	A
SD472	9	39-13・14G	3.5×1.4	15	d	A
SD473	9	40-15・16G	3.3×0.4	7	b	A
SD475	5	41-15G	25×0.5	7	d	A
SD476	27	39～43-15～18G	26.8×0.4	14～29	b	AB
SD482	27	44-17・18G	2.3×0.5	18	d	B
SD483	27	44-17・18G	2.4×0.6	15	b	B
SD484	27	43～44-16～18G	12.5×0.6	30	b	B
SD486	5	47～48-18～19G	4.5×0.8	11	b	C
SD487	27	49-18G	3.9×0.4	23	b	D
SD489	5	48・49-17G	5 ×1.1	7	d	D
SD492	5	47～51-12～16G	27.5×1.8	16～39	c	CD
SD497	9	39-15G	1.3×0.25	6	b	A
SD701	9	36～37-15～17G	12×1.6	10	d	A
SD812	11	35～36-15～22G	20.2×1.5	15	d	A
SD813	7	26～28-18～21G	20.5×0.9	25	d	J
SD814	9	38-16・17G	3.1×1.2	33	d	A
SD815	9	38～39-16G	4.1×2.2	20	d	A

表 4　屋敷区画観察表（　）の数値は未検出部分を含む推定値を示す

区画記号	位　置	区画遺構	規模m	面積m²	長軸方向	特　徴
A	32～40-13～19G	SD408・411・465・472	33×26	858	ほぼ磁北	区画内にSB 1 掘立柱建物跡・SE323井戸跡。
B	40～46-15～21G	SD476・477・478・96・484・479・480	30×21	630	ほぼ磁北	南面（西面もか？）道路に面する。南半は砂層を掘込む。東隅にSE520井戸跡。
C	44～48-15～21G	SD458・487	26×18	468	ほぼ磁北	区画内に土坑ａ・ｃ類が点在。SD486は雨落溝か？南面道路に面する。
D	48～52-15～18G	SD488	(15×10)	(150)	N-20°-E	西側は不明瞭。
E	46～49-13～16G	SD494	(21×15)	(315)	ほぼ磁北	区画は不明瞭。東側を蛇行するSD492が通る。
F	51～55-19～24G					土坑a・b類集中。作業空間を推定する。
G	48～52-20～24G	SD140・139・144	20以上×18	360以上	N-20°-E	屋敷区画が道路から離れる。南半未検出。
H	46～52-20～24G	SD128	21以上×18	378以上	ほぼ磁北	北面道路に面する。南半未検出。
I	42～47-21～24G	SD128・105・106	21×17×以上	357以上	ほぼ磁北	北面道路に面する。南半未検出。
J	26～31-18～21G	SD813	21×15	315	N-85°-E	区画は不明瞭。
K	28～33-23～26G	SD376・443・441	23以上×15以上	345以上	N-85°-E	区画は不明瞭。南半未検出。
L	32～36-17～21G					区画は不明瞭。区画A・J・Kに囲まれる柱穴群。

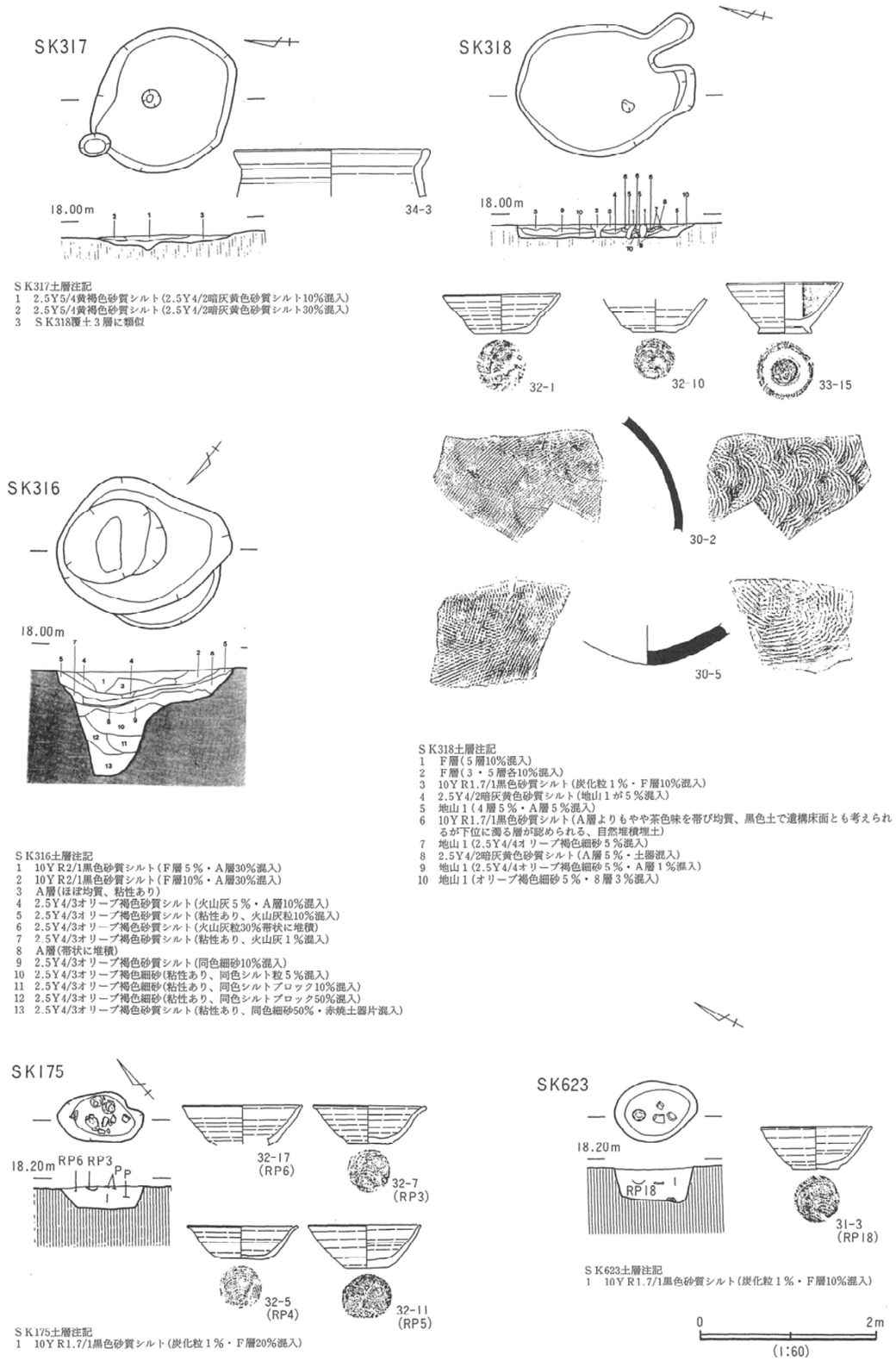
表 3　溝跡観察表

遺構番号	挿図番号	位置(グリット)	規模(m)	深さ(cm)	分類	区画
SD378	7	26～31-20～22G	33×1.2	19～47	平安	
SD388	7	28～33-17～19G	27.9×0.7	12～16	平安	
SD410	11	30～35-13～14G	35.5×1.1	22	平安	
SD418	5	33～34-20～21G	6.3×0.4	11	平安	
SD424	5	31～32-20～21G	6.5×0.5	10	平安	
SD430	29	31・32-23G	9.2×0.5	6	平安	
SD709	5	44・45-23G	6 ×0.7	20	平安	
SD86	5	43-18・19G	2.2×0.6	33～51	d	B
SD96	5	45-20G	1.9×0.5	13	b	B
SD101	26	37～42-24～25G	23.1×0.6	20	b	
SD102	26	39～42-24～25G	14.2×0.6	25	b	
SD103	26	40～42-24～25G	11×0.5	32	b	
SD104	26	41・42-24G	2.7×0.45	10	b	
SD105	26	42～43-24～25G	12× 1	53	b	I
SD106	26	42～43-24～25G	12× 1	53	b	I
SD112	5	43～45-23～24G	4 ×0.5	21	d	I
SD113	5	43～44-22～23G	8 × 1	14	d	I
SD118	22	48-23・24G	2 ×0.3	15	d	H
SD120	5	44-22G	2.2×0.8	6	b	H
SD128	5	46-21・22G	4.7×0.5	29	b	H
SD136	12	47-23G	3.8×0.5	28	b	H
SD138	12	45～47-23～24G	1.3×0.4	23	b	I
SD139	16・20・21	48～50-20～21G	11.5×0.6	11～50	b	H
SD140	22	48-22・23・24G	13×0.7	42～84	b	H
SD143	20	50・52-21・24G	15.2×0.5	11～25	b	GF
SD144	16・18	51・52-21・23G	12.7×0.4	2	b	GF
SD145	16	51・52-21・22G	5.2×0.7	9	b	GF
SD146	16	53-19G	5 ×0.6	28	d	F
SD147	16	53-19G	1.2×0.3	25	d	F
SD210	16・19	53～20G	0.8×0.4	17	d	F
SD464	27	39・40-17G	5 ×0.8	38	d	A
SD370	27	44・45-17・18G	6.4×0.6	45	b	B
SD374	13	26-30・23・24G	23.3×0.85	12～23	d	K
SD408	11	33～37-14～19G	34× 6	6～87	a	A

遺構番号	挿図番号	位置(グリット)	規模(m)	深さ(cm)	分類	区画
SD409	11	34～36-14～15G	12.5×1.9	28	b	A
SD411	11	33～34-13～14G	7 ×0.9	23	b	A
SD413	5	36・37-14G	2.5×0.5	15	b	A
SD446	5	34～36-24～25G	9.7×0.9	20～49	d	K
SD447	5	35～36-24～25G	7.5× 1	60～70	d	
SD448	26	35～41-23～25G	×1.6	70	d	
SD450	28	39～52-18～23G	92× 3	45	a	道路溝
SD451	28	40～52-18～24G	91.5×2.5	40	a	道路溝
SD457	5	44-19・20G	3.3×0.7	31	b	B
SD458	27	43～46-16～20G	26× 1	16～34	b	B
SD460	5	39・40-19G	4.2×0.3	24	b	
SD465	27	39～40-16～17G	10.4×1.4	14～71	d	A
SD467	9	37・38-17・18G	5.4×1.6	18	d	A
SD468	9	38・39-16・17G	2.6×0.8	11	d	A
SD470	9	38・39-14・15G	4.3×0.9	7	d	A
SD471	9	38～39-13～14G	5.8×0.3	15	b	A
SD472	9	39-13・14G	3.5×1.4	15	d	A
SD473	9	40-15・16G	3.3×0.4	7	b	A
SD475	5	41-15G	25×0.5	7	d	A
SD476	27	39～43-15～18G	26.8×0.4	14～29	b	AB
SD482	27	44-17・18G	2.3×0.5	18	d	B
SD483	27	44-17・18G	2.4×0.6	15	b	B
SD484	27	43～44-16～18G	12.5×0.6	30	b	B
SD486	5	47～48-18～19G	4.5×0.8	11	b	C
SD487	27	49-18G	3.9×0.4	23	b	D
SD489	5	48・49-17G	5 ×1.1	7	d	D
SD492	5	47～51-12～16G	27.5×1.8	16～39	c	CD
SD497	9	39-15G	1.3×0.25	6	b	A
SD701	9	36～37-15～17G	12×1.6	10	d	A
SD812	11	35～36-15～22G	20.2×1.5	15	d	A
SD813	7	26～28-18～21G	20.5×0.9	25	d	J
SD814	9	38-16・17G	3.1×1.2	33	d	A
SD815	9	38～39-16G	4.1×2.2	20	d	A

表 4　屋敷区画観察表（　）の数値は未検出部分を含む推定値を示す

区画記号	位　置	区画遺構	規模m	面積m²	長軸方向	特　徴
A	32～40-13～19G	SD408・411・465・472	33×26	858	ほぼ磁北	区画内にSB１掘立柱建物跡・SE323井戸跡。
B	40～46-15～21G	SD476・477・478・96・484・479・480	30×21	630	ほぼ磁北	南面（西面もか？）道路に面する。南半は砂層を掘込む。東隅にSE520井戸跡。
C	44～48-15～21G	SD458・487	26×18	468	ほぼ磁北	区画内に土坑ａ・ｃ類が点在。SD486は雨落溝か？南面道路に面する。
D	48～52-15～18G	SD488	(15×10)	(150)	N-20°-E	西側は不明瞭。
E	46～49-13～16G	SD494	(21×15)	(315)	ほぼ磁北	区画は不明瞭。東側を蛇行するSD492が通る。
F	51～55-19～24G					土坑a・b類集中。作業空間を推定する。
G	48～52-20～24G	SD140・139・144	20以上×18	360以上	N-20°-E	屋敷区画が道路から離れる。南半未検出。
H	46～52-20～24G	SD128	21以上×18	378以上	ほぼ磁北	北面道路に面する。南半未検出。
I	42～47-21～24G	SD128・105・106	21×17×以上	357以上	ほぼ磁北	北面道路に面する。南半未検出。
J	26～31-18～21G	SD813	21×15	315	N-85°-E	区画は不明瞭。
K	28～33-23～26G	SD376・443・441	23以上×15以上	345以上	N-85°-E	区画は不明瞭。南半未検出。
L	32～36-17～21G					区画は不明瞭。区画A・J・Kに囲まれる柱穴群。



S K317土層注記
1　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト10%混入)
2　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト30%混入)
3　S K318覆土3層に類似

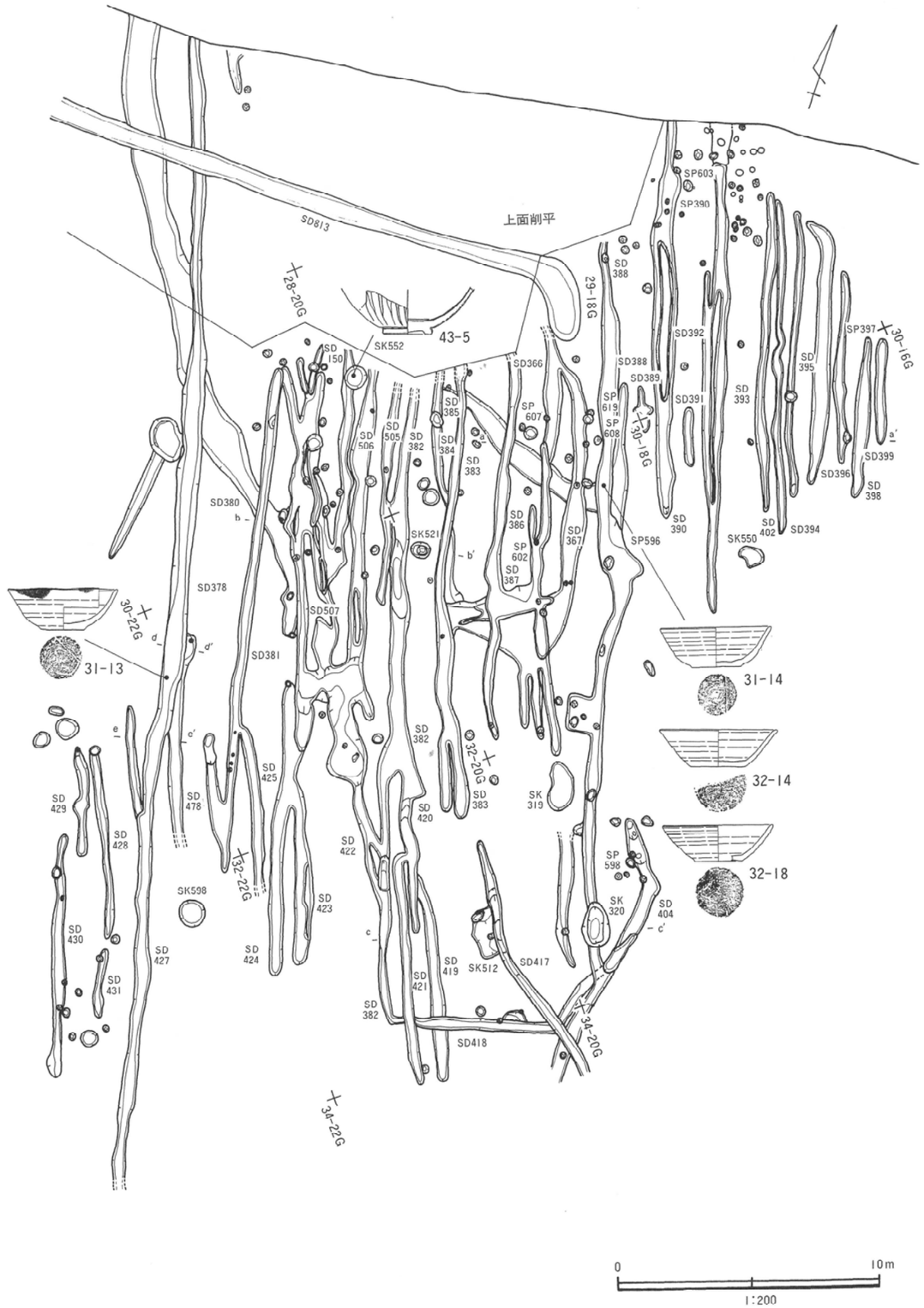
S K318土層注記
1　F層(5層10%混入)
2　F層(3・5層各10%混入)
3　10Y R1.7/1黒色砂質シルト(炭化粒1%・F層10%混入)
4　2.5Y 4/2暗灰黄色砂質シルト(地山1が5%混入)
5　地山1(4層5%・A層5%混入)
6　10Y R1.7/1黒色砂質シルト(A層よりもやや茶色味を帯び均質、黒色土で遺構床面とも考えられるが下位に溜る層が認められる、自然堆積埋土)
7　地山1(2.5Y 4/4オリーブ褐色細砂5%混入)
8　2.5Y 4/2暗灰黄色砂質シルト(A層5%・土器混入)
9　地山1(2.5Y 4/4オリーブ褐色細砂5%・A層1%混入)
10　地山1(オリーブ褐色細砂5%・8層3%混入)

S K316土層注記
1　10Y R2/1黒色砂質シルト(F層5%・A層30%混入)
2　10Y R2/1黒色砂質シルト(F層10%・A層30%混入)
3　A層(ほぼ均質、粘性あり)
4　2.5Y 4/3オリーブ褐色砂質シルト(火山灰5%・A層10%混入)
5　2.5Y 4/3オリーブ褐色砂質シルト(粘性あり、火山灰粒10%混入)
6　2.5Y 4/3オリーブ褐色砂質シルト(火山灰粒30%帯状に堆積)
7　2.5Y 4/3オリーブ褐色砂質シルト(粘性あり、火山灰1%混入)
8　A層(帯状に堆積)
9　2.5Y 4/3オリーブ褐色砂質シルト(同色細砂10%混入)
10　2.5Y 4/3オリーブ褐色細砂(粘性あり、同色シルト粒5%混入)
11　2.5Y 4/3オリーブ褐色細砂(粘性あり、同色シルトブロック10%混入)
12　2.5Y 4/3オリーブ褐色細砂(粘性あり、同色シルトブロック50%混入)
13　2.5Y 4/3オリーブ褐色砂質シルト(粘性あり、同色細砂50%・赤焼土器片混入)

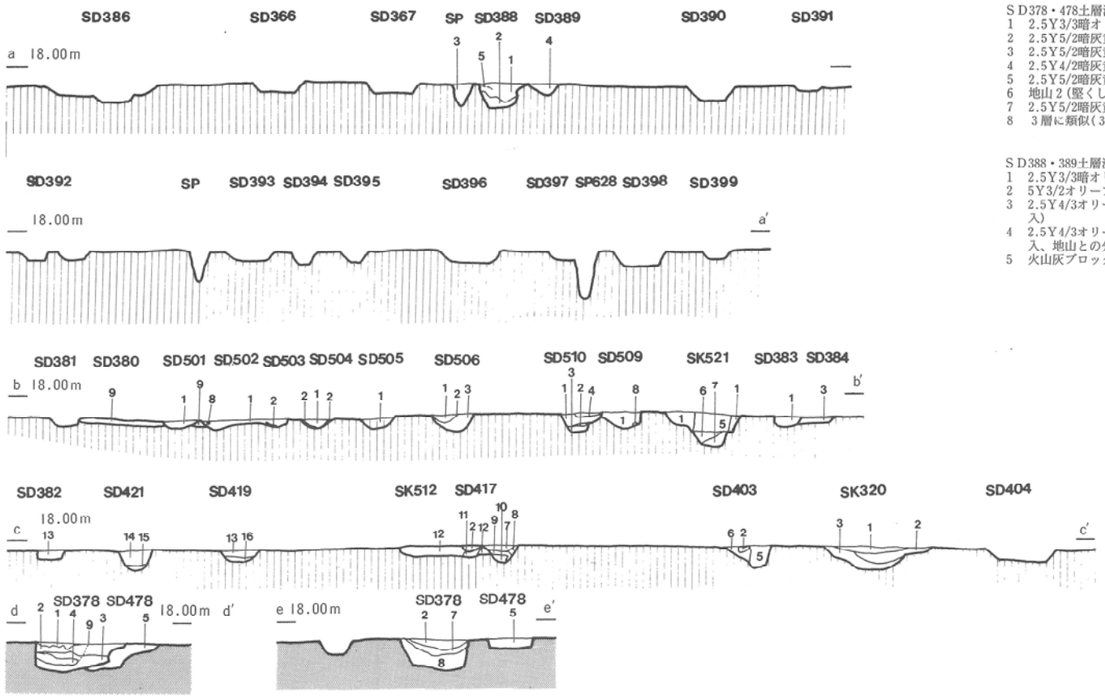
S K175土層注記
1　10Y R1.7/1黒色砂質シルト(炭化粒1%・F層20%混入)

S K623土層注記
1　10Y R1.7/1黒色砂質シルト(炭化粒1%・F層10%混入)

第6図　遺構実測図(1)



第7図　遺構実測図(2)



S D378・478土層注記(d－d´、e－e´)
1　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y4/6オリーブ褐色細砂５％・炭化粒１％混入)
2　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(１層をマーブル状に５％、火山灰１％混入)
3　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(１層粒子１％、火山灰５％混入)
4　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(１層粒子１％、火山灰３％混入)
5　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(４層粒１％混入、６層に比べ砂質で粘性をもつ)
6　地山２(堅くしまる、火山灰をまだらに３％混入)
7　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(火山灰レンズ状に30％混入)
8　３層に類似(３層に比べて火山灰１％と少ない)

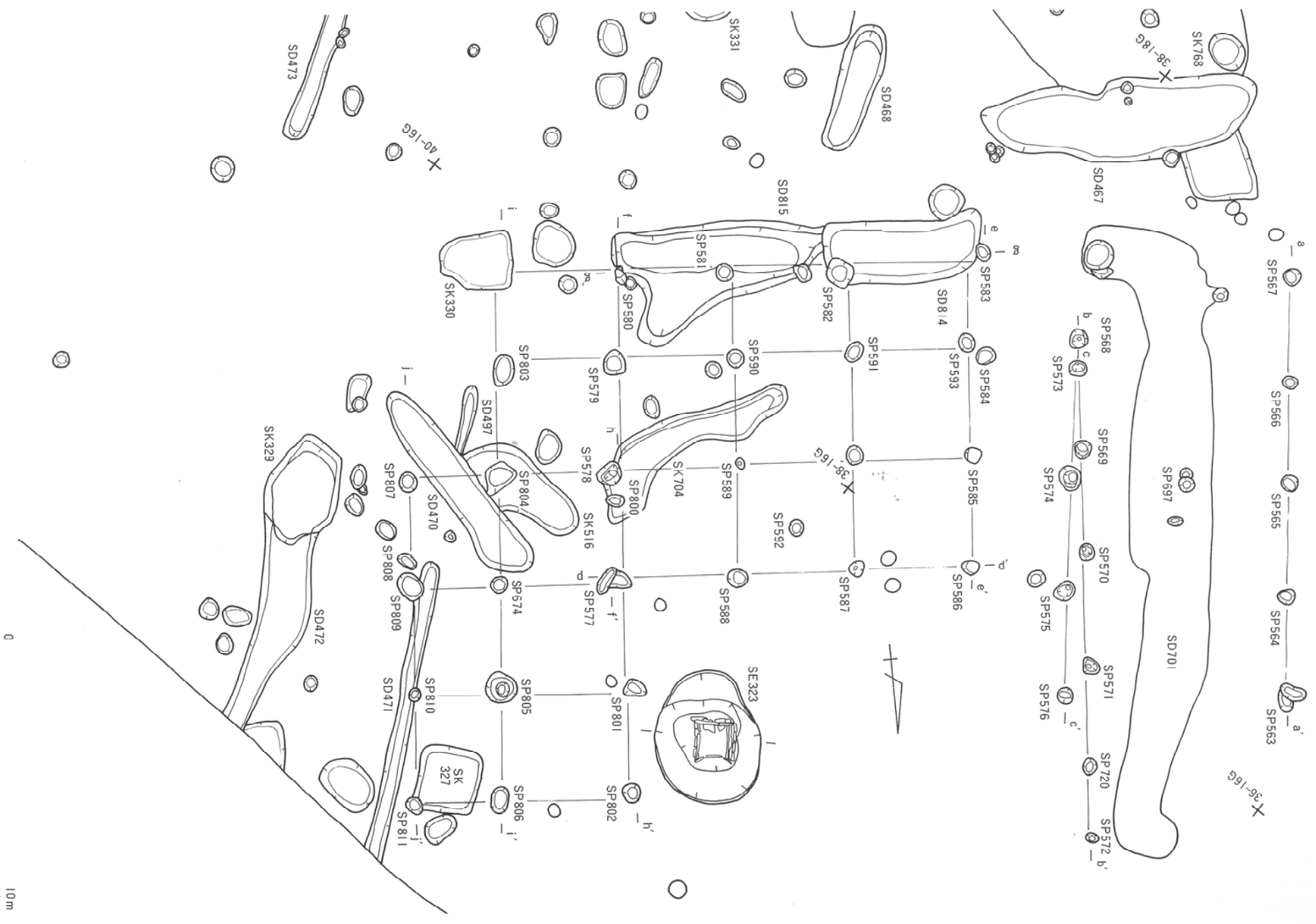
S D388・389土層注記(a－a´)
1　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(火山灰５％・炭化粒１％・2.5Y4/4オリーブ褐色細砂５％混入)
2　5Y3/2オリーブ黒色砂質シルト(地山２ブロック１％・１層粒10％・炭化粒わずかに混入)
3　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(10Y R4/2灰黄褐色シルト・10Y R4/6褐色シルトまだらに各５％混入)
4　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(10Y R4/2灰黄褐色シルト１％･10Y R4/6褐色シルト20％まだらに混入、地山との分層面にS D503覆土２層が堆積)
5　火山灰ブロック

S D382・403・417・419・421、S K320・512土層注記(c－c´)
1　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質細砂(地山１同色砂質シルト30％・炭化物５％・A層５％・火山灰粒５㎜大５％混入)
2　2.5Y2/1黒色砂質シルト(地山１が５％、火山灰粒・炭化粒１％、A層に類似)
3　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質細砂(同色細砂10％・火山灰１％・炭化粒１％・A層５％混入)
4　地山１(火山灰粒１％弱混入)
5　2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト(火山灰５％・赤焼土器片混入)
6　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(火山灰５％・地山１が５％混入)
7　2.5Y4/6オリーブ褐色細砂(2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト粒混入)
8　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(１層細砂10％混入)
9　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y3/2黒褐色砂質シルト５％混入)
10　2.5Y4/2暗灰黄色砂質細砂(2.5Y3/2黒褐色砂質シルト１％混入)
11　地山１(２層30％混入)
12　地山１(2.5Y5/2暗灰黄色シルト粒５％混入、堅くしまる)
13　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(F層５％･火山灰１％弱混入、酸化鉄が縦に流れ込むように認められ、地山よりやや黒味を帯びている。地山より乾燥がおそく雨天時にプランが確認できる)
14　６層に類似(炭化粒１％・火山灰１％混入)
15　６層に類似(細砂質である)
16　13層に類似(13層に比べ粘性が強い)

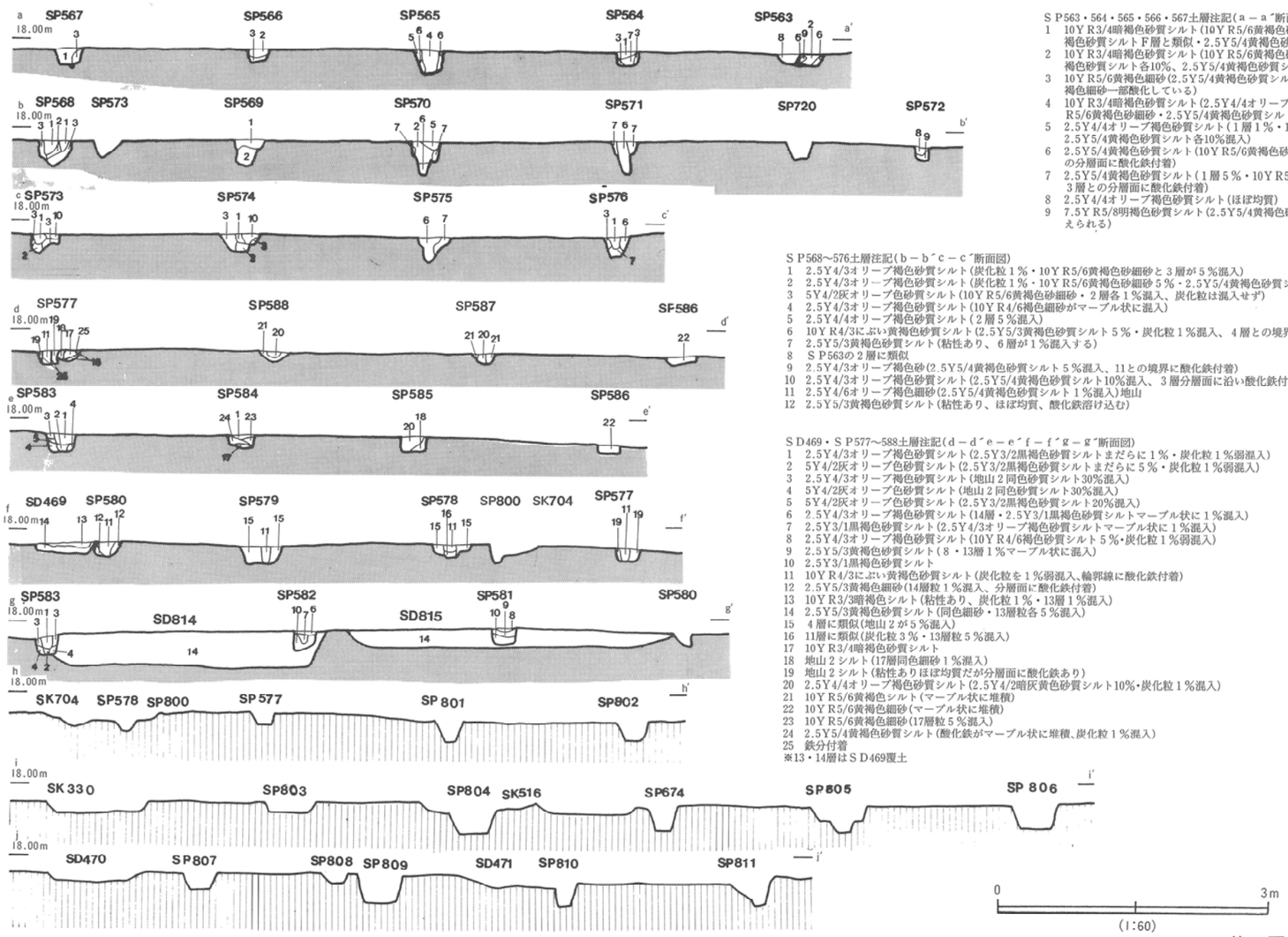
S D501～506・509・510・383、S K521土層注記(b－b´)
1　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト(地山にくらべ粘性があり乾燥が遅い、地山に入り込むよう状態、10Y R4/3にぶい黄褐色細砂が縦に混入)
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(流れ込んだように堆積)
3　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト(１層に類似、やや砂質)
4　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト(１層に2.5Y4/1黄灰色細砂５％混入したもの、炭化粒ごく少量認められる)
5　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(火山灰まだらに５％・炭化粒１％弱混入)
6　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(５層10％・炭化粒１％弱・火山灰は認められない)
7　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒１％混入)
8　火山灰
9　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト(地山にくらべ粘性がある)

0　3m
(1:60)

第８図　遺構実測図(3)



第９図　遺構実測図(4)

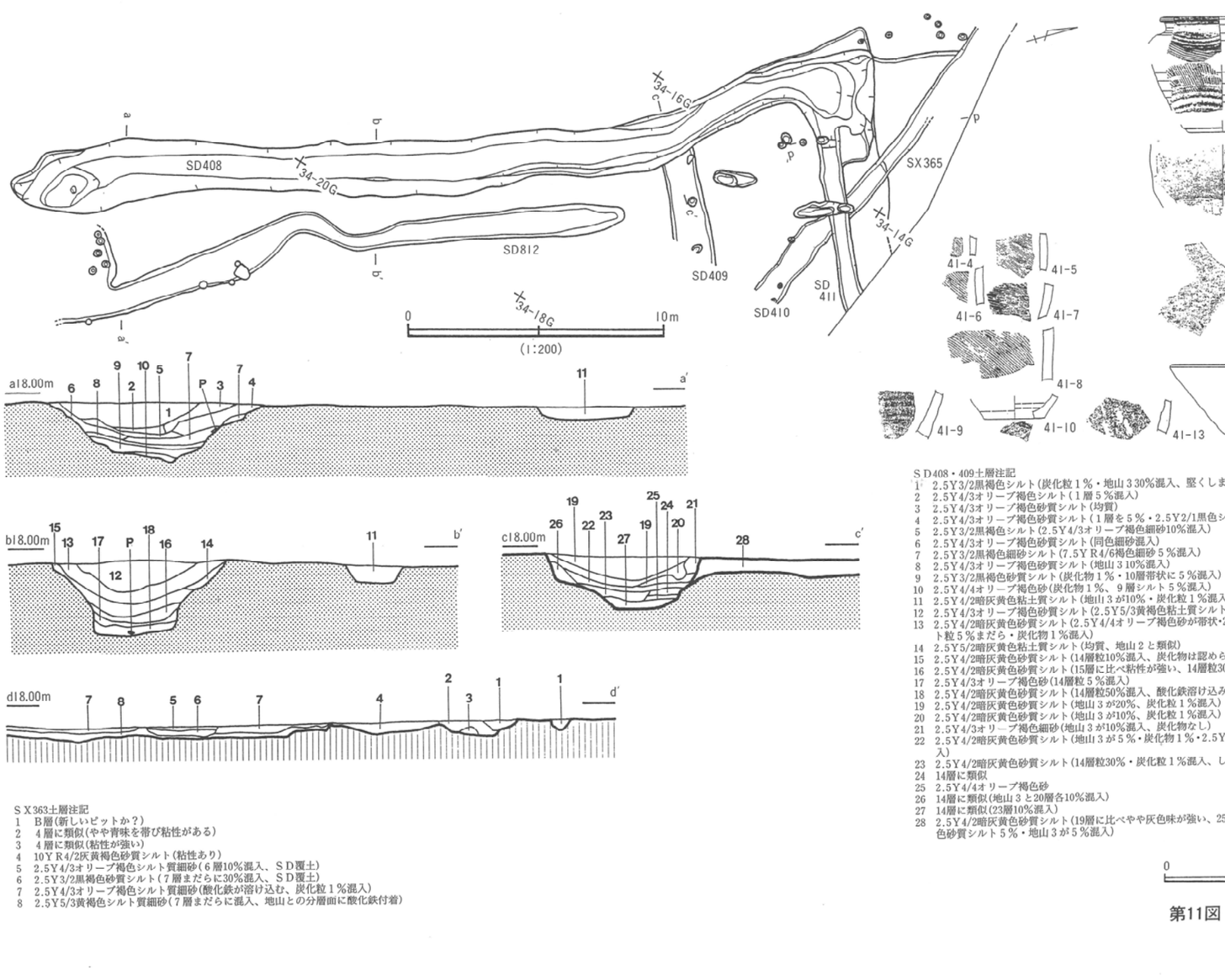


第10図　遺構実測図(5)

ＳＰ563・564・565・566・567土層注記(ａ－ａ´断面図)
1　10ＹＲ3/4暗褐色砂質シルト(10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂・2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルトＦ層と類似・2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト各10%混入)
2　10ＹＲ3/4暗褐色砂質シルト(10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂・2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルト各10%、2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト30%混入)
3　10ＹＲ5/6黄褐色細砂(2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト10%混入、10ＹＲ5/6黄褐色細砂一部酸化している)
4　10ＹＲ3/4暗褐色砂質シルト(2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルト30%、10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂・2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト各５%混入)
5　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルト(１層１%・10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂・2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト各10%混入)
6　2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト(10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂５%混入、３と６層の分層面に酸化鉄付着)
7　2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト(１層５%・10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂１%混入、３層との分層面に酸化鉄付着)
8　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルト(ほぼ均質)
9　7.5ＹＲ5/8明褐色砂質シルト(2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルトが酸化したと考えられる)

ＳＰ568～576土層注記(ｂ－ｂ´ｃ－ｃ´断面図)
1　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒１%・10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂と３層が５%混入)
2　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒１%・10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂５%・2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト10%混入)
3　5Ｙ4/2灰オリーブ色砂質シルト(10ＹＲ5/6黄褐色砂細砂・２層各１%混入、炭化粒は混入せず)
4　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(10ＹＲ4/6褐色細砂がマーブル状に混入)
5　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルト(２層５%混入)
6　10ＹＲ4/3にぶい黄褐色砂質シルト(2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト５%・炭化粒１%混入、４層との境界に酸化鉄が付着している)
7　2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト(粘性あり、６層が１%混入する)
8　ＳＰ563の２層に類似
9　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂(2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト５%混入、11との境界に酸化鉄付着)
10　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト10%混入、３層分層面に沿い酸化鉄付着)
11　2.5Ｙ4/6オリーブ褐色細砂(2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト１%混入)地山
12　2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト(粘性あり、ほぼ均質、酸化鉄溶け込む)

ＳＤ469・ＳＰ577～588土層注記(ｄ－ｄ´ｅ－ｅ´ｆ－ｆ´ｇ－ｇ´断面図)
1　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルトまだらに１%・炭化粒１%弱混入)
2　5Ｙ4/2灰オリーブ色砂質シルト(2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルトまだらに５%・炭化粒１%弱混入)
3　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(地山２同色砂質シルト30%混入)
4　5Ｙ4/2灰オリーブ色砂質シルト(地山２同色砂質シルト30%混入)
5　5Ｙ4/2灰オリーブ色砂質シルト(2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト20%混入)
6　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(14層・2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルトマーブル状に１%混入)
7　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト(2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルトマーブル状に１%混入)
8　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(10ＹＲ4/6褐色砂質シルト５%・炭化粒１%弱混入)
9　2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト(８・13層１%マーブル状に混入)
10　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト
11　10ＹＲ4/3にぶい黄褐色砂質シルト(炭化粒を１%弱混入、輪郭線に酸化鉄付着)
12　2.5Ｙ5/3黄褐色細砂(14層粒１%混入、分層面に酸化鉄付着)
13　10ＹＲ3/3暗褐色シルト(粘性あり、炭化粒１%・13層１%混入)
14　2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト(同色細砂・13層粒各５%混入)
15　４層に類似(地山２が５%混入)
16　11層に類似(炭化粒３%・13層粒５%混入)
17　10ＹＲ3/4暗褐色砂質シルト
18　地山２シルト(17層同色細砂１%混入)
19　地山２シルト(粘性ありほぼ均質だが分層面に酸化鉄あり)
20　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルト(2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト10%・炭化粒１%混入)
21　10ＹＲ5/6黄褐色シルト(マーブル状に堆積)
22　10ＹＲ5/6黄褐色細砂(マーブル状に堆積)
23　10ＹＲ5/6黄褐色細砂(17層粒５%混入)
24　2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト(酸化鉄がマーブル状に堆積、炭化粒１%混入)
25　鉄分付着
※13・14層はＳＤ469覆土

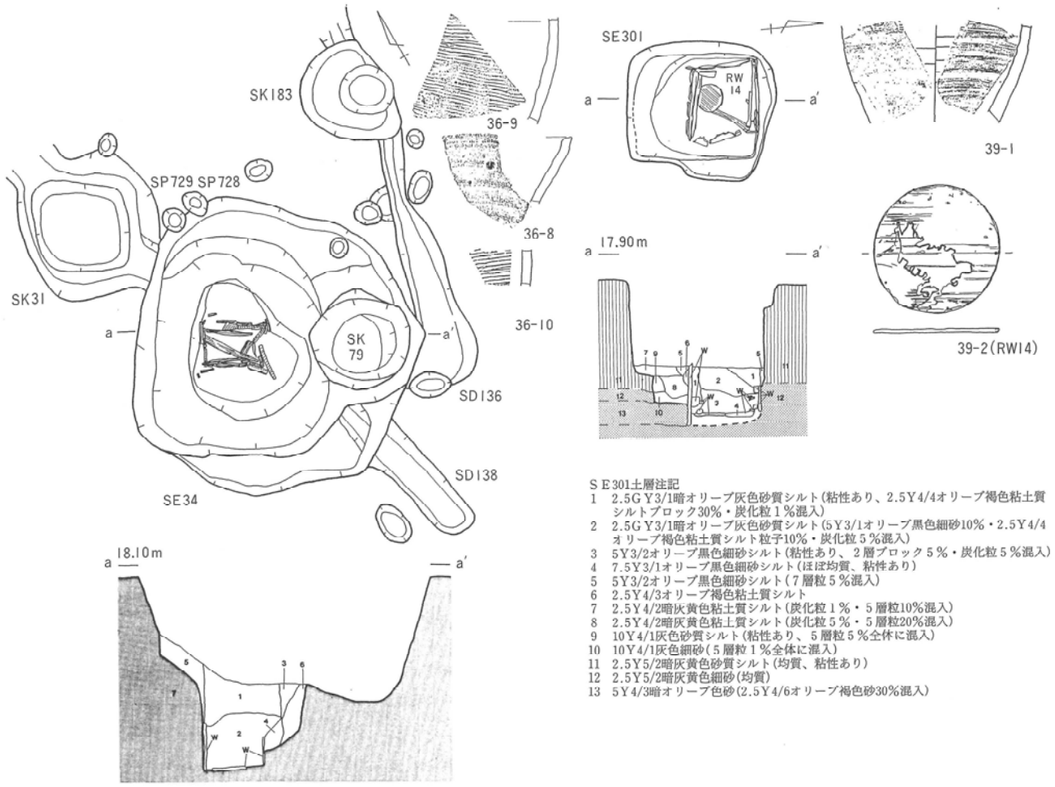


ＳＤ408・409土層注記
1　2.5Ｙ3/2黒褐色シルト(炭化粒１%・地山３30%混入、堅くしまる)
2　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルト(１層５%混入)
3　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(均質)
4　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(１層を５%・2.5Ｙ2/1黒色シルト１%霜降り状に混入)
5　2.5Ｙ3/2黒褐色シルト(2.5Ｙ4/3オリーブ褐色細砂10%混入)
6　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(同色細砂混入)
7　2.5Ｙ3/2黒褐色細砂シルト(7.5ＹＲ4/6褐色細砂５%混入)
8　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(地山３10%混入)
9　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(炭化物１%・10層帯状に５%混入)
10　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂(炭化物１%、９層シルト５%混入)
11　2.5Ｙ4/2暗灰黄色粘土質シルト(地山３が10%・炭化粒１%混入)
12　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Ｙ5/3黄褐色粘土質シルト粒30%・炭化物１%混入)
13　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂が帯状・2.5Ｙ5/3黄褐色粘土質シルト粒５%まだら・炭化物１%混入)
14　2.5Ｙ5/2暗灰黄色粘土質シルト(均質、地山２と類似)
15　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(14層粒10%混入、炭化物は認められない)
16　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(15層に比べ粘性が強い、14層粒30%混入)
17　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂(14層粒５%混入)
18　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(14層粒50%混入、酸化鉄溶け込みが激しい)
19　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(地山３が20%、炭化粒１%混入)
20　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(地山３が10%、炭化粒１%混入)
21　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色細砂(地山３が10%混入、炭化物なし)
22　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(地山３が５%・炭化物１%・2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト５%混入)
23　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(14層粒30%・炭化粒１%混入、しまっている)
24　14層に類似
25　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂
26　14層に類似(地山３と20層各10%混入)
27　14層に類似(23層10%混入)
28　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(19層に比べやや灰色味が強い、25層同色砂20%・2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト５%・地山３が５%混入)

ＳＸ363土層注記
1　Ｂ層(新しいピットか？)
2　４層に類似(やや青味を帯び粘性がある)
3　４層に類似(粘性が強い)
4　10ＹＲ4/2灰黄褐色砂質シルト(粘性あり)
5　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルト質細砂(６層10%混入、ＳＤ覆土)
6　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(７層まだらに30%混入、ＳＤ覆土)
7　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルト質細砂(酸化鉄が溶け込む、炭化粒１%混入)
8　2.5Ｙ5/3黄褐色シルト質細砂(７層まだらに混入、地山との分層面に酸化鉄付着)

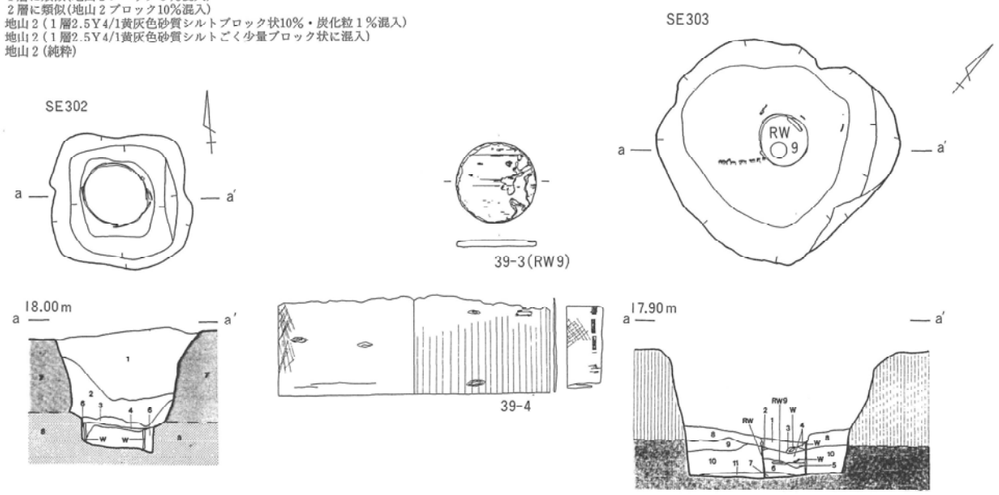
0　2m
(1:60)

第11図　遺構実測図(6)



ＳＥ301土層注記
1　2.5GＹ3/1暗オリーブ灰色砂質シルト(粘性あり、2.5Ｙ4/4オリーブ褐色粘土質シルトブロック30%・炭化粒１%混入)
2　2.5GＹ3/1暗オリーブ灰色砂質シルト(5Ｙ3/1オリーブ黒色細砂10%・2.5Ｙ4/4オリーブ褐色粘土質シルト粒子10%・炭化粒５%混入)
3　5Ｙ3/2オリーブ黒色細砂シルト(粘性あり、２層ブロック５%・炭化粒５%混入)
4　7.5Ｙ3/1オリーブ黒色細砂シルト(ほぼ均質、粘性あり)
5　5Ｙ3/2オリーブ黒色細砂シルト(７層粒５%混入)
6　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色粘土質シルト
7　2.5Ｙ4/2暗灰黄色粘土質シルト(炭化粒１%・５層粒10%混入)
8　2.5Ｙ4/2暗灰黄色粘土質シルト(炭化粒５%・５層粒20%混入)
9　10Ｙ4/1灰色砂質シルト(粘性あり、５層粒５%全体に混入)
10　10Ｙ4/1灰色細砂(５層粒１%全体に混入)
11　2.5Ｙ5/2暗灰黄色砂質シルト(均質、粘性あり)
12　2.5Ｙ5/2暗灰黄色細砂(均質)
13　5Ｙ4/3暗オリーブ色砂(2.5Ｙ4/6オリーブ褐色砂30%混入)

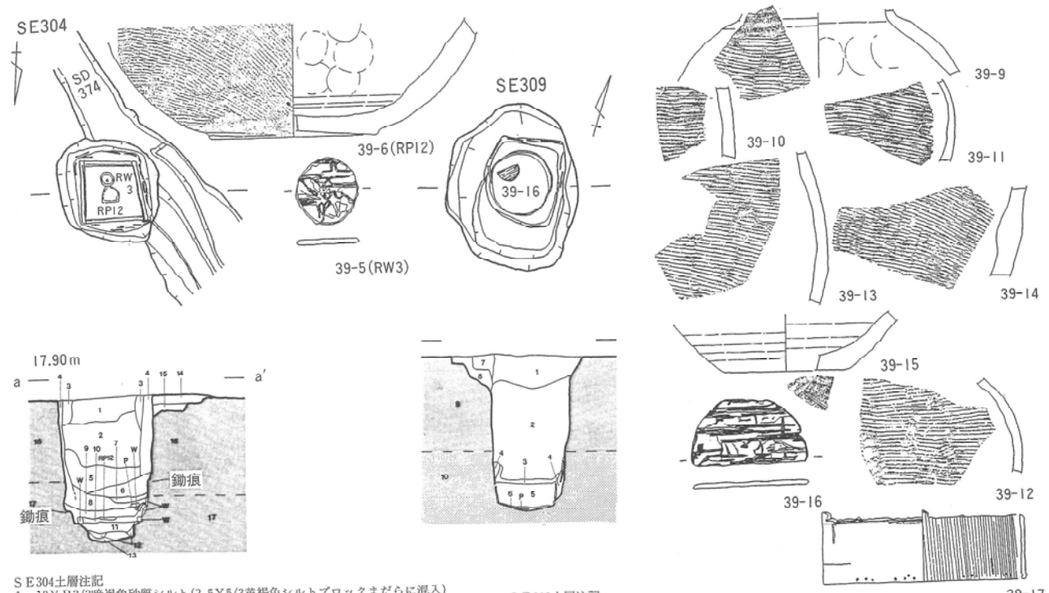
ＳＥ34土層注記
1　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト(粘性あり、炭化粒５%・木片・2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂混入)
2　7.5GＹ2/1緑黒色砂質シルト(粘性あり、木片・2.5GＹ3/1暗オリーブ灰色砂質シルトブロック状に混入)
3　１層に類似(地山２ブロック５%混入)
4　２層に類似(地山２ブロック10%混入)
5　地山２(１層2.5Ｙ4/1黄灰色砂質シルトブロック状10%・炭化粒１%混入)
6　地山２(１層2.5Ｙ4/1黄灰色砂質シルトごく少量ブロック状に混入)
7　地山２(純粋)



ＳＥ302土層注記
1　2.5Ｙ5/2暗灰黄色砂質シルト(堅くしまる、酸化鉄が溶け込む)ＳＫ305覆土１層に類似
2　2.5Ｙ5/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂・2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルトブロック各10%とくに３層との境に多い、炭化粒１%混入、酸化鉄が溶け込む)ＳＫ305の１層に類似
3　ＳＫ305の１層に類似(2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルトブロックがまだらに50%混入、粘性がある)
4　7.5Ｙ R4/6褐色砂質シルト(同色砂50%混入)
5　5Ｙ5/3灰オリーブ色細砂(均質)
6　地山２砂質シルト(３層10%まだらに混入)
7　地山２(純粋)
8　地山２砂質シルト(純粋)

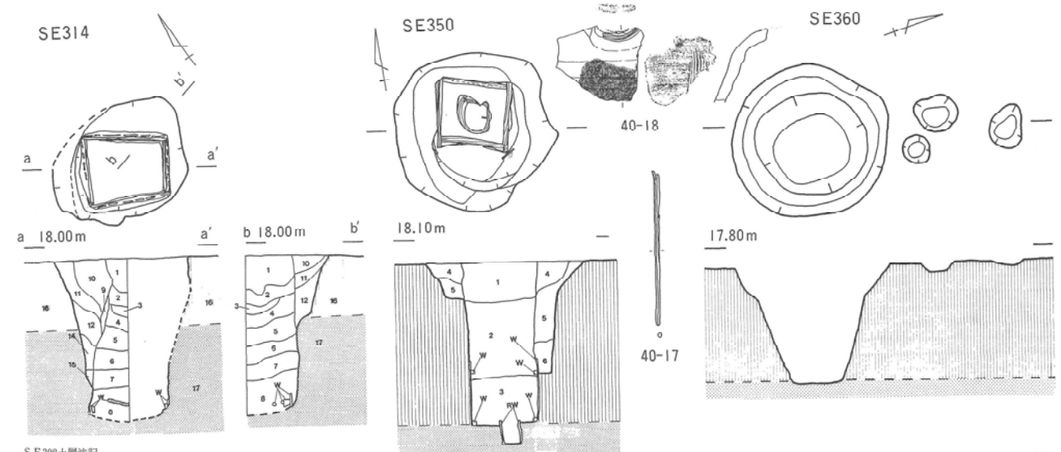
0　2m
(1:60)

第12図　遺構実測図(7)



ＳＥ304土層注記
1　10Ｙ R3/3暗褐色砂質シルト(2.5Ｙ5/3黄褐色シルトブロックまだらに混入)
2　10Ｙ R3/3暗褐色砂質シルト(10Ｙ R1.7/1黒色粘土質シルト斑状に、炭化物混入)
3　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(黄褐シルトを斑状に混入)
4　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト(酸化鉄含むほぼ均一、部分的にやや粘土質)
5　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(粘性あり、６層５cm大10%・地山２が２cm大で１%・炭化物１%混入)
6　Ａ層シルト(粘性あり、５層10%・2.5Ｙ4/6オリーブ褐色砂質シルト粒・炭化物各１%混入)
7　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(ほぼ均質)
8　Ａ層(粘性あり、５層20%・炭化物１%混入)
9　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(10層・地山２・11層・2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂各ブロックで10%・炭化物１%混入)
10　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト(やわらかく粘性がある)
11　2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト(粘性ありほぼ均質)

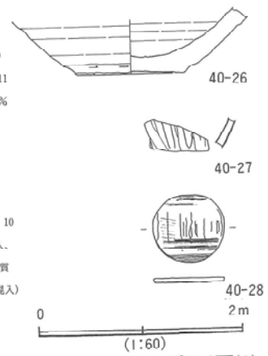
ＳＥ309土層注記
1　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂５%・炭化粒１%・2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト30%混入)
2　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Ｙ5/2暗灰黄色砂質シルトブロック10%・オリーブ褐色細砂まだらに10%・2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルトブロック30%混入)
3　２層に類似(鉄分の溶け込みが特に多い)
4　地山２(５層５%混入)
5　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(粘性が強く、2.5Ｙ3/1黒褐色粘土質シルトブロック10%・オリーブ褐色細砂まだらに５%・炭化粒５%混入)
6　2.5Ｙ3/1黒褐色粘土質シルト(均質、炭化粒混入)
7　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色砂質シルト(2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト10%混入)
8　地山２(７層30%混入)
9　地山２(純粋)
10　地山２同色細砂



ＳＥ308土層注記
1　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(２・Ｆ層各５%混入、かたくしまる)
2　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(10Ｙ R4/6褐色シルト粒10%・Ａ層５%・炭化粒１%混入)
3　ド層(ほぼ均質)
4　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(10Ｙ R4/6褐色シルト粒10%・Ａ層30%帯状・炭化粒５%・５層ブロック10%混入)
5　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10Ｙ R4/6褐色粒５%・地山２ブロック10%混入)
6　地山２(５層ブロック30%混入)
7　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10Ｙ R3/4暗褐色細砂５%・地山２ブロック５%・10Ｙ R4/6褐色シルト粒１%・炭化粒１%混入)
8　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(地山２ブロック10%・10Ｙ R3/4暗褐色細砂10%混入)
9　地山２
10　地山２同色細砂
※５層～８層は人為的埋土、４層自然堆積、１層河川による堆土？

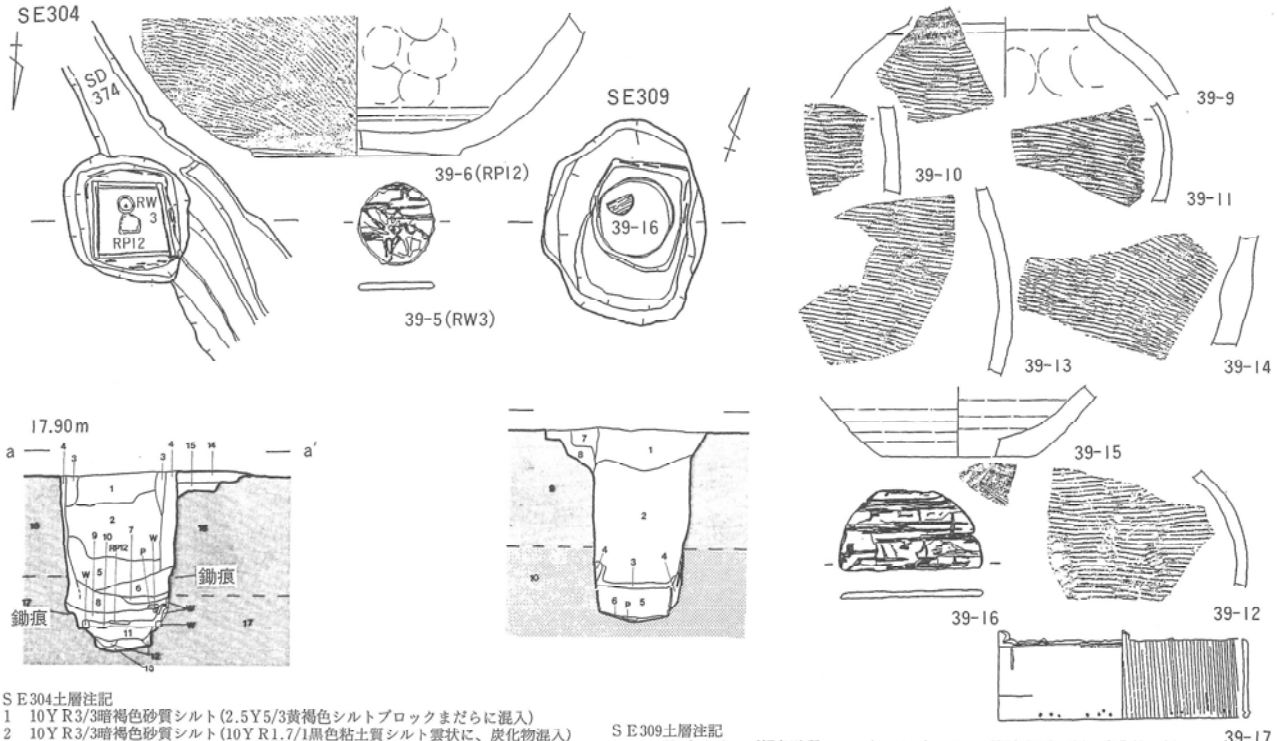
ＳＥ314土層注記
1　10Ｙ R4/2灰黄褐色砂質シルト(Ｆ層に類似、炭化物１%１cm大あり、2.5Ｙ4/4オリーブ褐色粘質シルト粒５%混入、しまっている)
2　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(１層30%、３層10%、炭化粒１%混入)
3　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(粘性あり、１層10%・炭化粒１%混入、２と３層・３と４層の分層面に10Ｙ R4/4褐色細砂が堆積している)
4　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(１層10%・３層30%・炭化粒１%混入)
5　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(１層10%・２層30%・炭化粒１%・炭化材・10Ｙ R4/6褐色砂質シルト粒１%混入)
6　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(１層５%・２層30%・炭化粒１%・2.5Ｙ4/4オリーブ褐色粘土質シルトブロック５%混入)
7　5Ｙ3/1オリーブ黒色砂質シルト(粘性あり、10Ｙ R4/3にぶい黄褐色砂質シルトブロック５%、炭化物１%、５層ブロック10%混入)
8　5Ｙ3/1オリーブ黒色砂質シルト(粘性あり、10Ｙ R5/4にぶい黄褐色砂質シルトブロック10%・炭化物１%混入)
9　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト(１層を５%混入)
10　2.5Ｙ4/2暗灰黄色シルト質細砂(11層１cm大ブロックを20%・炭化粒１%混入)
11　2.5Ｙ5/3黄褐色シルト質細砂(10層をマーブル状に10%・炭化粒１%弱混入)
12　2.5Ｙ4/2暗灰黄色シルト質細砂(2.5Ｙ2/1黒色砂質シルトが帯状に流れ込む、11層１cm大ブロックを５%混入)
13　2.5Ｙ4/2暗灰黄色シルト質細砂(11層ブロック10cm大・7.5Ｙ R4/6褐色細砂10%混入)
14　2.5Ｙ5/3黄褐色シルト質細砂(10層をマーブル状に５%混入)
15　2.5Ｙ4/2暗灰黄色細砂(11層１cm大ブロックを５%混入)
16　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト(粘性あり均質)
17　2.5Ｙ5/3黄褐色シルト質細砂(均質、地山)

ＳＫ350土層注記
1　10Ｙ R3/3暗褐色砂質シルト(斑文状2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト・炭化物混入)
2　10Ｙ R3/3暗褐色砂質シルト(炭化物、2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルトを斑文状に、10Ｙ R2/1黒色シルトを斑状に混入)
3　5Ｙ2/1黒色砂質シルト(やや粘性あり、10Ｙ2/1黒色シルトをブロック状に混入、ほぼ均一的)
4　10Ｙ R3/4暗褐色砂質シルト(2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト・10Ｙ R4/4褐色粘土質シルト・10Ｙ R5/3にぶい黄褐色シルトをまだら状に混入)
5　2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト・同粘土質シルトを斑状に、４層をブロック状に混入)
6　2.5Ｙ5/3黄褐色細砂



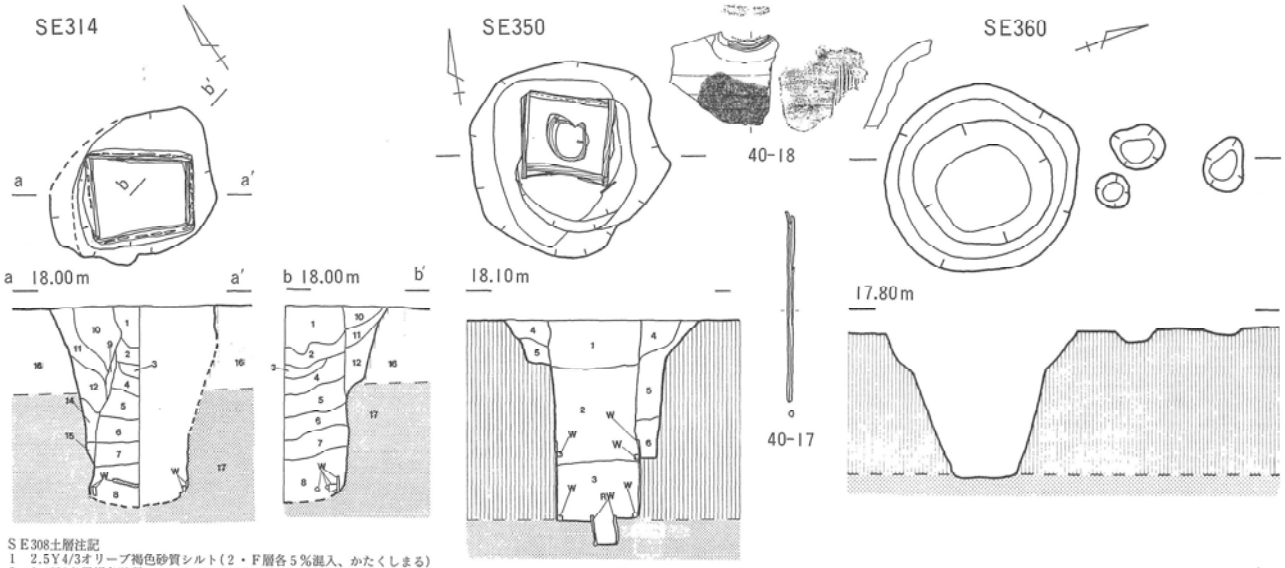
0　2m
(1:60)

第13図　遺構実測図(8)



SE304土層注記
1　10YR3/3暗褐色砂質シルト(2.5Y5/3黄褐色シルトブロックまだらに混入)
2　10YR3/3暗褐色砂質シルト(10YR1.7/1黒色粘土質シルト雲状に、炭化物混入)
3　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(黄褐シルトを斑状に混入)
4　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(酸化鉄含むほぼ均一、部分的にやや粘土質)
5　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(粘性あり、6層5㎝大10%・地山2が2㎝大で1%・炭化物1%混入)
6　A層シルト(粘性あり、5層10%・2.5Y4/6オリーブ褐色砂質シルト粒・炭化物各1%混入)
7　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(ほぼ均質)
8　A層(粘性あり、5層20%・炭化物1%混入)
9　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(10層・地山2・11層・2.5Y4/4オリーブ褐色細砂各ブロックで10%・炭化物1%混入)
10　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(やわらかく粘性がある)
11　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト(粘性ありほぼ均質)

SE309土層注記
1　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色細砂5%・炭化粒1%・2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト30%混入)
2　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルトブロック10%・オリーブ褐色細砂まだらに10%・2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルトブロック30%混入)
3　2層に類似(鉄分の溶け込みが特に多い)
4　地山2(5層5%混入)
5　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(粘性が強く、2.5Y3/1黒褐色粘土質シルトブロック10%・オリーブ褐色細砂まだらに5%・炭化粒5%混入)
6　2.5Y3/1黒褐色粘土質シルト(均質、炭化粒混入)
7　2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト10%混入)
8　地山2(7層30%混入)
9　地山2(純粋)
10　地山2同色細砂

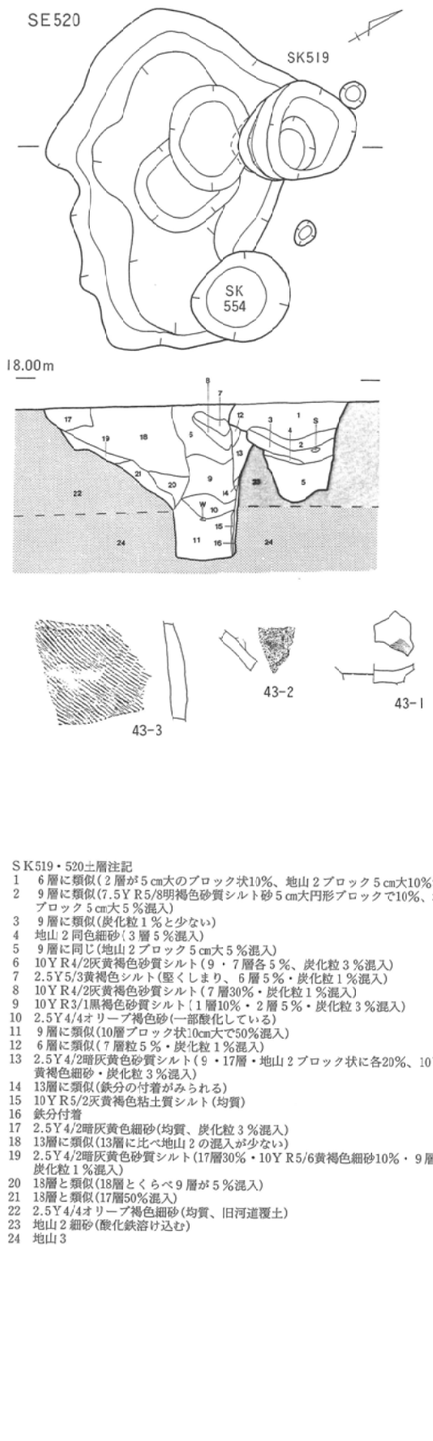


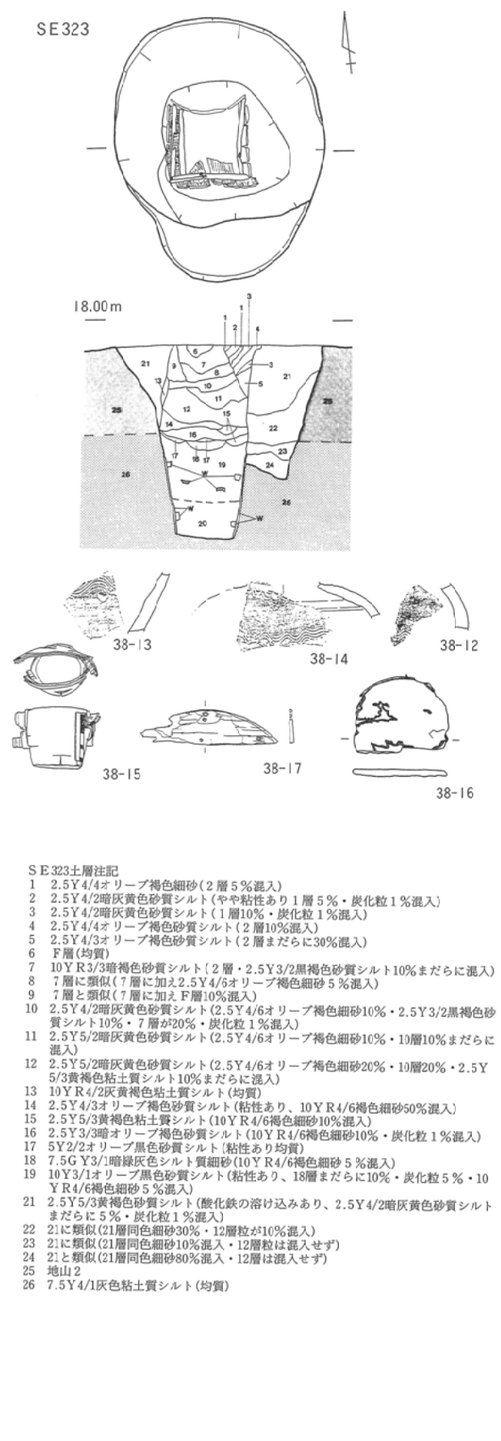
SE308土層注記
1　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2・F層各5%混入、かたくしまる)
2　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(10YR4/6褐色シルト粒10%・A層5%・炭化粒1%混入)
3　F層(ほぼ均質)
4　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(10YR4/6褐色シルト粒10%・A層30%帯状・炭化粒5%・5層ブロック10%混入)
5　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10YR4/6褐色粒5%・地山2ブロック10%混入)
6　地山2(5層ブロック30%混入)
7　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10YR3/4暗褐色細砂5%・地山2ブロック5%・10YR4/6褐色シルト粒1%・炭化粒1%混入)
8　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(地山2ブロック10%・10YR3/4暗褐色細砂10%混入)
9　地山2
10　地山2同色細砂
※5層～8層は人為的埋土、4層自然堆積、1層河川による埋土？

SE314土層注記
1　10YR4/2灰黄褐色砂質シルト(F層に類似、炭化物1%1㎝大あり、2.5Y4/4オリーブ褐色粘質シルト粒5%混入、しまっている)
2　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(1層30%、3層10%、炭化粒1%混入)
3　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(粘性あり、1層10%・炭化粒1%混入、2と3層・3と4層の分層面に10YR4/4褐色細砂が堆積している)
4　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(1層10%・3層30%・炭化粒1%混入)
5　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(1層10%・2層30%・炭化粒1%・炭化材・10YR4/6褐色砂質シルト粒1%混入)
6　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(1層5%・2層30%・炭化粒1%・2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルトブロック5%混入)
7　5Y3/1オリーブ黒色砂質シルト(粘性あり、10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルトブロック5%、炭化物1%、5層ブロック10%混入)
8　5Y3/1オリーブ黒色砂質シルト(粘性あり、10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトブロック10%・炭化物1%混入)
9　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(1層を5%混入)
10　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質細砂(11層1㎝大ブロックを20%・炭化粒1%混入)
11　2.5Y5/3黄褐色シルト質細砂(10層をマーブル状に10%・炭化粒1%弱混入)
12　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質細砂(2.5Y2/1黒色砂質シルトが帯状に流れ込む、11層1㎝大ブロックを5%混入)
13　2.5Y4/2暗灰黄色シルト質細砂(11層ブロック10㎝大・7.5YR4/6褐色細砂10%混入)
14　2.5Y5/3黄褐色シルト質細砂(10層をマーブル状に5%混入)
15　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(11層1㎝大ブロックを5%混入)
16　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(粘性あり均質)
17　2.5Y5/3黄褐色シルト質細砂(均質、地山)

SK350土層注記
1　10YR3/3暗褐色砂質シルト(斑文状2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・炭化物混入)
2　10YR3/3暗褐色砂質シルト(炭化物、2.5Y5/3黄褐色砂質シルトを斑文状に、10YR2/1黒色シルトを雲状に混入)
3　5Y2/1黒色砂質シルト(やや粘性あり、10Y2/1黒色シルトをブロック状に混入、ほぼ均一的)
4　10YR3/4暗褐色砂質シルト(2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・10YR4/4褐色粘土質シルト・10YR5/3にぶい黄褐色シルトをまだら状に混入)
5　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・同粘土質シルトを斑状に、4層をブロック状に混入)
6　2.5Y5/3黄褐色細砂

第13図　遺構実測図(8)



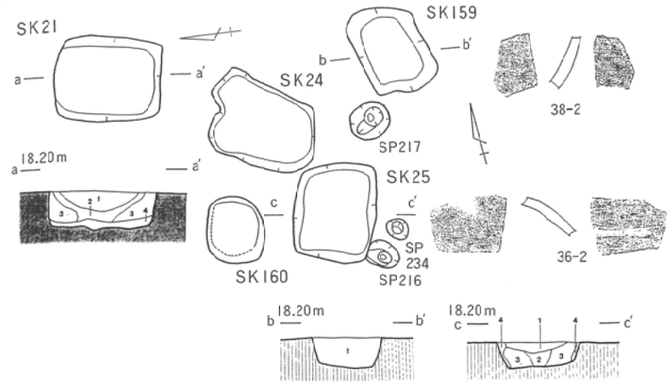


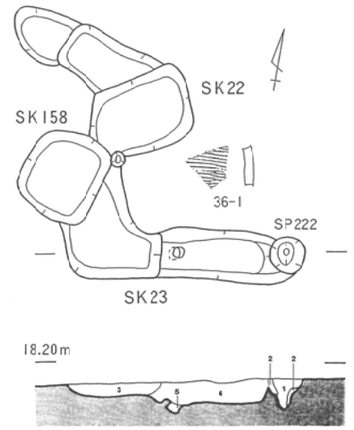
SK519・520土層注記
1　6層に類似(2層が5cm大のブロック状10%、地山2ブロック5cm大10%混入)
2　9層に類似(7.5YR5/8明褐色砂質シルト砂5cm大円形ブロックで10%、地山2ブロック5cm大5%混入)
3　9層に類似(炭化粒1%と少ない)
4　地山2同色細砂(3層5%混入)
5　9層に同じ(地山2ブロック5cm大5%混入)
6　10YR4/2灰黄褐色砂質シルト(9・7層各5%、炭化粒3%混入)
7　2.5Y5/3黄褐色シルト(堅くしまり、6層5%・炭化粒1%混入)
8　10YR4/2灰黄褐色砂質シルト(7層30%・炭化粒1%混入)
9　10YR3/1黒褐色砂質シルト〔1層10%・2層5%・炭化粒3%混入)
10　2.5Y4/4オリーブ褐色砂(一部酸化している)
11　9層に類似(10層ブロック状10cm大で50%混入)
12　6層に類似(7層粒5%・炭化粒1%混入)
13　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(9・17層・地山2ブロック状に各20%、10YR5/6黄褐色細砂・炭化粒3%混入)
14　13層に類似(鉄分の付着がみられる)
15　10YR5/2灰黄褐色粘土質シルト(均質)
16　鉄分付着
17　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(均質、炭化粒3%混入)
18　13層に類似(13層に比べ地山2の混入が少ない)
19　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(17層30%・10YR5/6黄褐色細砂10%・9層5%・炭化粒1%混入)
20　18層と類似(18層とくらべ9層が5%混入)
21　18層と類似(17層50%混入)
22　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂(均質、旧河道覆土)
23　地山2細砂(酸化鉄溶け込む)
24　地山3

SE323土層注記
1　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂(2層5%混入)
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(やや粘性あり1層5%・炭化粒1%混入)
3　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(1層10%・炭化粒1%混入)
4　2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト(2層10%混入)
5　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2層まだらに30%混入)
6　F層(均質)
7　10YR3/3暗褐色砂質シルト〔2層・2.5Y3/2黒褐色砂質シルト10%まだらに混入)
8　7層に類似(7層に加え2.5Y4/6オリーブ褐色細砂5%混入)
9　7層と類似(7層に加えF層10%混入)
10　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/6オリーブ褐色細砂10%・2.5Y3/2黒褐色砂質シルト10%・7層が20%・炭化粒1%混入)
11　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/6オリーブ褐色細砂10%・10層10%まだらに混入)
12　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/6オリーブ褐色細砂20%・10層20%・2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト10%まだらに混入)
13　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト(均質)
14　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(粘性あり、10YR4/6褐色細砂50%混入)
15　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト(10YR4/6褐色細砂10%混入)
16　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10YR4/6褐色細砂10%・炭化粒1%混入)
17　5Y2/2オリーブ黒色砂質シルト(粘性あり均質)
18　7.5GY3/1暗緑灰色シルト質細砂(10YR4/6褐色細砂5%混入)
19　10Y3/1オリーブ黒色砂質シルト(粘性あり、18層まだらに10%・炭化粒5%・10YR4/6褐色細砂5%混入)
21　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト(酸化鉄の溶け込みあり、2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルトまだらに5%・炭化粒1%混入)
22　21に類似(21層同色細砂30%・12層粒が16%混入)
23　21に類似(21層同色細砂10%混入・12層粒は混入せず)
24　21と類似(21層同色細砂80%混入・12層は混入せず)
25　地山2
26　7.5Y4/1灰色粘土質シルト(均質)

0　2m
(1:60)

第14図　遺構実測図(9)



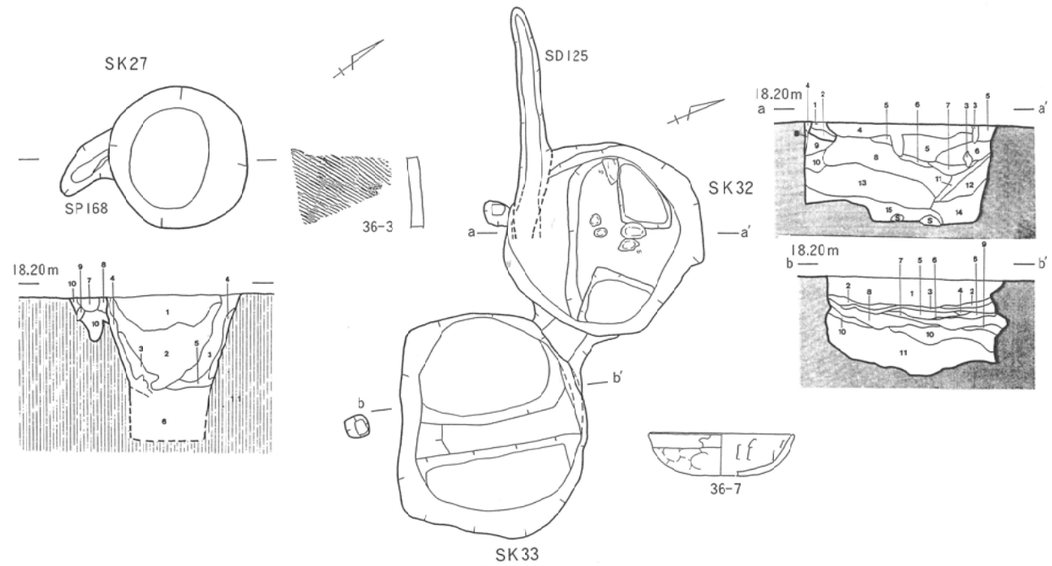


SK21土層注記
1　10YR3/2黒褐色砂質シルト(炭化粒混入)SK25の1層に類似
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(1層20%混入)
3　10YR3/2黒褐色砂質シルト(炭化粒を混入せず、黄褐色砂質シルト30%混入)
4　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(1層40%混入)

SK25土層注記
1　10YR3/2黒褐色砂質シルト(2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトまだらに30%混入)
2　10YR3/2黒褐色砂質シルト(3層50%混入)
3　2.5GY2/1黒色砂質シルト(炭化粒5%・1層10%混入)
4　10YR3/2黒褐色シルト(2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・同色細砂10%混入)

SK159土層注記
1　2.5GY2/1黒色砂質シルト(炭化粒5%・1層10%混入)

SK23土層注記
1　B層(炭化粒3%・地山粒5%混入)
2　B層(地山1粒30%混入)
3　N2/ 黒色シルト(地山1粒10%混入)
4　N2/ 黒色シルト(炭化粒5%・B層10%混入)
5　地山2(4層同色シルト10%混入)



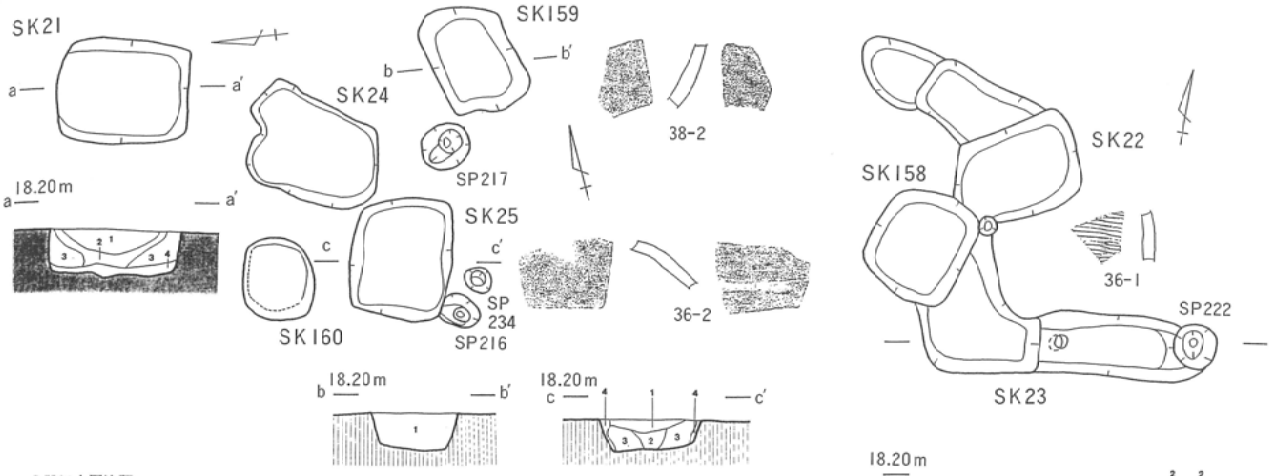
SK27土層注記
1　F層(地山1粒5%・炭化物5%混入)
2　10YR3/3暗褐色砂質シルト(粘性あり堅く、同色細砂・1層各10%、炭化物5%混入)
3　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト(2.5Y4/3オリーブ褐色細砂10%混入)
4　A層(さらさらしてもろく、2・3層各10%混入)
5　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト(A層5%・2.5Y4/3オリーブ褐色細砂10%混入)
6　10YR3/3暗褐色砂質シルト(粘性ありもろく、同色細砂・1層各10%、炭化物5%混入)
7　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(10層5%混入)
8　2.5Y5/3黄褐色シルト(地山1が1%混入)
9　木の根攪乱
10　B層(地山1が5%混入)
11　地山1(B層5%混入、掘り方輪郭内に酸化鉄付着)

SK32土層注記
1　10YR5/3にぶい黄褐色シルト(F層5%混入)
2　10YR3/1黒褐色砂質シルト(1層5%混入)
3　木の根攪乱
4　SK33覆土1層
5　B層(F層5%・E層10cm大ブロック10%混入)
6　E層(A層ブロック流れ込み状に混入)
7　E層(C層が流れ込み状に混入)
8　B層(C・E層ブロック状に30%混入)
9　地山2同色砂質シルト(B層10%混入)
10　B層(C・E層ブロック状に20%混入)
11　8層と類似(A層5%混入)
12　E層(9層ブロック30%混入)
13　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(地山2・同色砂質シルト・A層粘土質シルト5cm大ブロックで30%混入、一部酸化している)
14　13に類似(13に比べ地山2粘質シルトが40%と多く炭化粒が5%混入)
15　13に類似(13に比べ地山2粘土質シルトの混入20%と少なく炭化粒5%混入)

SK33土層注記
1　F層(地山1・F層10%混入)
2　B層(A層が流れ込むように混入)
3　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(均質)
4　A層同色粘土質シルト(均質)
5　B層(3層・地山2同色砂質シルト混入)
6　A層(均質)
7　B層(地山2ブロック状に10%混入)
8　B層(地山2ブロック状に30%混入)
9　地山2(B層ブロック状に10%混入)
10　地山2(A層1%混入)
11　B層(地山2・2.5Y3/2黒褐色砂質シルト30%ブロック状、炭化粒5%混入)

0　2m
(1:60)

第15図　遺構実測図(10)

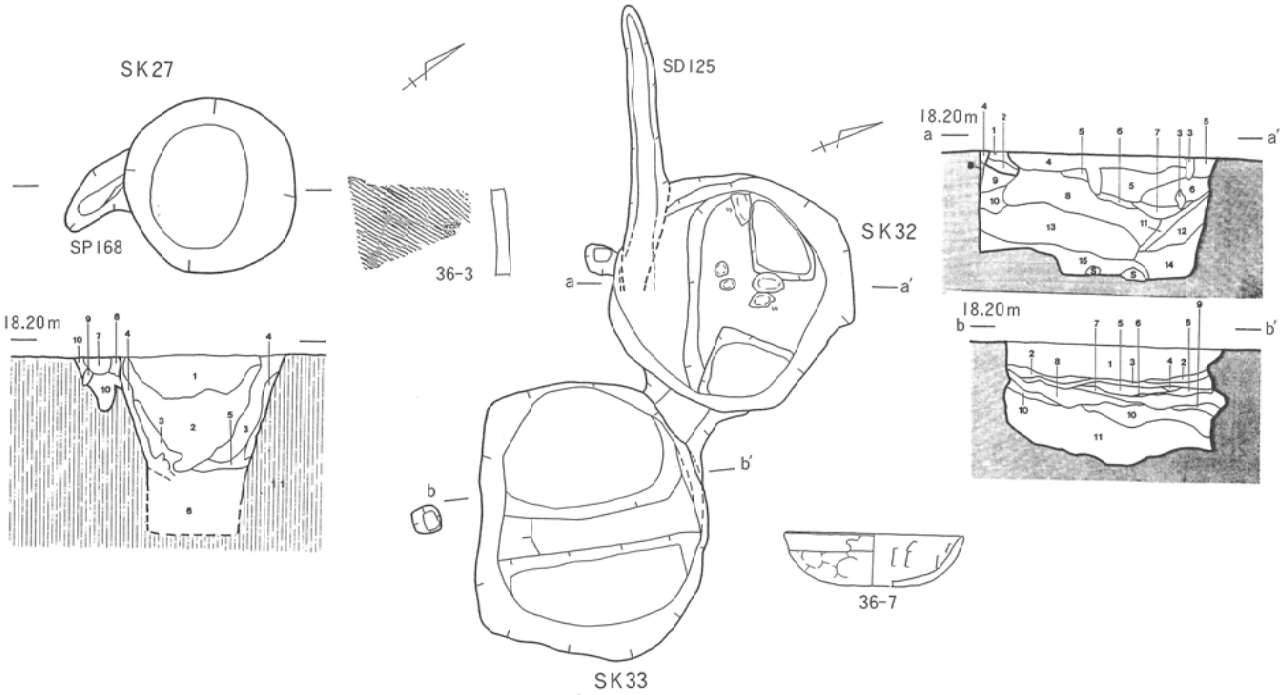


SK21土層注記
1　10YR3/2黒褐色砂質シルト（炭化粒混入）SK25の1層に類似
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（1層20%混入）
3　10YR3/2黒褐色砂質シルト（炭化粒を混入せず、黄褐色砂質シルト30%混入）
4　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（1層40%混入）

SK25土層注記
1　10YR3/2黒褐色砂質シルト（2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトまだらに30%混入）
2　10YR3/2黒褐色砂質シルト（3層50%混入）
3　2.5GY2/1黒色砂質シルト（炭化粒5%・1層10%混入）
4　10YR3/2黒褐色シルト（2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・同色細砂10%混入）

SK159土層注記
1　2.5GY2/1黒色砂質シルト（炭化粒5%・1層10%混入）

SK23土層注記
1　B層（炭化粒3%・地山粒5%混入）
2　B層（地山1粒30%混入）
3　N2/ 黒色シルト（地山1粒10%混入）
4　N2/ 黒色シルト（炭化粒5%・B層10%混入）
5　地山2（4層同色シルト10%混入）



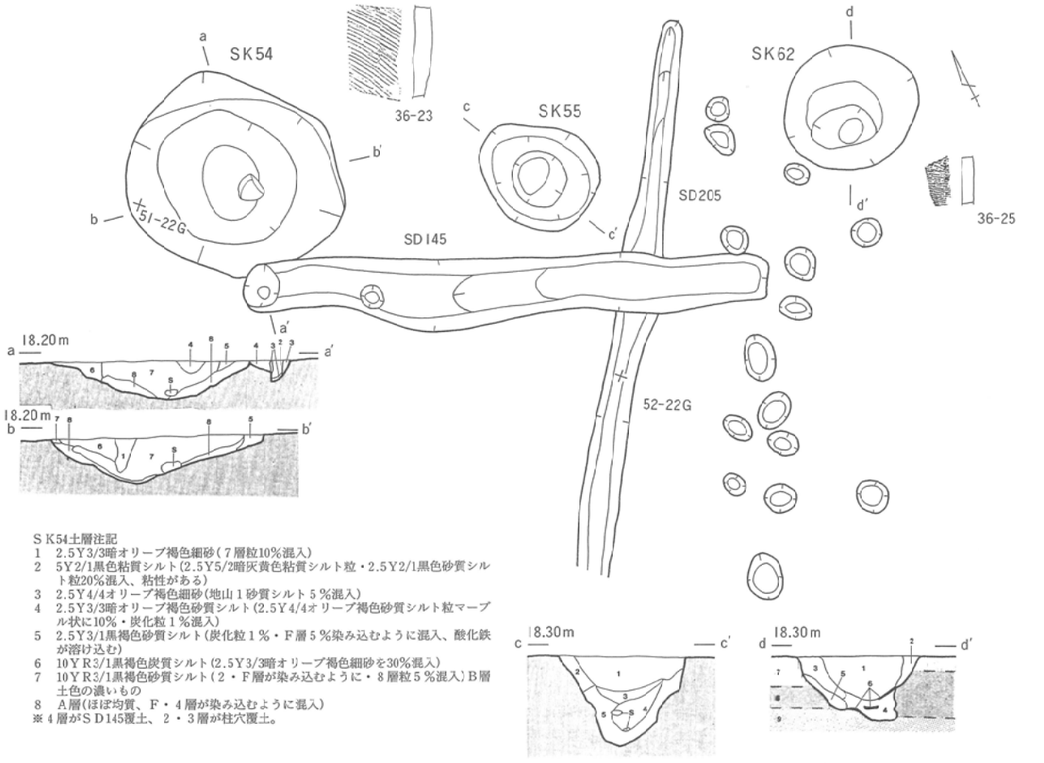
SK27土層注記
1　F層（地山1粒5%・炭化物5%混入）
2　10YR3/3暗褐色砂質シルト（粘性あり堅く、同色細砂・1層各10%、炭化物5%混入）
3　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（2.5Y4/3オリーブ褐色細砂10%混入）
4　A層（さらさらしてもろく、2・3層各10%混入）
5　2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト（A層5%・2.5Y4/3オリーブ褐色細砂10%混入）
6　10YR3/3暗褐色砂質シルト（粘性ありもろく、同色細砂・1層各10%、炭化物5%混入）
7　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（10層5%混入）
8　2.5Y5/3黄褐色シルト（地山1が1%混入）
9　木の根攪乱
10　B層（地山1が5%混入）
11　地山1（B層5%混入、掘り方輪郭内に酸化鉄付着）

SK32土層注記
1　10YR5/3にぶい黄褐色シルト（F層5%混入）
2　10YR3/1黒褐色砂質シルト（1層5%混入）
3　木の根攪乱
4　SK33覆土1層
5　B層（F層5%・E層10cm大ブロック10%混入）
6　E層（A層ブロック流れ込み状に混入）
7　E層（C層が流れ込み状に混入）
8　B層（C・E層ブロック状に30%混入）
9　地山2同色砂質シルト（B層10%混入）
10　B層（C・E層ブロック状に20%混入）
11　8層と類似（A層5%混入）
12　E層（9層ブロック30%混入）
13　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（地山2・同色砂質シルト・A層粘土質シルト5cm大ブロックで30%混入、一部酸化している）
14　13に類似（13に比べ地山2粘質シルトが40%と多く炭化粒が5%混入）
15　13に類似（13に比べ地山2粘土質シルトの混入20%と少なく炭化粒5%混入）

SK33土層注記
1　F層（地山1・F層10%混入）
2　B層（A層が流れ込むように混入）
3　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（均質）
4　A層同色粘土質シルト（均質）
5　B層（3層・地山2同色砂質シルト混入）
6　A層（均質）
7　B層（地山2ブロック状に10%混入）
8　B層（地山2ブロック状に30%混入）
9　地山2（B層ブロック状に10%混入）
10　地山2（A層1%混入）
11　B層（地山2・2.5Y3/2黒褐色砂質シルト30%ブロック状、炭化粒5%混入）

0　2m
（1:60）

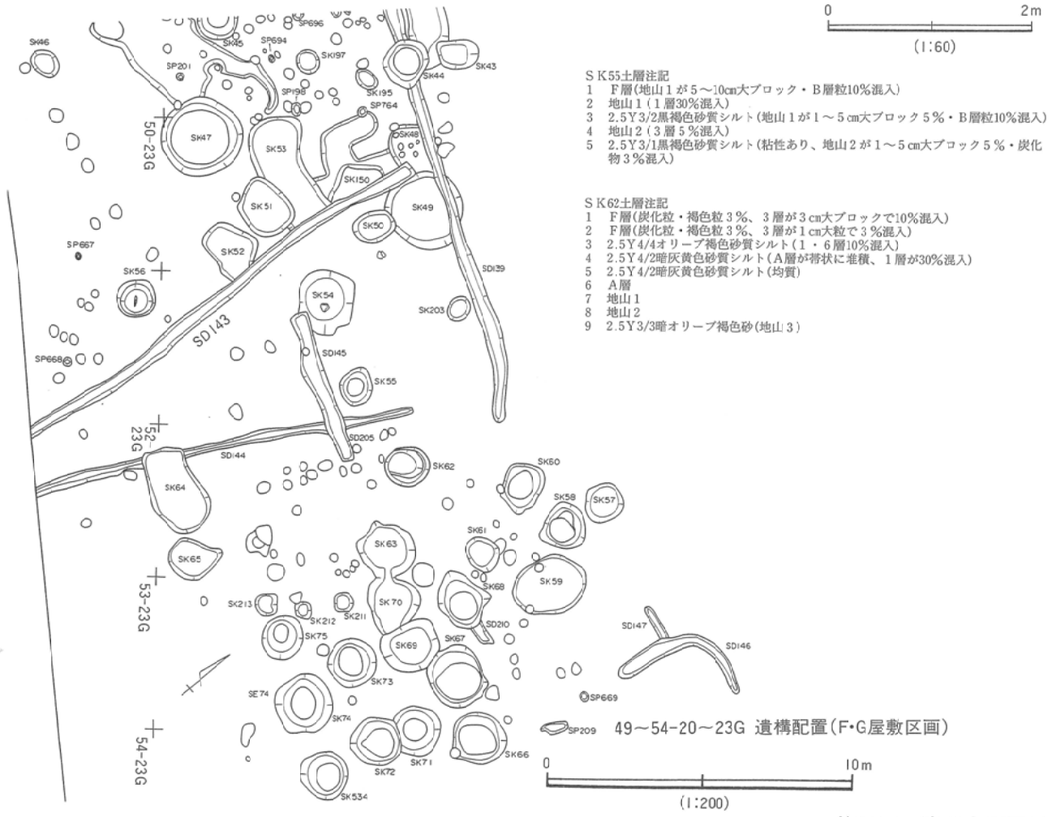
第15図　遺構実測図(10)



ＳＫ54土層注記
1　2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂（７層粒10％混入）
2　5Y2/1黒色粘質シルト（2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト粒・2.5Y2/1黒色砂質シルト粒20％混入、粘性がある）
3　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂（地山１砂質シルト５％混入）
4　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト粒マーブル状に10％・炭化粒１％混入）
5　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（炭化粒１％・Ｆ層５％染み込むように混入、酸化鉄が溶け込む）
6　10ＹＲ3/1黒褐色炭質シルト（2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂を30％混入）
7　10ＹＲ3/1黒褐色砂質シルト（２・Ｆ層が染み込むように・８層粒５％混入）Ｂ層土色の濃いもの
8　Ａ層（ほぼ均質、Ｆ・４層が染み込むように混入）
※４層がＳＤ145覆土、２・３層が柱穴覆土。

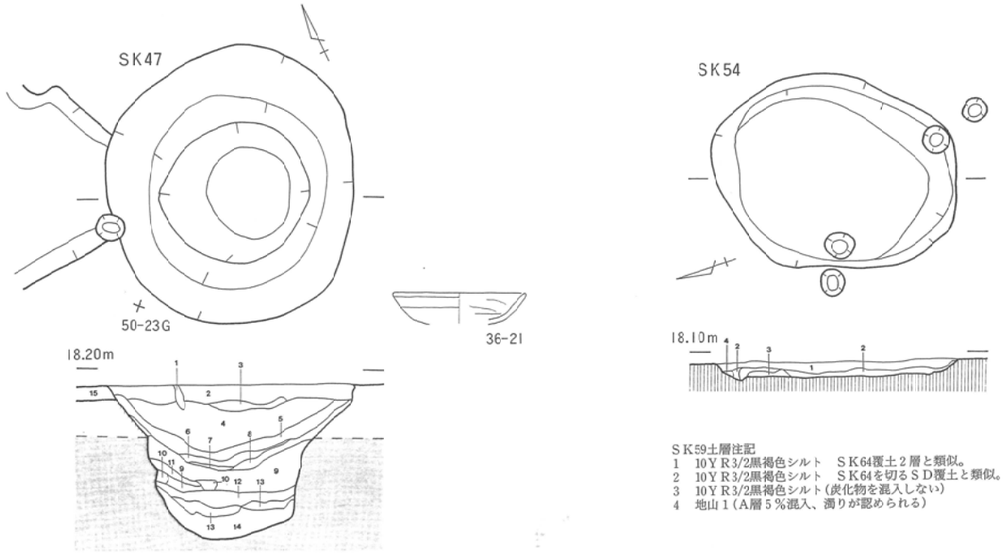
ＳＫ55土層注記
1　Ｆ層（地山１が５～10cm大ブロック・Ｂ層粒10％混入）
2　地山１（１層30％混入）
3　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（地山１が１～５cm大ブロック５％・Ｂ層粒10％混入）
4　地山２（３層５％混入）
5　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（粘性あり、地山２が１～５cm大ブロック５％・炭化物３％混入）

ＳＫ62土層注記
1　Ｆ層（炭化粒・褐色粒３％、３層が３cm大ブロックで10％混入）
2　Ｆ層（炭化粒・褐色粒３％、３層が１cm大粒で３％混入）
3　2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト（１・６層10％混入）
4　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（Ａ層が帯状に堆積、１層が30％混入）
5　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（均質）
6　Ａ層
7　地山１
8　地山２
9　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂（地山３）



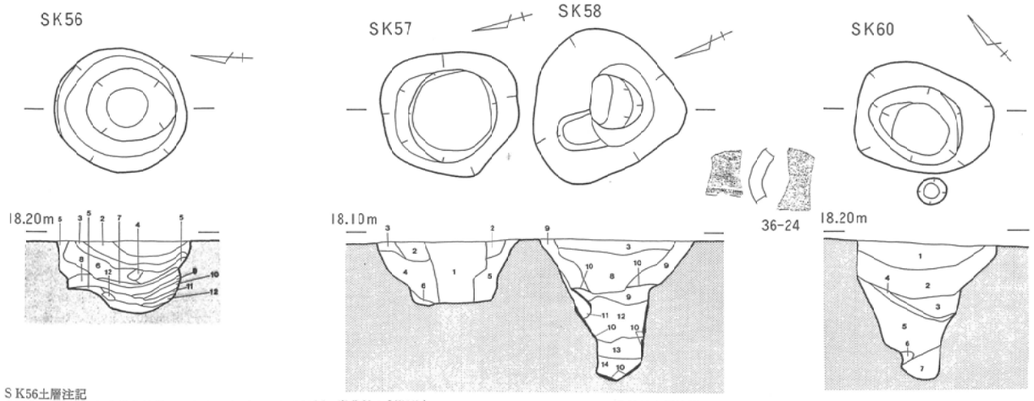
49～54-20～23G 遺構配置（F･G屋敷区画）

第16図　遺構実測図(11)



ＳＫ59土層注記
1　10ＹＲ3/2黒褐色シルト　ＳＫ64覆土２層と類似。
2　10ＹＲ3/2黒褐色シルト　ＳＫ64を切るＳＤ覆土と類似。
3　10ＹＲ3/2黒褐色シルト（炭化物を混入しない）
4　地山１（Ａ層５％混入、濁りが認められる）

ＳＫ47土層注記
1　2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂（均質）
2　2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂（地山１・炭化粒３％混入）
3　地山１（Ａ層が染み込むように10％混入）
4　Ｂ層（Ａ層10％まだらに混入）
5　Ｂ層（Ａ層帯状に混入）
6　Ａ層（Ｂ層10％混入）
7　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト（Ａ層10％混入）
8　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト（Ａ層５％混入）
9　2.5Y3/1黒褐色シルト質細砂（10層粒５％混入）
10　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト（均質）
11　2.5Y3/1黒褐色シルト質細砂（10層粒30％混入、粘性が強い）
12　2.5Y3/1黒褐色シルト質細砂（11層と類似、地山２粒が10％混入）
13　2.5Y3/2黒褐色シルト質細砂（地山２が10％混入）
14　地山２（13層がブロック状に10％混入）
15　2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂（2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト10％混入）
※９層～14層酸化鉄が溶け込む。５～８自然堆積層、その他については人為的埋土。



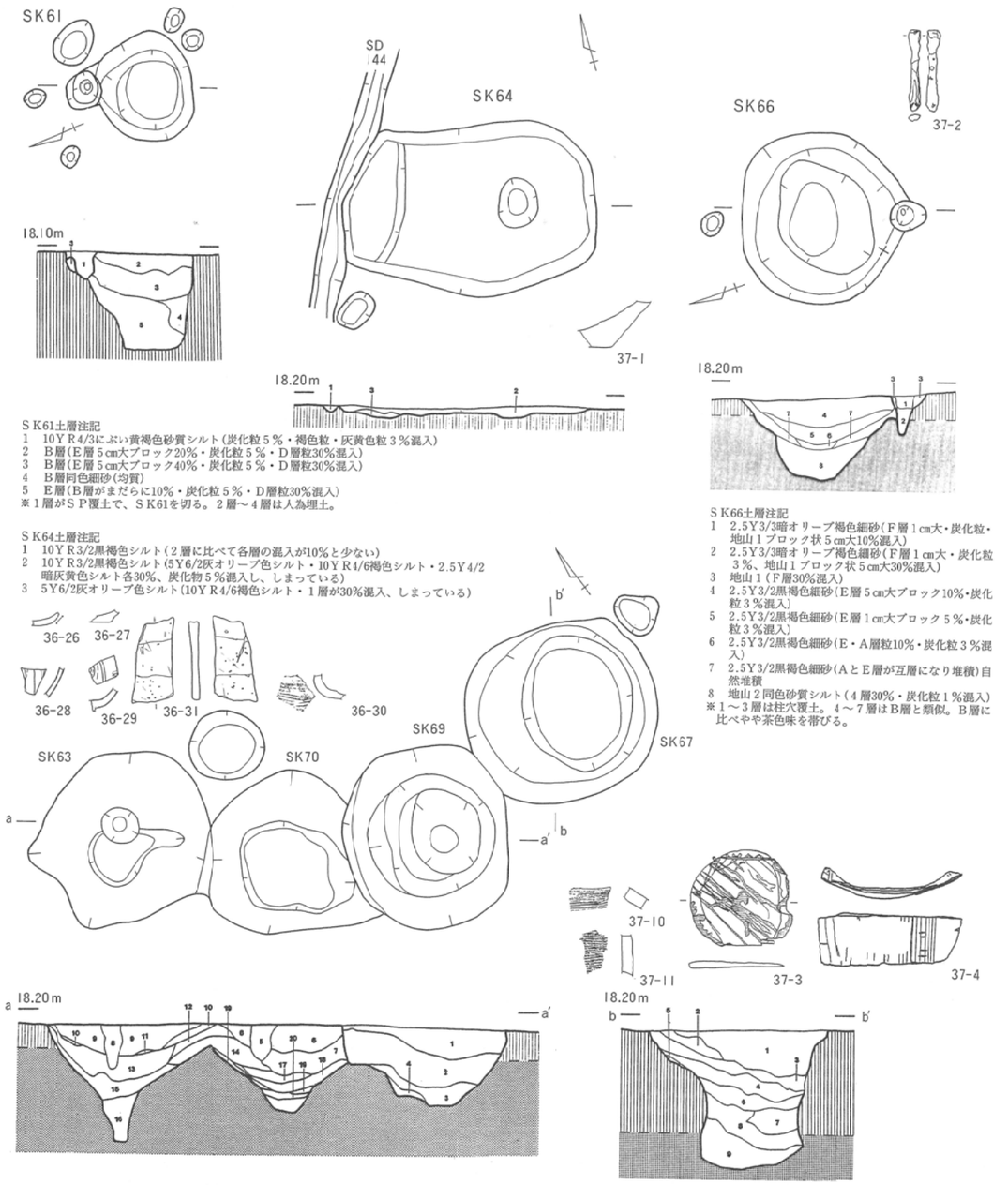
ＳＫ56土層注記
1　Ｆ層（2.5Y5/4黄褐色粘質シルト５cm大ブロックで20％・炭化粒１％混入）
2　10ＹＲ3/1黒褐色砂質シルト（2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト粒５％、炭化粒１％混入）ＳＫ54の７層とほぼ類似。Ｂ層の黒味を帯びたもの。
3　10ＹＲ3/1黒褐色砂質シルト（Ａ層が霜降り状に10％混入）
4　10ＹＲ3/2黒褐色シルト（均質）Ｂ層の黒味を帯びたもの。
5　2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト（酸化鉄が溶け込み、６層が染み込むように混入）
6　10ＹＲ3/1黒褐色砂質シルト（２層と類似、黄褐色粘土質シルト粒２％と少ない）
7　Ａ層
8　10ＹＲ3/2黒褐色シルト（５層ブロック10％混入）
9　10ＹＲ3/2黒褐色シルト（５層ブロック50％混入）
10　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト（８層まだらに20％混入）
11　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト（８層をまだらに10％混入）
12　10ＹＲ3/2黒褐色細砂

ＳＫ57・58土層注記
1　Ｂ層（Ｅ層10cm大ブロック10％・炭化粒３％混入）
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（炭化粒３％混入）
3　10Y R4/3にぶい黄褐色シルト　ＳＫ74のＦ１に類似
4　2.5Y4/1黄灰色シルト（同色細砂50％混入）ＳＫ68の５層に類似
5　2.5Y4/1黄灰色シルト（同色細砂80％混入）ＳＫ68の５層に類似
6　10Y R4/2灰黄褐色砂（４層粘土質シルト50％混入）
7　10Y R4/2灰黄褐色砂（10Y R4/3にぶい黄褐色砂30％混入地山４）
8　Ｂ層（１層に類似するがブロックを混入せず、Ｃ層20％混入）
9　Ｂ層（１層に類似するがブロックを混入せず、Ｃ層40％・Ｄ層５％混入）
10　Ｄ層
11　10Y R4/2灰黄褐色砂（同色粘土質シルト10％混入）
12　Ｂ層（2.5Y5/3黄褐色砂質シルト50％混入）
13　Ｂ層（2.5Y5/3黄褐色砂質シルト20％混入）
14　Ｂ層同色粘土質シルト（2.5Y5/3黄褐色砂質シルト10％・Ｄ層５％混入、やわらかく水分を多く含む）
※３層以外は人為的埋土

ＳＫ60土層注記
1　10Y R4/3にぶい黄褐色シルト　ＳＫ74に類似
2　10Y R4/3にぶい黄褐色シルト（Ｂ層同色シルト50％混入）
3　Ｂ層（１層が30％混入）
4　Ａ層（流れ込むように堆積）
5　Ｂ層（2.5Y4/4オリーブ褐色細砂10cm大ブロック状30％混入、分層面に鉄分の付着がみられる）
6　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト（同色砂が帯状に堆積し7.5Y R4/6褐色粘土質シルトがまだらに５％混入）
※５層は人為的埋土、１層～４層自然埋土。

0　2m
(1:60)

第17図　遺構実測図(12)



S K61土層注記
1　10Y R4/3にぶい黄褐色砂質シルト（炭化粒５％・褐色粒・灰黄色粒３％混入）
2　B層（E層５cm大ブロック20％・炭化粒５％・D層粒30％混入）
3　B層（E層５cm大ブロック40％・炭化粒５％・D層粒30％混入）
4　B層同色細砂（均質）
5　E層（B層がまだらに10％・炭化粒５％・D層粒30％混入）
※１層がＳＰ覆土で、ＳK61を切る。２層～４層は人為埋土。

S K64土層注記
1　10Y R3/2黒褐色シルト（２層に比べて各層の混入が10％と少ない）
2　10Y R3/2黒褐色シルト（5Y6/2灰オリーブ色シルト・10Y R4/6褐色シルト・2.5Y 4/2暗灰黄色シルト各30％、炭化物５％混入し、しまっている）
3　5Y6/2灰オリーブ色シルト（10Y R4/6褐色シルト・１層が30％混入、しまっている）

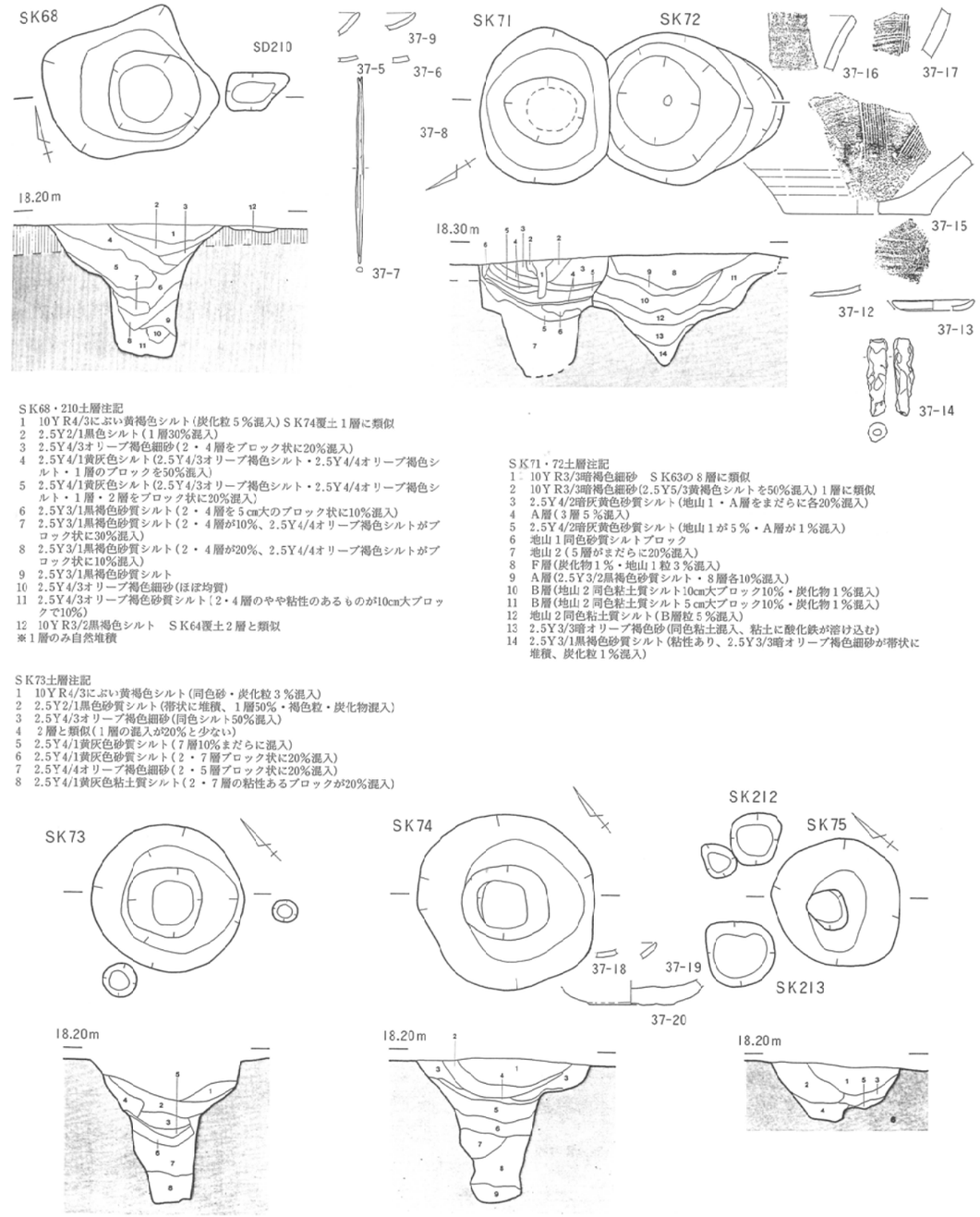
S K66土層注記
1　2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂〔F層１cm大・炭化粒・地山Ｉブロック状５cm大10％混入〕
2　2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂（F層１cm大・炭化粒３％、地山１ブロック状５cm大30％混入）
3　地山１（F層30％混入）
4　2.5Y3/2黒褐色細砂〔E層５cm大ブロック10％・炭化粒３％混入〕
5　2.5Y3/2黒褐色細砂（E層１cm大ブロック５％・炭化粒３％混入）
6　2.5Y3/2黒褐色細砂（E・A層粒10％・炭化粒３％混入）
7　2.5Y3/2黒褐色細砂（AとE層が互層になり堆積）自然堆積
8　地山２同色砂質シルト（４層30％・炭化粒１％混入）
※１～３層は柱穴覆土。４～７層はB層と類似。B層に比べやや茶色味を帯びる。

S K63土層注記
1　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（地山１が５cm大ブロックで30％混入、酸化鉄溶解している）
2　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（地山２が５cm大ブロックで50％混入、酸化鉄溶解している）
3　2.5Y3/2黒褐色砂質細砂（地山２が５cm大ブロックで50％混入、酸化鉄溶解している）
4　2.5Y3/2黒褐色砂質細砂（均質）
5　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト　　ＳK48・49を切るＳＦ覆土に類似
5　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（A層・2.5Y5/4黄褐色シルト２cm大粒10％混入）ＳK48・49の14層と類似
7　A層（2.5Y5/4黄褐色シルト２cm大粒が５％混入）
8　10Y R3/3暗褐色細砂（F層に比べ茶色味が強い、2.5Y5/4黄褐色砂質シルト粒３％混入）
9　F層同色砂質シルト（同色細砂・2.5Y5/4黄褐色砂質シルト粒10％混入）
10　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（A層が帯状に堆積している）
11　A層（均質）
12　２層に類似（地山２ブロックが１～２cm大で10％混入）
13　２層に類似（地山２ブロックが１～２cm大で50％混入）
14　２層に類似（地山２ブロックが５～10cm大で50％混入）
15　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（炭化粒・黄褐色シルト粒各５％混入）
16　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（炭化粒・黄褐色シルト粒各１％混入）
※１・２・６・７・９・13層は人為的埋土

S K67土層注記
1　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（炭化粒・２層粒10％混入）ＳK74の５層に類似
2　地山２（１層粒５％混入）
3　地山２（地山１同色粘質シルト・同色細砂30％混入）
4　10Y R4/4褐色細砂（５層を10％混入、地山に類似）壁崩落土
5　B層同色粘土質シルト（A層・地山２ブロック状５cm大10％混入）
6　B層（A層ブロック５％・地山２が30％混入）
7　地山２（B層霜降り状10％混入）
8　地山２（B層10cm大ブロック40％混入）
9　B層同色粘土質シルト（地山２・B層同色細砂10cm大ブロック10％混入）
※１層～４層自然堆積土、５層～９層人為的埋土。

0　2m
(1:60)

第18図　遺構実測図(13)



S K68・210土層注記
1　10Y R4/3にぶい黄褐色シルト（炭化粒５％混入）ＳK74覆土１層に類似
2　2.5Y2/1黒色シルト（１層30％混入）
3　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂（２・４層をブロック状に20％混入）
4　2.5Y4/1黄灰色シルト（2.5Y4/3オリーブ褐色シルト・2.5Y4/4オリーブ褐色シルト・１層のブロックを50％混入）
5　2.5Y4/1黄灰色シルト（2.5Y4/3オリーブ褐色シルト・2.5Y4/4オリーブ褐色シルト・１層・２層をブロック状に20％混入）
6　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（２・４層を５cm大のブロック状に10％混入）
7　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（２・４層が10％、2.5Y4/4オリーブ褐色シルトがブロック状に30％混入）
8　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（２・４層が20％、2.5Y4/4オリーブ褐色シルトがブロック状に10％混入）
9　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト
10　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂（ほぼ均質）
11　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト〔２・４層のやや粘性のあるものが10cm大ブロックで10％〕
12　10Y R3/2黒褐色シルト　ＳK64覆土２層と類似
※１層のみ自然堆積

S K71・72土層注記
1　10Y R3/3暗褐色細砂　ＳK63の８層に類似
2　10Y R3/3暗褐色細砂（2.5Y5/3黄褐色シルトを50％混入）１層に類似
3　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（地山１・A層をまだらに各20％混入）
4　A層（３層５％混入）
5　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（地山１が５％・A層が１％混入）
6　地山１同色砂質シルトブロック
7　地山２（５層がまだらに20％混入）
8　F層（炭化物１％・地山１粒３％混入）
9　A層（2.5Y3/2黒褐色砂質シルト・８層各10％混入）
10　B層（地山２同色粘土質シルト10cm大ブロック10％・炭化物１％混入）
11　B層（地山２同色粘土質シルト５cm大ブロック10％・炭化物１％混入）
12　地山２同色粘土質シルト（B層粒５％混入）
13　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂（同色粘土混入、粘土に酸化鉄が溶け込む）
14　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（粘性あり、2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂が帯状に堆積、炭化粒１％混入）

S K73土層注記
1　10Y R4/3にぶい黄褐色シルト（同色砂・炭化粒３％混入）
2　2.5Y2/1黒色砂質シルト（帯状に堆積、１層50％・褐色粒・炭化物混入）
3　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂（同色シルト50％混入）
4　２層と類似（１層の混入が20％と少ない）
5　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（７層10％まだらに混入）
6　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（２・７層ブロック状に20％混入）
7　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂（２・５層ブロック状に20％混入）
8　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト（２・７層の粘性あるブロックが20％混入）

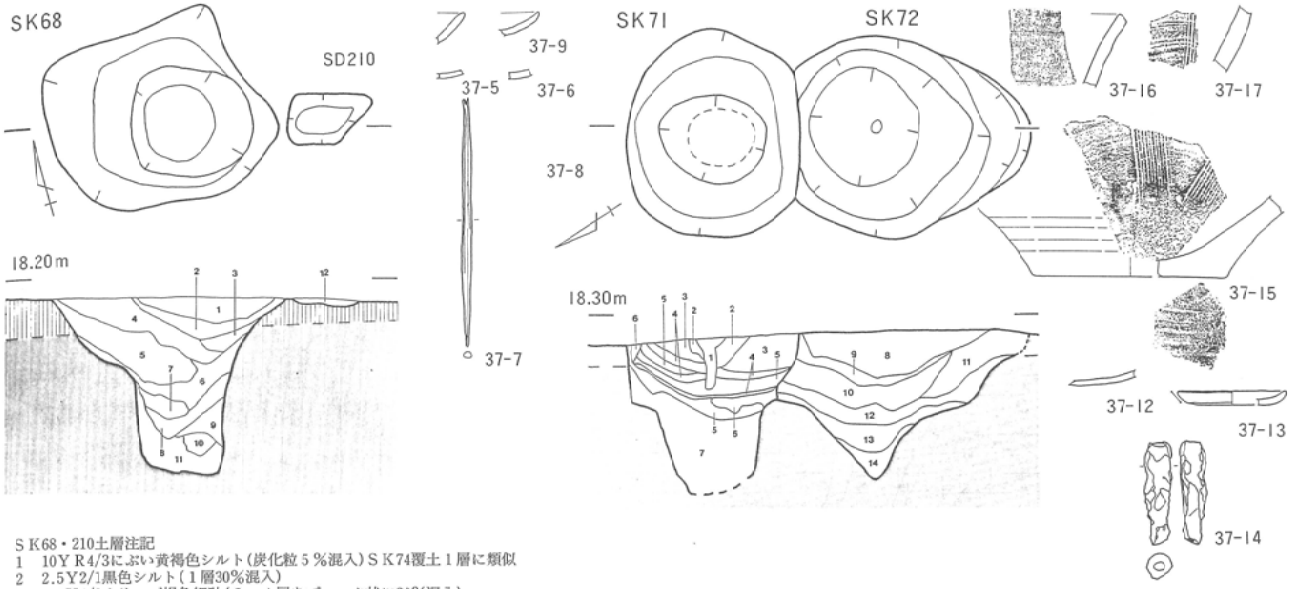
S K73土層注記
1　10Y R4/3にぶい黄褐色シルト（同色砂・炭化粒３％混入）
2　2.5Y2/1黒色砂質シルト（帯状に堆積、１層50％・褐色粒・炭化物混入）
3　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂（同色シルト50％混入）
4　２層と類似（１層の混入が20％と少ない）
5　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（７層10％まだらに混入）
6　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（２・７層ブロック状に20％混入）
7　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂（２・５層ブロック状に20％混入）
8　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト（２・７層の粘性あるブロックが20％混入）

S K74土層注記
1　10Y R4/3にぶい黄褐色シルト（同色砂・炭化粒３％混入）
2　2.5Y2/1黒色砂質シルト（帯状に堆積、１層50％・褐色粒・炭化物混入）
3　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂（同色シルト50％混入）
4　２層と類似（１層の混入が20％と少ない）
5　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（７層10％まだらに混入）
6　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（２・７層ブロック状に20％混入）
7　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂（２・５層ブロック状に20％混入）
8　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト（２・７層の粘性あるブロックが20％混入）
9　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト（砂層が約５cm幅で互層となっている）
※５～８層は人為的埋土、１層～４層は自然堆積考えられる。

S K75土層注記
1　10Y R4/1褐灰色砂質シルト（2.5Y4/1黄灰色砂質シルト30％・炭化粒５％混入）
2　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト（１層10％霜降り状に混入）
3　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト（2.5Y4/1黄灰色砂質シルトを帯状幅２cmに混入）
4　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（３層を帯状に幅１cmに混入）
5　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト（６層10％混入）
6　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト

0　2m
(1:60)

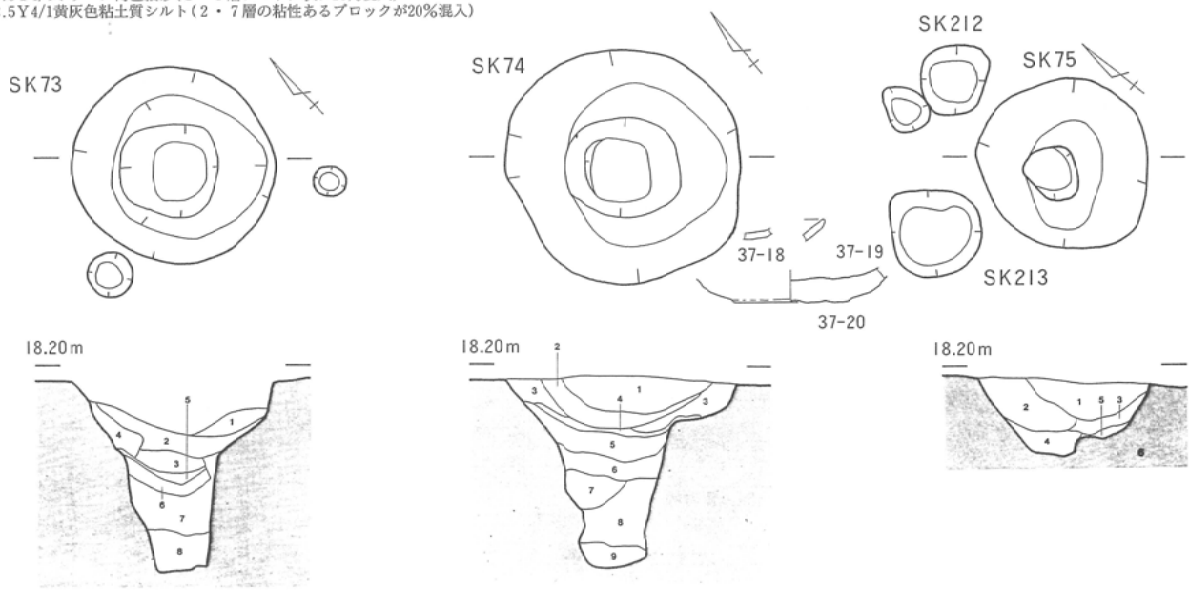
第19図　遺構実測図(14)



SK68・210土層注記
1　10YR4/3にぶい黄褐色シルト(炭化粒5%混入)SK74覆土1層に類似
2　2.5Y2/1黒色シルト(1層30%混入)
3　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(2・4層をブロック状に20%混入)
4　2.5Y4/1黄灰色シルト(2.5Y4/3オリーブ褐色シルト・2.5Y4/4オリーブ褐色シルト・1層のブロックを50%混入)
5　2.5Y4/1黄灰色シルト(2.5Y4/3オリーブ褐色シルト・2.5Y4/4オリーブ褐色シルト・1層・2層をブロック状に20%混入)
6　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(2・4層を5cm大のブロック状に10%混入)
7　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(2・4層が10%、2.5Y4/4オリーブ褐色シルトがブロック状に30%混入)
8　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(2・4層が20%、2.5Y4/4オリーブ褐色シルトがブロック状に10%混入)
9　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト
10　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(ほぼ均質)
11　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2・4層のやや粘性のあるものが10cm大ブロックで10%)
12　10YR3/2黒褐色シルト　SK64覆土2層と類似
※1層のみ自然堆積

SK71・72土層注記
1　10YR3/3暗褐色細砂　SK63の8層に類似
2　10YR3/3暗褐色細砂(2.5Y5/3黄褐色シルトを50%混入)1層に類似
3　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(地山1・A層をまだらに各20%混入)
4　A層(3層5%混入)
5　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(地山1が5%・A層が1%混入)
6　地山1同色砂質シルトブロック
7　地山2(5層がまだらに20%混入)
8　F層(炭化物1%・地山1粒3%混入)
9　A層(2.5Y3/2黒褐色砂質シルト・8層各10%混入)
10　B層(地山2同色粘土質シルト10cm大ブロック10%・炭化物1%混入)
11　B層(地山2同色粘土質シルト5cm大ブロック10%・炭化物1%混入)
12　地山2同色粘土質シルト(B層粒5%混入)
13　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂(同色粘土混入、粘土に酸化鉄が溶け込む)
14　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(粘性あり、2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂が帯状に堆積、炭化粒1%混入)

SK73土層注記
1　10YR4/3にぶい黄褐色シルト(同色砂・炭化粒3%混入)
2　2.5Y2/1黒色砂質シルト(帯状に堆積、1層50%・褐色粒・炭化物混入)
3　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(同色シルト50%混入)
4　2層と類似(1層の混入が20%と少ない)
5　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(7層10%まだらに混入)
6　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(2・7層ブロック状に20%混入)
7　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂(2・5層ブロック状に20%混入)
8　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト(2・7層の粘性あるブロックが20%混入)

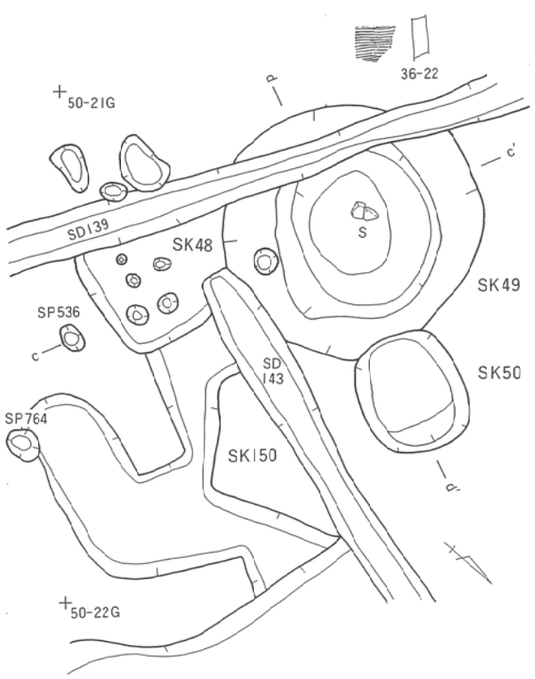


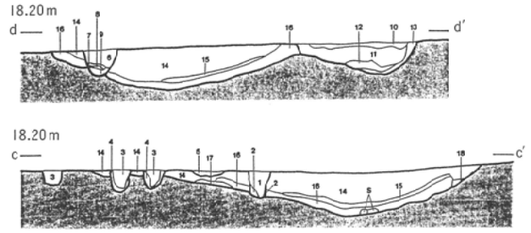
SK74土層注記
1　10YR4/3にぶい黄褐色シルト(同色砂・炭化粒3%混入)
2　2.5Y2/1黒色砂質シルト(帯状に堆積、1層50%・褐色粒・炭化物混入)
3　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(同色シルト50%混入)
4　2層と類似(1層の混入が20%と少ない)
5　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(7層10%まだらに混入)
6　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(2・7層ブロック状に20%混入)
7　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂(2・5層ブロック状に20%混入)
8　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト(2・7層の粘性あるブロックが20%混入)
9　2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト(砂層が約5cm幅で互層となっている)
※5～8層は人為的埋土、1層～4層は自然堆積考えられる。

SK75土層注記
1　10YR4/1褐灰色砂質シルト(2.5Y4/1黄灰色砂質シルト30%・炭化粒5%混入)
2　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト(1層10%霜降り状に混入)
3　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト(2.5Y4/1黄灰色砂質シルトを帯状幅2cmに混入)
4　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(3層を帯状に幅1cmに混入)
5　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト(6層10%混入)
6　2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト

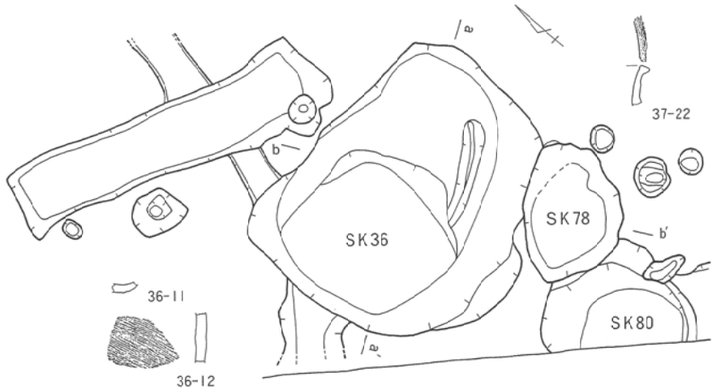
0　2m
(1:60)

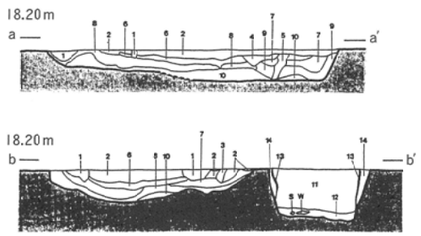
第19図　遺構実測図(14)





SK48・49・143土層注記
1　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（F層・5層・2.5Y4/6オリーブ褐色砂質シルトまだらに各10%混入）
2　地山2同色砂質シルト（粘性あり酸化鉄が溶け込む、1層5%混入）
3　F層（2.5Y4/6オリーブ褐色砂質シルト粒5%混入）
4　5Y4/1灰色砂質シルト（地山1が30%混入）
5　10YR3/1黒褐色砂質シルト（F層が染み込むように混入、SD143覆土）
6　F層（14層30%混入）
7　F層（均質）
8　14層に類似（F層が5%混入）
9　F層（14・16層各10%混入）
10　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（F層が染み込むように混入、2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂が帯状に堆積）
11　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（2.5Y5/4黄褐色細砂5mm大粒が30%混入）
12　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂（11層10%まだらに混入）
13　2.5Y3/2黒褐色細砂（11層10%まだらに混入）
14　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（F層が染み込むように混入）
15　7.5YR3/1黒褐色粘質シルト（均質）
16　A層（ほぼ均質）
17　地山2同色砂質シルト（16層10%混入）
18　2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂（15層粒が5%混入）

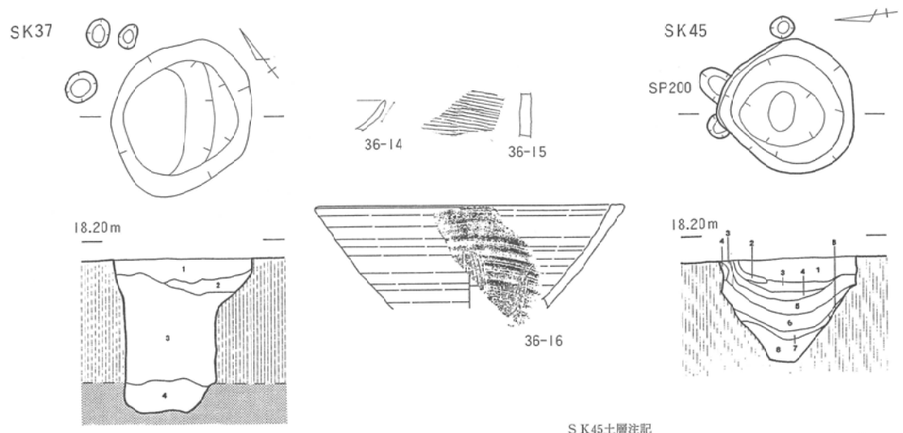




SK36・78・186土層注記
1　F層同色砂質シルト（2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト粒20%・炭化粒1%混入）
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Y3/2黒褐色砂質シルト・B層・2.5Y5/3黄褐色砂質シルトブロック状に10%混入）
3　10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルト（ほぼ均質）
4　5層に類似（5層に比べオリーブ褐色シルト粒が20%と多く混入）
5　F層（2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト粒30%混入）
6　A層（2.5Y5/3黄褐色シルト粒・F層同色砂質シルト・炭化粒10%混入）
7　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト
8　10YR3/4暗褐色砂質シルト（部分的に流れ込むようにA層・2.5Y5/3黄褐色シルト粒混入、全体的にF層が混入）
9　地山2にA層と7層が10cm大のブロックで混入
10　地山2にA層と7層が5cm大のブロックで混入
11　F層（ほぼ均質、2.5Y4/6オリーブ褐色砂質シルト粒5%混入）
12　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（やや粘りあり均質、木片・礫含む）
13　樹皮・植物繊維が認められ、9層が剥がれ落ちるように崩落する。
14　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（地山2・2.5Y4/3オリーブ褐色シルト2cm大ブロック50%混入し樹皮もみとめられる、人為的埋土）

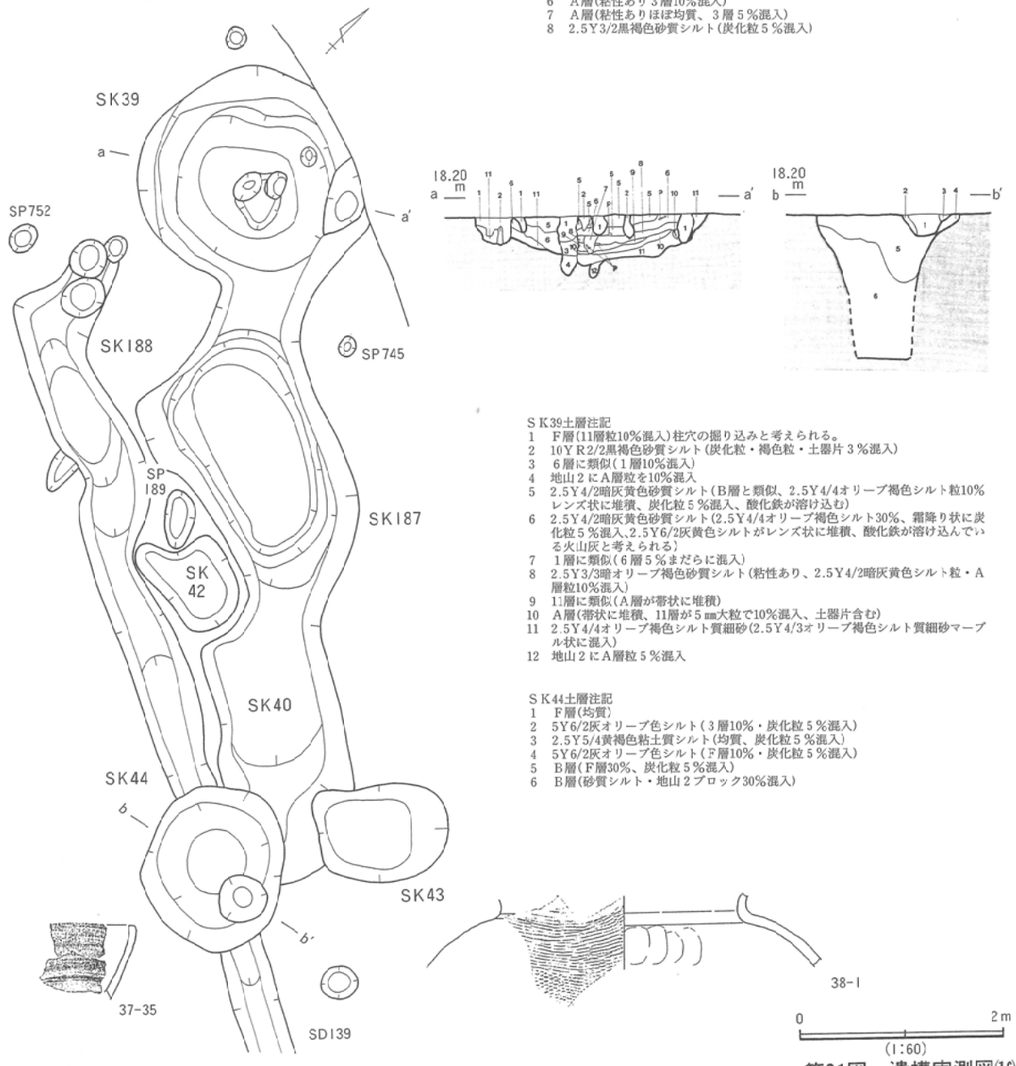
0　2m
(1:60)

第20図　遺構実測図(15)



SK37土層注記
1　B層（炭化物5mm大1%・2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト粒5%混入）
2　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（B層10%・A層全体に5%・炭化物5%・地山15cmブロック5%混入）
3　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（2.5Y4/4オリーブ褐色細砂20%・地山2粒5%・炭化物5%混入、しまっている）
4　2.5Y3/1黒褐色細砂（同色シルト30%混入、もろく崩れる）

SK45土層注記
1　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト・A層粒・F層粒10%混入）
2　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト（2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト30%・A層・F層10%混入）
3　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（1層30%混入）
4　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（1層30%・A層20%混入）
5　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト5～10cm大のブロック混入、1層10%混入）
6　A層（粘性あり3層10%混入）
7　A層（粘性ありほぼ均質、3層5%混入）
8　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（炭化粒5%混入）

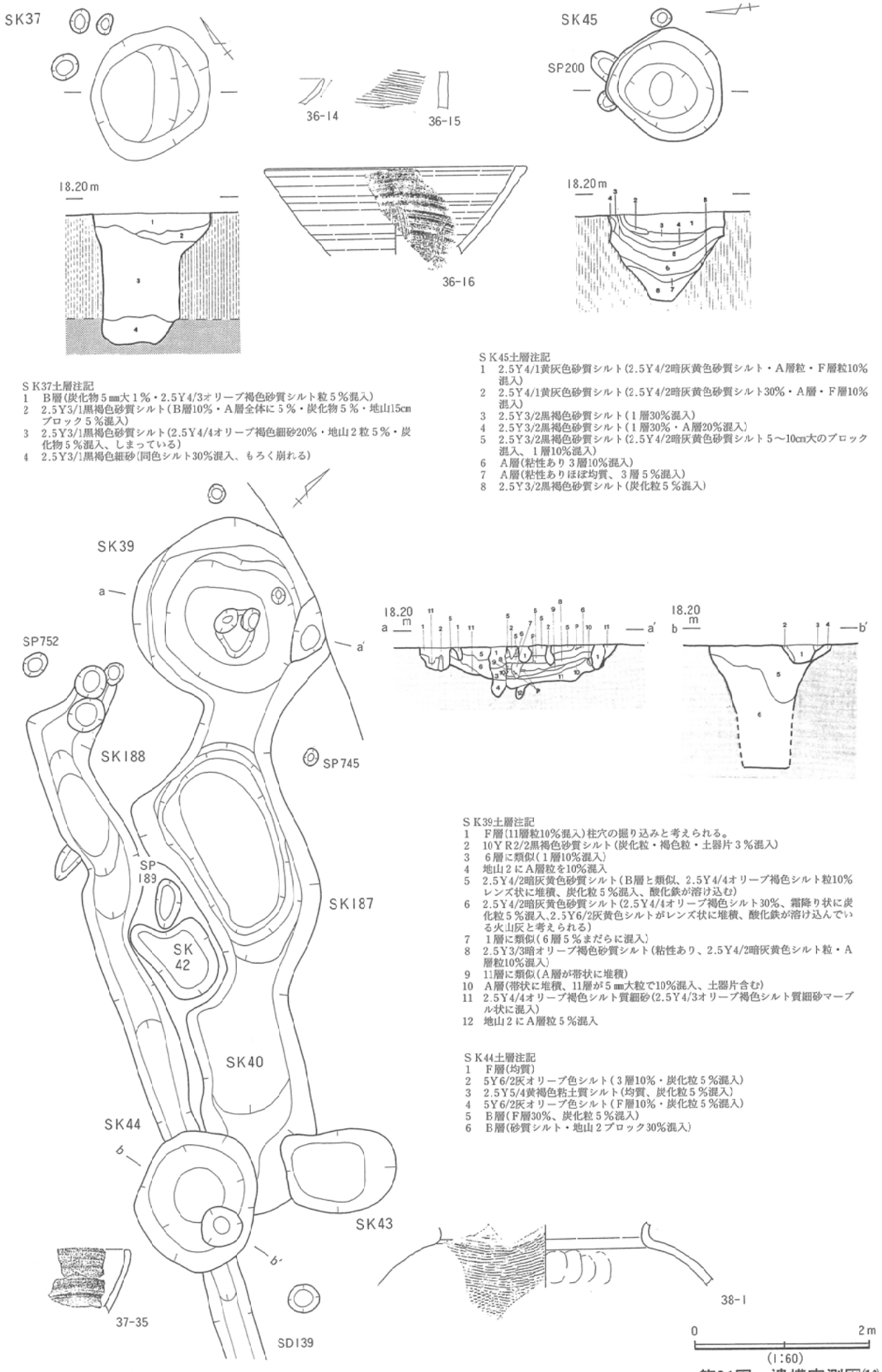


SK39土層注記
1　F層（11層粒10%混入）柱穴の掘り込みと考えられる。
2　10YR2/2黒褐色砂質シルト（炭化粒・褐色粒・土器片3%混入）
3　6層に類似（1層10%混入）
4　地山2にA層粒を10%混入
5　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（B層と類似、2.5Y4/4オリーブ褐色シルト粒10%レンズ状に堆積、炭化粒5%混入、酸化鉄が溶け込む）
6　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Y4/4オリーブ褐色シルト30%、霜降り状に炭化粒5%混入、2.5Y6/2灰黄色シルトがレンズ状に堆積、酸化鉄が溶け込んでいる火山灰と考えられる）
7　1層に類似（6層5%まだらに混入）
8　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（粘性あり、2.5Y4/2暗灰黄色シルト粒・A層粒10%混入）
9　11層に類似（A層が帯状に堆積）
10　A層（帯状に堆積、11層が5mm大粒で10%混入、土器片含む）
11　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト質細砂（2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質細砂マーブル状に混入）
12　地山2にA層粒5%混入

SK44土層注記
1　F層（均質）
2　5Y6/2灰オリーブ色シルト（3層10%・炭化粒5%混入）
3　2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト（均質、炭化粒5%混入）
4　5Y6/2灰オリーブ色シルト（F層10%・炭化粒5%混入）
5　B層（F層30%、炭化粒5%混入）
6　B層（砂質シルト・地山2ブロック30%混入）

0　2m
(1:60)

第21図　遺構実測図(16)



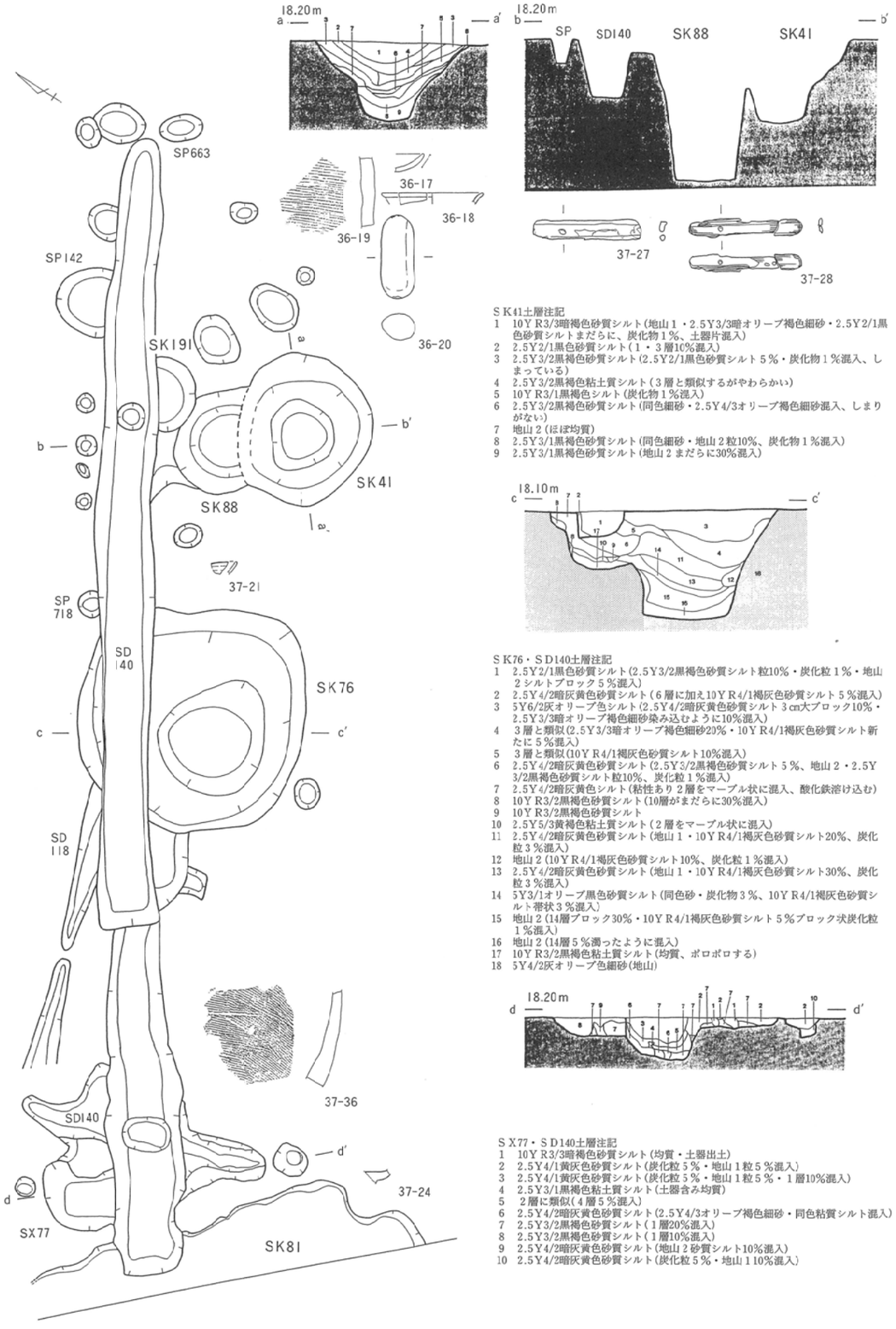
SK37土層注記
1　B層(炭化物5mm大1%・2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト粒5%混入)
2　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(B層10%・A層全体に5%・炭化物5%・地山15cmブロック5%混入)
3　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色細砂20%・地山2粒5%・炭化物5%混入、しまっている)
4　2.5Y3/1黒褐色細砂(同色シルト30%混入、もろく崩れる)

SK45土層注記
1　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト・A層粒・F層粒10%混入)
2　2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト30%・A層・F層10%混入)
3　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(1層30%混入)
4　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(1層30%・A層20%混入)
5　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト5～10cm大のブロック混入、1層10%混入)
6　A層(粘性あり3層10%混入)
7　A層(粘性ありほぼ均質、3層5%混入)
8　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(炭化粒5%混入)

SK39土層注記
1　F層(11層粒10%混入)柱穴の掘り込みと考えられる。
2　10YR2/2黒褐色砂質シルト(炭化粒・褐色粒・土器片3%混入)
3　6層に類似(1層10%混入)
4　地山2にA層粒を10%混入
5　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(B層と類似、2.5Y4/4オリーブ褐色シルト粒10%レンズ状に堆積、炭化粒5%混入、酸化鉄が溶け込む)
6　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色シルト30%、霜降り状に炭化粒5%混入、2.5Y6/2灰黄色シルトがレンズ状に堆積、酸化鉄が溶け込んでいる火山灰と考えられる)
7　1層に類似(6層5%まだらに混入)
8　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(粘性あり、2.5Y4/2暗灰黄色シルト粒・A層粒10%混入)
9　11層に類似(A層が帯状に堆積)
10　A層(帯状に堆積、11層が5mm大粒で10%混入、土器片含む)
11　2.5Y4/4オリーブ褐色シルト質細砂(2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質細砂マーブル状に混入)
12　地山2にA層粒5%混入

SK44土層注記
1　F層(均質)
2　5Y6/2灰オリーブ色シルト(3層10%・炭化粒5%混入)
3　2.5Y5/4黄褐色粘土質シルト(均質、炭化粒5%混入)
4　5Y6/2灰オリーブ色シルト(F層10%・炭化粒5%混入)
5　B層(F層30%、炭化粒5%混入)
6　B層(砂質シルト・地山2ブロック30%混入)

第21図　遺構実測図(16)



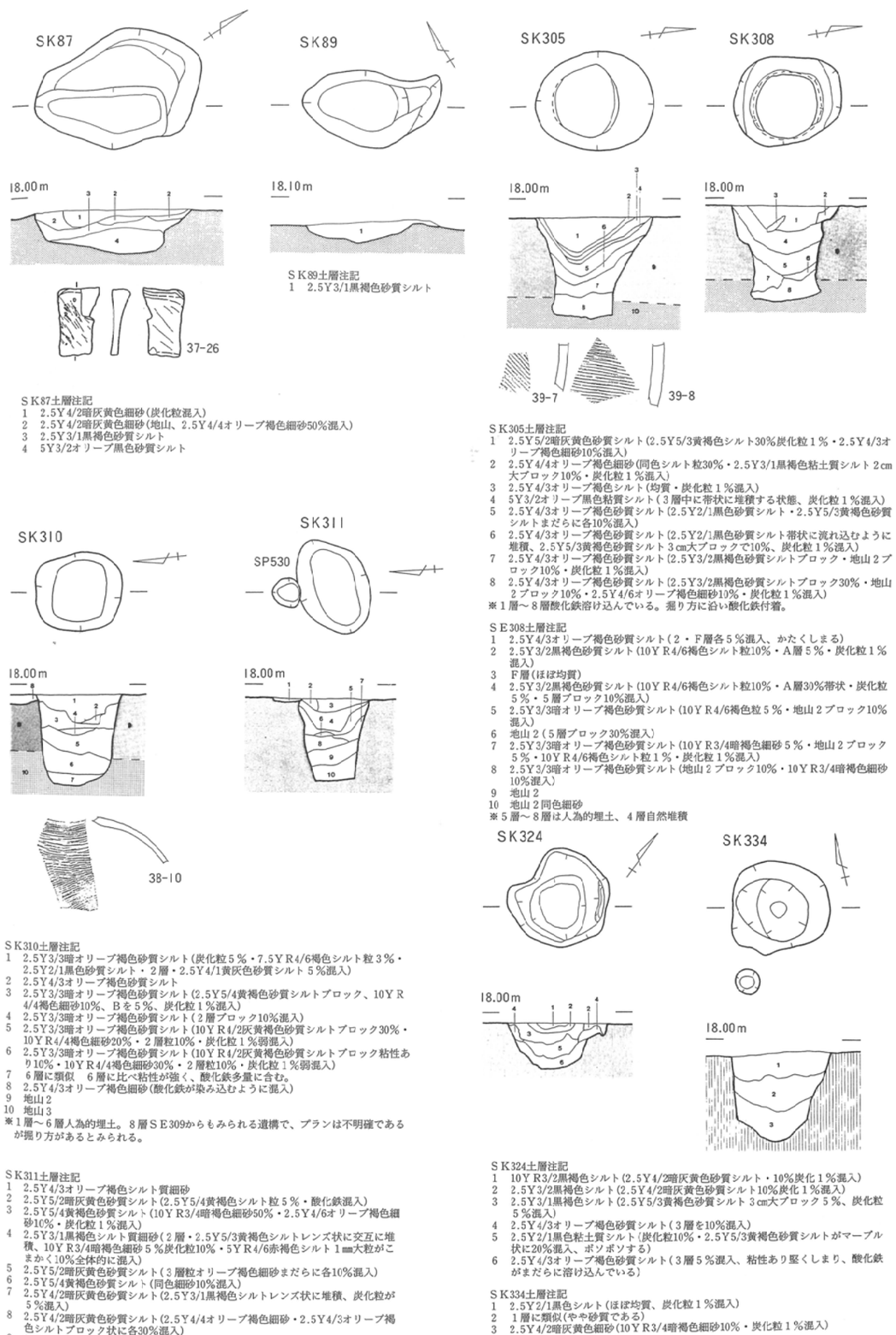
ＳＫ41土層注記
1　10ＹＲ3/3暗褐色砂質シルト（地山１・2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色細砂・2.5Ｙ2/1黒色砂質シルトまだらに、炭化物１％、土器片混入）
2　2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト（１・３層10％混入）
3　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト（2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト５％・炭化物１％混入、しまっている）
4　2.5Ｙ3/2黒褐色粘土質シルト（３層と類似するがやわらかい）
5　10ＹＲ3/1黒褐色シルト（炭化物１％混入）
6　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト（同色細砂・2.5Ｙ4/3オリーブ褐色細砂混入、しまりがない）
7　地山２（ほぼ均質）
8　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト（同色細砂・地山２粒10％、炭化物１％混入）
9　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト（地山２まだらに30％混入）

ＳＫ76・ＳＤ140土層注記
1　2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト（2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト粒10％・炭化粒１％・地山２シルトブロック５％混入）
2　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（６層に加え10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト５％混入）
3　5Ｙ6/2灰オリーブ色シルト（2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト３cm大ブロック10％・2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色細砂染み込むように10％混入）
4　３層と類似（2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色細砂20％・10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト新たに５％混入）
5　３層と類似（10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト10％混入）
6　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト５％、地山２・2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト粒10％、炭化粒１％混入）
7　2.5Ｙ4/2暗灰黄色シルト（粘性あり２層をマーブル状に混入、酸化鉄溶け込む）
8　10ＹＲ3/2黒褐色砂質シルト（10層がまだらに30％混入）
9　10ＹＲ3/2黒褐色砂質シルト
10　2.5Ｙ5/3黄褐色粘土質シルト（２層をマーブル状に混入）
11　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（地山１・10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト20％、炭化粒３％混入）
12　地山２（10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト10％、炭化粒１％混入）
13　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（地山１・10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト30％、炭化粒３％混入）
14　5Ｙ3/1オリーブ黒色砂質シルト（同色砂・炭化物３％、10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト帯状３％混入）
15　地山２（14層ブロック30％・10ＹＲ4/1褐灰色砂質シルト５％ブロック状炭化粒１％混入）
16　地山２（14層５％濁ったように混入）
17　10ＹＲ3/2黒褐色粘土質シルト（均質、ポロポロする）
18　5Ｙ4/2灰オリーブ色細砂（地山）

ＳＸ77・ＳＤ140土層注記
1　10ＹＲ3/3暗褐色砂質シルト（均質・土器出土）
2　2.5Ｙ4/1黄灰色砂質シルト（炭化粒５％・地山１粒５％混入）
3　2.5Ｙ4/1黄灰色砂質シルト（炭化粒５％・地山１粒５％・１層10％混入）
4　2.5Ｙ3/1黒褐色粘土質シルト（土器含み均質）
5　２層に類似（４層５％混入）
6　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ4/3オリーブ褐色細砂・同色粘質シルト混入）
7　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト（１層20％混入）
8　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト（１層10％混入）
9　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（地山２砂質シルト10％混入）
10　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（炭化粒５％・地山１10％混入）

0　2m
(1:60)

第22図　遺構実測図(17)



ＳＫ89土層注記
1　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト

ＳＫ87土層注記
1　2.5Ｙ4/2暗灰黄色細砂（炭化粒混入）
2　2.5Ｙ4/2暗灰黄色細砂（地山、2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂50％混入）
3　2.5Ｙ3/1黒褐色砂質シルト
4　5Ｙ3/2オリーブ黒色砂質シルト

ＳＫ305土層注記
1　2.5Ｙ5/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ5/3黄褐色シルト30％炭化粒１％・2.5Ｙ4/3オリーブ褐色細砂10％混入）
2　2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂（同色シルト粒30％・2.5Ｙ3/1黒褐色粘土質シルト２cm大ブロック10％・炭化粒１％混入）
3　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルト（均質・炭化粒１％混入）
4　5Ｙ3/2オリーブ黒色粘質シルト（３層中に帯状に堆積する状態、炭化粒１％混入）
5　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト（2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト・2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルトまだらに各10％混入）
6　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト（2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト帯状に流れ込むように堆積、2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト３cm大ブロックで10％、炭化粒１％混入）
7　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト（2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルトブロック・地山２ブロック10％・炭化粒１％混入）
8　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト（2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルトブロック30％・地山２ブロック10％・2.5Ｙ4/6オリーブ褐色細砂10％・炭化粒１％混入）
※１層～８層酸化鉄溶け込んでいる。掘り方に沿い酸化鉄付着。

ＳＥ308土層注記
1　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト（２・Ｆ層各５％混入、かたくしまる）
2　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト（10ＹＲ4/6褐色シルト粒10％・Ａ層５％・炭化粒１％混入）
3　Ｆ層（ほぼ均質）
4　2.5Ｙ3/2黒褐色砂質シルト（10ＹＲ4/6褐色シルト粒10％・Ａ層30％帯状・炭化粒５％・５層ブロック10％混入）
5　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（10ＹＲ4/6褐色粒５％・地山２ブロック10％混入）
6　地山２（５層ブロック30％混入）
7　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（10ＹＲ3/4暗褐色細砂５％・地山２ブロック５％・10ＹＲ4/6褐色シルト粒１％・炭化粒１％混入）
8　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（地山２ブロック10％・10ＹＲ3/4暗褐色細砂10％混入）
9　地山２
10　地山２同色細砂
※５層～８層は人為的埋土、４層自然堆積

ＳＫ310土層注記
1　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（炭化粒５％・7.5ＹＲ4/6褐色シルト粒３％・2.5Ｙ2/1黒色砂質シルト・２層・2.5Ｙ4/1黄灰色砂質シルト５％混入）
2　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト
3　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルトブロック、10ＹＲ4/4褐色細砂10％、Ｂを５％、炭化粒１％混入）
4　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（２層ブロック10％混入）
5　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（10ＹＲ4/2灰黄褐色砂質シルトブロック30％・10ＹＲ4/4褐色細砂20％・２層粒10％・炭化粒１％弱混入）
6　2.5Ｙ3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（10ＹＲ4/2灰黄褐色砂質シルトブロック粘性あり10％・10ＹＲ4/4褐色細砂30％・２層粒10％・炭化粒１％弱混入）
7　６層に類似　６層に比べ粘性が強く、酸化鉄多量に含む。
8　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色細砂（酸化鉄が染み込むように混入）
9　地山２
10　地山３
※１層～６層人為的埋土。８層ＳＥ309からもみられる遺構で、プランは不明確であるが掘り方があるとみられる。

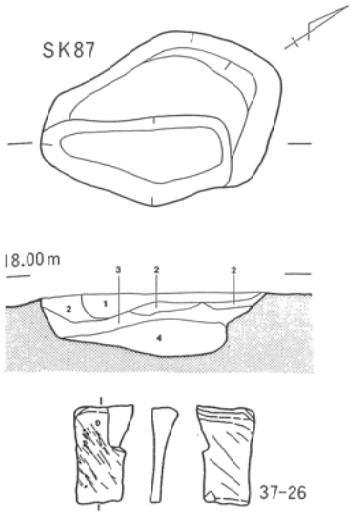
ＳＫ311土層注記
1　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルト質細砂
2　2.5Ｙ5/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ5/4黄褐色シルト粒５％・酸化鉄混入）
3　2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト（10ＹＲ3/4暗褐色細砂50％・2.5Ｙ4/6オリーブ褐色細砂10％・炭化粒１％混入）
4　2.5Ｙ3/1黒褐色シルト質細砂（２層・2.5Ｙ5/3黄褐色シルトレンズ状に交互に堆積、10ＹＲ3/4暗褐色細砂５％炭化粒10％・5ＹＲ4/6赤褐色シルト１㎜大粒がこまかく10％全体的に混入）
5　2.5Ｙ5/2暗灰黄色砂質シルト（３層粒オリーブ褐色細砂まだらに各10％混入）
6　2.5Ｙ5/4黄褐色砂質シルト（同色細砂10％混入）
7　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ3/1黒褐色シルトレンズ状に堆積、炭化粒が５％混入）
8　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂・2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルトブロック状に各30％混入）
9　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂・2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルト10％・炭化粒１％混入）
10　2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Ｙ4/4オリーブ褐色細砂・2.5Ｙ4/3オリーブ褐色シルト10％・炭化粒１％混入、粘性強い）

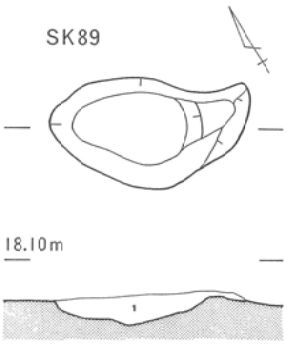
ＳＫ324土層注記
1　10ＹＲ3/2黒褐色シルト（2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト・10％炭化１％混入）
2　2.5Ｙ3/2黒褐色シルト（2.5Ｙ4/2暗灰黄色砂質シルト10％炭化１％混入）
3　2.5Ｙ3/1黒褐色シルト（2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルト３cm大ブロック５％、炭化粒５％混入）
4　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト（３層を10％混入）
5　2.5Ｙ2/1黒色粘土質シルト（炭化粒10％・2.5Ｙ5/3黄褐色砂質シルトがマーブル状に20％混入、ポソポソする）
6　2.5Ｙ4/3オリーブ褐色砂質シルト（３層５％混入、粘性あり堅くしまり、酸化鉄がまだらに溶け込んでいる）

ＳＫ334土層注記
1　2.5Ｙ2/1黒色シルト（ほぼ均質、炭化粒１％混入）
2　１層に類似（やや砂質である）
3　2.5Ｙ4/2暗灰黄色細砂（10ＹＲ3/4暗褐色細砂10％・炭化粒１％混入）

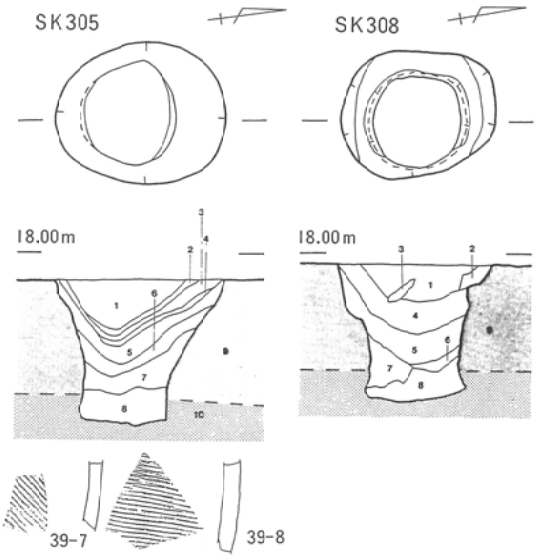
0　2m
(1:60)

第23図　遺構実測図(18)



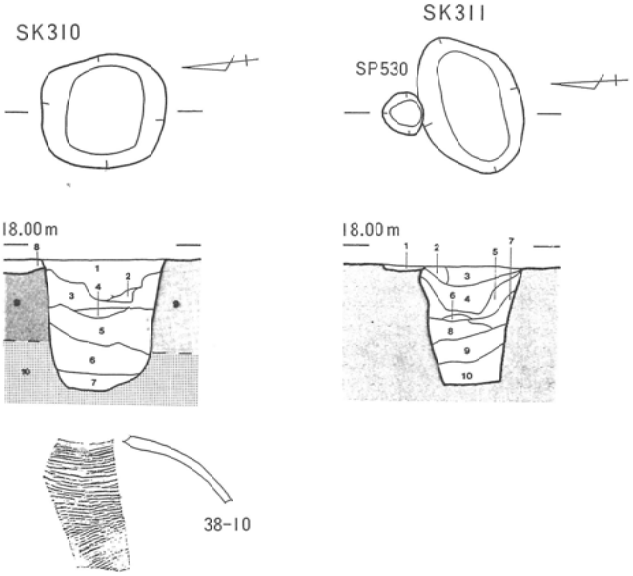


SK89土層注記
1　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト



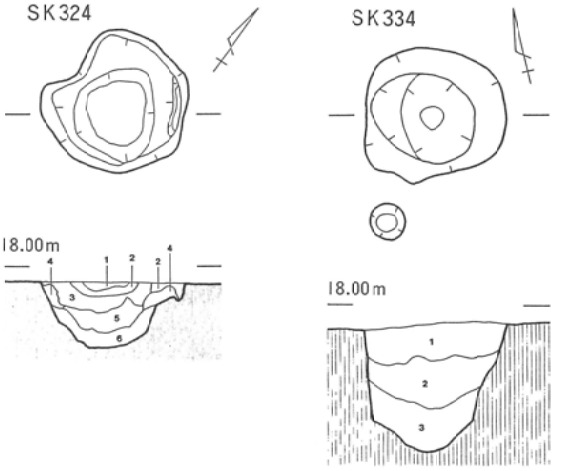
SK87土層注記
1　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(炭化粒混入)
2　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(地山、2.5Y4/4オリーブ褐色細砂50%混入)
3　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト
4　5Y3/2オリーブ黒色砂質シルト

SK305土層注記
1　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y5/3黄褐色シルト30%炭化粒1%・2.5Y4/3オリーブ褐色細砂10%混入)
2　2.5Y4/4オリーブ褐色細砂(同色シルト粒30%・2.5Y3/1黒褐色粘土質シルト2cm大ブロック10%・炭化粒1%混入)
3　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト(均質・炭化粒1%混入)
4　5Y3/2オリーブ黒色粘質シルト(3層中に帯状に堆積する状態、炭化粒1%混入)
5　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y2/1黒色砂質シルト・2.5Y5/3黄褐色砂質シルトまだらに各10%混入)
6　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y2/1黒色砂質シルト帯状に流れ込むように堆積、2.5Y5/3黄褐色砂質シルト3cm大ブロックで10%、炭化粒1%混入)
7　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y3/2黒褐色砂質シルトブロック・地山2ブロック10%・炭化粒1%混入)
8　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y3/2黒褐色砂質シルトブロック30%・地山2ブロック10%・2.5Y4/6オリーブ褐色細砂10%・炭化粒1%混入)
※1層～8層酸化鉄溶け込んでいる。掘り方に沿い酸化鉄付着。



SK310土層注記
1　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒5%・7.5YR4/6褐色シルト粒3%・2.5Y2/1黒色砂質シルト・2層・2.5Y4/1黄灰色砂質シルト5%混入)
2　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト
3　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y5/4黄褐色砂質シルトブロック、10YR4/4褐色細砂10%、Bを5%、炭化粒1%混入)
4　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(2層ブロック10%混入)
5　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10YR4/2灰黄褐色砂質シルトブロック30%・10YR4/4褐色細砂20%・2層粒10%・炭化粒1%弱混入)
6　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10YR4/2灰黄褐色砂質シルトブロック粘性あり10%・10YR4/4褐色細砂30%・2層粒10%・炭化粒1%弱混入)
7　6層に類似　6層に比べ粘性が強く、酸化鉄多量に含む。
8　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(酸化鉄が染み込むように混入)
9　地山2
10　地山3
※1層～6層人為的埋土。8層SE309からもみられる遺構で、プランは不明確であるが掘り方があるとみられる。

SK311土層注記
1　2.5Y4/3オリーブ褐色シルト質細砂
2　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y5/4黄褐色シルト粒5%・酸化鉄混入)
3　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト(10YR3/4暗褐色細砂50%・2.5Y4/6オリーブ褐色細砂10%・炭化粒1%混入)
4　2.5Y3/1黒褐色シルト質細砂(2層・2.5Y5/3黄褐色シルトレンズ状に交互に堆積、10YR3/4暗褐色細砂5%炭化粒10%・5YR4/6赤褐色シルト1mm大粒がこまかく10%全体的に混入)
5　2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(3層粒オリーブ褐色細砂まだらに各10%混入)
6　2.5Y5/4黄褐色砂質シルト(同色細砂10%混入)
7　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y3/1黒褐色シルトレンズ状に堆積、炭化粒が5%混入)
8　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色細砂・2.5Y4/3オリーブ褐色シルトブロック状に各30%混入)
9　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色細砂・2.5Y4/3オリーブ褐色シルト10%・炭化粒1%混入)
10　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色細砂・2.5Y4/3オリーブ褐色シルト10%・炭化粒1%混入、粘性強い)

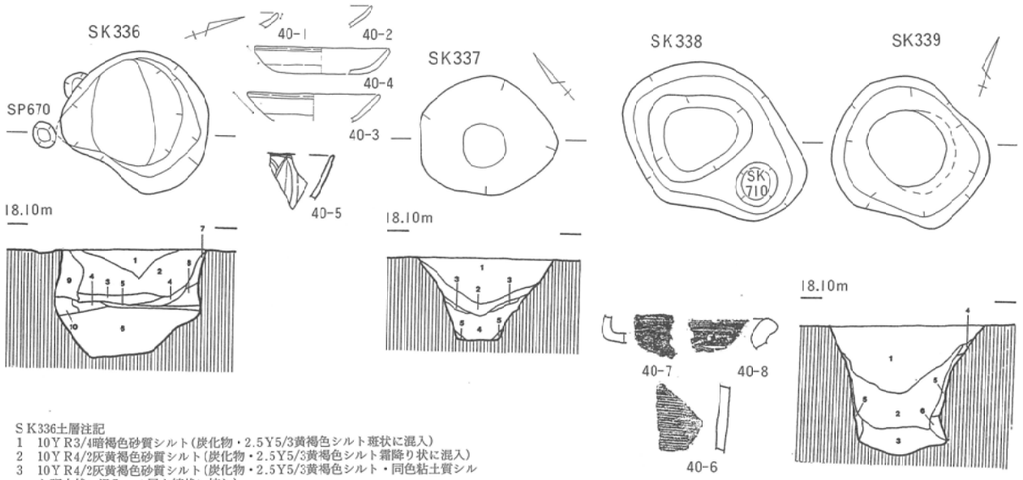


SK324土層注記
1　10YR3/2黒褐色シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト・10%炭化1%混入)
2　2.5Y3/2黒褐色シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト10%炭化1%混入)
3　2.5Y3/1黒褐色シルト(2.5Y5/3黄褐色砂質シルト3cm大ブロック5%、炭化粒5%混入)
4　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(3層を10%混入)
5　2.5Y2/1黒色粘土質シルト(炭化粒10%・2.5Y5/3黄褐色砂質シルトがマーブル状に20%混入、ボソボソする)
6　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(3層5%混入、粘性あり堅くしまり、酸化鉄がまだらに溶け込んでいる)

SK334土層注記
1　2.5Y2/1黒色シルト(ほぼ均質、炭化粒1%混入)
2　1層に類似(やや砂質である)
3　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(10YR3/4暗褐色細砂10%・炭化粒1%混入)

0　2m
(1:60)

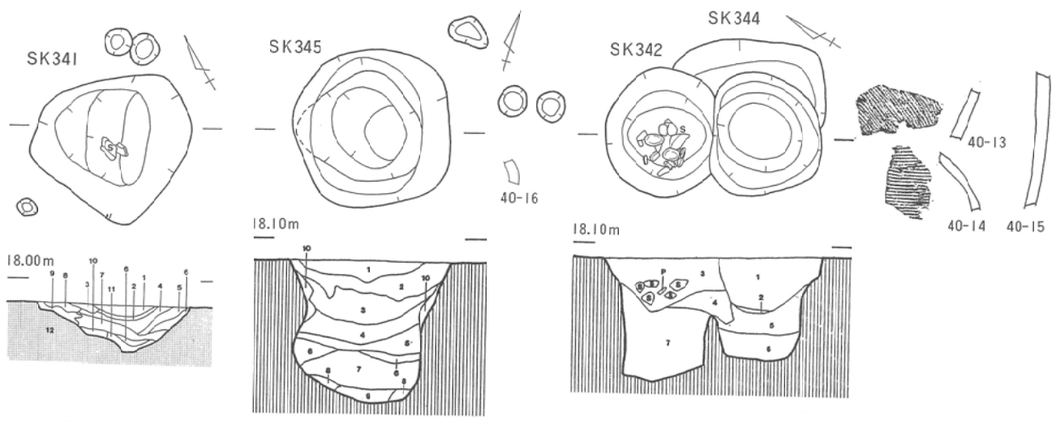
第23図　遺構実測図(18)



S K336土層注記
1　10Y R3/4暗褐色砂質シルト（炭化物・2.5Y5/3黄褐色シルト斑状に混入）
2　10Y R4/2灰黄褐色砂質シルト（炭化物・2.5Y5/3黄褐色シルト縞降り状に混入）
3　10Y R4/2灰黄褐色砂質シルト（炭化物・2.5Y5/3黄褐色シルト・同色粘土質シルト斑文状に混入、4層を縞状に挟む）
4　10Y R4/2灰黄褐色シルト（やや粘土質、炭化物混入、ほぼ均一的）
5　10Y R3/2黒褐色粘土質シルト（炭化粒・2.5Y5/3黄褐色シルトを斑点状に混入）
6　10Y R4/2灰黄褐色砂質シルト（2.5Y5/3黄褐色砂質シルトをブロック状、10Y R 5/3にぶい黄褐色粘土を塊状に混入）
7　10Y R3/2黒褐色砂質シルト（1層に同じ）
8　10Y R4/2灰黄褐色砂質シルト（2.5Y5/3黄褐色シルト・10Y R5/3にぶい黄褐色粘土を斑状に混入）

S K337土層注記
1　10Y R3/3暗褐色砂質シルト（2.5Y5/3黄褐色シルト・同色粘土をブロック状、斑状に混入）
2　10Y R3/3暗褐色砂質シルト（10Y R5/3にぶい黄褐色細砂雲状に混入、他1層に同じ）
3　10Y R3/3暗褐色砂質シルト（5層を斑状に混入）
4　10Y R3/2黒褐色粘土質シルト（5層を雲状に混入）
5　10Y R6/3にぶい黄橙色粘土

S K339土層注記
1　10Y R3/4暗褐色砂質シルト（炭化粒・2.5Y5/3黄褐色粘土・同色砂質シルトを斑状に混入）
2　2.5Y3/2黒褐色粘土質シルト（10Y R2/1黒色シルトを縞状に混入、他1層に同じ）
3　2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘土質シルト（10Y R2/1黒色シルトを縞状に混入するがほぼ純粋層）
4　2.5Y5/3黄褐色細砂
5　2.5Y5/3黄褐色粘土
6　10Y R5/3にぶい黄褐色砂質シルト（やや粘性あり）



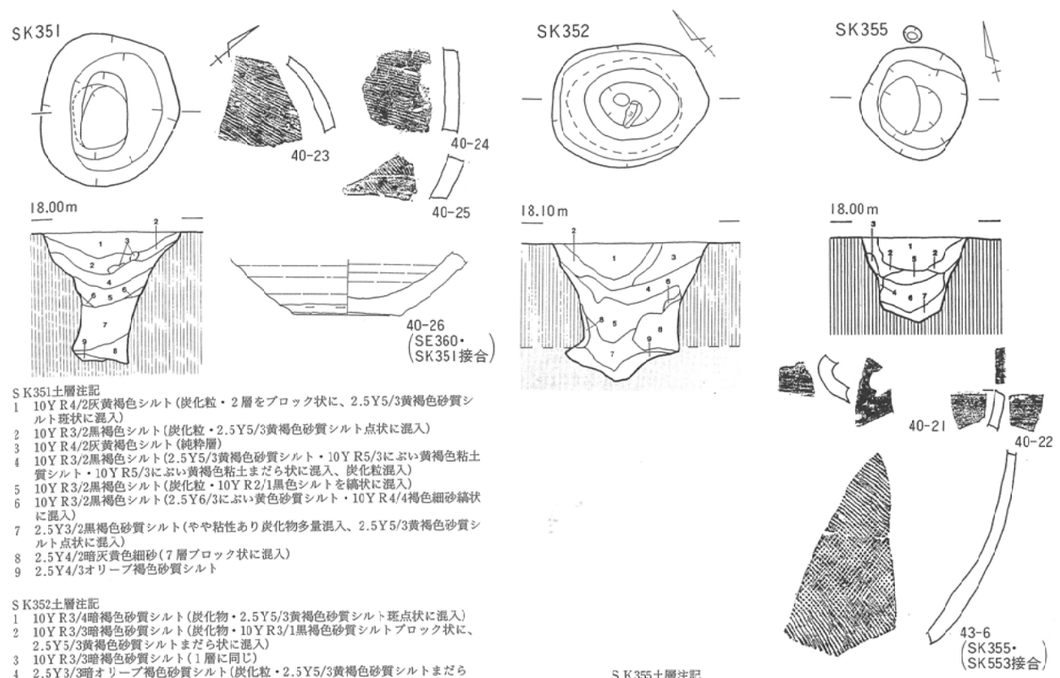
S K341土層注記
1　2.5Y2/1黒色シルト（ほぼ均質、炭化粒1％混入）
2　5Y3/1オリーブ黒色シルト（ほぼ均質、炭化粒混入せず）
3　1層に同じ（地山2まだらに30％混入）
4　1層に類似（やや砂質である）
5　10R Y1.7/1黒色シルト（黒味が強い繊維質の様なものがみられ粘性がある）
6　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（ほぼ均質）
7　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（10Y R3/4暗褐色細砂10％・炭化粒1％混入）
8　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（2.5Y2/1黒色砂質シルト帯状に混入）
9　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト（8層細砂・5層シルトまだらに混入）
10　7層に9層粒5％混入
11　10Y R3/4暗褐色細砂（6層粒20％、炭化物混入）
12　2.5Y4/3オリーブ褐色細砂（地山）

S K345土層注記
1　2.5Y5/3黄褐色シルト（10Y R3/3暗褐色シルト斑状に混入）
2　10Y R3/2黒褐色砂質シルト（1層同砂質シルト・3層をまだら状に混入、攪乱層）
3　10Y R3/2黒褐色砂質シルト（10Y R2/3黒褐色砂質シルト・10Y R4/3にぶい黄褐色砂質シルトをブロック状に、炭化粒混入）
4　2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（2.5Y5/3黄褐色砂質シルトブロック状に混入）
5　10Y R3/2黒褐色砂質シルト（4層・10Y R5/3にぶい黄褐色粘土をブロック状に、炭化物混入）
6　10Y R3/2黒褐色砂質シルト（10Y R4/2灰黄褐色砂質シルト縞状に混入、他5層に同じ）
7　10Y R5/3にぶい黄褐色粘土（5層ブロック状に混入）
8　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト～細砂（7層ブロック状に混入）
9　7.5G Y4/1暗緑灰色シルト

S K342・344土層注記
1　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（炭化物粒子状・2.5Y5/3黄褐色粘土質シルト斑状に混入）
2　N2/ 黒色シルト（やや粘性あり）
3　10Y R3/2黒褐色砂質シルト（炭化物粒子状・2.5Y5/3黄褐色粘土質シルトブロック状に混入）
4　10Y R3/2黒褐色砂質シルト（炭化物粒子状・2.5Y5/3黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4黄褐色砂質シルトを斑状に混入）
5　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（炭化物粒子状・2.5Y5/2暗灰黄色細砂雲状に混入）
6　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（2.5Y5/2暗灰黄色細砂縞・斑状、炭化粒混入）
7　10Y R3/1黒褐色砂質シルト（炭化物粒子状・2.5Y5/3黄褐色粘土質シルトと2.5Y5/4黄褐色砂質シルトまだら状に混入）

0　2m
(1:60)

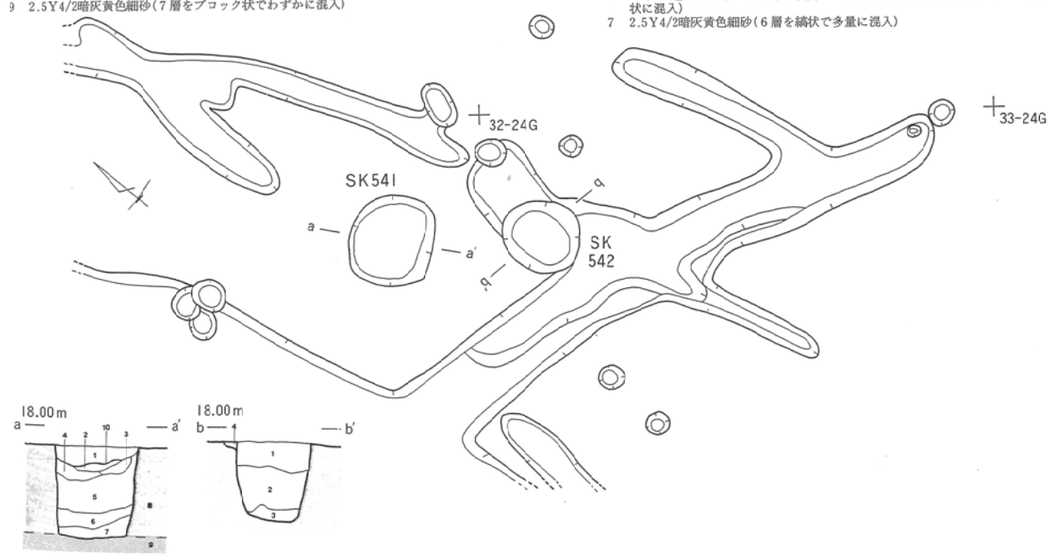
第24図　遺構実測図(19)



S K351土層注記
1　10Y R4/2灰黄褐色シルト（炭化粒・2層をブロック状に、2.5Y5/3黄褐色砂質シルト斑状に混入）
2　10Y R3/2黒褐色シルト（炭化粒・2.5Y5/3黄褐色砂質シルト点状に混入）
3　10Y R4/2灰黄褐色シルト（純粋層）
4　10Y R3/2黒褐色シルト（2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・10Y R5/3にぶい黄褐色粘土質シルト・10Y R5/3にぶい黄褐色粘土まだら状に混入、炭化粒混入）
5　10Y R3/2黒褐色シルト（炭化粒・10Y R2/1黒色シルトを縞状に混入）
6　10Y R3/2黒褐色シルト（2.5Y6/3にぶい黄色砂質シルト・10Y R4/4褐色細砂縞状に混入）
7　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト（やや粘性あり炭化物多量混入、2.5Y5/3黄褐色砂質シルト点状に混入）
8　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（7層ブロック状に混入）
9　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト

S K352土層注記
1　10Y R3/4暗褐色砂質シルト（炭化物・2.5Y5/3黄褐色砂質シルト斑点状に混入）
2　10Y R3/3暗褐色砂質シルト（炭化物・10Y R3/1黒褐色砂質シルトブロック状に、2.5Y5/3黄褐色砂質シルトまだら状に混入）
3　10Y R3/3暗褐色砂質シルト（1層に同じ）
4　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（炭化粒・2.5Y5/3黄褐色砂質シルトまだら状に混入）
5　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（炭化粒・2.5Y5/3黄褐色砂質シルトをまだら状に、N2/ 黒色シルトをしま状又は帯状に混入）
6　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト（10Y R5/3にぶい黄褐色砂質シルト・細砂をブロック状に混入、他5層に同じ）
7　N2/ 黒色シルト（10Y R3/2黒褐色粘土質シルト雲状に混入）
8　2.5Y5/3黄褐色粘土
9　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（7層をブロック状でわずかに混入）

S K355土層注記
1　10Y R3/4暗褐色砂質シルト（炭化物斑状・10Y R5/4にぶい黄褐色シルトブロック状に混入）
2　N2/ 黒色シルト（1を雲状に3層を斑状に混入）
3　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト～細砂
4　2.5Y5/3黄褐色粘土（酸化鉄を帯び10Y R4/6褐色を呈する）
5　10Y R3/4暗褐色砂質シルト（6層雲状・炭化物を粒子状・3層斑状に混入）
6　N2/ 黒色シルト（7.5Y R4/4褐色焼土を斑点状、10Y R3/2黒褐色シルト縞状に混入）
7　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（6層を縞状で多量に混入）

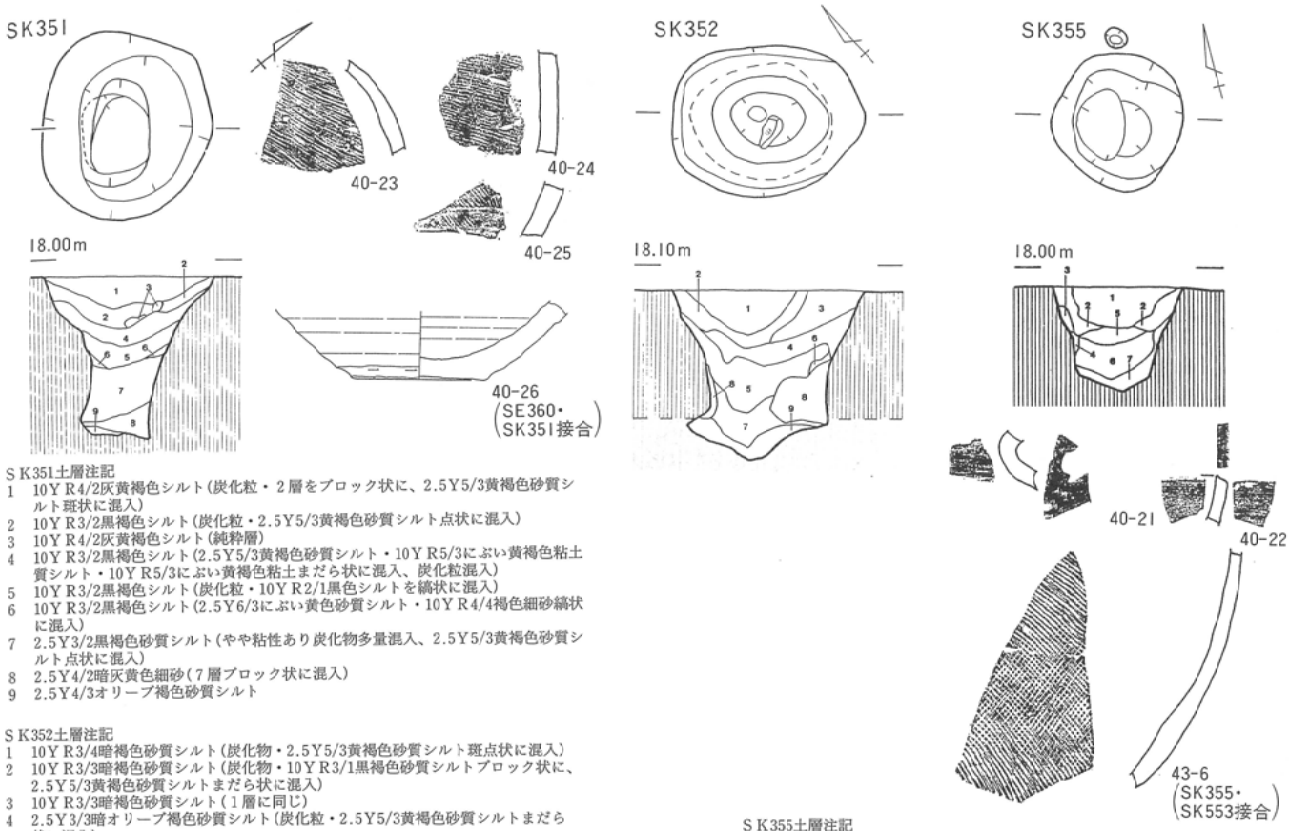


S K541土層注記
1　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト（2.5Y5/6黄褐色細砂10％・暗灰黄色粘土質シルト粒1％・炭化粒1％混入）
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（炭化粒1％・暗灰黄色粘土質シルト粒5％混入）
3　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（A層10％・2.5Y5/6黄褐色細砂10％・2.5Y5/3黄褐色砂質シルト粒30％混入）
4　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト（2.5Y5/6黄褐色細砂30％・A層5％混入）
5　A層（2層ブロック10％・10Y R4/6褐色粒5％・炭化物5％混入）
6　10Y R4/2灰黄褐色砂質シルト（粘性あり、炭化粒10％・5層5％・10Y R4/6褐色粒5％混入）
7　10Y R4/2灰黄褐色砂質シルト（粘性あり、炭化粒5％・5層5％・10Y R4/6褐色粒30％混入）
8　地山2
9　地山3

S K542土層注記
1　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト（2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルトブロック30％・A層5％・2.5Y4/4オリーブ褐色細砂10％・炭化粒1％混入）
2　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（同色粘土質シルト10％・オリーブ褐色細砂30％1cm～3cm大と大きい炭化粒1％混入）
3　2.5Y4/2暗灰黄色細砂（地山2ブロック50％混入）
4　B層
5　地山2

0　2m
(1:60)

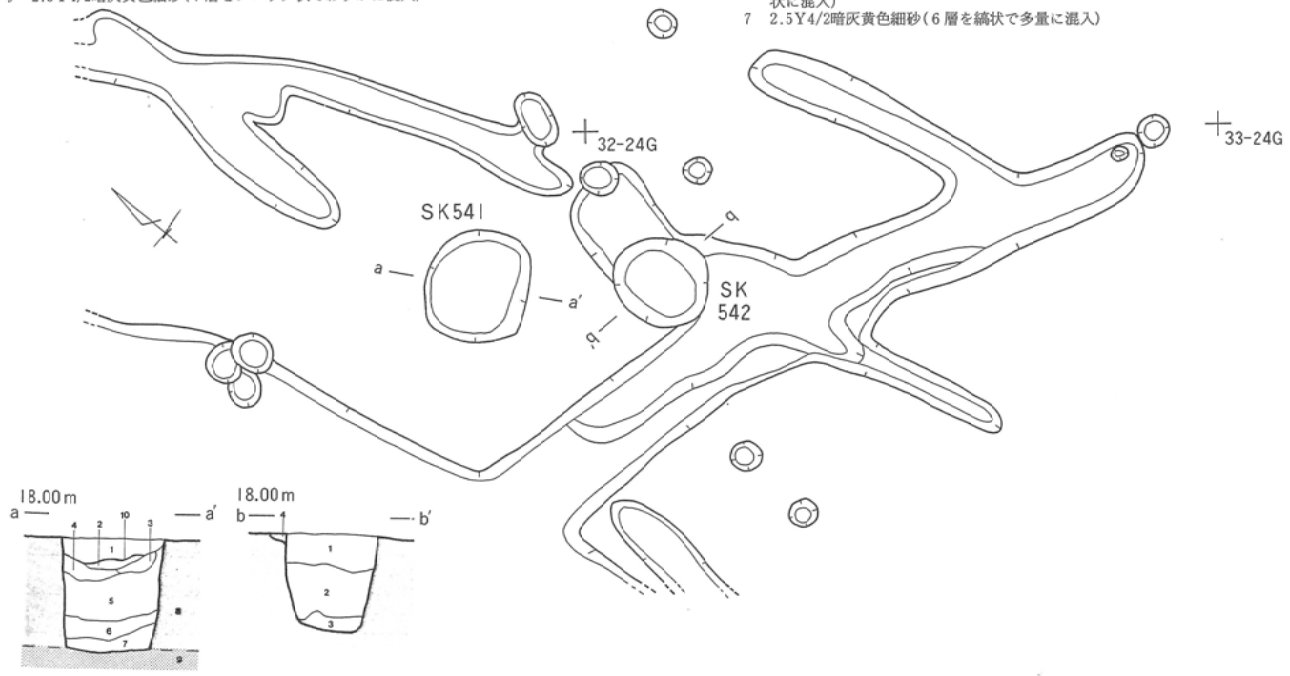
第25図　遺構実測図(20)



SK351土層注記
1　10YR4/2灰黄褐色シルト(炭化粒・2層をブロック状に、2.5Y5/3黄褐色砂質シルト斑状に混入)
2　10YR3/2黒褐色シルト(炭化粒・2.5Y5/3黄褐色砂質シルト点状に混入)
3　10YR4/2灰黄褐色シルト(純粋層)
4　10YR3/2黒褐色シルト(2.5Y5/3黄褐色砂質シルト・10YR5/3にぶい黄褐色粘土質シルト・10YR5/3にぶい黄褐色粘土まだら状に混入、炭化粒混入)
5　10YR3/2黒褐色シルト(炭化粒・10YR2/1黒色シルトを縞状に混入)
6　10YR3/2黒褐色シルト(2.5Y6/3にぶい黄色砂質シルト・10YR4/4褐色細砂縞状に混入)
7　2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(やや粘性あり炭化物多量混入、2.5Y5/3黄褐色砂質シルト点状に混入)
8　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(7層ブロック状に混入)
9　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト

SK352土層注記
1　10YR3/4暗褐色砂質シルト(炭化物・2.5Y5/3黄褐色砂質シルト斑点状に混入)
2　10YR3/3暗褐色砂質シルト(炭化物・10YR3/1黒褐色砂質シルトブロック状に、2.5Y5/3黄褐色砂質シルトまだら状に混入)
3　10YR3/3暗褐色砂質シルト(1層に同じ)
4　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒・2.5Y5/3黄褐色砂質シルトまだら状に混入)
5　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒・2.5Y5/3黄褐色砂質シルトをまだら状に、N2/ 黒色シルトをしま状又は帯状に混入)
6　2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂質シルト(10YR5/3にぶい黄褐色砂質シルト・細砂をブロック状に混入、他5層に同じ)
7　N2/ 黒色シルト(10YR3/2黒褐色粘土質シルト雲状に混入)
8　2.5Y5/3黄褐色粘土
9　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(7層をブロック状でわずかに混入)

SK355土層注記
1　10YR3/4暗褐色砂質シルト(炭化物斑状・10YR5/4にぶい黄褐色シルトブロック状に混入)
2　N2/ 黒色シルト(1を雲状に3層を斑状に混入)
3　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト～細砂
4　2.5Y5/3黄褐色粘土(酸化鉄を帯び10YR4/6褐色を呈する)
5　10YR3/4暗褐色砂質シルト(5層雲状・炭化物を粒子状・3層斑状に混入)
6　N2/ 黒色シルト(7.5YR4/4褐色焼土を斑点状、10YR3/2黒褐色シルト縞状に混入)
7　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(6層を縞状で多量に混入)

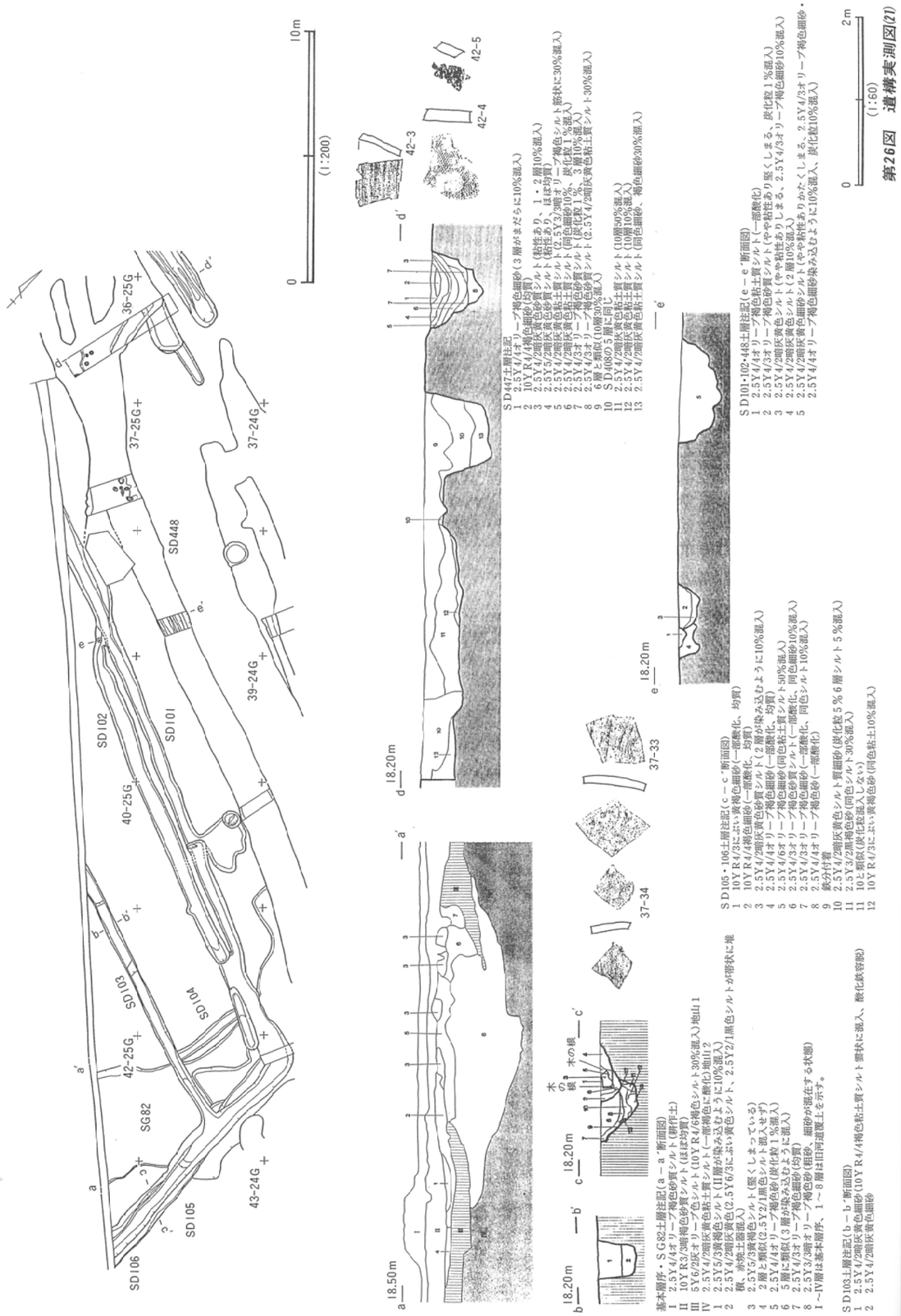


SK541土層注記
1　2.5Y5/3黄褐色砂質シルト(2.5Y5/6黄褐色細砂10%・暗灰黄色粘土質シルト粒1%・炭化粒1%混入)
2　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(炭化粒1%・暗灰黄色粘土質シルト粒5%混入)
3　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(A層10%・2.5Y5/6黄褐色細砂10%・2.5Y5/3黄褐色砂質シルト粒30%混入)
4　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y5/6黄褐色細砂30%・A層5%混入)
5　A層(2層ブロック10%・10YR4/6褐色粒5%・炭化物5%混入)
6　10YR4/2灰黄褐色砂質シルト(粘性あり、炭化粒10%・5層5%・10YR4/6褐色粒5%混入)
7　10YR4/2灰黄褐色砂質シルト(粘性あり、炭化粒5%・5層5%・10YR4/6褐色粒30%混入)
8　地山2
9　地山3

SK542土層注記
1　2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルトブロック30%・A層5%・2.5Y4/4オリーブ褐色細砂10%・炭化粒1%混入)
2　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(同色粘土質シルト10%・オリーブ褐色細砂30%1cm～3cm大と大きい炭化粒1%混入)
3　2.5Y4/2暗灰黄色細砂(地山2ブロック50%混入)
4　B層
5　地山2

0　2m
(1:60)

第25図　遺構実測図(20)



SD447土層注記
1 2.5Y4/4オリーブ褐色細砂(3層がまだらに10%混入)
2 10YR4/4褐色細砂(均質)
3 2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(粘性あり、1・2層10%混入)
4 2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(粘性あり、ほぼ均質)
5 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(2.5Y3/3暗オリーブ褐色シルト筋状に30%混入)
6 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(同色細砂10%、炭化粒1%混入)
7 2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒1%、3層10%混入)
8 2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト・30%混入)
9 6層と類似(10層30%混入)
10 SD408の5層に同じ
11 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(10層50%混入)
12 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(10層10%混入)
13 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(同色細砂、褐色細砂30%混入)

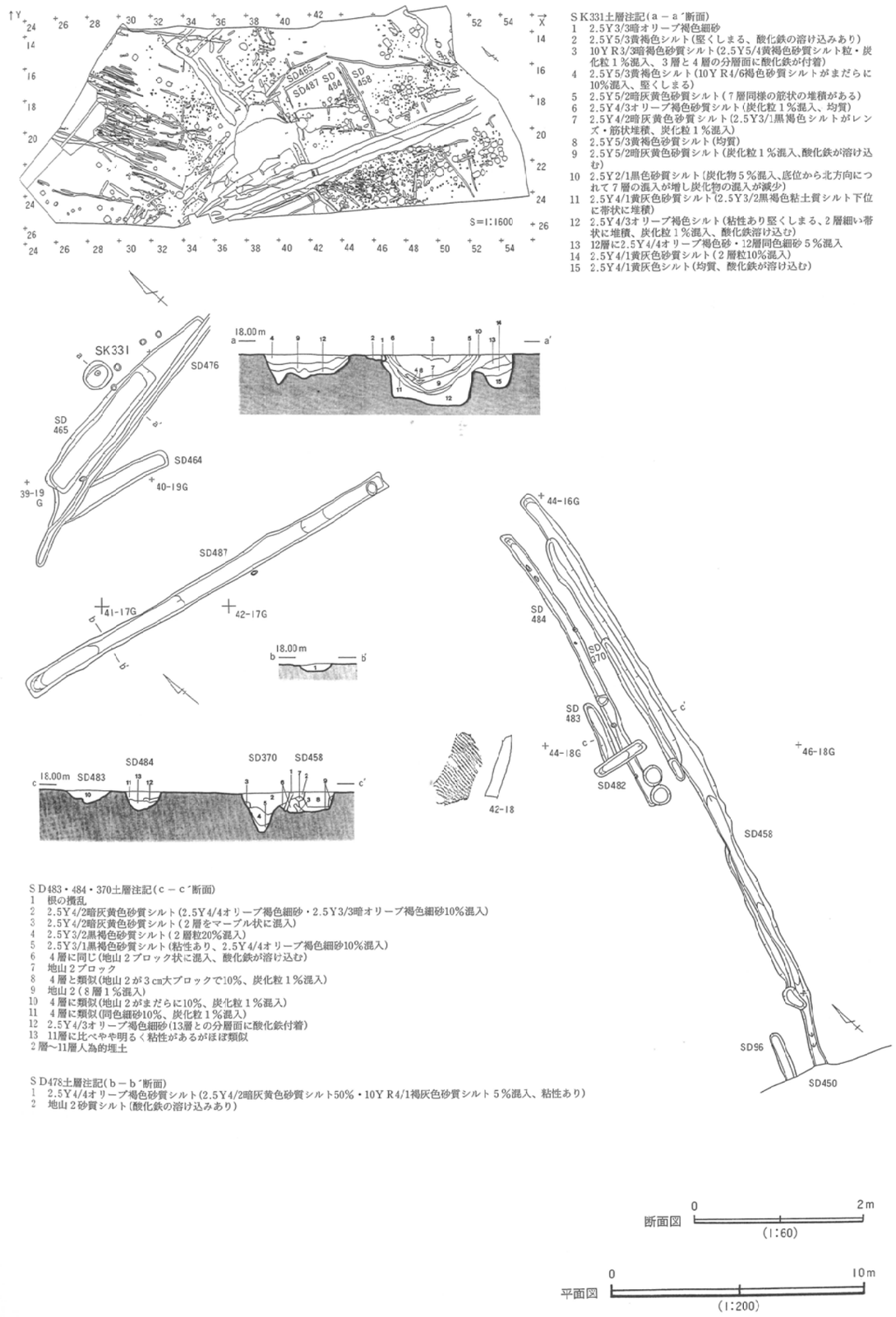
SD101・102・448土層注記(e－e´断面図)
1 2.5Y4/4オリーブ褐色粘土質シルト(一部酸化)
2 2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(やや粘性あり堅くしまる、炭化粒1%混入)
3 2.5Y4/2暗灰黄色シルト(やや粘性ありしまる、2.5Y4/3オリーブ褐色細砂10%混入)
4 2.5Y4/2暗灰黄色シルト(2層10%混入)
5 2.5Y4/2暗灰黄色細砂シルト(やや粘性ありかたくしまる、2.5Y4/3オリーブ褐色細砂・2.5Y4/4オリーブ褐色細砂巻込むように10%混入、炭化粒10%混入)

SD105・106土層注記(c－c´断面図)
1 10YR4/3にぶい黄褐色細砂(一部酸化、均質)
2 10YR4/4褐色細砂(一部酸化、均質)
3 2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2層が染み込むように50%混入)
4 2.5Y4/4オリーブ褐色細砂(一部酸化、均質)
5 2.5Y4/6オリーブ褐色細砂(同色粘土質シルト50%混入)
6 2.5Y4/3オリーブ色砂質シルト(一部酸化、同色細砂10%混入)
7 2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(同色シルト10%混入)
8 2.5Y4/4オリーブ褐色砂(一部酸化)
9 鉄分付着
10 2.5Y4/2暗灰黄色シルト質細砂(炭化粒5%6層シルト5%混入)
11 2.5Y3/2黒褐色砂(同色シルト・30%混入)
11 10と類似(炭化粒混入しない)
12 10YR4/3にぶい黄褐色砂(同色粘土10%混入)

基本層序・SG82土層注記(a－a´断面図)
I 2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト(粘性土)
II 10YR3/3暗褐色砂質シルト(ほぼ均質)
III 5Y6/2灰オリーブ色シルト(10YR4/6褐色シルト30%混入)地山1
IV 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト(一部褐色に酸化)地山2
1 2.5Y5/3黄褐色シルト(II層が染み込むように10%混入)
2 2.5Y4/2暗灰黄色(2.5Y6/3にぶい黄色シルト、2.5Y2/1黒色シルトが帯状に堆積、赤焼土器混入)
3 2.5Y5/3黄褐色シルト(堅くしまっている)
4 2層と類似(2.5Y2/1黒色シルト混入せず)
5 2.5Y4/4オリーブ褐色砂(炭化粒1%混入)
6 5層に類似(3層が染み込むように混入)
7 2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(均質)
8 2.5Y3/3暗オリーブ褐色砂(粗砂が混在する状態)
I～IV層は基本層序、1～8層は旧河道復土を示す。

SD103土層注記(b－b´断面図)
1 2.5Y4/2暗灰黄色細砂(10YR4/4褐色粘土質シルト帯状に混入、酸化鉄溶解)
2 2.5Y4/2暗灰黄色細砂

第26図 遺構実測図(21)

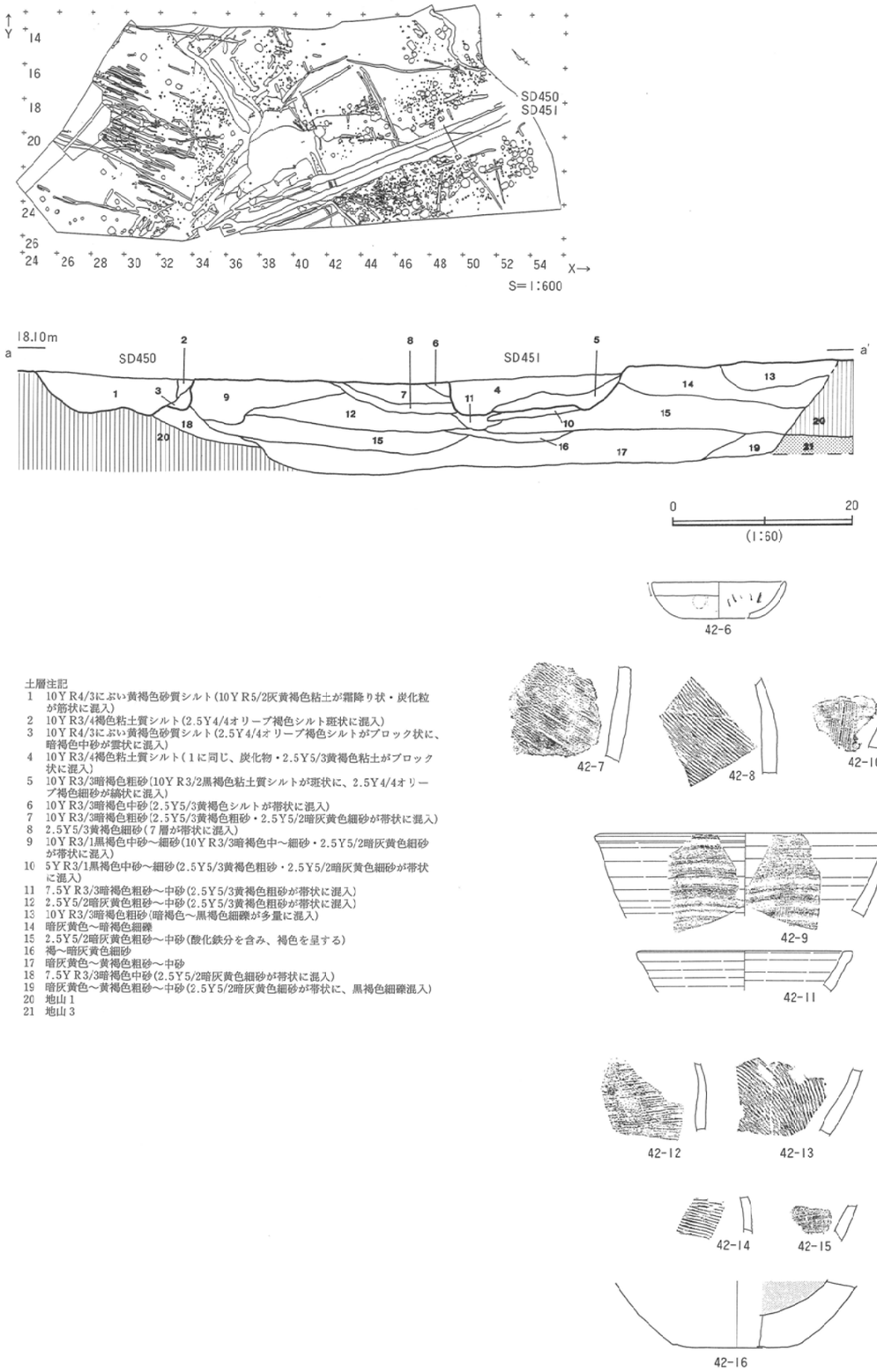


SK331土層注記(a－a´断面)
1 2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂
2 2.5Y5/3黄褐色シルト(堅くしまる、酸化鉄の溶け込みあり)
3 10YR3/3暗褐色砂質シルト(2.5Y5/4黄褐色砂質シルト粒・炭化粒1%混入、3層と4層の分層面に酸化鉄が付着)
4 2.5Y5/3黄褐色シルト(10YR4/6褐色砂質シルトがまだらに10%混入、堅くしまる)
5 2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(7層同様の筋状の堆積がある)
6 2.5Y4/3オリーブ褐色砂質シルト(炭化粒1%混入、均質)
7 2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y3/1黒褐色シルトがレンズ・筋状堆積、炭化粒1%混入)
8 2.5Y5/3黄褐色砂質シルト(均質)
9 2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト(炭化粒1%混入、酸化鉄が溶け込む)
10 2.5Y2/1黒色砂質シルト(炭化物5%混入、底位から北方向にかけて7層の混入が増し炭化物の混入が8減少)
11 2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(2.5Y3/2黒褐色粘土質シルト下位に帯状に堆積)
12 2.5Y4/3オリーブ褐色シルト(粘性あり堅くしまる、2層細い帯状に堆積、炭化粒1%混入、酸化鉄溶け込む)
13 12層に2.5Y4/4オリーブ褐色砂・12層同色細砂5%混入
14 2.5Y4/1黄灰色砂質シルト(2層粒10%混入)
15 2.5Y4/1黄灰色シルト(均質、酸化鉄が溶け込む)

SD483・484・370土層注記(c－c´断面)
1 根の攪乱
2 2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色細砂・2.5Y3/3暗オリーブ褐色細砂10%混入)
3 2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト(2層をマーブル状に混入)
4 2.5Y3/2黒褐色砂質シルト(2層粒20%混入)
5 2.5Y3/1黒褐色砂質シルト(粘性あり、2.5Y4/4オリーブ褐色細砂10%混入)
6 4層に同じ(地山2ブロック状に混入、酸化鉄が溶け込む)
7 地山2ブロック
8 4層と類似(地山2が3cm大ブロックで10%、炭化粒1%混入)
9 地山2(8層1%混入)
10 4層に類似(地山2がまだらに10%、炭化粒1%混入)
11 4層に類似(同色細砂10%、炭化粒1%混入)
12 2.5Y4/3オリーブ褐色細砂(13層との分層面に酸化鉄付着)
13 11層に比べやや明るく粘性があるがほぼ類似
2層～11層人為的埋土

SD478土層注記(b－b´断面)
1 2.5Y4/4オリーブ褐色砂質シルト(2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルト50%・10YR4/1褐灰色砂質シルト5%混入、粘性あり)
2 地山2砂質シルト(酸化鉄の溶け込みあり)

第27図 遺構実測図(22)



土層注記
1　10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルト(10YR5/2灰黄褐色粘土が霜降り状・炭化粒が筋状に混入)
2　10YR3/4褐色粘土質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色シルト斑状に混入)
3　10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルト(2.5Y4/4オリーブ褐色シルトがブロック状に、暗褐色中砂が雲状に混入)
4　10YR3/4褐色粘土質シルト(1に同じ、炭化物・2.5Y5/3黄褐色粘土がブロック状に混入)
5　10YR3/3暗褐色粗砂(10YR3/2黒褐色粘土質シルトが斑状に、2.5Y4/4オリーブ褐色細砂が鱗状に混入)
6　10YR3/3暗褐色中砂(2.5Y5/3黄褐色シルトが帯状に混入)
7　10YR3/3暗褐色粗砂(2.5Y5/3黄褐色粗砂・2.5Y5/2暗灰黄色細砂が帯状に混入)
8　2.5Y5/3黄褐色細砂(7層が帯状に混入)
9　10YR3/1黒褐色中砂～細砂(10YR3/3暗褐色中～細砂・2.5Y5/2暗灰黄色細砂が帯状に混入)
10　5YR3/1黒褐色中砂～細砂(2.5Y5/3黄褐色粗砂・2.5Y5/2暗灰黄色細砂が帯状に混入)
11　7.5YR3/3暗褐色粗砂～中砂(2.5Y5/3黄褐色粗砂が帯状に混入)
12　2.5Y5/2暗灰黄色粗砂～中砂(2.5Y5/3黄褐色粗砂が帯状に混入)
13　10YR3/3暗褐色粗砂(暗褐色～黒褐色細礫が多量に混入)
14　暗灰黄色～暗褐色細礫
15　2.5Y5/2暗灰黄色粗砂～中砂(酸化鉄分を含み、褐色を呈する)
16　褐～暗灰黄色細砂
17　暗灰黄色～黄褐色粗砂～中砂
18　7.5YR3/3暗褐色中砂(2.5Y5/2暗灰黄色細砂が帯状に混入)
19　暗灰黄色～黄褐色粗砂～中砂(2.5Y5/2暗灰黄色細砂が帯状に、黒褐色細礫混入)
20　地山1
21　地山3

第28図　遺構実測図(23)

Ⅳ　出土した遺物

今回の調査では、整理箱約40箱、破片数約15,250点の遺物が出土している。内容は、土器・陶器・磁器・土製品・石製品・金属製品・木製品である。遺物の時期は、平安時代・鎌倉時代・江戸時代に大きく分けることができる。各時代の遺物の占める割合は、平安時代97%、鎌倉時代2%、江戸時代0.001%となっている。以下、時期毎に内容を概括する。なお、各遺物についての詳細は観察表に譲る。

1　平安時代

平安時代に位置付けられる遺物の出土数は、約14,800点を数える。内容は、土器・土製品である。土器には、須恵器・赤焼土器（須恵器製作技法を用いて、酸化焔焼成しているもの）・黒色土器、土製品には土錘が認められた。土器の割合（破片点数）は、須恵器0.03%、赤焼土器99%、黒色土器0.02%で、赤焼土器が非常に多い。平安時代の遺物は、摩滅しているのが特徴で、復元個体は少ない。一括性を示す良好な資料は少ないが、SK175では覆土に遺物がまとまって出土しているため、一括性が高いと判断したい(第16図)。平安時代の遺物は44～50―21～25G、33～35―18～20G、29-16・17G周辺にまとまりが認められるため、今回の調査区での生活の中心もこの区域であったと推定される。

須恵器には、坏・甕・壷がある。無台坏（第29図1・2）は、回転ヘラ切りで底径が大きく外傾度が小さい。有台坏（第29図3）は、高台が内傾し、しっとりとしたタッチでロクロナデが行われている。甕はほとんどが破片資料である。口縁部資料には短く外傾し、口唇部に面を持つものがある(第29図11)。壷は頸部が外傾して立ち上がる。口唇部の形態は多様である。(第29図5～8)。第29図8は、頸部径が大きく第29図3と類似したロクロナデが認められる。　赤焼土器には、坏・甕・鍋がある。坏は胎土から大きく5つに分類することができる。

①胎土そのものは相対的に良であるが、器面に砂質感を伴う。赤褐色粒・小礫が混入する。色調は橙色を呈する。

②胎土・混入物は①に同じ。色調が白味を帯びる黄橙色を呈することから①と分離した。

③色調・混入物は①に類似する。①に比べ小礫の混入が多く、胎土が粗い。

④胎土そのものは相対的に良であり、器面に砂質感を持たない。黒色粒・小礫が混入する。色調は黄橙色を呈する。

⑤胎土そのものは相対的に精良であり、器面に砂質感を持たず、しっとりとしたロクロナデが施されている。黒色粒微量、小礫が混入する。色調は黄橙色を呈する。

①～③は赤褐色粒を混入し、④・⑤は黒色粒を含むものと大別することができる。各胎土の中での特徴を、観察し以下に述べる。

①は第31図1～12である。1～4は、口径・底径・底部の糸切り痕に類似性が認められ、同一製作の可能性が高い。1～6は底部が突き出し、底部直上部分がやや膨らんで立ち上がる特徴がある。この特徴は、④を除く他の分類の中にも示すものがある。②では第31図13～16、③では口縁部がやや外傾するが第32図7・8、⑤では第33図3～7がこれにあたる。

②は第31図13〜18、第32図１〜６である。先述の①との類似性を示すものの外に、底径がやや大きく器高が低い第32図３〜５がある。厚く直線的な立ち上がりをもつ第32図６は、①の第31図７・８、⑤の第33図７に類似する。

③は第32図７〜10である。粗雑な胎土で、特徴的だが図化したものでは、４個体のみである。器形にも共通性は認められない。①とは、胎土の緻密さの違いで分離したが、①には口縁部が外傾するものは認められず注目される。

④は第32図11・12である。全体的に器厚が厚く、重い。体部が直線的に立ち上がる。糸切り痕の細かさも特徴的である。赤焼土器の有台坏第33図12は、④に属する。

⑤は第32図13〜20、第33図１〜11である。先述した以外は、①とは明らかにつくりが異なる。体部内外面のロクロナデが非常に細かく丁寧である。底部から口縁部への器厚がおおよそ一定で、整っている。

今回の調査での平安時代の遺物の出土状況から、無台坏を遺跡一括ととらえ、胎土を基に観察した。①〜⑤を見てみると、分類した胎土内では技法や器形が共通することが多い。それは、製作者の共通性も示す。また、胎土を越えた共通性も認められた。一括性の高いＳＫ175出土遺物についてみると第32図５は②、第32図７は③、第32図11は④、第32図17は⑤と各々異なった胎土を示す。これは、塔の腰遺跡における使用ないし廃棄の同時性を示すものと考えられる。

黒色土器で図化できたものは、すべて有台坏である。高台が低く外傾する。内面のミガキは粗雑である。

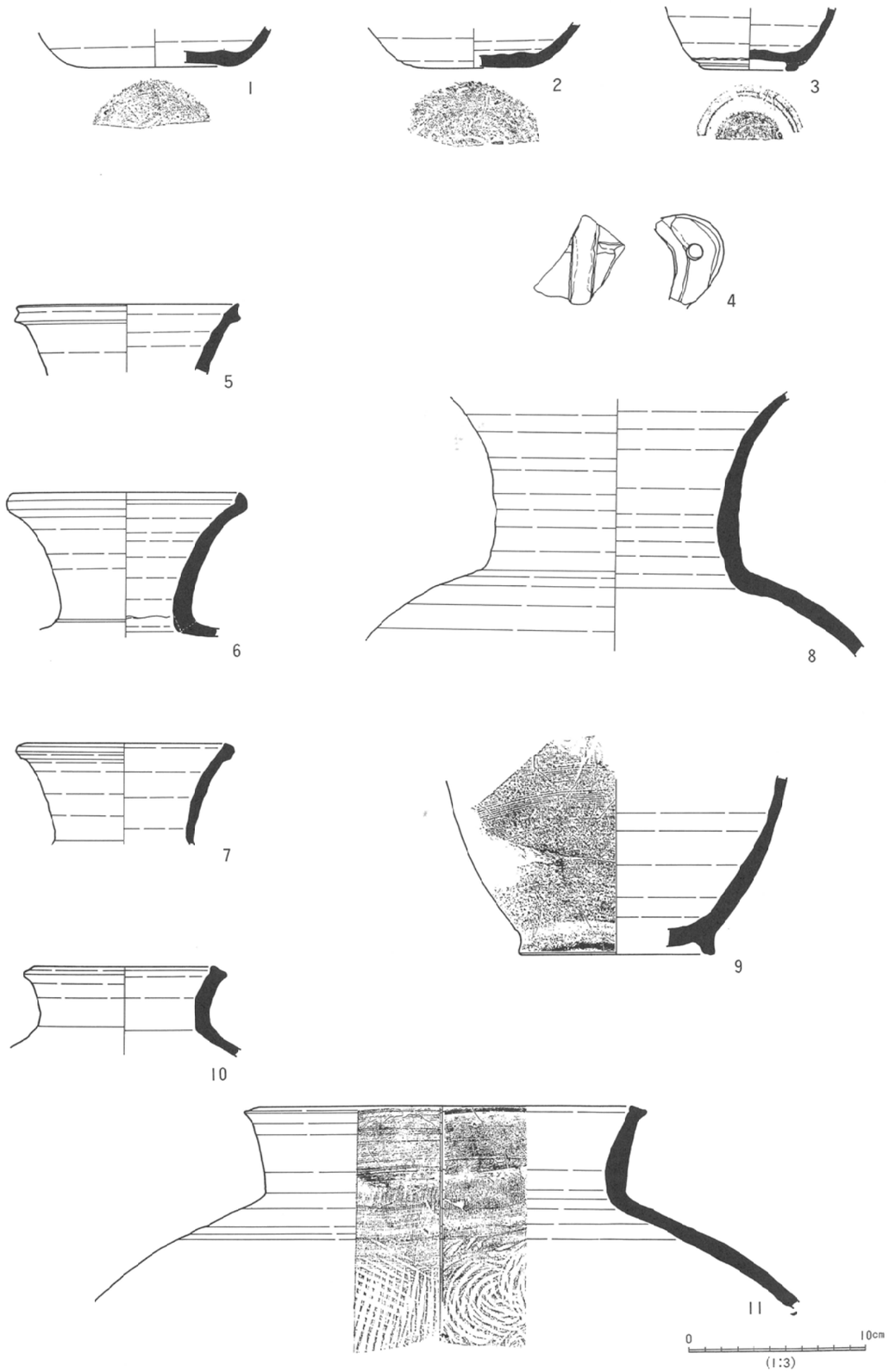
煮炊具である赤焼土器の甕・鍋は、小破片である。底部資料には、丸底のものが多い。甕は口縁部のつくりが簡略で、外傾するもの、緩やかに内傾するものがある。鍋は体部外面に炭化物が付着する。甕・鍋についても、無台坏の胎土分類を試みたが、第35図２の⑤以外はすべて①を示す。

２　中　　世

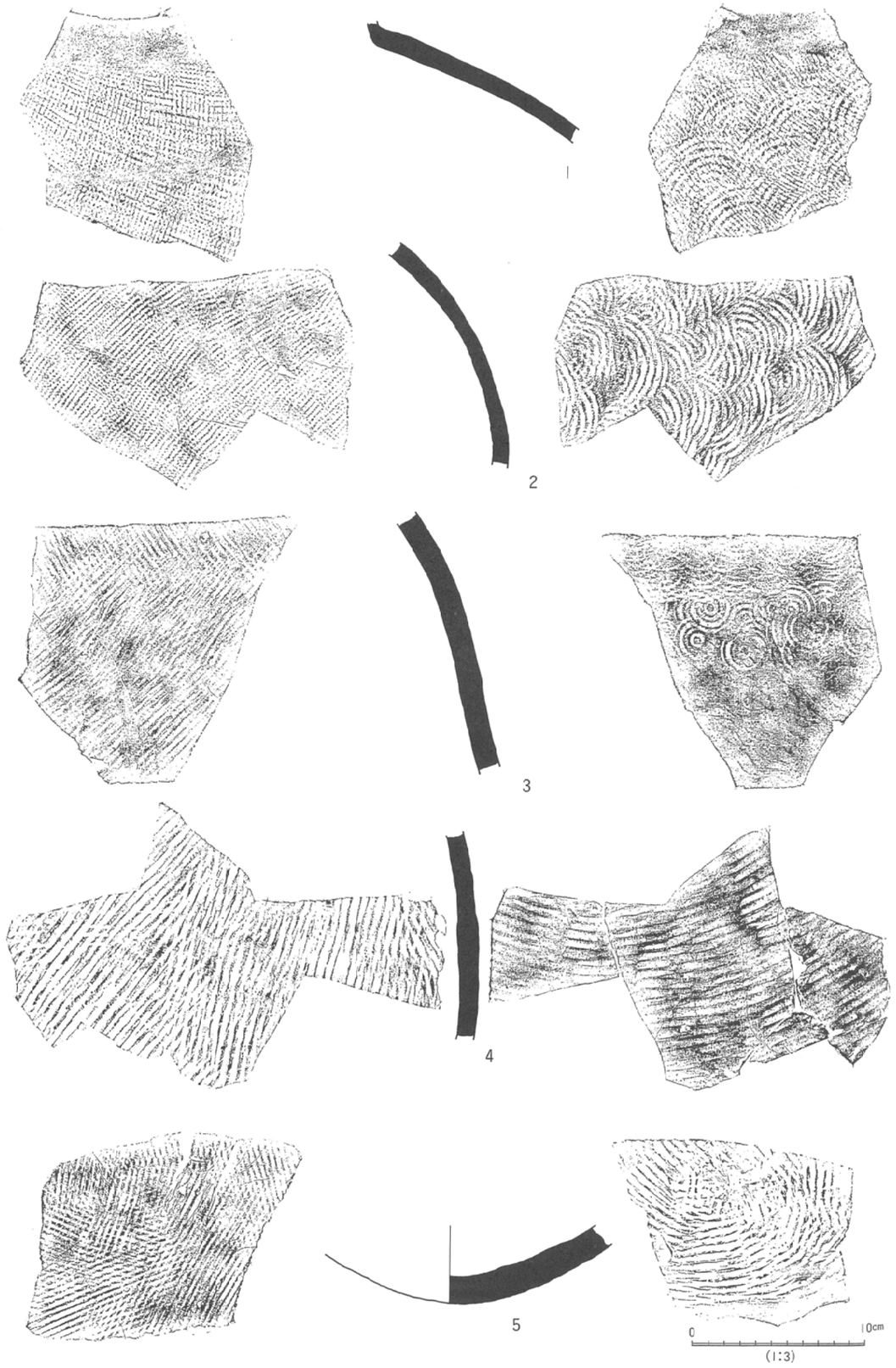
磁器・陶器・土師質土器・石製品・鉄製品・木製品が出土している。溝跡や井戸跡・土坑の覆土や面整理時の出土が多い。中世の遺物と判断したものは、ほとんど図化してある。

磁器は16点出土している。第37図21は、釉調と粘土に鈍さを持つ白磁皿である。細かい貫入と多孔質の胎土を示す。第43図１は白磁碗である。三角の高台が付くもので、見込みに櫛目がみられる。胎土には黒色粒子が混入する。第45図16は、玉縁口縁を持つ白磁碗である。第36図18は口縁端部の青磁碗である。第36図28、第37図23、第40図5・20・27、第43図５・21は青磁鎬蓮弁紋碗である。第36図29は見込みに劃花紋を持つ青磁碗、第45図15は蓮弁がやや鈍い盤である。

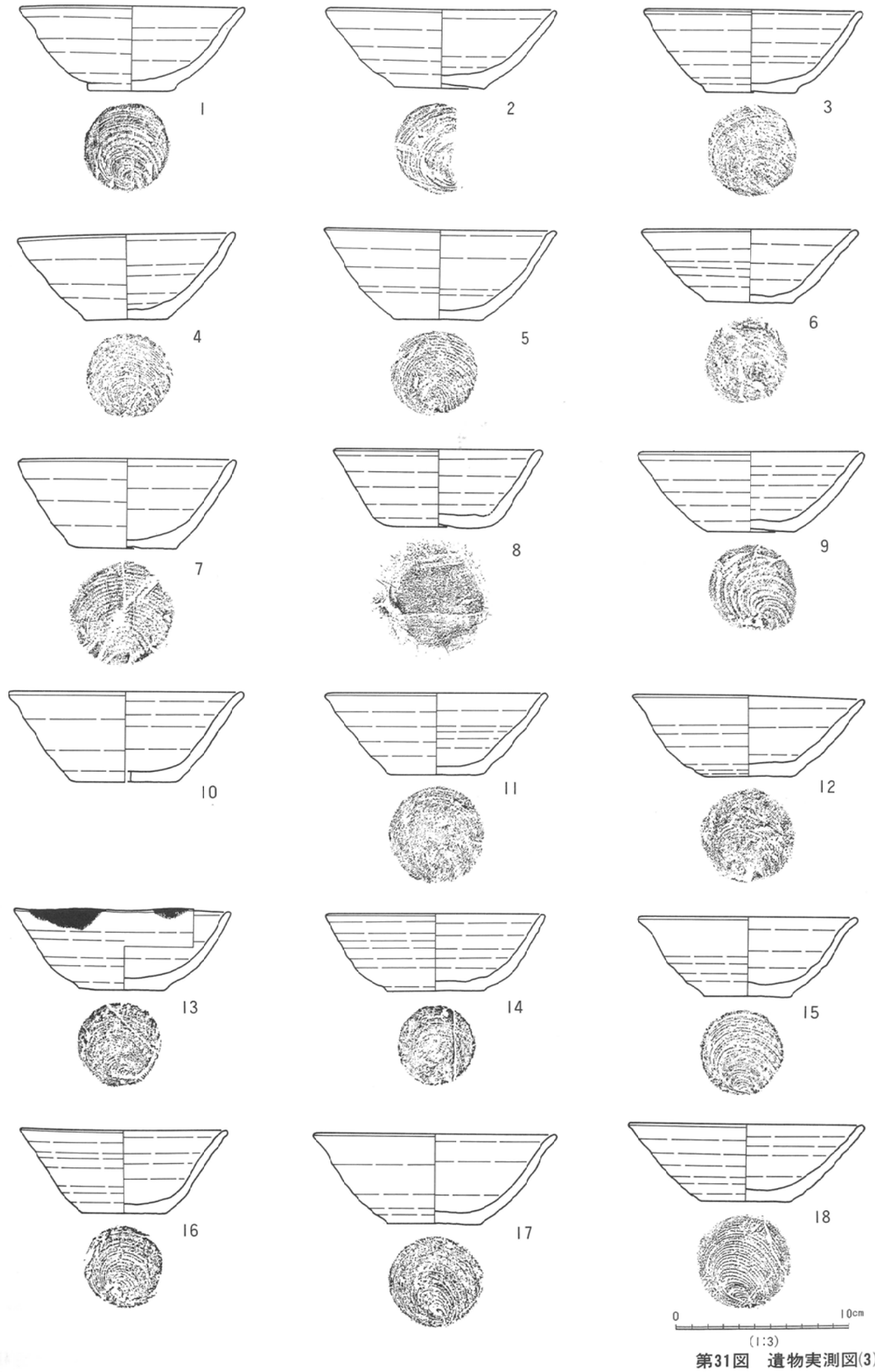
陶器は、202点の破片が出土している。珠洲が177点、胎土がやや粗く珠洲と判断できない須恵器系陶器17点、瓷器系陶器８点が出土している（表６）。珠洲を含む須恵器系陶器には、甕・壺・擂鉢があり、その個体数の割合は、おおよそ3:1:2である。第41図11は外面に打圧痕、内面にナデ痕を持ち淡い黄橙を呈し、産地不明である。瓷器系陶器には体部内外面にナデが見られる甕（第36図２、第37図33・34、第38図２・６・11、第43図10）、内外面褐色で外面に緑色の釉、内面にナデ痕のある甕（第36図24、第43図２・16・23）がある。個体識別で各１個体と判断する。



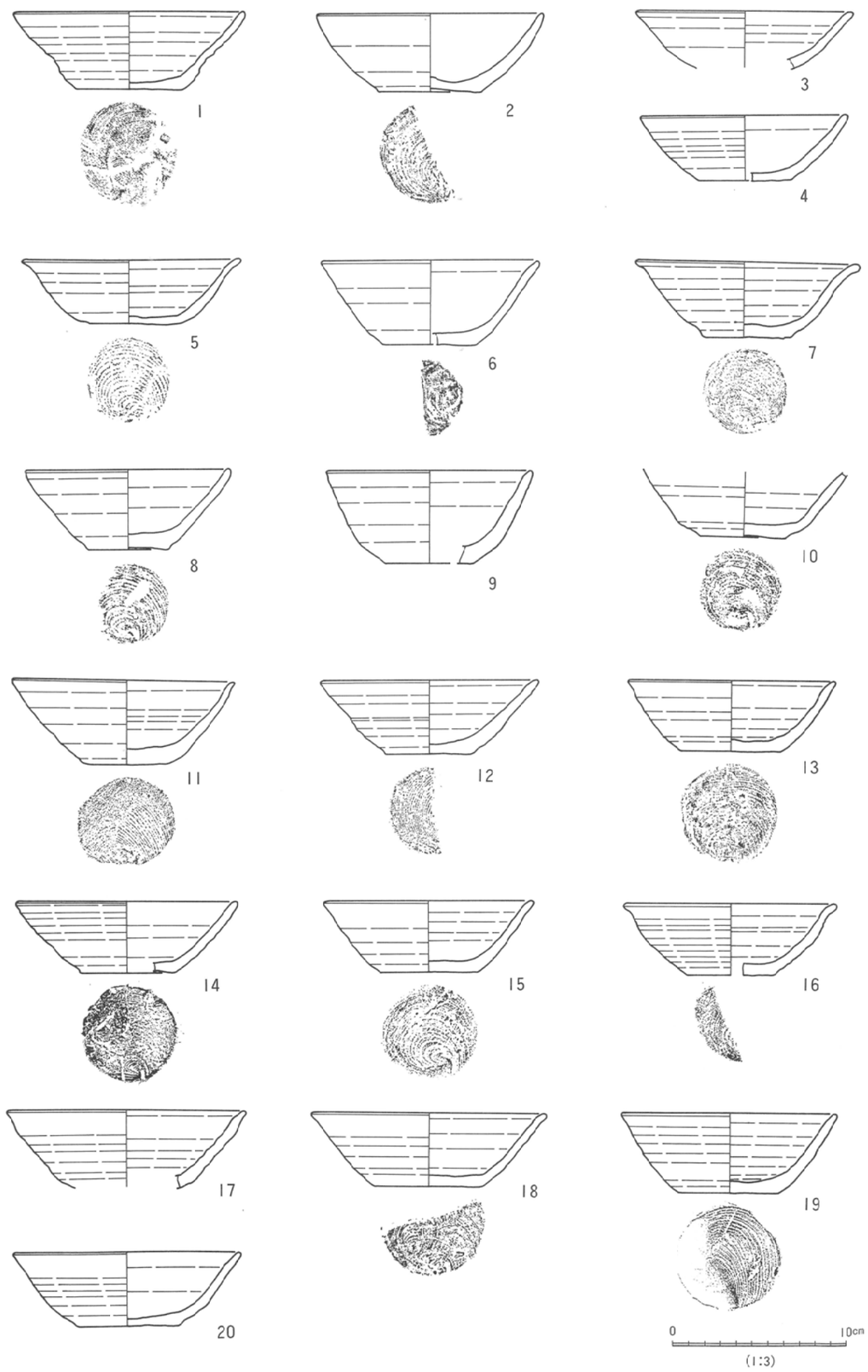
第29図　遺物実測図(1)



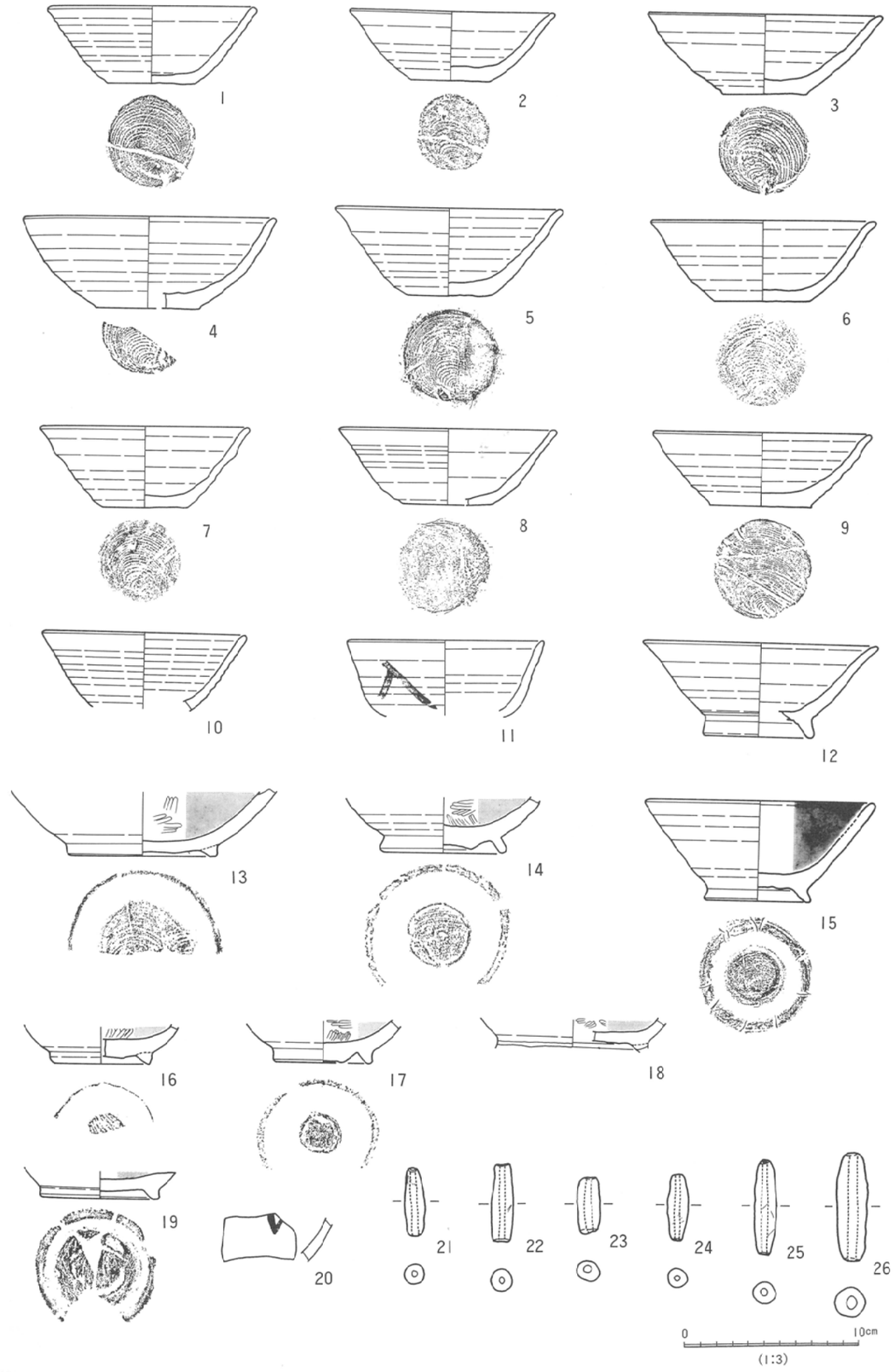
第30図　遺物実測図(2)



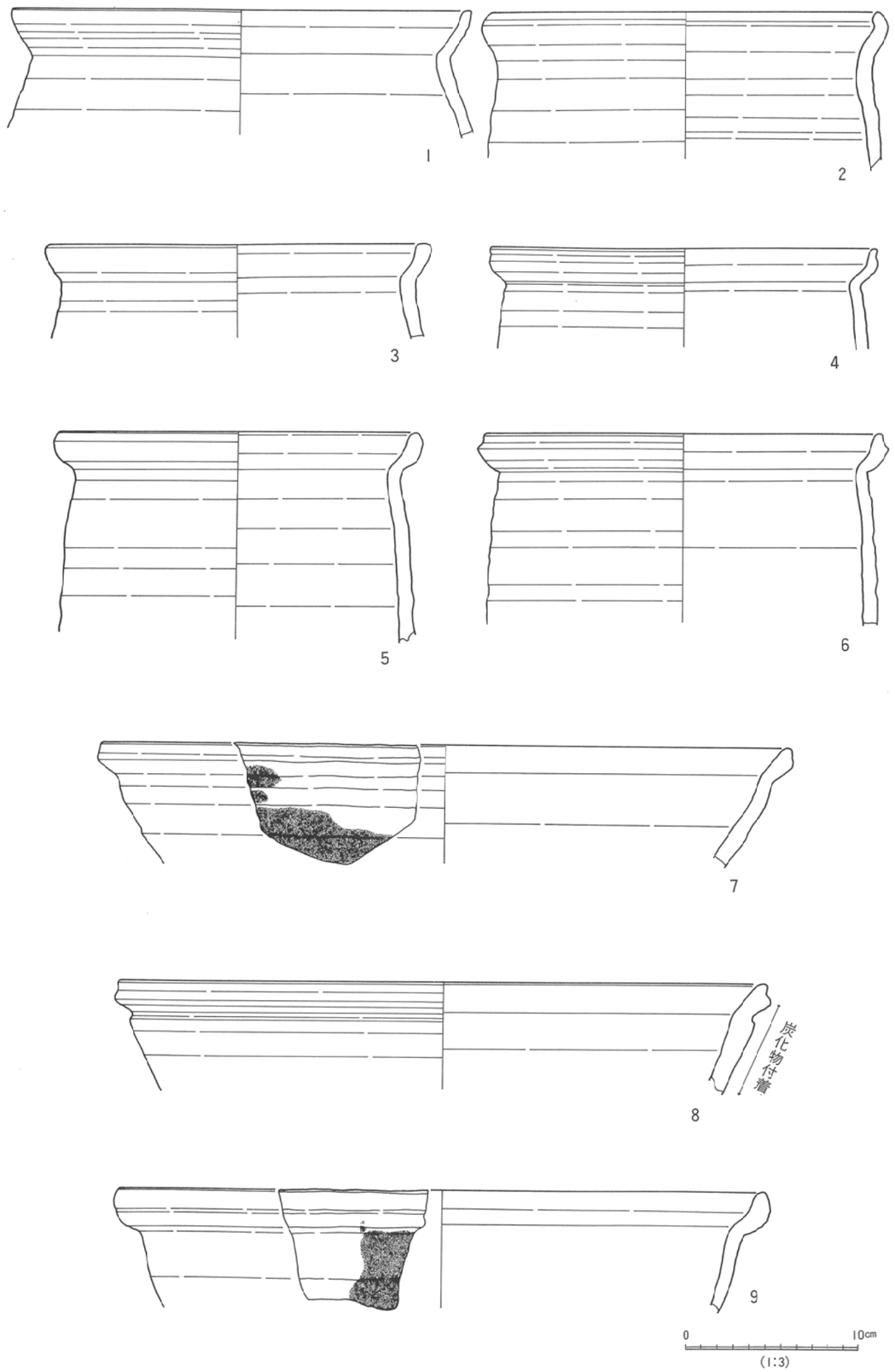
第31図　遺物実測図(3)



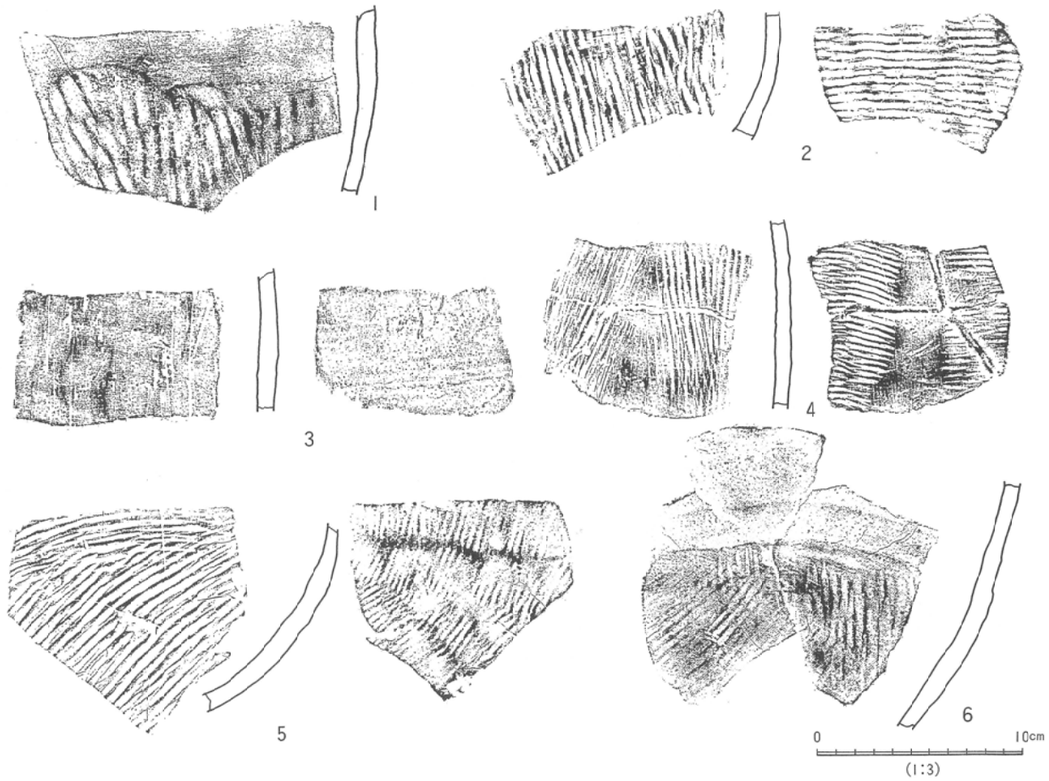
第32図　遺物実測図(4)



第33図　遺物実測図(5)



第34図　遺物実測図(6)



第35図　遺物実測図(7)

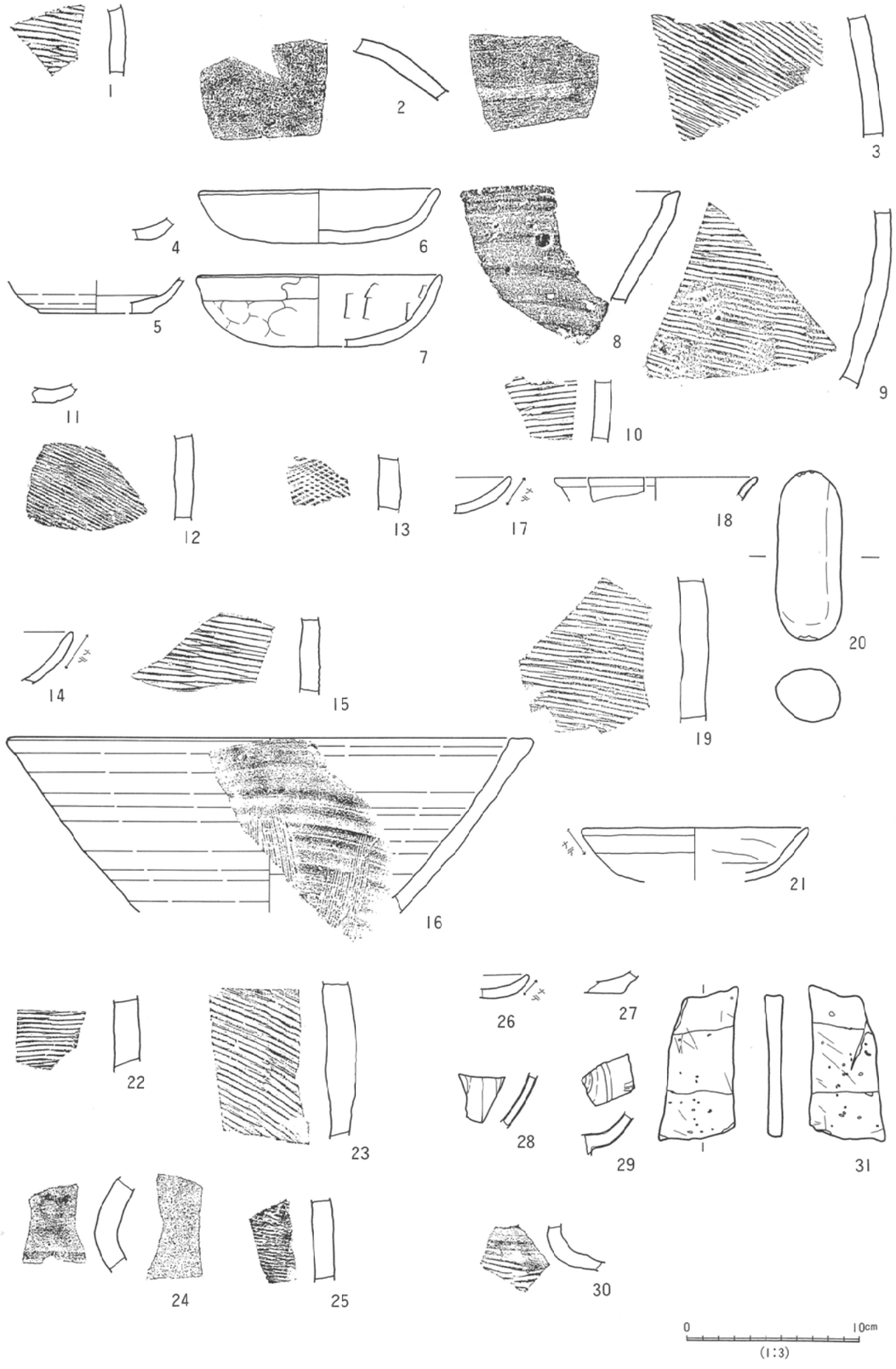
土師質土器皿は破片数91点、個体数44点出土している。ロクロ成形（Ⅰ類）が４点（第36図５・11・27、第45図７）確認された。第45図７の底部外面には、板状の板目痕がある。てづくね成形（Ⅱ類）には、口径８cm前後、器高1.5cm前後の小型（Ⅱ類Ａ）と、口径13cm前後、器高３cm前後の大型（Ⅱ類Ｂ）に分けることができる。小型のものの中でも、第45図１・２のように口縁と底部が明瞭で平行になるもの（Ⅱ類Ａ１）と、第45図４・第40図30のように底が弧を描くようなもの（Ⅱ類Ａ２）がある。大型には第40図34等のように口縁が直線的に立ち上がるもの（Ⅱ類Ｂ１）がある。この中には、口端部に面を作るような特徴がある（第40図３・34）。それと別に、体部がやや膨らみを持って立ち上がる第36図７等がある（Ⅱ類Ｂ２）。てづくね成形では、口縁から体部に1/2〜1/3に横ナデが見られる。内底面のナデは不明瞭である。器厚は全体的に薄いが、作り慣れたシャープさが無い。

石製品には、石鉢・砥石がある。石鉢は内面に使用痕、外面にノミ痕が認められる。第45図17は、珠洲の擂鉢（第37図15等）とほぼ規格が等しく、陶器との使い分けが行われていたと推定される。

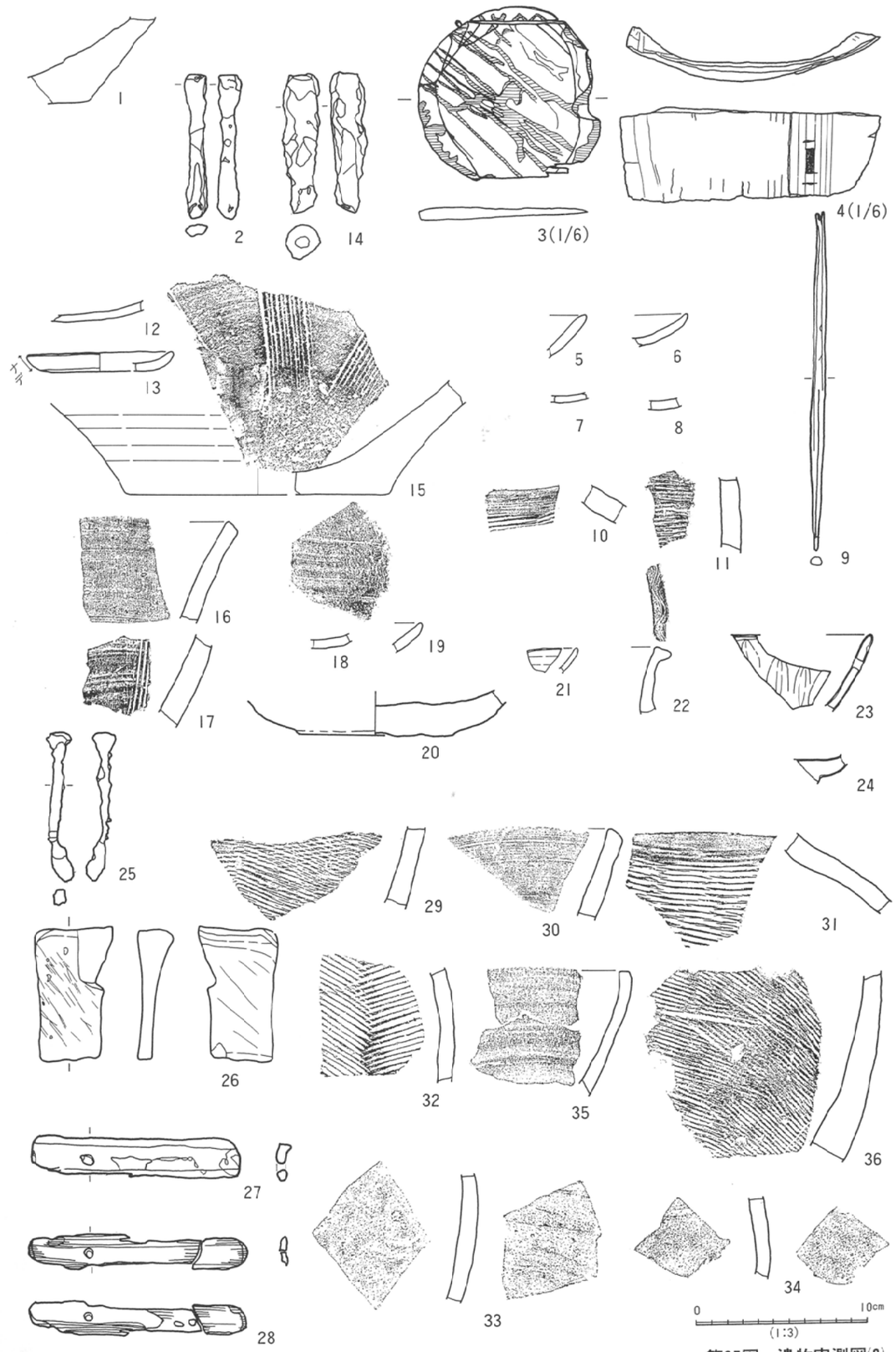
木製品は、井戸跡からの出土している。柄杓・曲物・箸・加工材・井戸部材等である。自然科学分析の結果、井戸部材はスギが用いられていることが分かっている。

鉄製品は、刀子（第45図19）、釘（第37図２・25）、鋏？（第40図37）等である。

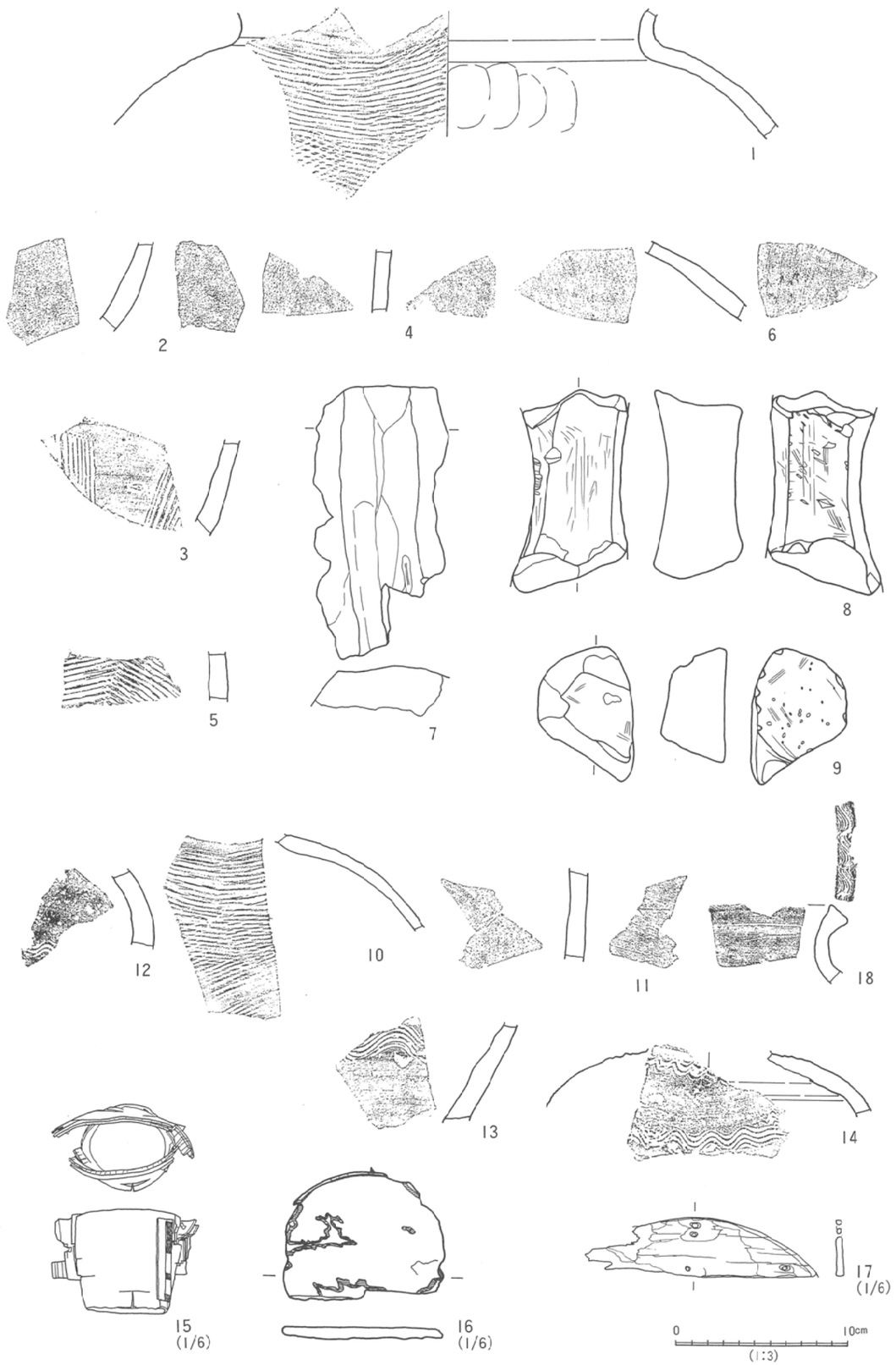
時代が下がる磁器（第42図２）が出土している。外面二重網目文、内面一重網目文、見込に花弁の染付を持つ。同時期の遺物がⅡ層から15点（図版43）出土している。



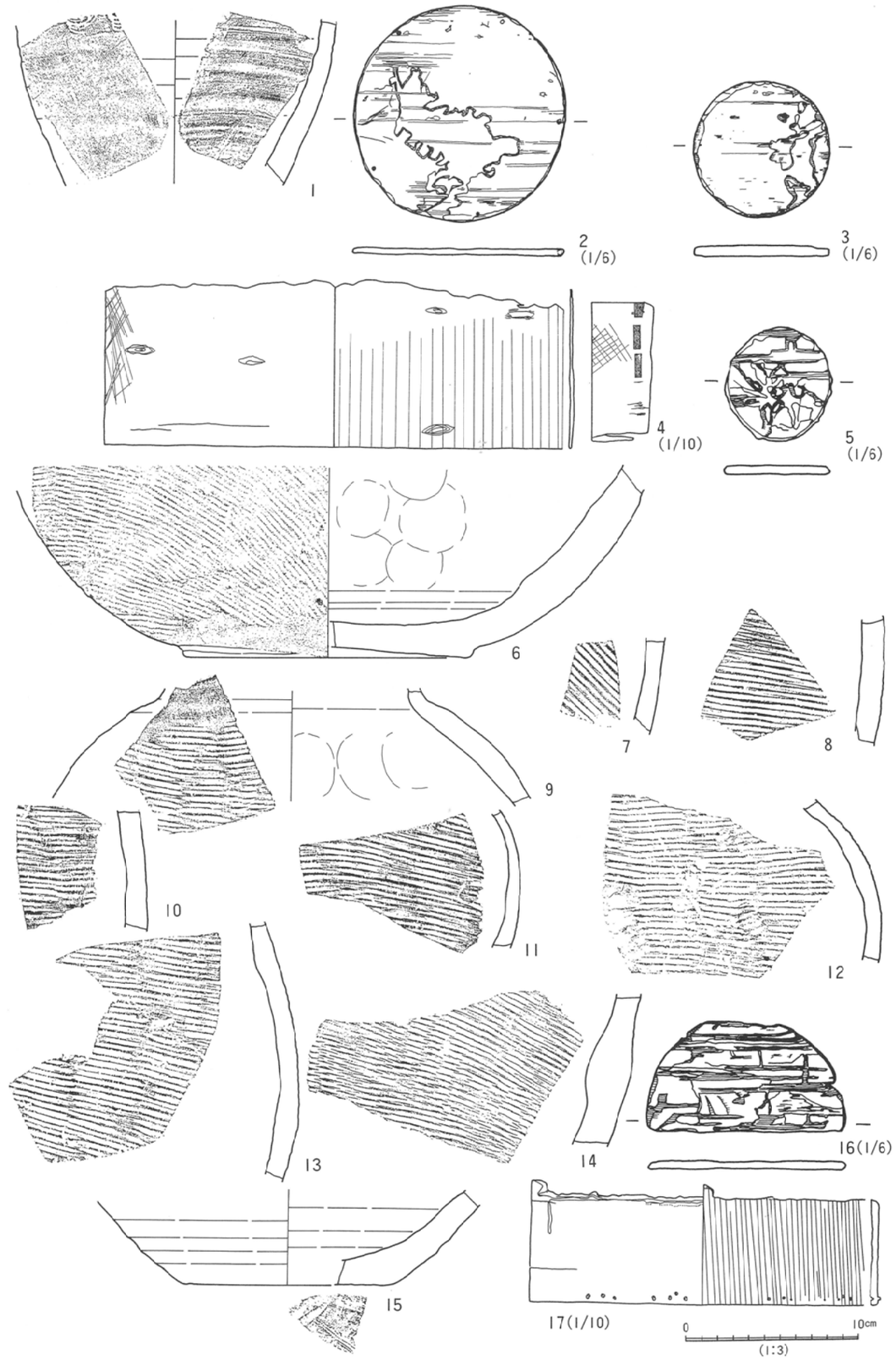
第36図　遺物実測図(8)



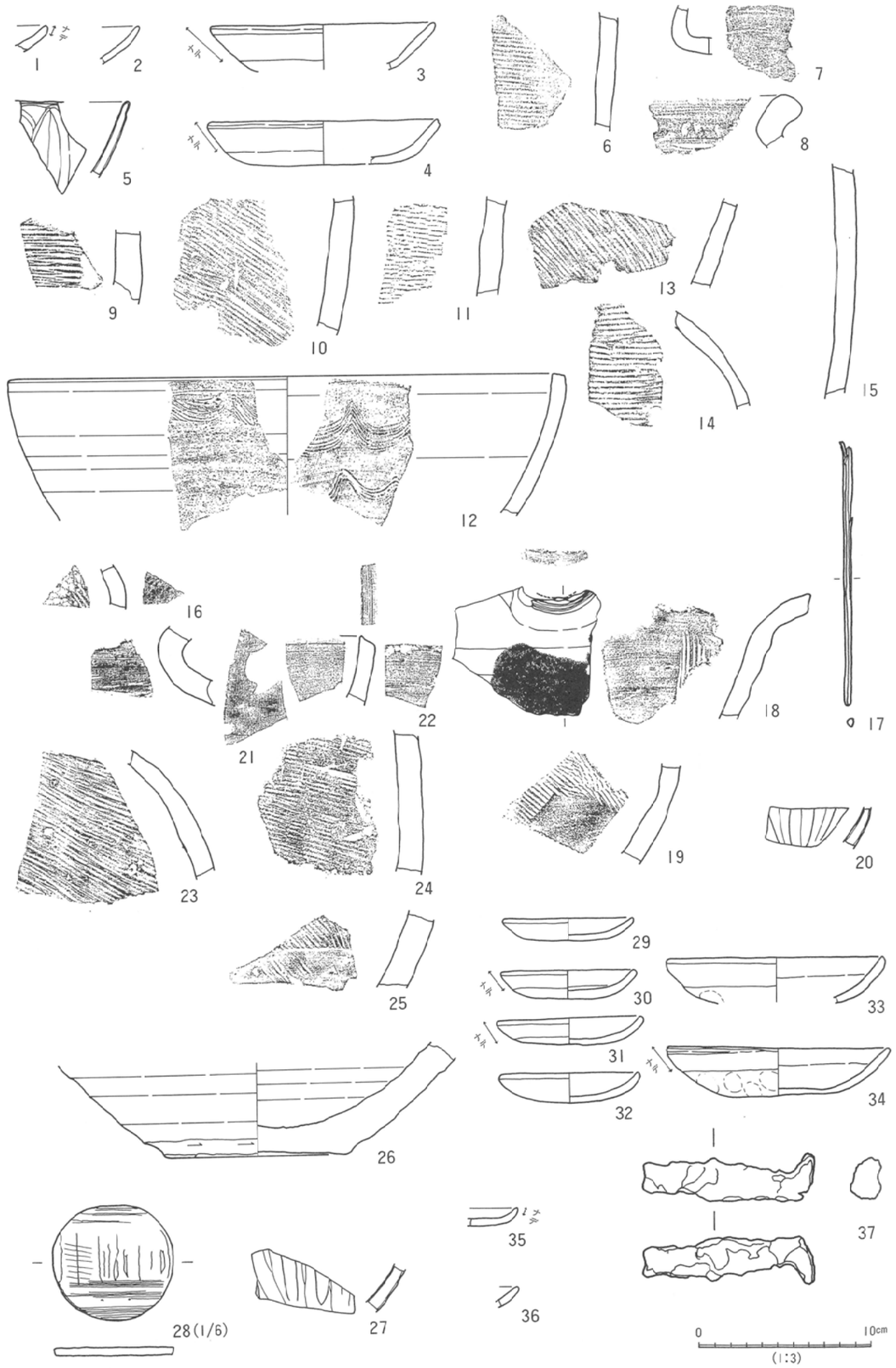
第37図　遺物実測図(9)



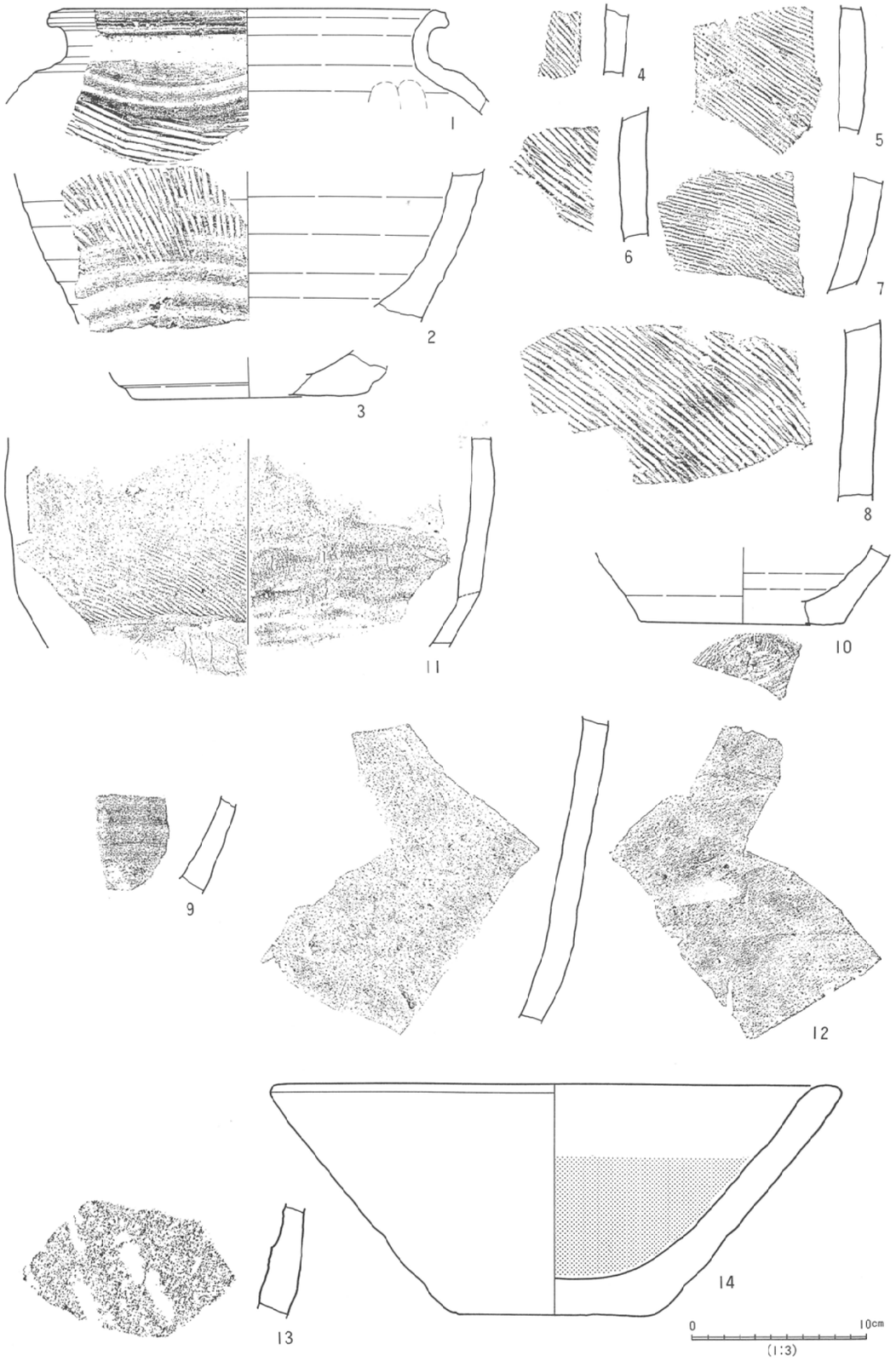
第38図　遺物実測図(10)



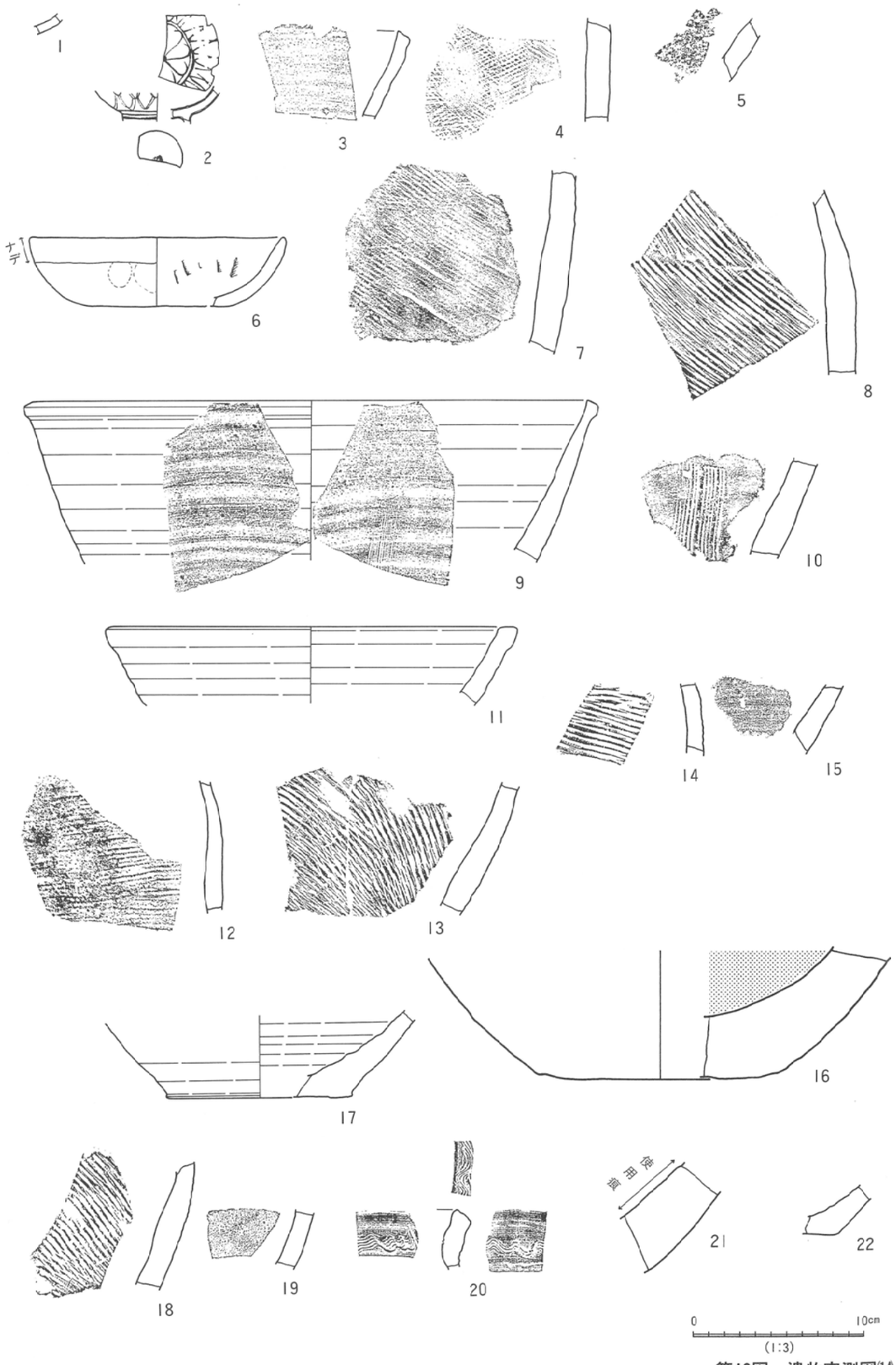
第39図　遺物実測図(11)



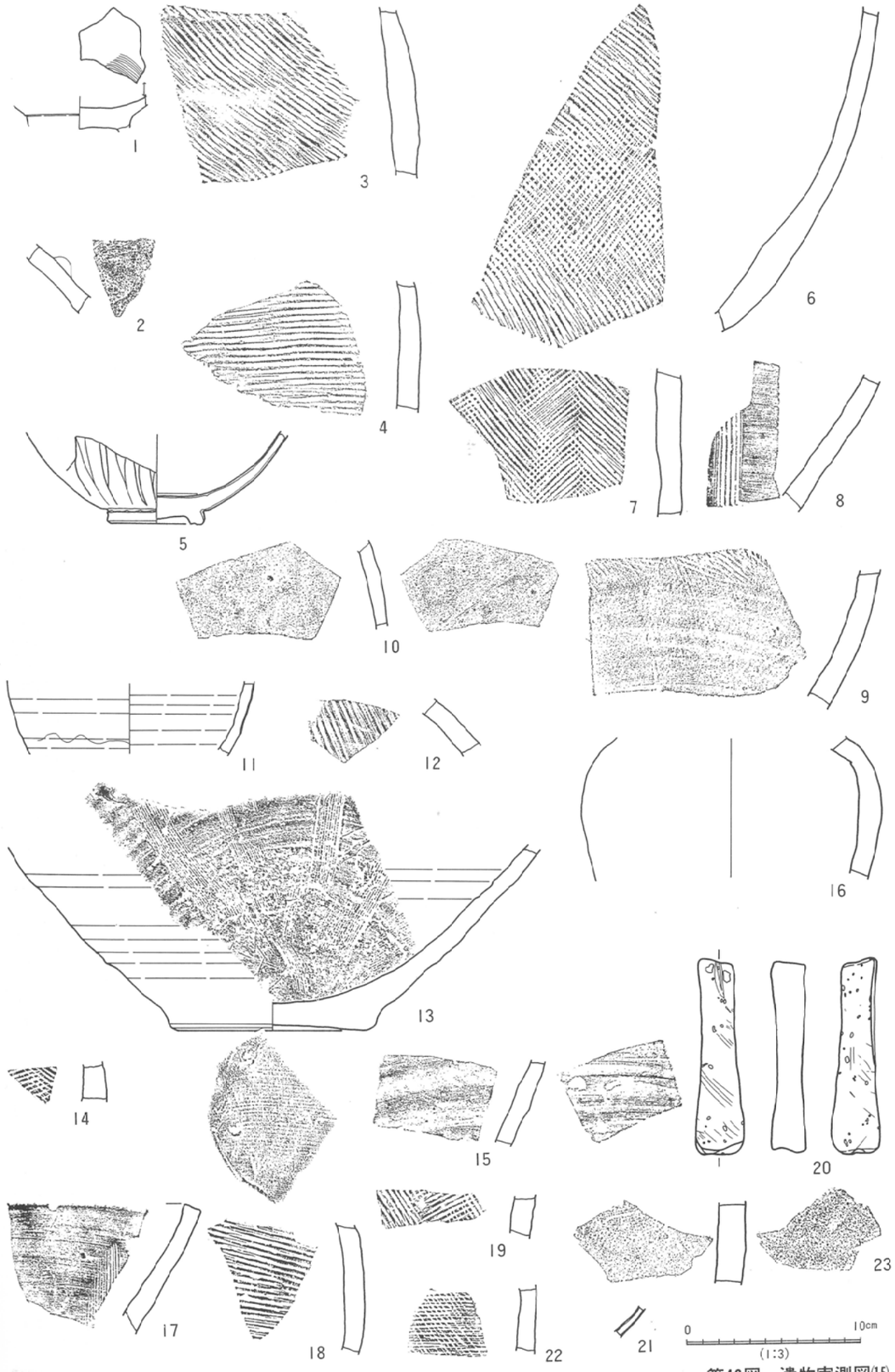
第40図　遺物実測図(12)



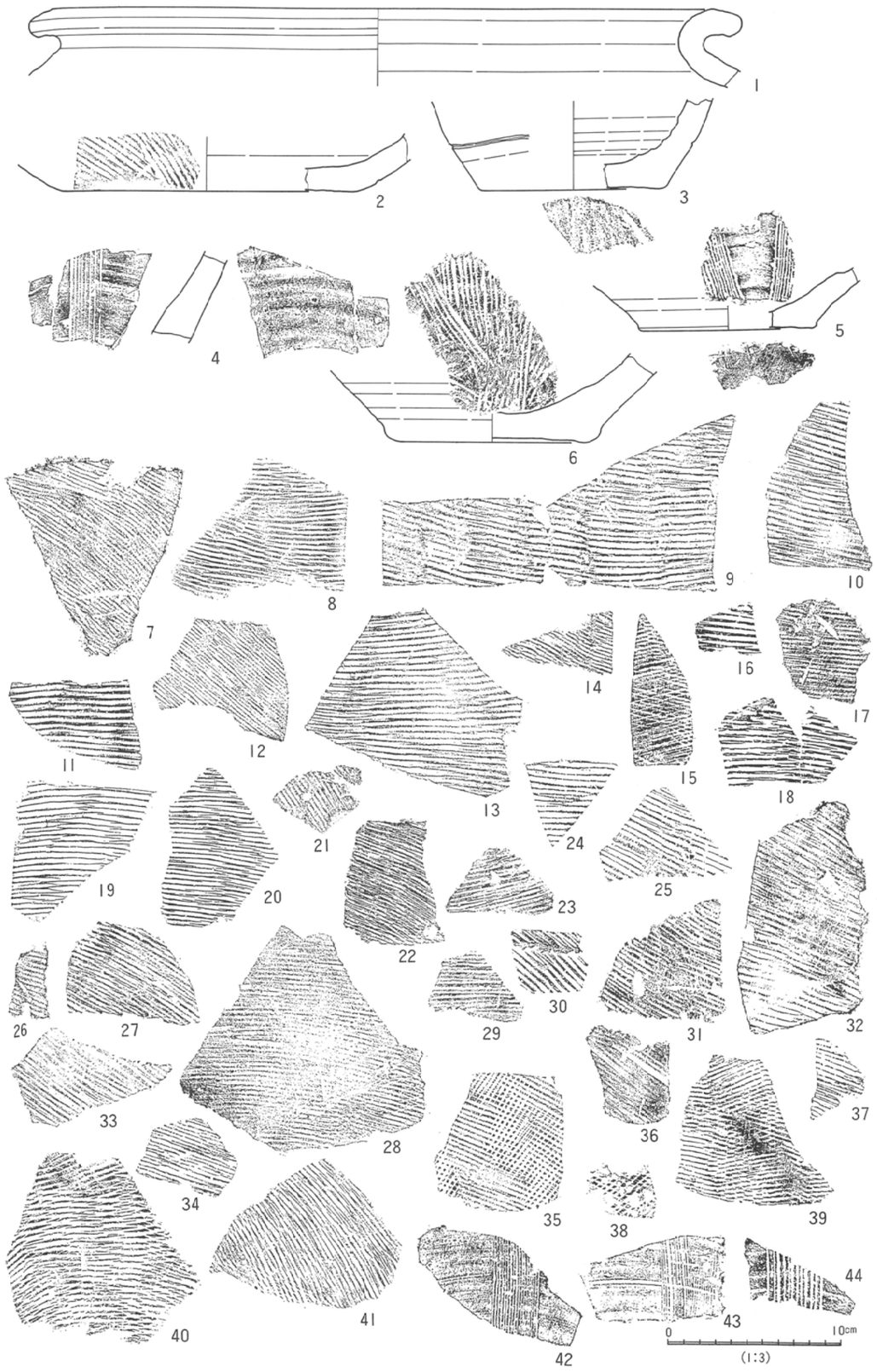
第41図　遺物実測図(13)



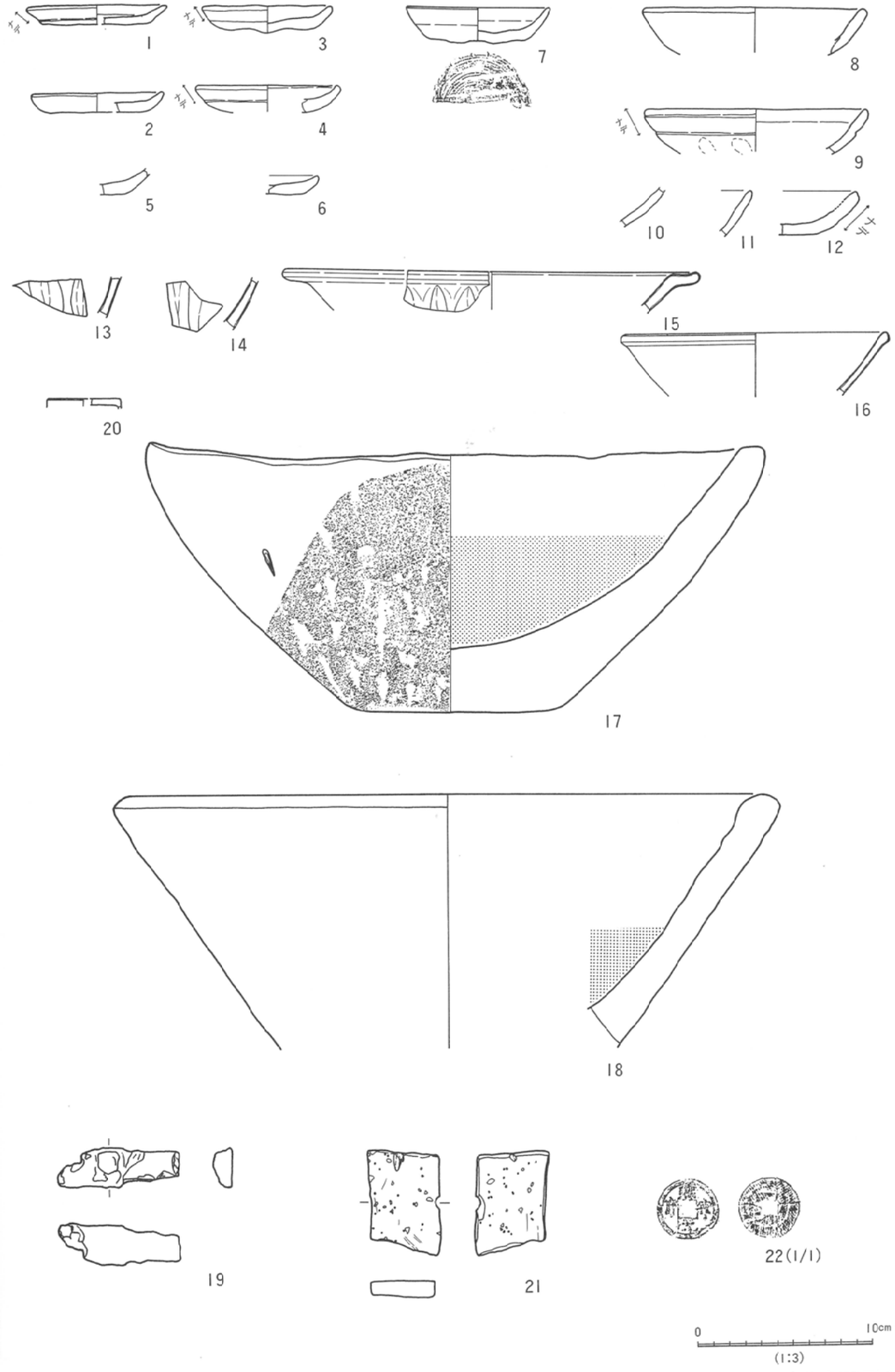
第42図　遺物実測図(14)



第43図　遺物実測図(15)



第44図　遺物実測図(16)



第45図　遺物実測図(17)

表 5　遺物観察表

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
29	1	26	SD138F(46-23G)	須恵器坏 底～体部	底(9.0)	7.5YR6/2 白色粒・細礫 精良	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 底面ヘラ切り
29	2	26	SK322F	須恵器坏 底～体部	底(6.5)	5Y6/1灰 白色粒・細礫 粗雑	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 底外ヘラ切り
29	3	26	SD475F	須恵器高台付坏 底～体部	高台 (5.2)	5Y6/1灰 白色粒・細礫 粗雑	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 底外糸切り 高台内傾
29	4	26	SD408F(36-19G)	須恵器双耳壺 耳部		5Y6/1灰 良	5Y6/1灰 10Y4/2オリーブ灰自然釉	
29	5	26	SK39F SD430F(44・45-21G)	須恵器壺 口縁～頸部	口(12.5)	5Y5/1灰 白色粒・細小礫 良	5Y3/1オリーブ黒	内外面ロクロナデ 内面被熱
29	6	26	SD106F	須恵器壺 口縁～頸部	口(12.9)	5Y5/1灰 白色粒・細小礫・良	5Y5/1灰	内外面ロクロナデ
29	7	26	SK39F	須恵器壺 口縁～頸部	口(11.5)	5Y6/2灰オリーブ 良	7.5GY4/1暗緑灰	内外面ロクロナデ
29	8	26	48-21-22G 46-22G	須恵器壺 口縁～肩部		5Y6/1灰 白色粒・細礫 精良　しっとり	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ
29	9	26	SP753F 29-17・18G	須恵器壺 体～底部		5Y6/1灰 白色粒・細礫 精良　しっとり	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 1-8と同一個体
29	10	26	29-16G	須恵器甕 口縁～肩部		N5/灰 白色灰・細礫 良	N5/灰	頸部内外ロクロナデ 肩部外タタキ
29	11	26	SK623F 29・32-17・18G	須恵器甕 口縁～肩部		N5/灰 白色粒・細礫 良	N5/灰	頸部内外ロクロナデ 肩部外タタキ
30	1	27	22-24G	須恵器甕 胴～体部		7.5YR5/2灰褐 器面黒色吹き出し 白色粒・細礫　良	5Y6/1灰	外面タタキ 外面被熱
30	2	27	SK318F 31-19G	須恵器甕 体部		2.5Y6/1黄灰 白色灰・細礫 良	2.5Y6/1黄灰 5Y4/3暗オリーブ自然釉	外面タタキ
30	3	26	53-21G	須恵器甕 体部		7.5Y6/1灰 白色粒・細礫 良	N5/灰	外面タタキ
30	4	26	SK47-54F 52-22G 49・50-23G	須恵器甕 体部		7.5YR6/1褐灰 白色粒・細礫 良	5BG4/1暗青灰	外面タタキ
30	5	27	SK318F	須恵器甕 底部		7.5Y6/1灰 白色粒・細礫 粗雑	7.5Y6/1灰	外面タタキ 内面一部粗ハケメ
31	1	28	SK174F1 (RP8)	赤焼土器坏	口13.1 底5.0 高5.0	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 底部が突き出す
31	2	28	31-19G	赤焼土器坏	口13.4 底5.4 高4.6	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 底部が突き出す
31	3	28	Sk623F (RP18)	赤焼土器坏	口12.6 底5.3 高4.8	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 底部が突き出す
31	4	28	SD653F 45-23G	赤焼土器坏	口12.7 底4.8 高5.0	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5Y7/6橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 底部が突き出す
31	5	28	SP527F	赤焼土器坏	口(13.6) 底5.1 高5.2	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 外面のナデが強い 底外糸きり板目痕 底外黒色変化
31	6	28	SD653F	赤焼土器坏	口12.4 底5.0 高4.2	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR7/6橙 内面一部 2.5YR6/8橙赤彩？	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 歪みあり
31	7	28	29-16G	赤焼土器坏	口12.7 底6.0 高5.2	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 器厚が全体的に厚く重い
31	8	28	47-20G 47-22G	赤焼土器坏	口12.2 底5.4 高4.6	分類① 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり？板目痕 口縁部やや外傾
31	9	28	31-19G	赤焼土器坏	口12.9 底5.2 高4.7	分類① 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 底部やや突き出す
31	10	28	SP526F	赤焼土器坏	口(13.8) 底6.0 高5.2	分類① 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
31	11	28	SK148F	赤焼土器坏	口(12.8) 底5.6 高4.8	分類① 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり
31	12	28	SK523Y(RP16) SP523F	赤焼土器坏	口13.4 底5.2 高4.8	分類① 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR7/4橙 内面黒色変化	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾 内面に炭化物付着
31	13	28	SD378F(30-22G) (RP11)	赤焼土器坏	口12.7 底5.0 高4.7	分類② 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 底部が突き出す 口縁部の内外面 一部に炭化物付着
31	14	28	SD388F1(30-18G) (RP10)	赤焼土器坏	口12.8 底5.7 高4.6	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す 外面細いナデ痕

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
31	15	28	51-20G	赤焼土器坏	口12.8 底5.0 高4.6	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 底部が突き出す 口縁部やや外傾
31	16	28	45-23G	赤焼土器坏	口12.2 底5.0 高5.0	分類② 赤褐色粒微量・小礫 器面細凹凸　良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり
31	17	28	48・49-19・20G	赤焼土器坏	口(14.2) 底5.5 高5.2	分類② 赤褐色粒微量・黒色粒 小礫　良	10YR7/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり
31	18	28	48・49-19・20G 45・46-22G	赤焼土器坏	口13.6 底5.4 高4.6	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙 外面一部赤色変化 器厚がやや厚く重い	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 外面細かいナデ痕
32	1	28	SK318F	赤焼土器坏	口13.2 底6.0 高4.5	分類② 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 外面細かいナデ痕
32	2	28	SE84F	赤焼土器坏	口(13.0) 底5.9 高4.5	分類② 赤褐色粒多・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 体部下膨らむ
32	3	29	SK165F	赤焼土器坏	口12.4	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ
32	4	29	X-0	赤焼土器坏	口12.0 底5.2 高3.7	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 外細かいナデ痕
32	5	29	SK175F(RP4) 45-22G	赤焼土器坏	口12.6 底5.4 高4.8	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良　砂質感が強い	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
32	6	29	46-22G	赤焼土器坏	口12.5 底5.2 高4.8	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 内面に茶色の汚れ
32	7	29	SK175F(RP3)	赤焼土器坏	口13.0 底5.4 高4.4	分類③ 赤褐色粒・黒色粒 小礫　粗	7.5YR7/6橙 口縁部やや外傾	内外面ロクロタタキ 底部糸きり 底部が突き出す
32	8	29	SD139F	赤焼土器坏	口11.8 底4.8 高4.6	分類③ 赤褐色粒・黒色粒 小礫　粗	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 底部が突き出す 器が厚く重い
32	9	29	SK148F	赤焼土器坏	口11.8 底5.0 高5.4	分類③ 赤褐色粒・黒色粒 小・細礫　粗	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す 器が厚く重い
32	10	29	SK318F	赤焼土器坏	底4.8	分類③赤褐色粒・中礫 小礫　粗	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す
32	11	29	SK175F(RP5)	赤焼土器坏	口12.7 底4.8 高4.9	分類④ 黒色粒量・小礫 良	10YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す 器厚がやや厚く重い
32	12	29	45-22G	赤焼土器坏	口12.5 底5.0 高4.2	分類④ 黒色粒量・小礫 良	10YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 底部が突き出す 器厚がやや厚く重い
32	13	29	45-23G	赤焼土器坏	口12.0 底5.8 高4.1	分類⑤ 小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
32	14	29	SD388F(30-18G)	赤焼土器坏	口12.6 底5.4 高4.2	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	10YR8/4浅黄橙 内外面一部黒色の汚れ	内外面ロクロナデ 底部糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
32	15	29	46-22G	赤焼土器坏	口(12.0) 底5.6 高4.0	分類⑤ 小礫 精良	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕
32	16	29	SD388F	赤焼土器坏	口12.2 底5.0 高4.2	分類⑤ 細礫 精良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
32	17	29	SK175F(RP6)	赤焼土器坏	口13.8 底 高	分類⑤ 黒色粒・細礫 精良	7.5YR6/1褐灰	内外面ロクロナデ 被熱？
32	18	29	SD388F	赤焼土器坏	口13.4 原6.0 高4.6	分類⑤ 細礫 精良	7.5YR8/2灰白	内外面ロクロナデ
32	19	29	48・49-19・20G	赤焼土器坏	口12.4 底5.8 高4.6	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 内面一部2.5YR7/6橙赤彩？	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
32	20	29	26-22G	赤焼土器坏	口12.4 底5.8 高4.2	分類⑤ 小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 内面一部2.5YR6/8橙 赤彩？	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
33	1	29	47-22G	赤焼土器坏	口(12.0) 底5.2 高4.5	分類⑤ 細礫 精良	7.5YR8/2灰白	内外面ロクロナデ 底外糸きり
33	2	29	SK28F	赤焼土器坏	口11.8 底4.4 高4.0	分類⑤ 小礫 精良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
33	3	29	SK174F (RP7)	赤焼土器坏	口13.5 底4.8 高4.6	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 内面一部黒色変化 器厚がやや厚く重い	内外面ロクロナデ 底外糸きり 底部が突き出す
33	4	29	45-22G	赤焼土器坏	口14.6 底5.9 高5.3	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 器厚がやや厚く重い	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す
33	5	29	47・48-22G	赤焼土器坏	口12.9 底4.8 高5.0	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 口縁部やや外傾
33	6	29	48・49-19・20G	赤焼土器坏	口(13.0) 底5.4 高4.6	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
33	7	30	46・47-22G	赤焼土器坏	口12.0 底4.8 高4.6	分類 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 口縁一部内外炭化物付着 外面一部黒色変化	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 口縁部やや外傾

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
31	15	28	51-20G	赤焼土器坏	口12.8 底5.0 高4.6	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 底部が突き出す 口縁部やや外傾
31	16	28	45-23G	赤焼土器坏	口12.2 底5.0 高5.0	分類② 赤褐色粒微量・小礫 器面細凹凸　良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり
31	17	28	48・49-19・20G	赤焼土器坏	口(14.2) 底5.5 高5.2	分類② 赤褐色粒微量・黒色粒 小礫　良	10YR7/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり
31	18	28	48・49-19・20G 45・46-22G	赤焼土器坏	口13.6 底5.4 高4.6	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙 外面一部赤色変化 器厚がやや厚く重い	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 外面細かいナデ痕
32	1	28	SK318F	赤焼土器坏	口13.2 底6.0 高4.5	分類② 赤褐色粒・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 外面細かいナデ痕
32	2	28	SE84F	赤焼土器坏	口(13.0) 底5.9 高4.5	分類② 赤褐色粒多・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 体部下膨らむ
32	3	29	SK165F	赤焼土器坏	口12.4	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ
32	4	29	X-0	赤焼土器坏	口12.0 底5.2 高3.7	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 外細かいナデ痕
32	5	29	SK175F(RP4) 45-22G	赤焼土器坏	口12.6 底5.4 高4.8	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良　砂質感が強い	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
32	6	29	46-22G	赤焼土器坏	口12.5 底5.2 高4.8	分類② 赤褐色粒微量・小礫 良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 内面に茶色の汚れ
32	7	29	SK175F(RP3)	赤焼土器坏	口13.0 底5.4 高4.4	分類③ 赤褐色粒・黒色粒 小礫　粗	7.5YR7/6橙 口縁部やや外傾	内外面ロクロクタキ 底部糸きり 底部が突き出す
32	8	29	SD139F	赤焼土器坏	口11.8 底4.8 高4.6	分類③ 赤褐色粒・黒色粒 小礫　粗	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 底部が突き出す 器が厚く重い
32	9	29	SK148F	赤焼土器坏	口11.8 底5.0 高5.4	分類③ 赤褐色粒・黒色粒 小・細礫　粗	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す 器が厚く重い
32	10	29	SK318F	赤焼土器坏	底4.8	分類③赤褐色粒・中礫 小礫　粗	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す
32	11	29	SK175F(RP5)	赤焼土器坏	口12.7 底4.8 高4.9	分類④ 黒色粒量・小礫 良	10YR8/3浅黄橙	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す 器厚がやや厚く重い
32	12	29	45-22G	赤焼土器坏	口12.5 底5.0 高4.2	分類④ 黒色粒量・小礫 良	10YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 底部が突き出す 器厚がやや厚く重い
32	13	29	45-23G	赤焼土器坏	口12.0 底5.8 高4.1	分類⑤ 小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
32	14	29	SD388F(30-18G)	赤焼土器坏	口12.6 底5.4 高4.2	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	10YR8/4浅黄橙 内外面一部黒色の汚れ	内外面ロクロナデ 底部糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
32	15	29	46-22G	赤焼土器坏	口(12.0) 底5.6 高4.0	分類⑤ 小礫 精良	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕
32	16	29	SD388F	赤焼土器坏	口12.2 底5.0 高4.2	分類⑤ 細礫 精良	7.5YR8/6浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
32	17	29	SK175F(RP6)	赤焼土器坏	口13.8 底 高	分類⑤ 黒色粒・細礫 精良	7.5YR6/1褐灰	内外面ロクロナデ 被熱？
32	18	29	SD388F	赤焼土器坏	口13.4 原6.0 高4.6	分類⑤ 細礫 精良	7.5YR8/2灰白	内外面ロクロナデ
32	19	29	48・49-19・20G	赤焼土器坏	口12.4 底5.8 高4.6	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 内面一部2.5YR7/6橙赤彩？	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
32	20	29	26-22G	赤焼土器坏	口12.4 底5.8 高4.2	分類⑤ 小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 内面一部2.5YR6/8橙 赤彩？	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 糸きり痕が細かい
33	1	29	47-22G	赤焼土器坏	口(12.0) 底5.2 高4.5	分類⑤ 細礫 精良	7.5YR8/2灰白	内外面ロクロナデ 底外糸きり
33	2	29	SK28F	赤焼土器坏	口11.8 底4.4 高4.0	分類⑤ 小礫 精良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
33	3	29	SK174F (RP7)	赤焼土器坏	口13.5 底4.8 高4.6	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 内面一部黒色変化 器厚がやや厚く重い	内外面ロクロナデ 底外糸きり 底部が突き出す
33	4	29	45-22G	赤焼土器坏	口14.6 底5.9 高5.3	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 器厚がやや厚く重い	内外面ロクロナデ 底部糸きり 底部が突き出す
33	5	29	47・48-22G	赤焼土器坏	口12.9 底4.8 高5.0	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 口縁部やや外傾
33	6	29	48・49-19・20G	赤焼土器坏	口(13.0) 底5.4 高4.6	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 口縁部やや外傾
33	7	30	46・47-22G	赤焼土器坏	口12.0 底4.8 高4.6	分類 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 口縁一部内外炭化物付着 外面一部黒色変化	内外面ロクロナデ 底外糸きり板目痕 口縁部やや外傾

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
33	8	30	45-23G	赤焼土器坏	口(12.4) 底5.0 高(4.4)	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 底外糸きり 外面細かいナデ痕
33	9	30	SK28F	赤焼土器坏	口13.0 底5.8 高4.2	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR8/4浅黄橙 底部が突き出す	内外面ロクロナデ 底外糸きり？ 外面細かいナデ痕
33	10	30	SK148F	赤焼土器坏	口11.6 底 高	分類⑤ 黒色粒・小礫 精良	7.5YR6/4浅黄色橙 底部が突き出す	内外面ロクロナデ 底外糸きり 外面細かいナデ痕
33	11	30	48-24G	赤焼土器坏	口(11.3)	分類⑤ 細礫 精良	10YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ 体外面墨書「入」
33	12	30	46-22G	赤焼土器高台坏	口13.4 高台6.2 高5.4	分類④ 黒色粒量・小礫 良	10YR8/4浅黄橙	内外面ロクロナデ
33	13	30	SK28F SP289F	黒色土器高台坏	高台6	細礫 精良	7.5YR8/1灰白	内面黒色処理ミガキ 外面赤彩？ 底外糸きり
33	14	30	SK525F	黒色土器高台坏	高台7.3	黒色粒・細礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内面黒色処理ミガキ 底外糸きり
33	15	30	SK318F 33-17G	黒色土器高台坏	口(13.2) 高台6.1 高5.8	赤褐色粒・細礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内面黒色処理ミガキ 底外糸きり
33	16	30	SK41F	黒色土器高台坏	高　台 (5.6)	赤褐色粒・白色粒 細礫　良	7.5YR8/3浅黄橙	内面黒色処理ミガキ 底外糸きり
33	17	30	42-24G	黒色土器高台坏	高台5.7	赤褐色粒・小礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内面黒色処理ミガキ 底外糸きり
33	18	30	SK30F SP680F	黒色土器高台坏		黒色粒・細礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内面黒色処理ミガキ 底外糸きり
33	19	30	SK320F	黒色土器高台坏	底6.8	黒色粒・細礫 良	7.5YR8/3浅黄橙	内面黒色処理ミガキ 底外糸きり
33	20	30	47-22G	赤焼土器坏		分類⑤ 細礫 精良	7.5YR6/4にぶい橙	内外面ロクロナデ 体外面墨書
33	21	31	SD709F(RP20)	土製品土錘	長4.0 幅1.2			5g
33	22	31	SP219F(RP17)	土製品土錘	長4.4 幅1.3			7g
33	23	31	SD120F	土製品土錘	長3.2 幅1.3			5g
33	24	31	SD370F	土製品土錘	長3.8 幅1.2			5g
33	25	31	SK342F	土製品土錘	長5.4 幅1.3			8g
33	26	31	SK548F	土製品土錘	長6.3 幅1.6			20g
34	1	30	47・48-22G	赤焼土器甕	口(26.4)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	口縁部ロクロナデ 体部外カキ目
34	2	30	48-25G	赤焼土器甕	口(22.4)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	5YR7/8橙	内外面ロクロナデ 内面一部黒色変化
34	3	30	SK317F	赤焼土器甕	口(21.8)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	5YR7/8橙	内外面ロクロナデ 外面一部黒色変化被熱
34	4	30	SP604F	赤焼土器甕	口(22.2)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ
34	5	30	45・46-22G	赤焼土器甕	口(20.6)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ
34	6	30	SD418F33-21G	赤焼土器甕	口(22.8)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ
34	7	31	SK28F	赤焼土器塙	口(39.6)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ 外面炭化物付着
34	8	31	47-22G	赤焼土器塙	口(37.2)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ 外面炭化物付着
34	9	30	45-22G	赤焼土器塙	口(37.2)	分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ 外面炭化物付着
35	1	31	SD112F	赤焼土器甕		分類① 赤褐色粒多量・小礫 良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ロクロナデ 外タタキ内あて痕
35	2	31	SD418F33-21G	赤焼土器甕		分類⑤ 小礫　良	7.5YR7/3にぶい橙	内外面ロクロナデ 外タタキ内あて痕
35	3	31	33-21G	赤焼土器甕		分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/4にぶい橙	内外面ナデ 内外面炭化物付着
35	4	31	SD113F	赤焼土器甕		分類①	7.5YR7/6にぶい橙	内外面ロクロナデ 外タタキ内あて痕
35	5	31	45-23G	赤焼土器甕		分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/6橙	内外面ロクロナデ 外タタキ内あて痕
35	6	31	42-24G42-25G 42・43-23G	赤焼土器塙		分類① 赤褐色粒・小礫　良	7.5YR7/2にぶい橙	内外面ロクロナデ 外タタキ内あて痕
36	1	39	SK23F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-9・10・15・19，44-19・25同一
36	2	42	SK25Y	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ナデ
36	3	39	SK27F	珠洲壺体部		白色微粒	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 外面灰付着　44-13同一

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
36	4	32・33	SK30F	土師質土器皿		黒色微粒・細礫 良	10YR7/2にぶい黄橙	てづくね？
36	5	33	SK30F	土師質土器皿	底(5.4)	赤褐色微粒・細礫 良	7.5YR8/4にぶい浅黄橙	ロクロ成形
36	6	33	SK30F	土師質土器皿	口(13.8) 高3.2	細礫 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ 内外面に黒色の汚れ
36	7	33	SK33F	土師質土器皿	口(14.0) 高4.0	黒色微粒・細礫 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ 内外面に黒色の汚れ
36	8	35	SE34F	珠洲？擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5Y5/1灰	内外面ロクロナデ VI期
36	9	35	SE34F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 黒色吹き出し	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・10・15・19，44-19・25同一
36	10	35	SE34F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 黒色吹き出し	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・15・19，44-19・25同一
36	11	33	SK36F	土師質土器皿		赤褐色微粒・細礫 良	10YR8/2浅黄橙	ロクロ成形
36	12	39	SK36F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒	N4/灰	外打圧痕内押圧痕
36	13	39	SK38F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒	10Y5/1灰 外N5/灰	外打圧痕内押圧痕 43-14同一
36	14	32	SK37F	土師質土器皿		精良	10YR8/2灰白	てづくね　横ナデ 口縁部炭化物付着
36	15	39	SK37F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・10・19，44-19・25同一
36	16	34	SK37F SK760F	珠洲擂鉢	口(30.0)	黒色微粒・小礫	N5/灰	11条の施紋具 使用痕あり 42-11，43-13同一　IV期
36	17	32	SK41F	土師質土器皿		赤褐色微粒・細礫 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね　横ナデ
36	18	巻頭2	SK41F	青磁碗	口(11.7)	黒色微粒	10Y6/1灰	
36	19	39	SK41F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 黒色吹き出し	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・10・15，44-19・25同一
36	20	43	SE41F	石製品	長9.6 幅3.7			リュウモン岩 両端部に打痕あり
36	21	33	SK47F	土師質土器皿	口13.0	赤褐色微粒 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ 外面に黒色の汚れ
36	22	39	SK49F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断5Y6/1 内外5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 44-20同一
36	23	39	SK54F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫		外打圧痕内押圧痕
36	24	42	SK58F	瓷器系甕体頸部		黒色微粒・白色微粒	2.5Y7/1灰白 内外面褐色　釉灰オリーブ	
36	25	39	SK62F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 細礫	N4/灰	外打圧痕内押圧痕
36	26	32	SK63F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね　横ナデ
36	27	33	SK63F	土師質土器皿		赤褐色微粒・小礫 良	10YR7/2にぶい黄橙	ロクロ成形
36	28	巻頭2	SK63F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉緑灰	外体部鎬蓮弁紋
36	29	巻頭2	SK63F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉緑灰	見込み画花紋
36	30	36	SK63F	珠洲壺頸～体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/1灰	外打圧痕 38-1同一　IV期
36	31	43	SK63F	石製品砥石	長8.2 幅4.2			白色泥岩
37	1	39	SK64F	珠洲壺体～底部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	内外面ロクロナデ
37	2	51	SK66F	鉄製品釘	長8.5 幅1.3			
37	3	50	SK67F	木製品曲物底	径(21.0) 厚1.5			
37	4	50	SK67F	木製品曲物	高10.4 厚0.4			
37	5	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	6	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒多量 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	7	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	8	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白 内面灰色が強い	てづくね
37	9	51	SK68F	木製品箸	長19.5 幅0.6			
37	10	39	SK69F	珠洲壺頸～体部		黒色微粒・白色微粒 小礫	断5Y6/2灰オリーブ 内5Y4/1灰外5Y5/1灰	外打圧痕

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
36	4	32・33	SK30F	土師質土器皿		黒色微粒・細礫 良	10YR7/2にぶい黄橙	てづくね？
36	5	33	SK30F	土師質土器皿	底(6.4)	赤褐色微粒・細礫 良	7.5YR8/4にぶい浅黄橙	ロクロ成形
36	6	33	SK30F	土師質土器皿	口(13.8) 高3.2	細礫 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ 内外面に黒色の汚れ
36	7	33	SK33F	土師質土器皿	口(14.0) 高4.0	黒色微粒・細礫 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ 内外面に黒色の汚れ
36	8	35	SE34F	珠洲？擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5Y5/1灰	内外面ロクロナデ VI期
36	9	35	SE34F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 黒色吹き出し	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・10・15・19, 44-19・25同一
36	10	35	SE34F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 黒色吹き出し	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・15・19, 44-19・25同一
36	11	33	SK36F	土師質土器皿		赤褐色微粒・細礫 良	10YR8/2浅黄橙	ロクロ成形
36	12	39	SK36F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒	N4/灰	外打圧痕内押圧痕
36	13	39	SK38F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒	10Y5/1灰 外N5/灰	外打圧痕内押圧痕 43-14同一
36	14	32	SK37F	土師質土器皿		精良	10YR8/2灰白	てづくね　横ナデ 口縁部炭化物付着
36	15	39	SK37F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・10・19, 44-19・25同一
36	16	34	SK37F SK760F	珠洲擂鉢	口(30.0)	黒色微粒・小礫	N5/灰	11条の施紋具 使用痕あり 42-11, 43-13同一　IV期
36	17	32	SK41F	土師質土器皿		赤褐色微粒・細礫 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね　横ナデ
36	18	巻頭2	SK41F	青磁碗	口(11.7)	黒色微粒	10Y6/1灰	
36	19	39	SK41F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 黒色吹き出し	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・10・15, 44-19・25同一
36	20	43	SE41F	石製品	長9.6 幅3.7			リュウモン岩 両端部に打痕あり
36	21	33	SK47F	土師質土器皿	口13.0	赤褐色微粒 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ 外面に黒色の汚れ
36	22	39	SK49F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断5Y6/1 内外5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 44-20同一
36	23	39	SK54F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫		外打圧痕内押圧痕
36	24	42	SK58F	瓷器系甕体頸部		黒色微粒・白色微粒	2.5Y7/1灰白 内外面褐色　釉灰オリーブ	
36	25	39	SK62F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 細礫	N4/灰	外打圧痕内押圧痕
36	26	32	SK63F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね　横ナデ
36	27	33	SK63F	土師質土器皿		赤褐色微粒・小礫 良	10YR7/2にぶい黄橙	ロクロ成形
36	28	巻頭2	SK63F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉緑灰	外体部鏑蓮弁紋
36	29	巻頭2	SK63F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉緑灰	見込み画花紋
36	30	36	SK63F	珠洲壺頸～体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/1灰	外打圧痕 38-1同一　IV期
36	31	43	SK63F	石製品砥石	長8.2 幅4.2			白色泥岩
37	1	39	SK64F	珠洲壺体～底部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	内外面ロクロナデ
37	2	51	SK66F	鉄製品釘	長8.5 幅1.3			
37	3	50	SK67F	木製品曲物底	径(21.0) 厚1.5			
37	4	50	SK67F	木製品曲物	高10.4 厚0.4			
37	5	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	6	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒多量 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	7	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	8	32	SK68F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白 内面灰色が強い	てづくね
37	9	51	SK68F	木製品箸	長19.5 幅0.6			
37	10	39	SK69F	珠洲壺頸～体部		黒色微粒・白色微粒 小礫	断5Y6/2灰オリーブ 内5Y4/1灰外5Y5/1灰	外打圧痕

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
37	11	39	SK59F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕
37	12	33	SK71F	土師質土器皿		赤褐色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	13	33	SK71F	土師質土器皿	口(8.6) 高1.1	黒色微粒 精良	7.5YR7/3にぶい橙	てづくね　横ナデ
37	14	51	SK71F	鉄製品	長8.1 幅1.9			筒状
37	15	34	SK71F	珠洲？擂鉢	底(15.4)	黒色微粒・白色微粒 赤褐微粒・海綿骨針 細礫　黒色の吹き出し	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 11条の施紋具 底外静止糸きり使用痕あり 44-44同一
37	16	39	SK72F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰	内外面ロクロナデ　Ⅳ期
37	17	39	SK72F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 4条以上施紋具 40-18，41-9同一
37	18	32	SK74F	土師質土器皿		赤褐色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	19	32	SK74F	土師質土器皿		黒色微粒多量 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね
37	20	43	SK74F	石製品石鉢	底(8.0)			火山岩
37	21	巻頭2	SK76F	白磁皿			10YR7/2にぶい橙色 釉5YR8/1灰白	15世紀
37	22	33	SK78F	珠洲壺口縁～頸部		黒色微粒・白色微粒 細礫	10Y5/1灰	口縁端部に3条の波状紋 Ⅱ期
37	23	巻頭2	SK80F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉7.5Y4/3暗オリーブ	鎬蓮弁紋
37	24	巻頭2	SK81F	青磁盤		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉7.5Y5/1灰	
37	25	51	SD86F	鉄製品釘	長8.6 幅0.8			
37	26	43	SK87F	石製品砥石	長7.6			砂岩
37	27	51	SE88F	木製品	長12.3 幅2.4			有孔
37	28	51	SE88F	木製品	長12.7 幅1.9			有孔
37	29	39	SK94F	珠洲？体部		黒色微粒・白色微粒 細礫	5Y4/1灰 外2.5GY5/1オリーブ灰	外打圧痕内押圧痕
37	30	39	SK94F	珠洲？擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1	内外面ロクロナデ　Ⅳ期
37	31	39	SD96F	珠洲壺頸～体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 42-14，44-16・18・30同一
37	32	39	SD100F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰 外N4/灰	外打圧痕内押圧痕
37	33	42	SD106F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ナデ
37	34	42	SD106F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ナデ
37	35	39	48-25G SD139F	珠洲？擂鉢		黒名微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ Ⅱ期
37	36	39	SD140F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 40-10・24，42-7，44-17・28同一
38	1	36	SK187F(48-21G) 48-21G	珠洲甕頸～体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/1灰	外打圧痕内押圧痕
38	2	42	SK159F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ナデ 内面茶色の汚れ
38	3	34	SP220F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5YR6/4にぶい橙 外5Y5/1灰	内外面ロクロナデ 焼成不良　44-4同一
38	4	42	SP265F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ナデ
38	5	40	SK290F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
38	6	42	SP292F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ナデ
38	7	43	SP297F	石製品	長15.4 幅7.4			凝灰質砂岩
38	8	43	SP297F	石製品砥石	長10.8 幅6.0			白色泥
38	9	43	SK313F	石製品砥石	長6.6 幅5.5			砂岩
38	10	40	SK310F	珠洲壺肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰 外10Y4/1灰	外打圧痕内押圧痕 内面黒色汚れ、外面灰付着
38	11	42	SK313F SK321F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい黄橙	内外面ナデ
38	12	33	SE323F	珠洲？壺肩部		黒色微粒・白色微粒 細礫	7.5Y7/1灰白 外N4/灰	外面に3条以上の波状紋 外面被熱　38-13・14同一

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
38	13	33	SE323F	珠洲？壺体部		黒色微粒・白色微粒 ・細礫	7.5Y7/1灰白 外10Y4/1灰	外面に8条の波状紋 外面被熱
38	14	33	SE323F	珠洲？壺肩部		黒色微粒・白色微粒 赤褐色粒・細礫	N7/灰白 外N6/灰	外面に4条の波状紋 外面被熱
38	15	50	SE323F	木製品柄杓	口(12.2) 底9.4 高11.8			桜樹皮の留め具
38	16	50	SE323F	木製品曲物底	径18.4 厚1.4			木製の留め具
38	17	50	SE323F	木製品	厚0.8			有孔
38	18	33	SE325F	珠洲壺口頸部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断面7.5Y6/1灰 内外7.5Y5/1灰	口縁端部に9条の波状紋 外面被熱　Ⅱ期
39	1	33	SE301F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y4/1灰	外面に4条以上の波状紋
39	2	50	SE301F	木製品曲物底	径24.6 厚0.8			有孔
39	3	50	SE303F	木製品曲物底	径15.8 厚1.2			
39	4	51	SE303F	木製品曲物	径(90.0)			桜樹皮の留め具
39	5	50	SE304F	木製品曲物底	径13.2 厚1.0			
39	6	36	SE304F (RP12)	珠洲甕体～底部	底(15.6)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 底にゆがみあり　44-27同一
39	7	40	SK305F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕 39-8，41-1～3・6・8同一
39	8	40	SK305F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕 11-7と同一
39	9	38	SE309F	珠洲壺頸基～肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 39-10～13，40-23，43-12同一
39	10	38	SE309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
39	11	38	SE309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
39	12	38	SK309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰外N5/灰	外打圧痕内押圧痕ナデ 内面に黒色の汚れ
39	13	38	SE309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕ナデ 内面に黒色の汚れ
39	14	38	SE309F	珠洲甕体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
39	15	36	SE309F	珠洲壺底部	底(12.0)	黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	内外面ロクロナデ 底外静止糸きり 内面に黒色の汚れ
39	16	50	SE309(RW15)	木製品曲物底	径(23.2) 厚1.0			
39	17	51	SE309F	木製品曲物	径(65.0) 厚0.8			
40	1	32	SK336F	土師質土器皿		黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね　横ナデ
40	2	32	SK336F	土師質土器皿		黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ
40	3	32	SK336F	土師質土器皿	口(13.0)	赤褐色微粒 精良	10YR8/3浅黄橙	てづくね　横ナデ
40	4	33	SK336F	土師質土器皿	口(13.2) 高2.5	黒色微粒・赤褐色微粒 多量 精良	7.5YR8/3浅黄橙	てづくね　横ナデ 内外被熱
40	5	巻頭2	SK336F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉10G6/1緑灰	鎬蓮弁紋
40	6	40	SK339F	珠洲？体部		黒色微粒多量・白色微粒 小礫	10Y5/1灰	外打圧痕
40	7	40	SK339F	珠洲？壺体部		黒色微粒多量・白色微粒 小礫	N4/灰 断7.5YR5/2灰褐	外打圧痕内押圧痕
40	8	40	SK339F	珠洲甕口縁部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	
40	9	35	SK357F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 42-13同一
40	10	35	SK340F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 37-36，40-24，42-7，44-17・28同一
40	11	35	SK340F	珠洲？甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
40	12	33	SK340F	珠洲？擂鉢		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 内外面に4・8条の波状紋 Ⅰ期？
40	13	35	SK342F	珠洲壺体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・小礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
38	13	33	SE323F	珠洲？壺体部		黒色微粒・白色微粒 ・細礫	7.5Y7/1灰白 外10Y4/1灰	外面に8条の波状紋 外面被熱
38	14	33	SE323F	珠洲？壺肩部		黒色微粒・白色微粒 赤褐色粒・細礫	N7/灰白 外N6/灰	外面に4条の波状紋 外面被熱
38	15	50	SE323F	木製品柄杓	口(12.2) 底9.4 高11.8			桜樹皮の留め具
38	16	50	SE323F	木製品曲物底	径18.4 厚1.4			木製の留め具
38	17	50	SE323F	木製品	厚0.8			有孔
38	18	33	SE325F	珠洲壺口頸部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断面7.5Y6/1灰 内外7.5Y5/1灰	口縁端部に9条の波状紋 外面被熱　　Ⅱ期
39	1	33	SE301F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y4/1灰	外面に4条以上の波状紋
39	2	50	SE301F	木製品曲物底	径24.6 厚0.8			有孔
39	3	50	SE303F	木製品曲物底	径15.8 厚1.2			
39	4	51	SE303F	木製品曲物	径(90.0)			桜樹皮の留め具
39	5	50	SE304F	木製品曲物底	径13.2 厚1.0			
39	6	36	SE304F (RP12)	珠洲甕体～底部	底(15.6)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 底にゆがみあり　44-27同一
39	7	40	SK305F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕 39-8，41-1～3・6・8同一
39	8	40	SK305F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕 11-7と同一
39	9	38	SE309F	珠洲壺頸基～肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 39-10～13，40-23，43-12同一
39	10	38	SE309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
39	11	38	SE309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
39	12	38	SK309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰外N5/灰	外打圧痕内押圧痕ナデ 内面に黒色の汚れ
39	13	38	SE309F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕ナデ 内面に黒色の汚れ
39	14	38	SE309F	珠洲甕体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
39	15	36	SE309F	珠洲壺底部	底(12.0)	黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	内外面ロクロナデ 底外静止糸きり 内面に黒色の汚れ
39	16	50	SE309(RW15)	木製品曲物底	径(23.2) 厚1.0			
39	17	51	SE309F	木製品曲物	径(65.0) 厚0.8			
40	1	32	SK336F	土師質土器皿		黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	てづくね　横ナデ
40	2	32	SK336F	土師質土器皿		黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　横ナデ
40	3	32	SK336F	土師質土器皿	口(13.0)	赤褐色微粒 精良	10YR8/3浅黄橙	てづくね　横ナデ
40	4	33	SK336F	土師質土器皿	口(13.2) 高2.5	黒色微粒・赤褐色微粒 多量 精良	7.5YR8/3浅黄橙	てづくね　横ナデ 内外被熱
40	5	巻頭2	SK336F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉10G6/1緑灰	鎬蓮弁紋
40	6	40	SK339F	珠洲？体部		黒色微粒多量・白色微粒 小礫	10Y5/1灰	外打圧痕
40	7	40	SK339F	珠洲？壺体部		黒色微粒多量・白色微粒 小礫	N4/灰 断7.5YR5/2灰褐	外打圧痕内押圧痕
40	8	40	SK339F	珠洲甕口縁部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	
40	9	35	SK357F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 42-13同一
40	10	35	SK340F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 37-36，40-24，42-7，44-17・28同一
40	11	35	SK340F	珠洲？甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
40	12	33	SK340F	珠洲？擂鉢		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 内外面に4・8条の波状紋 Ⅰ期？
40	13	35	SK342F	珠洲壺体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・小礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
40	14	35	SK342F	珠洲壺肩部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
40	15	35	SK342F	珠洲体部		黒色微粒多量・白色微粒 黒色吹き出し海綿骨針・小礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 外面被熱
40	16	40	SK345F	珠洲？壺肩部		黒色微粒・白色微粒	N5/灰	外打圧痕内押圧痕 44-38同一
40	17	51	SE350F	木製品箸	長15.1 幅0.4			
40	18	34	SE350F	珠洲擂鉢注口部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	内外面コクロナデ 外面炭化物付着 ７条以上の施紋具
40	19	40	SK353F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
40	20	巻頭２	SK354F	青磁碗		黒色微粒	5Y7/1灰白 釉5GY6/1オリーブ灰	外体部鎬蓮弁紋
40	21	35	SK355F	珠洲壺頸部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ
40	22	35	SK355F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10YR6/1灰	内外面口唇部ロクロナデ　II期
40	23	35	SK351F	珠洲壺肩部		黒色微粒多量・白色微粒多量 中礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕ナデ
40	24	35	SK351F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 37-36, 40-10, 42-7, 44-17・28同一
40	25	35	SK351F	珠洲体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・小礫	N5/灰 外N5/灰	外打圧痕内押圧痕
40	26	36	SE360F SK351F	珠洲壺鉢部	底(10.6)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	N5/灰	内外面ロクロナデ
40	27	巻頭２	SE360F	青磁碗		黒色微粒	5Y5/1灰 釉7.5Y6/2灰オリーブ	鎬蓮弁紋
40	28	50	SE360F	木製品曲物底	径14.0 厚1.0			
40	29	33	SK357F	土師質土器皿	口(12.4) 高1.2	黒色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね　口縁部横ナデ
40	30	33	SK357F	土師質土器皿	口7.8 高1.6	黒色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね　内外体部横ナデ
40	31	33	SK357F	土師質土器皿	口8.4 高1.5	黒色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね　内外体部横ナデ
40	32	33	SK357F	土師質土器皿	口(8.0) 高1.8	黒色微粒・赤褐色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね　内外体部横ナデ
40	33	32・33	SK357F	土師質土器皿	口(12.4)	黒色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね
40	34	33	SK357F	土師質土器皿	口(12.8) 高2.8	黒色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね　内外体部横ナデ
40	35	32	SK359F	土師質土器皿		黒色微粒 精良	7.5YR8/1灰白	てづくね　口縁部横ナデ
40	36	32	SK359F	土師質土器皿		黒色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね
40	37	51	SD387F	鉄製品鎹	長9.9 幅2.4			
41	1	41	SD408F(36-19G)	珠洲壺口縁～肩部	口(21.4)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕 内外面ロクロナデ　III期
41	2	41	SD408F(36-19G)	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・中礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 内面黒色の汚れ
41	3	41	SD408F(36-19G)	珠洲壺底部	底(13.6)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・中礫	5Y6/1灰	外面赤色変化 内面黒色の汚れ
41	4	41	SD408F(36-19G)	珠洲体部		黒色微粒多量・白色微粒多量 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
41	5	41	SD408F(36-19G)	珠洲体部		黒色微粒多量・白色微粒多量 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外7.5Y3/1オリーブ黒	外打圧痕内押圧痕
41	6	41	SD408F(36-19G)	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
41	7		SD408F(36-18G)	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 外N5/灰	外打圧痕内押圧痕
41	8	41	SD408F(36-19G)	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 内面黒色の汚れ
41	9	41	SD408F(36-18G)	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	内外面ロクロナデ 内外面炭化物の付着
41	10	36	SD408F(36-18G)	珠洲壺底部	底(11.6)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰	内外面ロクロナデ
41	11	36	SK314F SD408F(32-15G)	須恵器系体部～鉢部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・中礫	10Y6/4にぶい黄橙	外打圧痕内押圧痕 内外面ナデ
41	12	42	SD408F(40-20G 36・37-19G)	瓷器系甕体部		黒色微粒・白色微粒 小礫	胎土中心N4/灰端5Y7/1 外5YR4/3にぶい赤褐 内7.5YR5/3にぶい褐	内外面ナデ 内面黒色の汚れ 越前？
41	13	43	SD408F(36-19G)	石製品石鉢				砂岩

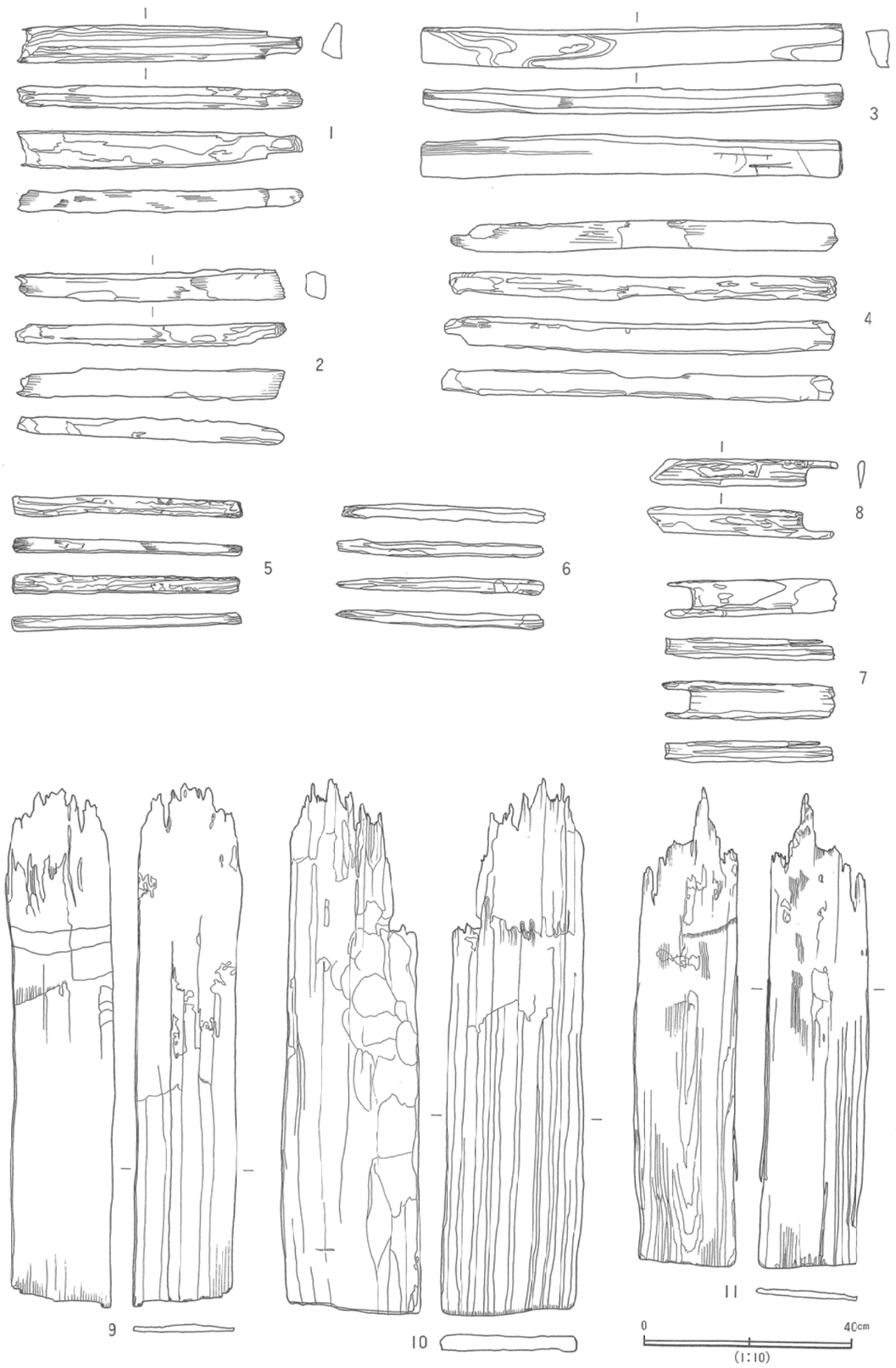
挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
41	14	43	SD408F(34-16G 35-16・17G)	石製品石鉢	口(32.7) 底(11.4) 高13.3			内面使用痕　砂岩
42	1	32	SD413F	土師質土器皿		赤褐色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね
42	2	43	SD424F(29-20G)	近世磁器碗			断5Y7/1灰白 外7.5GY7/1明緑灰	外面二重網目文 内面一重網目文 見込花弁、高台内判読不明 肥前
42	3	40	SD446F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10YR5/1灰	内外面ロクロナデ
42	4	40	SD447F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰 断10Y7/1灰白	外打圧痕内押圧痕 43-22同一
42	5	36	SD447F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/2灰オリーブ	内外面ロクロナデ 焼成不良
42	6	33	SD450F(41-22G)	土師質土器皿	口(14.8) 高4.0	黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	内外面横ナデ　内面ヘラ痕 内外面黒色の汚れ　外面指頭痕
42	7	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 37-36, 40-10・24, 44-17・28同一
42	8	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 43-3・18同一
42	9	37	SD450F(39-22G)	珠洲擂鉢	口(32.2)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	2.5GY6/1灰	内外面ロクロナデ 12条の施紋具　II期
42	10	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 12条の施紋具
42	11	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲擂鉢	口(23.6)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	内外面ロクロナデ 12条の施紋具　III・IV期
42	12	35	SD451F(45-22G)	珠洲壺体部		黒色微粒多量・白色微粒多量 海綿骨針・細礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕 外面被熱
42	13	35	SD451F(45-22G) SD128F	珠洲壺肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 外面炭化物付着40-9同一
42	14	35	SD451F(45-22G)	珠洲壺肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 外面被熱
42	15	35	SD451F(45-22G)	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ
42	16	43	SD451F(45-22G)	石製品石鉢	底(14.0)			内面使用痕　砂岩
42	17	36	SD457F(48-20G)	珠洲壺底部	底(10.8)	黒色微粒多量・白色微粒多量 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 底外静止糸きり　44-22・29・34同一
42	18	40	SD458F(45-20G)	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 焼成不良　44-2同一
42	19	40	SD460F	珠洲鉢部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ
42	20	33	SD486F	珠洲壺口縁部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N4/灰	内面に４条の波状紋 外面・口縁端部６条波状紋
42	21	43	SD486F	石製品石鉢				内面使用痕　砂岩
42	22	40	SD492F(49-15G)	珠洲壺底部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰	内外面ロクロナデ 外面黒色の汚れ
43	1	巻頭２	SE520F	白磁碗		黒色微粒	2.5Y8/1灰白 釉2.5Y8/2灰白	見込みに櫛目
43	2	42	SE520F	瓷器系壺肩部		黒色微粒・灰色粒 小礫	5Y7/1灰白 外5YR4/3にぶい赤褐 内10YR5/2灰黄褐	内面ナデ 外面窯片付着
43	3	40	SK520F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
43	4	40	SK548F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 外7.5Y4/1灰	外打圧痕内押圧痕
43	5	巻頭２	SK552F	青磁碗		黒色微粒少量	N7/灰白 釉5GY6/1オリーブ灰	鎬蓮弁紋
43	6	35	SK553F SK355F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
43	7	36	SK553F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 内黒色変化外赤色変化
43	8	36	SK553F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	内外面ロクロナデ ６条以上の施紋具
43	9	36	SK553F SD489F	珠洲壺鉢部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y5/1灰 外5Y4/1灰	内外面ロクロナデ 外打圧痕内押圧痕
43	10	42	SK554F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい灰黄褐 10YR5/2灰黄褐	内外面ナデ
43	11	43	SP595F	近世陶器徳利？			断10Y5/1灰 外N1.5/黒, 10YR3/2黒褐	在地産？ 内外面　鉄釉
43	12	40	SK597F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰 外N5/灰	外打圧痕内押圧痕
43	13	34	SP661F	珠洲？擂鉢	底(11.4)	黒色微粒・白色微粒 赤色微粒 海綿骨針・小礫	N5/灰	内外面ロクロナデ 底外静上糸きり 11条以上の施紋具 内面使用痕
43	14	40	SP671F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 外N5/灰	外打圧痕
43	15	40	SP669F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 44-43同一

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
41	14	43	SD408F(34-16G 35-16・17G)	石製品石鉢	口(32.7) 底(11.4) 高13.3			内面使用痕　砂岩
42	1	32	SD413F	土師質土器皿		赤褐色微粒 良	7.5YR8/2灰白	てづくね
42	2	43	SD424F(29-20G)	近世磁器碗			断5Y7/1灰白 外7.5GY7/1明緑灰	外面二重網目文 内面一重網目文 見込花弁、高台内判続不明 肥前
42	3	40	SD446F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10YR5/1灰	内外面ロクロナデ
42	4	40	SD447F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰 断10Y7/1灰白	外打圧痕内押圧痕 43-22同一
42	5	36	SD447F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/2灰オリーブ	内外面ロクロナデ 焼成不良
42	6	33	SD450F(41-22G)	土師質土器皿	口(14.8) 高4.0	黒色微粒 精良	7.5YR8/2灰白	内外面横ナデ　内面ヘラ痕 内外面黒色の汚れ　外面指頭痕
42	7	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 37-36，40-10・24，44-17・28同一
42	8	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 43-3・18同一
42	9	37	SD450F(39-22G)	珠洲擂鉢	口(32.2)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	2.5GY6/1灰	内外面ロクロナデ 12条の施紋具　II期
42	10	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 12条の施紋具
42	11	37	SD450F (44～45-21G)	珠洲擂鉢	口(23.6)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	内外面ロクロナデ 12条の施紋具　III・IV期
42	12	35	SD451F(45-22G)	珠洲壺体部		黒色微粒多量・白色微粒多量 海綿骨針・細礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕 外面被熱
42	13	35	SD451F(45-22G) SD128F	珠洲壺肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 外面炭化物付着40-9同一
42	14	35	SD451F(45-22G)	珠洲壺肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 外面被熱
42	15	35	SD451F(45-22G)	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ
42	16	43	SD451F(45-22G)	石製品石鉢	底(14.0)			内面使用痕　砂岩
42	17	36	SD457F(48-20G)	珠洲壺底部	底(10.8)	黒色微粒多量・白色微粒多量 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 底外静止糸きり　44-22・29・34同一
42	18	40	SD458F(45-20G)	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 焼成不良　44-2同一
42	19	40	SD460F	珠洲鉢部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ
42	20	33	SD486F	珠洲壺口縁部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N4/灰	内面に4条の波状紋 外面・口縁端部6条波状紋
42	21	43	SD486F	石製品石鉢				内面使用痕　砂岩
42	22	40	SD492F(49-15G)	珠洲壺底部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰	内外面ロクロナデ 外面黒色の汚れ
43	1	巻頭2	SE520F	白磁碗		黒色微粒	2.5Y8/1灰白 釉2.5Y8/2灰白	見込みに櫛目
43	2	42	SE520F	瓷器系壺肩部		黒色微粒・灰色粒 小礫	5Y7/1灰白 外5YR4/3にぶい赤褐 内10YR5/2灰黄褐	内面ナデ 外面窯片付着
43	3	40	SK520F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
43	4	40	SK548F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 外7.5Y4/1灰	外打圧痕内押圧痕
43	5	巻頭2	SK552F	青磁碗		黒色微粒少量	N7/灰白 釉5GY6/1オリーブ灰	鏑蓮弁紋
43	6	35	SK553F SK355F	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
43	7	36	SK553F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 内黒色変化外赤色変化
43	8	36	SK553F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	内外面ロクロナデ 6条以上の施紋具
43	9	36	SK553F SD489F	珠洲壺鉢部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y5/1灰 外5Y4/1灰	内外面ロクロナデ 外打圧痕内押圧痕
43	10	42	SK554F	瓷器系甕体部		黒色微粒・赤褐色微粒 小礫	10YR7/4にぶい灰黄褐 10YR5/2灰黄褐	内外面ナデ
43	11	43	SP595F	近世陶器徳利？			断10Y5/1灰 外N1.5/黒，10YR3/2黒褐	在地産？ 内外面　鉄釉
43	12	40	SK597F	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰 外N5/灰	外打圧痕内押圧痕
43	13	34	SP661F	珠洲？擂鉢	底(11.4)	黒色微粒・白色微粒 赤色微粒 海綿骨針・小礫	N5/灰	内外面ロクロナデ 底外静上糸きり 11条以上の施紋具 内面使用痕
43	14	40	SP671F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 外N5/灰	外打圧痕
43	15	40	SP669F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 44-43同一

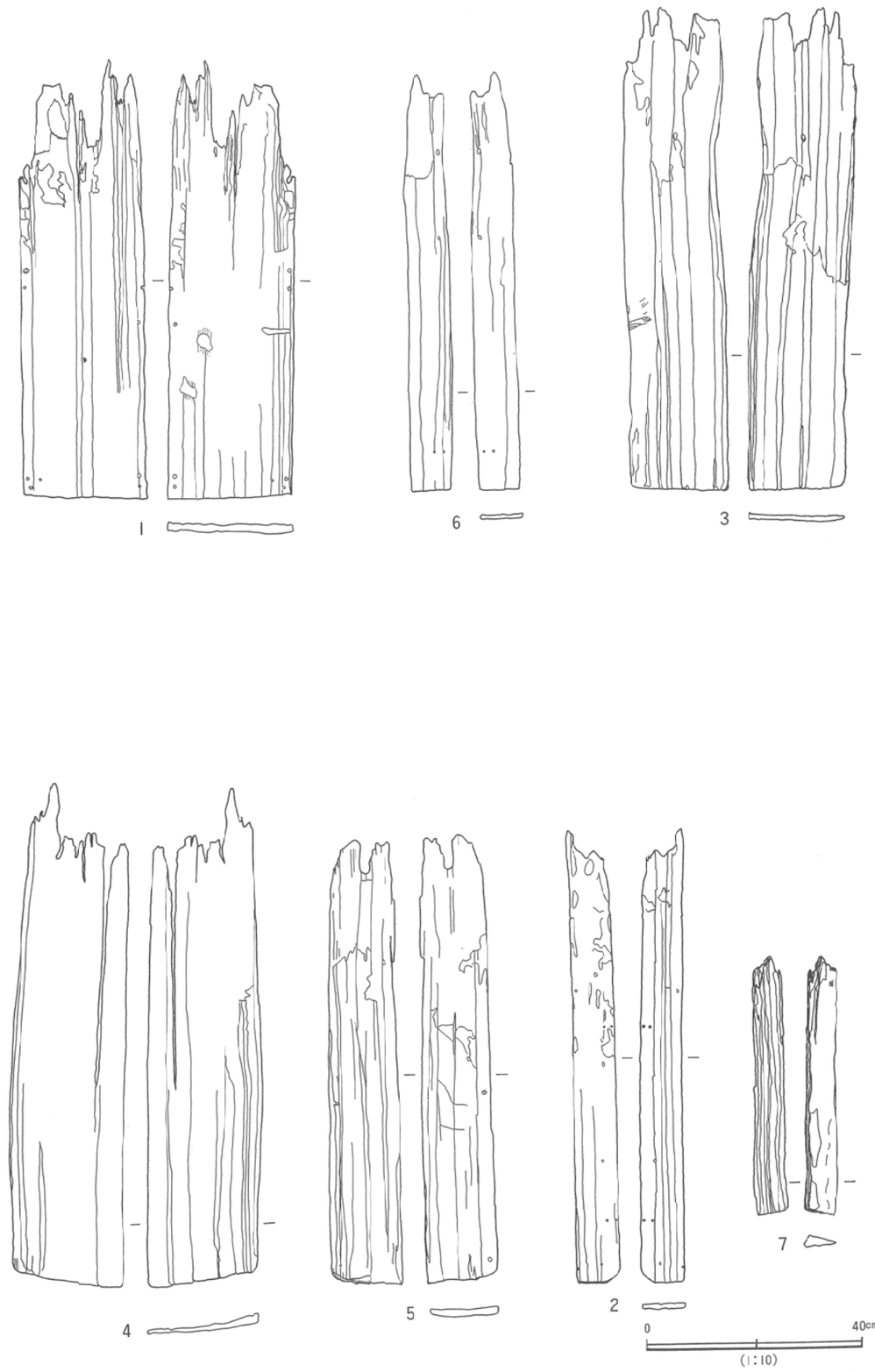
挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
43	16	42	SP699F	瓷器系壺肩部		黒色微粒・灰色粒 小礫	5Y7/1灰白 内10YR5/2灰黄褐 釉10Y4/2オリーブ灰	内面ナデ 15-2と同一
43	17	40	SX707F	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 内外7.5Y5/1灰	内外面ロクロナデ　II期 11条の施紋具　44-42同一
43	18	40	SX707F(36-23G)	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
43	19	40	SP717F	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰 外N4/灰	外打圧痕内押圧痕
43	20	43	SK760F	石製品砥石	長11.1 幅2.7			砂岩
43	21	巻頭2	SP754F	青磁碗		黒色微粒少量	7/灰白釉7.5GY6/1緑灰	鎬蓮弁紋
43	22	40	SP765F	珠洲体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/1灰 断10Y7/1灰白	外打圧痕内押圧痕
43	23	42	SK768F	瓷器系甕体部		黒色微粒・白色微粒 小礫	胎土中心N4 灰端5Y7/1 外5YR4/3にぶい赤褐 内7.5YR5/3にぶい褐	内外面ナデ 内面黒色の汚れ 13-12と同一
44	1	36	38-19G	珠洲甕口頸部	口(38.8)	黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	断5Y7/1灰白 内外5Y6/1灰	内外面ロクロナデ　III期
44	2		47～48-21～22G	珠洲甕底部	底(17.4)	黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕
44	3	36	49-15G	珠洲壺底部	底(10.4)	黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ
44	4	34	50-22G 46-24G	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5YR6/4にぶい橙 断7.5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 8条の施紋具 焼成不良　内面使用痕
44	5	34	49-22G	珠洲？擂鉢	底(10.0)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y6/1灰	内外面ロクロナデ 焼成不良　11条以上の施紋具
44	6	34	X-0	珠洲？擂鉢	底(11.2)	黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 内面使用痕黒色の汚れ 10条以上の施紋具
44	7		25・26-25G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕
44	8		32-26G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 焼成不良　44-2同一
44	9		30-25G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	10		34-24G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N4/灰	外打圧痕内押圧痕 44-11同一
44	11		34-24G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N4/灰	外打圧痕内押圧痕
44	12		34-24G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕
44	13		34-24G	珠洲壺肩～体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰 断7.5YR5/2灰褐	外打圧痕内押圧痕 外面灰付着
44	14		36-22G	珠洲？体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	15		37-22G	珠洲壺肩部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕 外面灰付着
44	16		46-15G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	17		46-15G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 37-36，40-10・24，42-7，44-28同一
44	18		46～47-22G 48-21G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 焼成不良
44	19		48-26G	珠洲壺体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・10・15・19，44-25同一
44	20		48-21G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	断5Y6/1灰 内外5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	21		48-14G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	22		48-15G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	23		49-15G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕 44-31同一
44	24		47～48-24G	珠洲体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 外7.5Y4/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	25		49-22G	珠洲壺体部		黒色微粒多量・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 36-1・9・10・15・19，44-19同一
44	26		50-15G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	2.5GY6/1オリーブ灰	外打圧痕内押圧痕
44	27		50-15G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	28		50-15G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	7.5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 37-36，40-10・24，42-7，44-17同一

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
44	29		51-20G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	30		51-20G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 焼成不良
44	31		50-18G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
44	32		49-22G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外N6/灰	外打圧痕内押圧痕
44	33		46-16G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断7.5Y6/1灰 内外10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	34		X-0	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	35		49-21～22G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N4/灰	外打圧痕内押圧痕
44	36		X-0	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	37		52-22G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断5Y6/2灰オリーブ 内外5Y5/1灰	外打圧痕
44	38		50-18G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕
44	39		37-23G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	2.5GY6/1オリーブ灰	外打圧痕内押圧痕
44	40		X-0	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒・ 赤色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 断7.5YR5/2灰褐	外打圧痕内押圧痕
44	41		50-18G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	42		X-0	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10YR6/1灰 内外10YR5/1灰	内外ロクロナデ 17条の施紋具
44	43		52-20G	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 内面使用痕　12条の施紋具
44	44		52-22G	珠洲？擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 内面使用痕　黒色の汚れ 12条の施紋具
45	1	33	37-20G	土師質土器皿	口(8.0) 高1.2	黒色微粒少量 精良	7.5YR8/4浅黄橙	てづくね 体部外横ナデ
45	2	33	46-22G	土師質土器皿	口(7.6) 高1.1	黒色微粒少量 良	7.5YR8/4浅黄橙	てづくね
45	3	33	37-23G	土師質土器皿	口(7.4) 高1.6	黒色微粒少量 精良	7.5YR8/4浅黄橙	てづくね 体部内外横ナデ
45	4	32	52-23G	土師質土器皿	□8.0	黒色微粒少量 精良	7.5YR5/1褐灰	てづくね 体部内外横ナデ
45	5	33	49～50-23G	土師質土器皿		黒色微粒多量 良	7.5YR8/3浅黄橙	てづくね
45	6	33	49～50-23G	土師質土器皿		赤褐色微粒 精良	7.5YR8/3浅黄橙	てづくね 体部内外横ナデ
45	7	33	X-0	土師質土器皿	口(8.2) 底(5.3) 高1.9	黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR7/3にぶい橙	ロクロ 体部内外横ナデ 外底回転糸きり板目痕
45	8	32	46-23G	土師質土器皿	口(12.5)	黒色微粒多量 精良	10YR8/1灰白 外面灰色の汚れ	てづくね
45	9	32	48-19G	土師質土器皿	口(12.5)	黒色微粒少量 良	10YR8/3浅黄橙 外面赤色変化	てづくね 体部内外横ナデ
45	10	32	TP22	土師質土器皿		黒色微粒少量 精良	10YR8/3浅黄橙	てづくね
45	11	32	46-16G	土師質土器皿		黒色微粒少量 精良	10YR8/3浅黄橙	てづくね
45	12	33	46～47-24G	土師質土器皿		黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR7/4にぶい橙	てづくね 体部外横ナデ
45	13	巻頭2	48-24G	青磁碗		黒色微粒少量	5Y6/1灰 釉7.5Y5/3灰オリーブ	鎬蓮弁紋
45	14	巻頭2	52-19G	青磁碗		黒色微粒少量	7.5Y7/1灰白 釉10Y6/2オリーブ灰	鎬蓮弁紋
45	15	巻頭2	50-22G	青磁鉢	口(23.6)	黒色微粒少量	7.5Y7/1灰白 釉5GY6/1オリーブ灰	鎬蓮弁紋
45	16	巻頭2	47～48-21～22G	白磁碗			2.5Y8/1灰白 5Y8/1灰白	
45	17	43	X-0	石製品石鉢	□35.2 底11.5 高14.6			内面使用痕 外面加工痕
45	18	43	X-0	石製品石鉢	□37.6			内面使用痕　砂岩
45	19	51	40-24G	鉄製品刀子	長6.9 幅2.3			
45	20	43	44-22G	蓋	径(4.2)			
45	21	43	51-21G	石製品砥石	長5.7 幅3.8			砂岩
45	22	43	SP595F	銭　照寧元宝	径2.5			北宋　初鋳年1068年

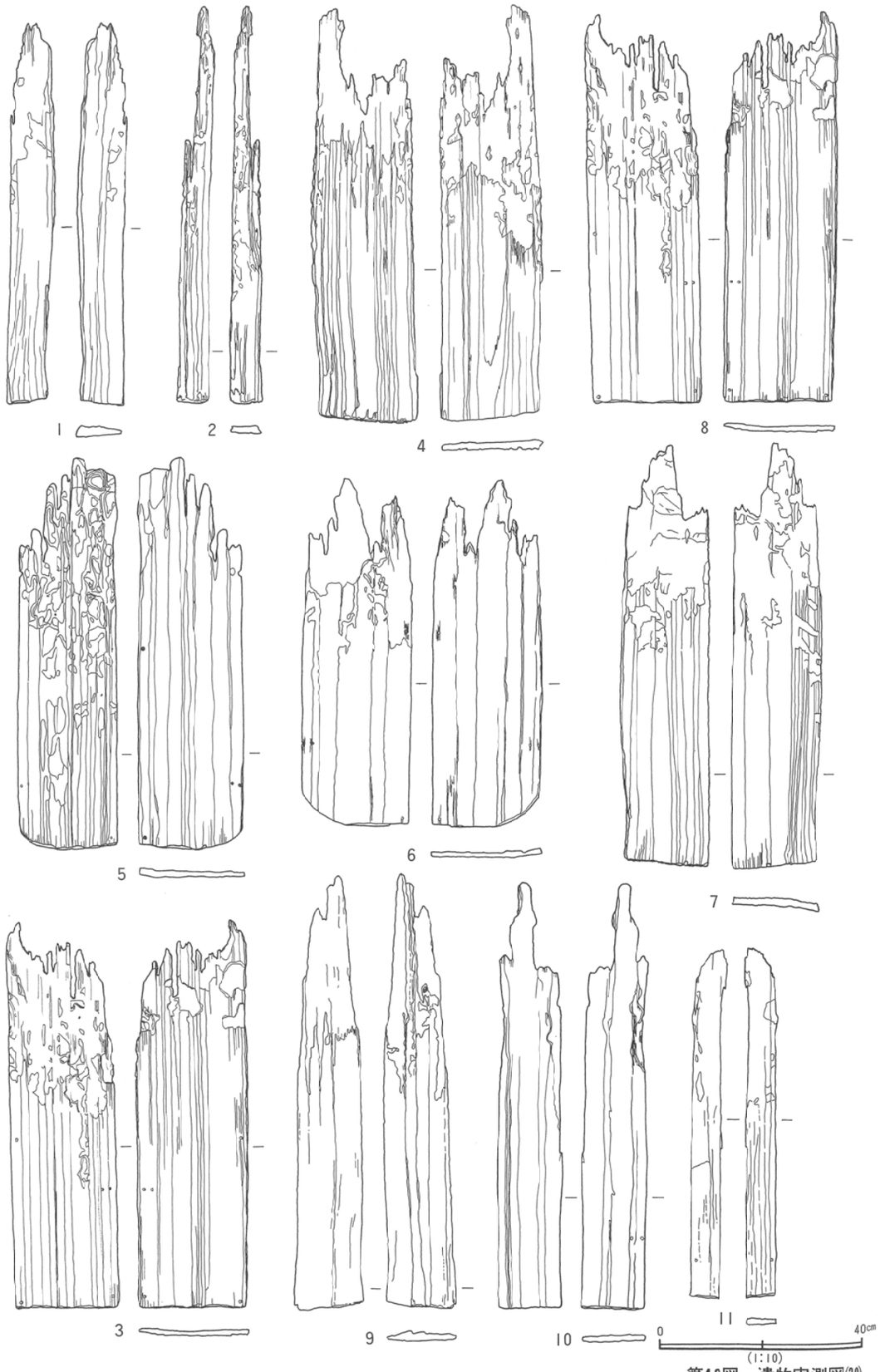
挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)	胎土	色　調	備　考
44	29		51-20G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	30		51-20G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・小礫	5Y6/1灰	外打圧痕内押圧痕 焼成不良
44	31		50-18G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N6/灰	外打圧痕内押圧痕
44	32		49-22G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y6/1灰 外N6/灰	外打圧痕内押圧痕
44	33		46-16G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断7.5Y6/1灰 内外10Y灰	外打圧痕内押圧痕
44	34		X-0	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	35		49-21～22G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N4/灰	外打圧痕内押圧痕
44	36		X-0	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	7.5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	37		52-22G	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	断5Y6/2灰オリーブ 内外5Y5/1灰	外打圧痕
44	38		50-18G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	N5/灰	外打圧痕内押圧痕
44	39		37-23G	珠洲壺体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	2.5GY6/1オリーブ灰	外打圧痕内押圧痕
44	40		X-0	珠洲体部		黒色微粒・白色微粒・ 赤色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰 断7.5YR5/2灰褐	外打圧痕内押圧痕
44	41		50-18G	珠洲甕体部		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y5/1灰	外打圧痕内押圧痕
44	42		X-0	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10YR6/1灰 内外10YR5/1灰	内外ロクロナデ 17条の施紋具
44	43		52-20G	珠洲擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	5Y6/1灰	内外面ロクロナデ 内面使用痕　12条の施紋具
44	44		52-22G	珠洲？擂鉢		黒色微粒・白色微粒 海綿骨針・細礫	10Y5/1灰	内外面ロクロナデ 内面使用痕　黒色の汚れ 12条の施紋具
45	1	33	37-20G	土師質土器皿	口(8.0) 高1.2	黒色微粒少量 精良	7.5YR8/4浅黄橙	てづくね 体部外横ナデ
45	2	33	46-22G	土師質土器皿	口(7.6) 高1.1	黒色微粒少量 良	7.5YR8/4浅黄橙	てづくね
45	3	33	37-23G	土師質土器皿	口(7.4) 高1.6	黒色微粒少量 精良	7.5YR8/4浅黄橙	てづくね 体部内外横ナデ
45	4	32	52-23G	土師質土器皿	口8.0	黒色微粒少量 精良	7.5YR5/1褐灰	てづくね 体部内外横ナデ
45	5	33	49～50-23G	土師質土器皿		黒色微粒多量 良	7.5YR8/3浅黄橙	てづくね
45	6	33	49～50-23G	土師質土器皿		赤褐色微粒 精良	7.5YR8/3浅黄橙	てづくね 体部内外横ナデ
45	7	33	X-0	土師質土器皿	口(8.2) 底(5.3) 高1.9	黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR7/3にぶい橙	ロクロ 体部内外横ナデ 外底回転糸きり板目痕
45	8	32	46-23G	土師質土器皿	口(12.5)	黒色微粒多量 精良	10YR8/1灰白 外面灰色の汚れ	てづくね
45	9	32	48-19G	土師質土器皿	口(12.5)	黒色微粒少量 良	10YR8/3浅黄橙 外面赤色変化	てづくね 体部内外横ナデ
45	10	32	TP22	土師質土器皿		黒色微粒少量 精良	10YR8/3浅黄橙	てづくね
45	11	32	46-16G	土師質土器皿		黒色微粒少量 精良	10YR8/3浅黄橙	てづくね
45	12	33	46～47-24G	土師質土器皿		黒色微粒・赤褐色微粒 精良	7.5YR7/4にぶい橙	てづくね 体部外横ナデ
45	13	巻頭2	48-24G	青磁碗		黒色微粒少量	5Y6/1灰 釉7.5Y5/3灰オリーブ	鎬蓮弁紋
45	14	巻頭2	52-19G	青磁碗		黒色微粒少量	7.5Y7/1灰白 釉10Y6/2オリーブ灰	鎬蓮弁紋
45	15	巻頭2	50-22G	青磁鉢	口(23.6)	黒色微粒少量	7.5Y7/1灰白 釉5GY6/1オリーブ灰	鎬蓮弁紋
45	16	巻頭2	47～48-21～22G	白磁碗			2.5Y8/1灰白 5Y8/1灰白	
45	17	43	X-0	石製品石鉢	口35.2 底11.5 高14.6			内面使用痕 外面加工痕
45	18	43	X-0	石製品石鉢	口37.6			内面使用痕　砂岩
45	19	51	40-24G	鉄製品刀子	長6.9 幅2.3			
45	20	43	44-22G	蓋	径(4.2)			
45	21	43	51-21G	石製品砥石	長5.7 幅3.8			砂岩
45	22	43	SP595F	銭　熙寧元宝	径2.5			北宋　初鋳年1068年



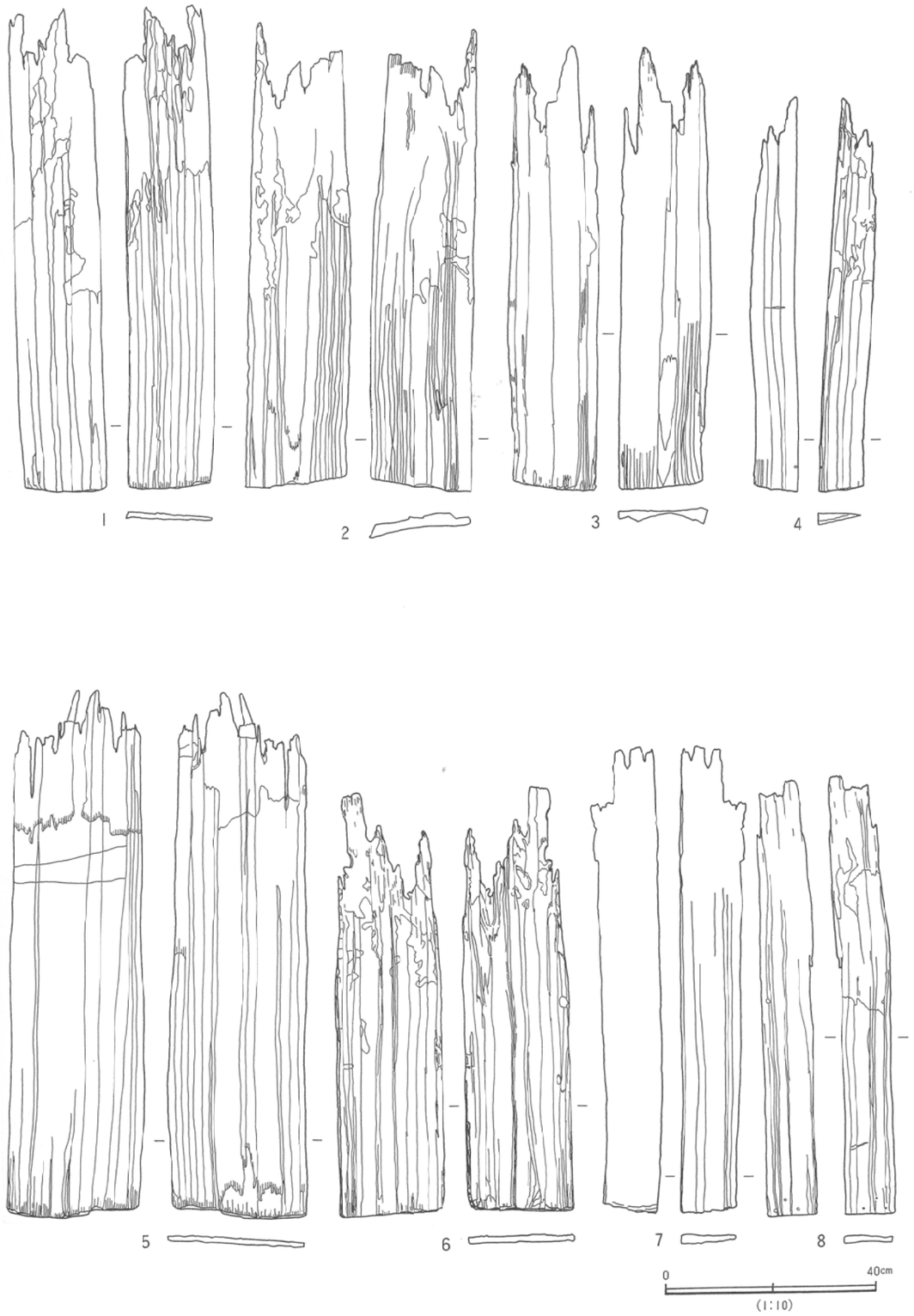
第46図　遺物実測図(18)



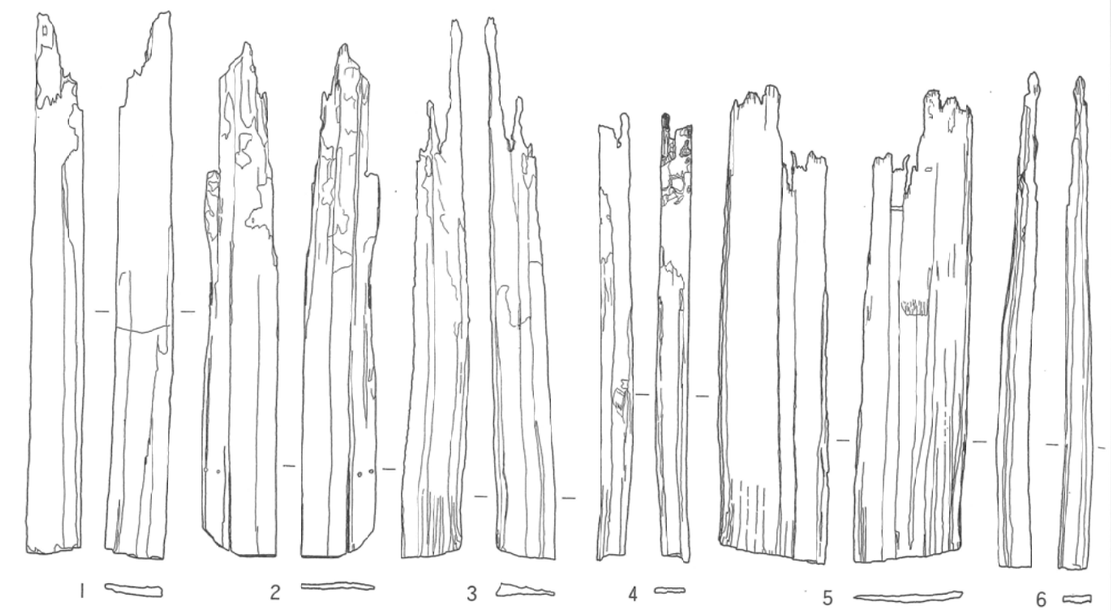
第47図　遺物実測図(19)

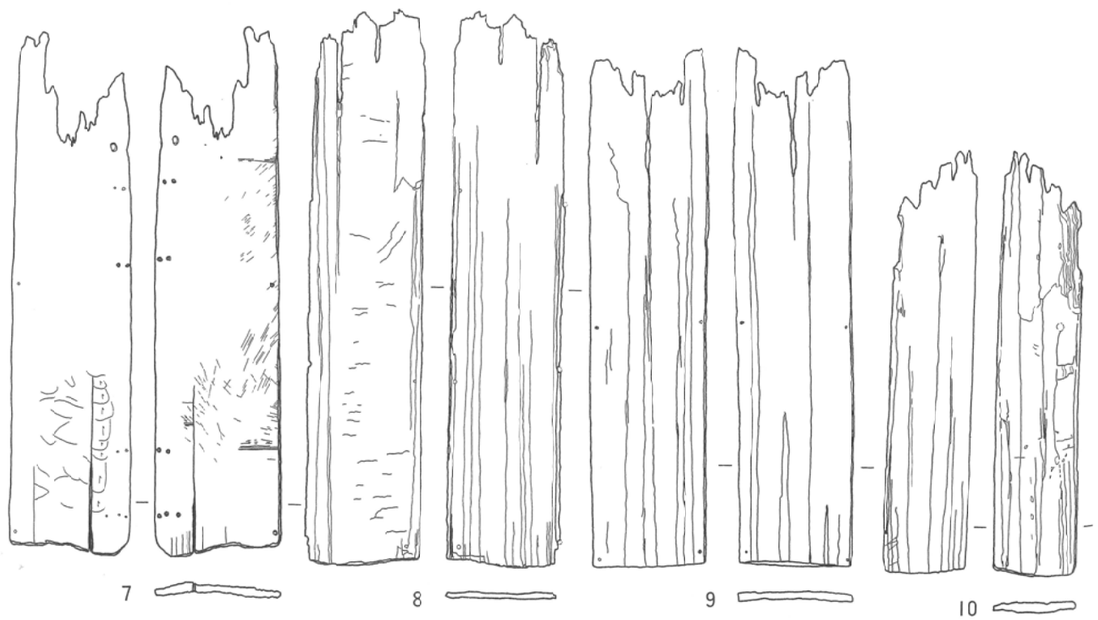


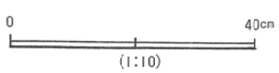
第48図　遺物実測図(20)



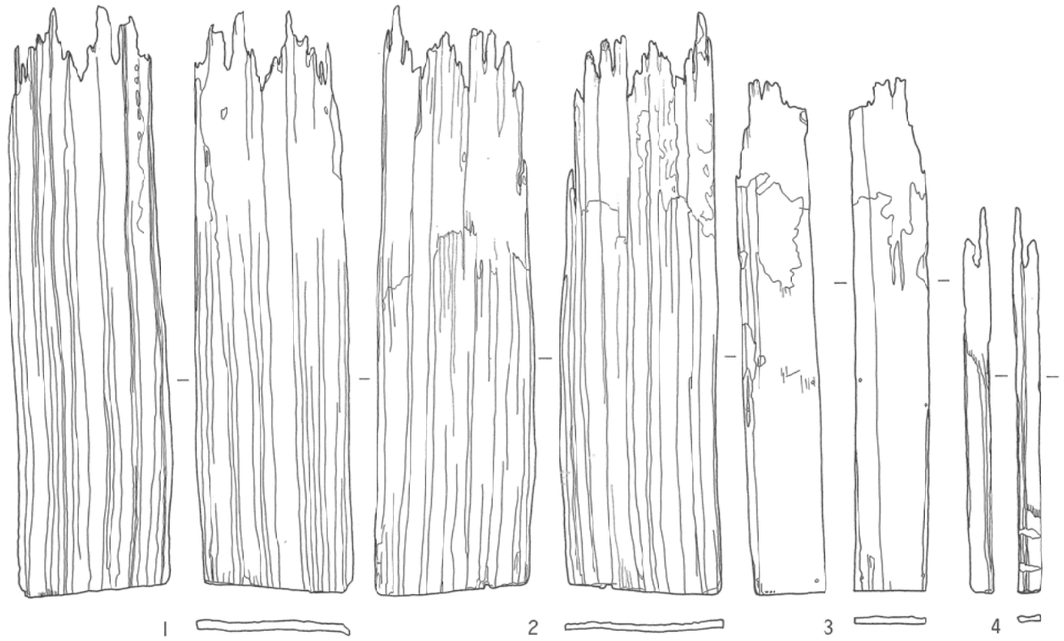
第49図　遺物実測図(21)

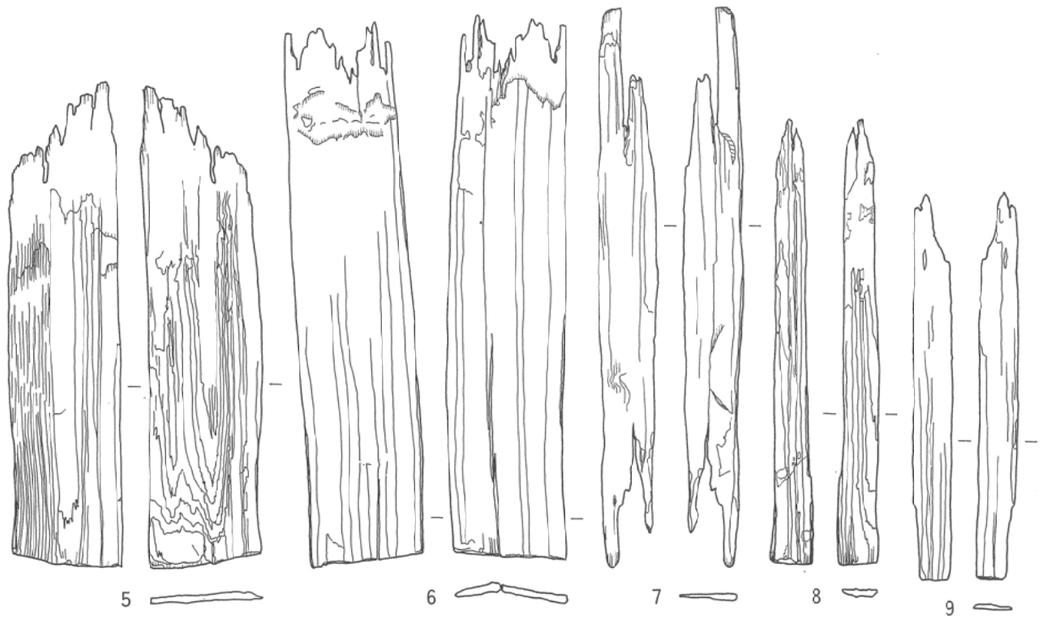


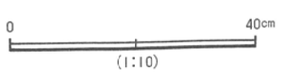




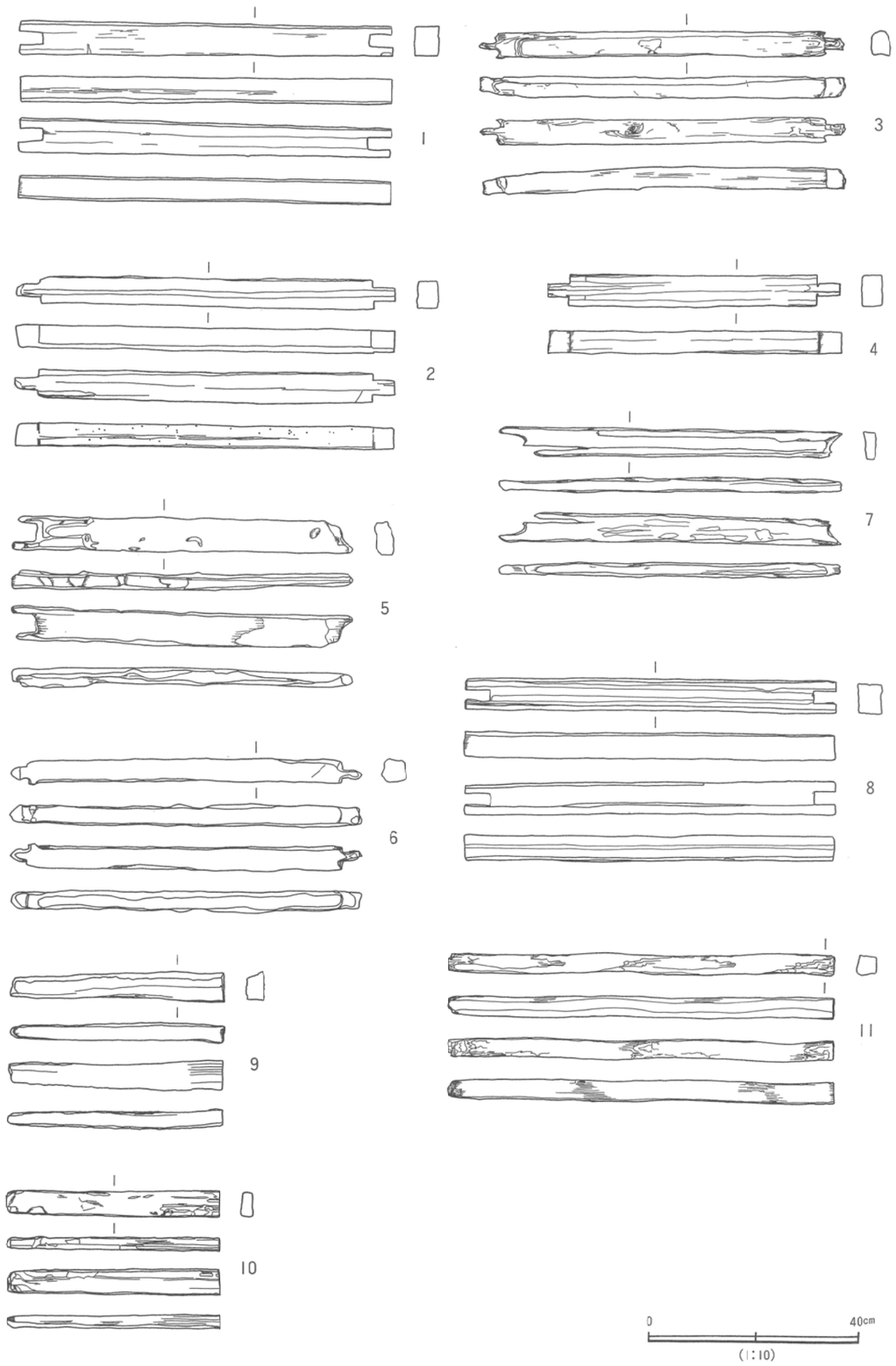
第50図　遺物実測図(22)



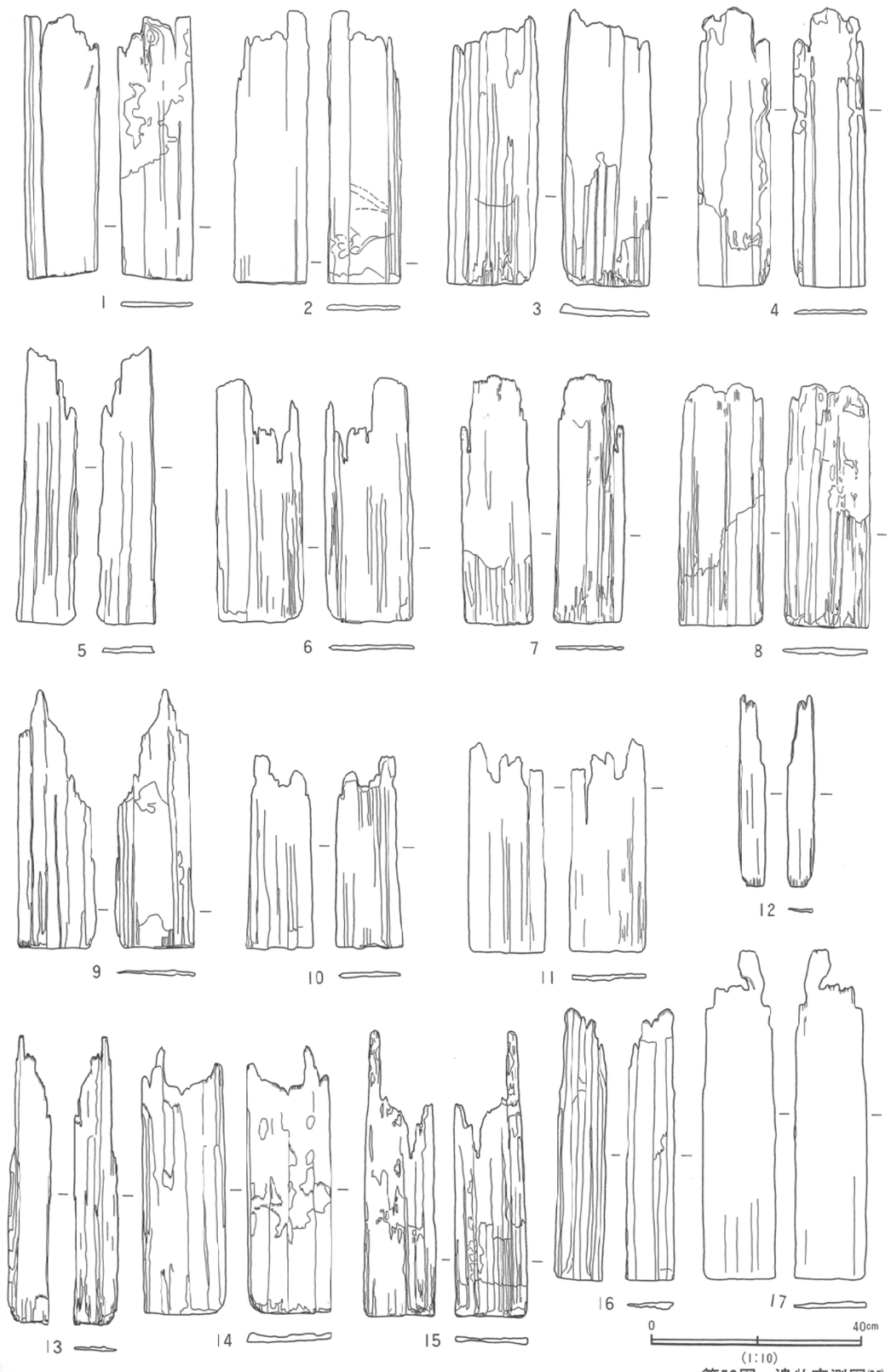




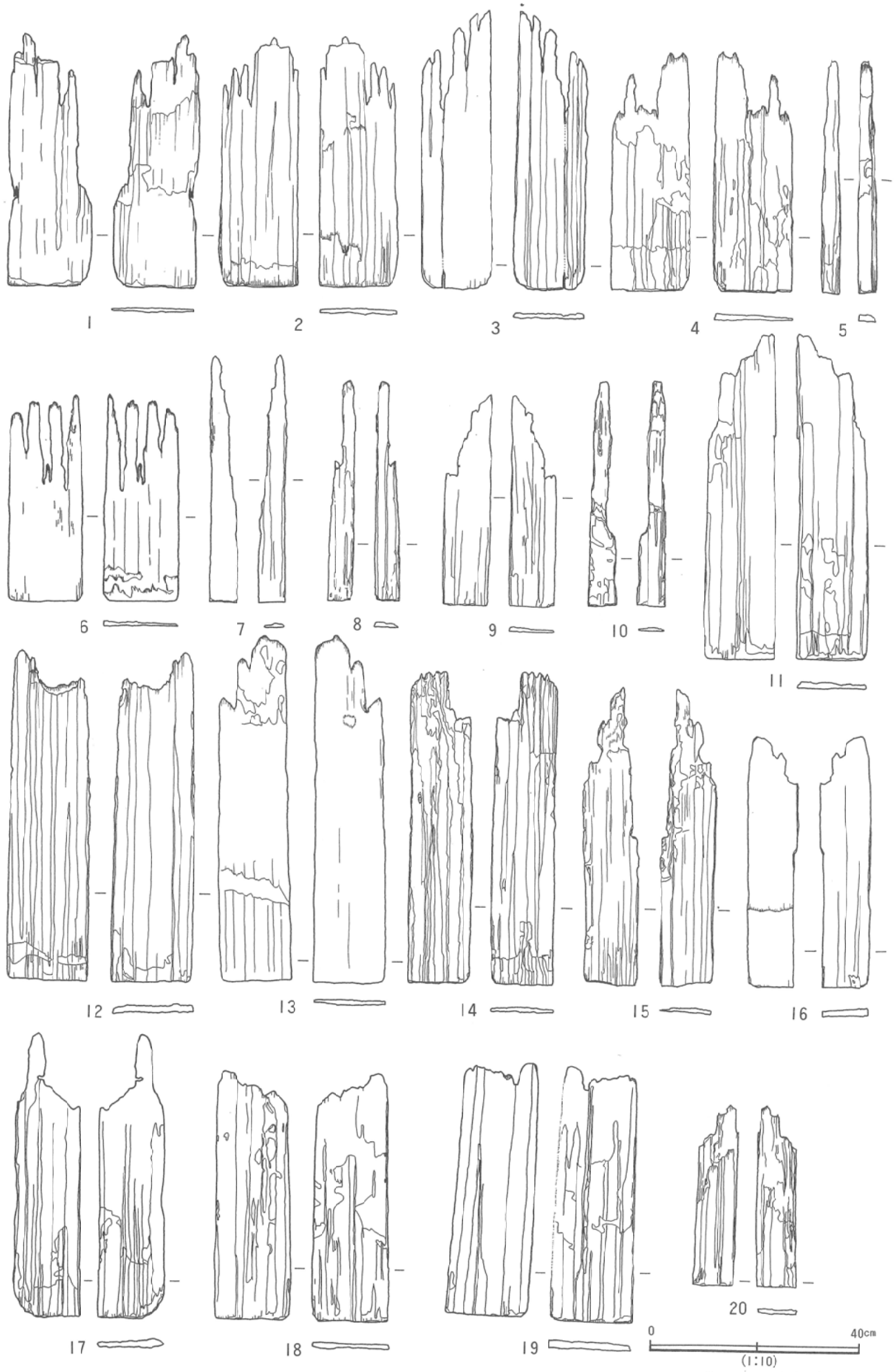
第51図　遺物実測図(23)



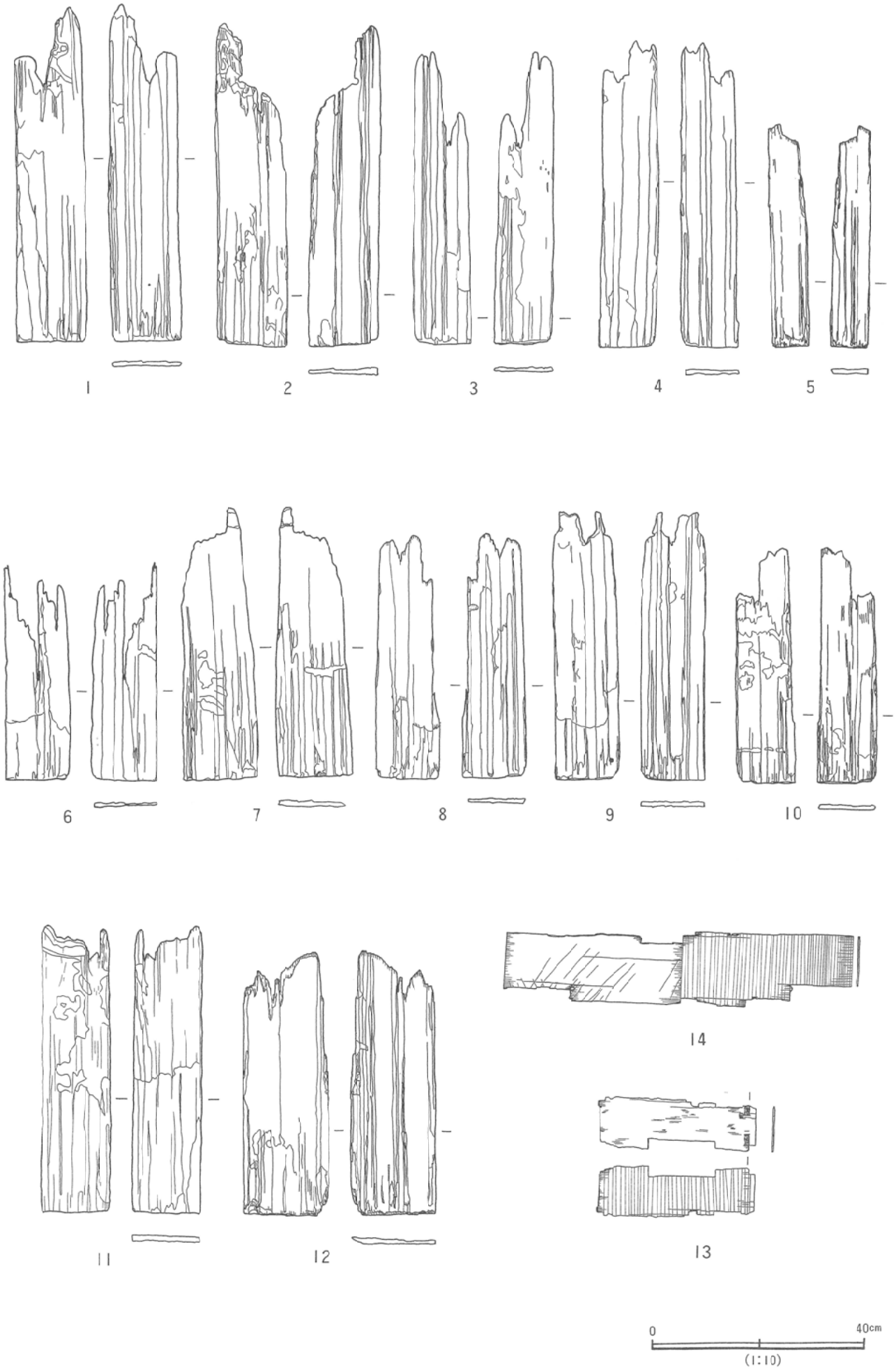
第52図　遺物実測図(24)



第53図　遺物実測図(25)



第54図　遺物実測図(26)



第55図　遺物実測図(27)

表 6　井戸部材観察表

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)
46	1	44	SE323	井戸横桟	長55.6 幅7.2 厚4.0
46	2	44	SE323	井戸横桟	長51.2 幅5.6 厚4.0
46	3	44	SE323	井戸横桟	長81.2 幅7.2 厚4.4
46	4	44	SE323	井戸横桟	長74.4 幅5.6 厚4.8
46	5	44	SE323	井戸横桟	長44.7 幅3.6 厚2.8
46	6	44	SE323北辺内側	井戸横桟	長38.4 幅2.8 厚2.8
46	7	44	SE323南西隅	井戸縦板	長32.4 幅6.8 厚4.0
46	8	44	SE323南辺	井戸縦板	長33.2 幅5.2 厚1.2
46	9	44	SE323東辺外側	井戸縦板	長100.0 幅20.0 厚1.4
46	10	44	SE323東辺外側	井戸縦板	長102.8 幅26.4 厚3.2
46	11	44	SE323東辺外側	井戸縦板	長90.8 幅19.6 厚1.4
47	1	44	SE323東辺外側	井戸縦板	長80.8 幅23.2 厚1.6
47	2	44	SE323東辺外側	井戸縦板	長84.0 幅8.0 厚1.0
47	3	44	SE323東辺内側	井戸縦板	長88.8 幅18.0 厚1.0
47	4	44	SE323東辺内側	井戸縦板	長90.8 幅21.2 厚1.6
47	5	44	SE323東辺内側	井戸縦板	長82.4 幅12.8 厚1.4
47	6	44	SE323東辺内側	井戸縦板	長77.6 幅8.0 厚0.8
47	7	44	SE323東辺内側	井戸縦板	長47.2 幅6.0 厚2.0
48	1	45	SE323西辺外側	井戸縦板	長74.0 幅9.6 厚2.0
48	2	45	SE323西辺外側	井戸縦板	長77.2 幅5.6 厚1.6
48	3	45	SE323西辺外側	井戸縦板	長75.2 幅21.6 厚1.0
48	4	45	SE323西辺外側	井戸縦板	長80.2 幅19.6 厚1.6
48	5	45	SE323南西隅	井戸縦板	長76.0 幅20.4 厚1.4
48	6	45	SE323西辺外側	井戸縦板	長67.2 幅21.6 厚0.9
48	7	45	SE323西辺内側	井戸縦板	長82.4 幅17.6 厚1.6
48	8	45	SE323西辺内側	井戸縦板	長73.6 幅18.0 厚1.0
48	9	45	SE323西辺内側	井戸縦板	長84.0 幅13.6 厚2.0
48	10	45	SE323西辺内側	井戸縦板	長82.2 幅12.0 厚1.0
48	11	45	SE323西辺内側	井戸縦板	長68.4 幅6.0 厚1.2
49	1	45	SE323南辺外側	井戸縦板	長90.4 幅16.4 厚1.2
49	2	45	SE323南辺外側	井戸縦板	長87.6 幅18 厚2.4
49	3	45	SE323南辺外側	井戸縦板	長83.2 幅16.8 厚2.8
49	4	46	SE323南辺外側	井戸縦板	長74.0 幅8.4 厚0.8
49	5	46	SE323南辺外側	井戸縦板	長99.2 幅25.6 厚1.2
49	6	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長79.6 幅19.8 厚1.2
49	7	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長87.6 幅11.6 厚1.6
49	8	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長82.8 幅10.0 厚1.2
50	1	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長88.8 幅9.6 厚1.6
50	2	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長83.6 幅12.0 厚1.0
50	3	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長86.4 幅9.6 厚2.0
50	4	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長71.4 幅5.0 厚8.0
50	5	46	SE323南辺内側	井戸縦板	長74.8 幅17.6 厚1.2

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)
50	6	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長79.6 幅5.2 厚1.0
50	7	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長84.0 幅20.4 厚1.6
50	8	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長89.2 幅18.4 厚1.0
50	9	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長83.2 幅19.2 厚1.2
50	10	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長68.0 幅13.6 厚1.6
51	1	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長94.0 幅25.2 厚1.6
51	2	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長94.2 幅25.6 厚1.2
51	3	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長83.2 幅12.0 厚1.2
51	4	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長62.0 幅4.0 厚1.2
51	5	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長78.2 幅18.4 厚1.2
51	6	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長87.2 幅19.2 厚1.6
51	7	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長90.8 幅9.6 厚1.2
51	8	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長72.4 幅6.4 厚1.4
51	9	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長62.8 幅6.4 厚0.8
52	1	47	SE350東桟上	井戸横桟	長70.6 幅6.4 厚4.8
52	2	47	SE350東桟下	井戸横桟	長71.6 幅5.6 厚4.0
52	3	47	SE350西辺上	井戸横桟	長68.8 幅4.8 厚4.0
52	4	47	SE350西辺下	井戸横桟	長55.2 幅6.2 厚4.0
52	5	47	SE350南辺上	井戸横桟	長64.0 幅6.8 厚3.6
52	6	47	SE350南辺下	井戸横桟	長66.0 幅4.4 厚4.0
52	7	47	SE350北辺上	井戸横桟	長64.6 幅5.2 厚2.4
52	8	47	SE350北辺下	井戸横桟	長70.0 幅6.4 厚4.8
52	9	47	SE350北東隅	井戸横桟	長40.4 幅5.6 厚3.2
52	10	47	SE350南東隅	井戸横桟	長40.5 幅4.8 厚2.6
52	11	47	SE350北西隅	井戸横桟	長73.0 幅3.6 厚4.0
53	1	48	SE350東辺	井戸縦板	長50.0 幅14.2 厚0.8
53	2	48	SE350東辺	井戸縦板	長51.6 幅13.6 厚1.0
53	3	48	SE323東辺	井戸縦板	長51.6 幅16.8 厚1.6
53	4	48	SE350東辺	井戸縦板	長52.8 幅13.6 厚0.8
53	5	48	SE350東辺	井戸縦板	長52.4 幅10.8 厚1.2
53	6	48	SE350東辺	井戸縦板	長46.0 幅16.8 厚0.8
53	7	48	SE350東辺	井戸縦板	長47.2 幅12.8 厚0.8
53	8	48	SE350東辺	井戸縦板	長46.0 幅16.0 厚1.2
53	9	48	SE350東辺	井戸縦板	長49.6 幅15.0 厚1.0
53	10	48	SE350東辺	井戸縦板	長36.4 幅12.4 厚0.8
53	11	48	SE350東辺	井戸縦板	長40.4 幅14.4 厚0.8
53	12	48	SE350東辺	井戸縦板	長36.4 幅5.0 厚0.5
53	13	48	SE350西辺	井戸縦板	長55.2 幅8.0 厚0.8
53	14	48	SE350西辺	井戸縦板	長51.2 幅15.6 厚1.6
53	15	48	SE350西辺	井戸縦板	長55.2 幅13.6 厚1.2
53	16	48	SE350西辺	井戸縦板	長52.0 幅9.2 厚1.2
53	17	48	SE350西辺	井戸縦板	長63.2 幅13.6 厚1.2
54	1	48	SE350西辺	井戸縦板	長48.0 幅16.0 厚0.8
54	2	48	SE350西辺	井戸縦板	長48.2 幅15.2 厚1.2

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)
50	6	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長79.6 幅5.2 厚1.0
50	7	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長84.0 幅20.4 厚1.6
50	8	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長89.2 幅18.4 厚1.0
50	9	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長83.2 幅19.2 厚1.2
50	10	46	SE323北辺外側	井戸縦板	長68.0 幅13.6 厚1.6
51	1	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長94.0 幅25.2 厚1.6
51	2	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長94.2 幅25.6 厚1.2
51	3	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長83.2 幅12.0 厚1.2
51	4	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長62.0 幅4.0 厚1.2
51	5	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長78.2 幅18.4 厚1.2
51	6	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長87.2 幅19.2 厚1.6
51	7	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長90.8 幅9.6 厚1.2
51	8	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長72.4 幅6.4 厚1.4
51	9	47	SE323北辺内側	井戸縦板	長62.8 幅6.4 厚0.8
52	1	47	SE350東桟上	井戸横桟	長70.6 幅6.4 厚4.8
52	2	47	SE350東桟下	井戸横桟	長71.6 幅5.6 厚4.0
52	3	47	SE350西辺上	井戸横桟	長68.8 幅4.8 厚4.0
52	4	47	SE350西辺下	井戸横桟	長55.2 幅6.2 厚4.0
52	5	47	SE350南辺上	井戸横桟	長64.0 幅6.8 厚3.6
52	6	47	SE350南辺下	井戸横桟	長66.0 幅4.4 厚4.0
52	7	47	SE350北辺上	井戸横桟	長64.6 幅5.2 厚2.4
52	8	47	SE350北辺下	井戸横桟	長70.0 幅6.4 厚4.8

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)
52	9	47	SE350北東隅	井戸横桟	長40.4 幅5.6 厚3.2
52	10	47	SE350南東隅	井戸横桟	長40.5 幅4.8 厚2.6
52	11	47	SE350北西隅	井戸横桟	長73.0 幅3.6 厚4.0
53	1	48	SE350東辺	井戸縦板	長50.0 幅14.2 厚0.8
53	2	48	SE350東辺	井戸縦板	長51.6 幅13.6 厚1.0
53	3	48	SE323東辺	井戸縦板	長51.6 幅16.8 厚1.6
53	4	48	SE350東辺	井戸縦板	長52.8 幅13.6 厚0.8
53	5	48	SE350東辺	井戸縦板	長52.4 幅10.8 厚1.2
53	6	48	SE350東辺	井戸縦板	長46.0 幅16.8 厚0.8
53	7	48	SE350東辺	井戸縦板	長47.2 幅12.8 厚0.8
53	8	48	SE350東辺	井戸縦板	長46.0 幅16.0 厚1.2
53	9	48	SE350東辺	井戸縦板	長49.6 幅15.0 厚1.0
53	10	48	SE350東辺	井戸縦板	長36.4 幅12.4 厚0.8
53	11	48	SE350東辺	井戸縦板	長40.4 幅14.4 厚0.8
53	12	48	SE350東辺	井戸縦板	長36.4 幅5.0 厚0.5
53	13	48	SE350西辺	井戸縦板	長55.2 幅8.0 厚0.8
53	14	48	SE350西辺	井戸縦板	長51.2 幅15.6 厚1.6
53	15	48	SE350西辺	井戸縦板	長55.2 幅13.6 厚1.2
53	16	48	SE350西辺	井戸縦板	長52.0 幅9.2 厚1.2
53	17	48	SE350西辺	井戸縦板	長63.2 幅13.6 厚1.2
54	1	48	SE350西辺	井戸縦板	長48.0 幅16.0 厚0.8
54	2	48	SE350西辺	井戸縦板	長48.2 幅15.2 厚1.2

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)
54	3	48	SE350西辺	井戸縦板	長51.6 幅13.6 厚1.2
54	4	48	SE350西辺	井戸縦板	長45.6 幅15.2 厚1.2
54	5	48	SE350西辺	井戸縦板	長44.0 幅3.6 厚1.2
54	6	48	SE350西辺	井戸縦板	長39.4 幅14.0 厚1.0
54	7	48	SE350西辺	井戸縦板	長46.8 幅5.2 厚0.6
54	8	48	SE350西辺	井戸縦板	長41.6 幅4.8 厚1.0
54	9	48	SE350西辺	井戸縦板	長42.0 幅8.8 厚0.8
54	10	48	SE350西辺	井戸縦板	長42.8 幅5.2 厚0.6
54	11	48	SE350南辺外	井戸縦板	長61.6 幅13.6 厚1.2
54	12	49	SE350南辺外	井戸縦板	長62.4 幅15.6 厚1.4
54	13	49	SE350南辺外	井戸縦板	長66.0 幅13.6 厚1.0
54	14	49	SE350南辺外	井戸縦板	長59.6 幅12.0 厚1.0
54	15	49	SE350南辺外	井戸縦板	長56.4 幅10.4 厚1.0
54	16	49	SE350南辺外	井戸縦板	長47.8 幅9.6 厚1.6
54	17	49	SE350南辺内	井戸縦板	長54.0 幅12.8 厚1.6
54	18	49	SE350南辺内	井戸縦板	長47.4 幅14.4 厚1.2
54	19	49	SE350南辺内	井戸縦板	長48.8 幅15.6 厚1.6
54	20	49	SE350南辺外	井戸縦板	長34.4 幅7.6 厚0.8
55	1	49	SE350北辺	井戸縦板	長63.2 幅13.2 厚0.8
55	2	49	SE350北辺	井戸縦板	長60.0 幅13.2 厚1.2
55	3	49	SE350北辺	井戸縦板	長54.8 幅10.8 厚0.8
55	4	49	SE350北辺	井戸縦板	長58.4 幅10.8 厚1.0
55	5	49	SE350北辺	井戸縦板	長42.0 幅7.0 厚0.8
55	6	49	SE350北辺	井戸縦板	長40.8 幅12.0 厚0.8
55	7	49	SE350北辺	井戸縦板	長50.4 幅14.0 厚1.2
55	8	49	SE350北辺	井戸縦板	長46.0 幅12.0 厚0.8
55	9	49	SE350北辺	井戸縦板	長50.4 幅12.0 厚1.0
55	10	49	SE350北辺	井戸縦板	長44.4 幅10.8 厚0.8
55	11	49	SE350北辺	井戸縦板	長54.4 幅13.0 厚1.2
55	12	49	SE350北辺	井戸縦板	長50.0 幅16.0 厚1.2
55	13	49	SE350	曲物	高17.2 厚0.6
55	14	49	SE350	曲物	高12.0 厚0.4

表７　鎌倉時代遺物組成

種　　別	破片数	個体数
白磁碗	2	2
青磁碗	12	11
青磁盤	2	2
土師質土器（ロクロ成形）	5	4
土師質土器（てづくね成形）	86	40
須恵器系陶器壺	74	32
須恵器系陶器甕	40	11
須恵器系陶器壺甕破片	38	38
須恵器系陶器擂鉢	42	20
瓷器系陶器甕	5	1
瓷器系陶器壺	3	1
鉄製品釘	2	2
鉄製品刀子	1	1
鉄製品その他	2	2
石鉢	9	7
砥石	7	6
石製品その他	5	2
曲物	10	10
木製品その他	7	7
井戸部材	271	271
総計	623	470
m²あたりの土師質土器	0.01	0.005
m²あたりの輸入陶磁器	0.002	0.002
m²あたりの国産陶磁器	0.023	0.012
m²あたりの焼物	0.035	0.018

個体数は個体識別による。
木製品は個体数を破片数としている。
m²あたりの出土数を求める際の面積は8800m²を用いている。

Ⅴ　まとめ

１　塔の腰遺跡の性格と年代観

今回の調査では、平安時代・鎌倉時代の遺構と遺物、江戸時代の遺物が出土している。

平安時代

平安時代は、遺構・遺物ともに遺存状態が悪い。しかし、それは平安時代に生活空間になっていた地域を中世になっても使用していたことを語ってくれる。調査区北西の畝状遺構は、平安時代の所産と見られ、生産域が広がっていたことが分かる。畝の軸線N―25°―Wは、道路状遺構をはじめとする中世の軸線とは明らかに異なる。遺物の出土状況や遺構の密集度から34・35―18・19G、45・46―22・23G周辺に畝の軸線に沿う建物が存在したと推定される。

出土している遺物は、99％が赤焼土器で、須恵器は１％にも満たない。赤焼土器の特徴として、無台坏に底部が突き出し、体部下半にやや膨らみを持つものが認められた。この特徴を示す土器（第31図13）が、ＳＤ378にレンズ状堆積を示す火山灰層と、ほぼ同レベルで斜位に出土している。この火山灰は自然科学分析で十和田ａとの結果を得ている。十和田ａは現段階では、Ａ.Ｄ.915年に十和田カルデラで東北地方一帯で認められるとの説が有力である。第31図13はその時期と変わらない年代観を想定したい。鶴岡市周辺の様相を見ると、この時期の調査はほとんど行われていない。庄内地方北半の飽海郡では、浮橋遺跡・小深田遺跡・下長橋遺跡等の調査成果があるが、様相を異にする。平成５～７年度に調査された鶴岡市西谷地遺跡では、８世紀代中葉・９世紀後半の良好な資料が出土している。８世紀中葉とされる「酸化焔土器」は小ぶりで深い腕状を呈するもので、ケズリやナデが丁寧に行われている。胎土は精良で、胎土分類①に類似し注目される。口縁部が内湾し、胎土が似ることから由来を求めるのは簡略にすぎるが、「酸化焔土器」が８世紀以降どのような流れを持つのか、塔の腰遺跡の遺物を理解する糸口になると思われる。

新潟県和島村門新遺跡では「延長６年」（928年）銘の漆紙文書とともに土師器（本書の赤焼土器）が出土している（文献16・17）。土師器Ａ２に、底部の作りや体部下半の膨らみが類似する（注１）。

以上の状況から、10世紀前半に、畝状遺構を伴う集落が営まれていたことが推定される。

鎌倉時代

溝で区画された屋敷地Ａ～Ｌを推定することができる（第５図、表４）。屋敷地の軸線には、道路に直交するＡ～Ｆ・Ｈ・Ｉと、それよりやや東に傾くＤ・Ｇの２軸がある。ＨとＧの遺構の重複より後者が先行すると思われる。区画の中には、井戸部材の遺存した井戸跡がおおよそ１基の割合で認められる。井戸跡の検出されない区画Ｆ・Ｇには、素掘り井戸と思われる土坑ａ類がある。屋敷地に井戸跡１基以上という状況から、井戸を基に屋敷区画を逆に規定できる可能性も考えられる。また、ＳＥ309とＳＥ308、ＳＥ304とＳＫ305、ＳＥ350とＳＥ351・352のように井戸枠の遺存した井戸跡と土坑ａ類が２基近接する例があり、井戸跡の造り変えや使い分けが推定される。今回の調査で建物跡を確認したのは、Ａの屋敷地のみであるが、各区画に

挿図番号	遺物番号	図版番号	出土地点	器種・部位	計測値(cm)
54	3	48	SE350西辺	井戸縦板	長51.6 幅13.6 厚1.2
54	4	48	SE350西辺	井戸縦板	長45.6 幅15.2 厚1.2
54	5	48	SE350西辺	井戸縦板	長44.0 幅3.6 厚1.2
54	6	48	SE350西辺	井戸縦板	長39.4 幅14.0 厚1.0
54	7	48	SE350西辺	井戸縦板	長46.8 幅5.2 厚0.6
54	8	48	SE350西辺	井戸縦板	長41.6 幅4.8 厚1.0
54	9	48	SE350西辺	井戸縦板	長42.0 幅8.8 厚0.8
54	10	48	SE350西辺	井戸縦板	長42.8 幅5.2 厚0.6
54	11	48	SE350南辺外	井戸縦板	長61.6 幅13.6 厚1.2
54	12	49	SE350南辺外	井戸縦板	長62.4 幅15.6 厚1.4
54	13	49	SE350南辺外	井戸縦板	長66.0 幅13.6 厚1.0
54	14	49	SE350南辺外	井戸縦板	長59.6 幅12.0 厚1.0
54	15	49	SE350南辺外	井戸縦板	長56.4 幅10.4 厚1.0
54	16	49	SE350南辺外	井戸縦板	長47.8 幅9.6 厚1.6
54	17	49	SE350南辺内	井戸縦板	長54.0 幅12.8 厚1.6
54	18	49	SE350南辺内	井戸縦板	長47.4 幅14.4 厚1.2
54	19	49	SE350南辺内	井戸縦板	長48.8 幅15.6 厚1.6
54	20	49	SE350南辺外	井戸縦板	長34.4 幅7.6 厚0.8
55	1	49	SE350北辺	井戸縦板	長63.2 幅13.2 厚0.8
55	2	49	SE350北辺	井戸縦板	長60.0 幅13.2 厚1.2
55	3	49	SE350北辺	井戸縦板	長54.8 幅10.8 厚0.8
55	4	49	SE350北辺	井戸縦板	長58.4 幅10.8 厚1.0
55	5	49	SE350北辺	井戸縦板	長42.0 幅7.0 厚0.8
55	6	49	SE350北辺	井戸縦板	長40.8 幅12.0 厚0.8
55	7	49	SE350北辺	井戸縦板	長50.4 幅14.0 厚1.2
55	8	49	SE350北辺	井戸縦板	長46.0 幅12.0 厚0.8
55	9	49	SE350北辺	井戸縦板	長50.4 幅12.0 厚1.0
55	10	49	SE350北辺	井戸縦板	長44.4 幅10.8 厚0.8
55	11	49	SE350北辺	井戸縦板	長54.4 幅13.0 厚1.2
55	12	49	SE350北辺	井戸縦板	長50.0 幅16.0 厚1.2
55	13	49	SE350	曲物	高17.2 厚0.6
55	14	49	SE350	曲物	高12.0 厚0.4

表7　鎌倉時代遺物組成

種　　別	破片数	個体数
白磁碗	2	2
青磁碗	12	11
青磁盤	2	2
土師質土器（ロクロ成形）	5	4
土師質土器（てづくね成形）	86	40
須恵器系陶器壺	74	32
須恵器系陶器甕	40	11
須恵器系陶器壺甕破片	38	38
須恵器系陶器擂鉢	42	20
瓷器系陶器甕	5	1
瓷器系陶器壺	3	1
鉄製品釘	2	2
鉄製品刀子	1	1
鉄製品その他	2	2
石鉢	9	7
砥石	7	6
石製品その他	5	2
曲物	10	10
木製品その他	7	7
井戸部材	271	271
総計	623	470
m²あたりの土師質土器	0.01	0.005
m²あたりの輸入陶磁器	0.002	0.002
m²あたりの国産陶磁器	0.023	0.012
m²あたりの焼物	0.035	0.018

個体数は個体識別による。
木製品は個体数を破片数としている。
m²あたりの出土数を求める際の面積は8800m²を用いている。

は、１棟以上の建物が存在するはずである。推定した区画の中の遺構のセットを整理することにより塔の腰遺跡の屋敷のパターンを把握することができると考え、課題として残す。

福島県郡山市荒井猫田遺跡では、13・14世紀の道路遺構・在地領主の屋敷跡・町屋が調査され、道路と屋敷跡の関係が理解できるように検出されている(文献20)。塔の腰遺跡でも、調査区南半で道路に面して屋敷区画が並び、調査区中央では道路からＡの屋敷地に伸びる小路が確認できる。近年、中世前期村落の資料集積も進み(文献９他)、その様相が明らかになってきている。他遺跡との比較によって、塔の腰遺跡の情報を再編整理する必要を強く感じる。荒井猫田遺跡では、一世代50軒前後の建物と多数の井戸跡が確認され、井戸の集中地区や出土遺物から鉄加工職人や曲物職人の存在が考えられている（注２・文献20)。塔の腰遺跡でも、区画Ｆに素掘り井戸（土坑ａ類)、ロート状の土坑（土坑ｂ類）が集中し、他地区と異なる遺構の在り方を示す。ＳＫ67・68・71・73等は、調査期間中に20～30cmの滞水が常にみられ、豊富な水量が確保されていたようである。それを利用した、作業場的な空間と理解したい。

出土した遺物は、破片点数は少ないものの、内容にはまとまりが見られる。青磁・珠洲・土師質土器皿の出土は日本海側の鎌倉時代の様相をよく表しているものと思われる。珠洲はⅡ～Ⅳ期（文献10）に収まる。輸入陶磁器には、玉縁を有する白磁等12世紀に溯るものがあるが、青磁鎬蓮弁紋碗はＩ－５ｂ類（文献２）を示し、珠洲との在り方から、遺跡の主体は概ね13世紀～14世紀前半代と判断したい。

これらの流通品と共に、土師質土器皿が44個体出土している。出土状況は、井戸跡・土坑の人為的埋土と遺構確認面からの出土が主である。井戸・土坑では、ＳＫ357から６個体まとまって出土している他は、単体または数破片の出土である。明瞭な使用痕も認められない。塔の腰遺跡周辺の土師質土器皿を伴う遺跡でも、同様の出土状況を示す。土師質工器皿の地域での使われ方については、検討が必要であると考えられているが（文献21)、細かい分析が待たれる。ＳＫ336では、青磁鎬蓮弁紋碗（Ｉ－５ｂ類）との人為的埋土中の共伴がみられる。てづくね成形土師質土器皿は、遺存状態が悪く調整が不明瞭であるが、形態や段の付くような強いナデは平泉のⅡ２類（文献15・注３）の特徴をよく示している。Ⅱ２類は、13世紀前半から中葉に位置付けられている。土師質土器皿は、法量と技法の模倣は安易に可能であるが、厚みについては熟練を要すると思われる。塔の腰遺跡の土師質土器皿は、比較的薄い作りであり京都系技法を駆使しているようにも看て取れるが、厚みに均一性が無く口唇端部の作りが粗雑である。

江戸時代

Ⅱ層上面から、17・18世紀と考えられる遺物が出土している。遺構は確認できず現在のところ詳細は不明である。塔の腰遺跡の西側に俗称地名「馬塚」「雑役面」があり、酒井家の馬を埋葬したところとの伝承が残る（文献８)。

２　地域の中での塔の腰遺跡の位置付けと課題

庄内平野の南端部

塔の腰遺跡の北西約１kmの後田遺跡およびその南西部は、古墳時代以降集落が営まれている。一方、塔の腰遺跡以東の平地で集落が営まれるようになるのは、平安時代になってからである

と現在のところ理解される。その一つとして塔の腰遺跡は、青龍寺川の河岸段丘として形成された微高地に10世紀に入り姿を現す。

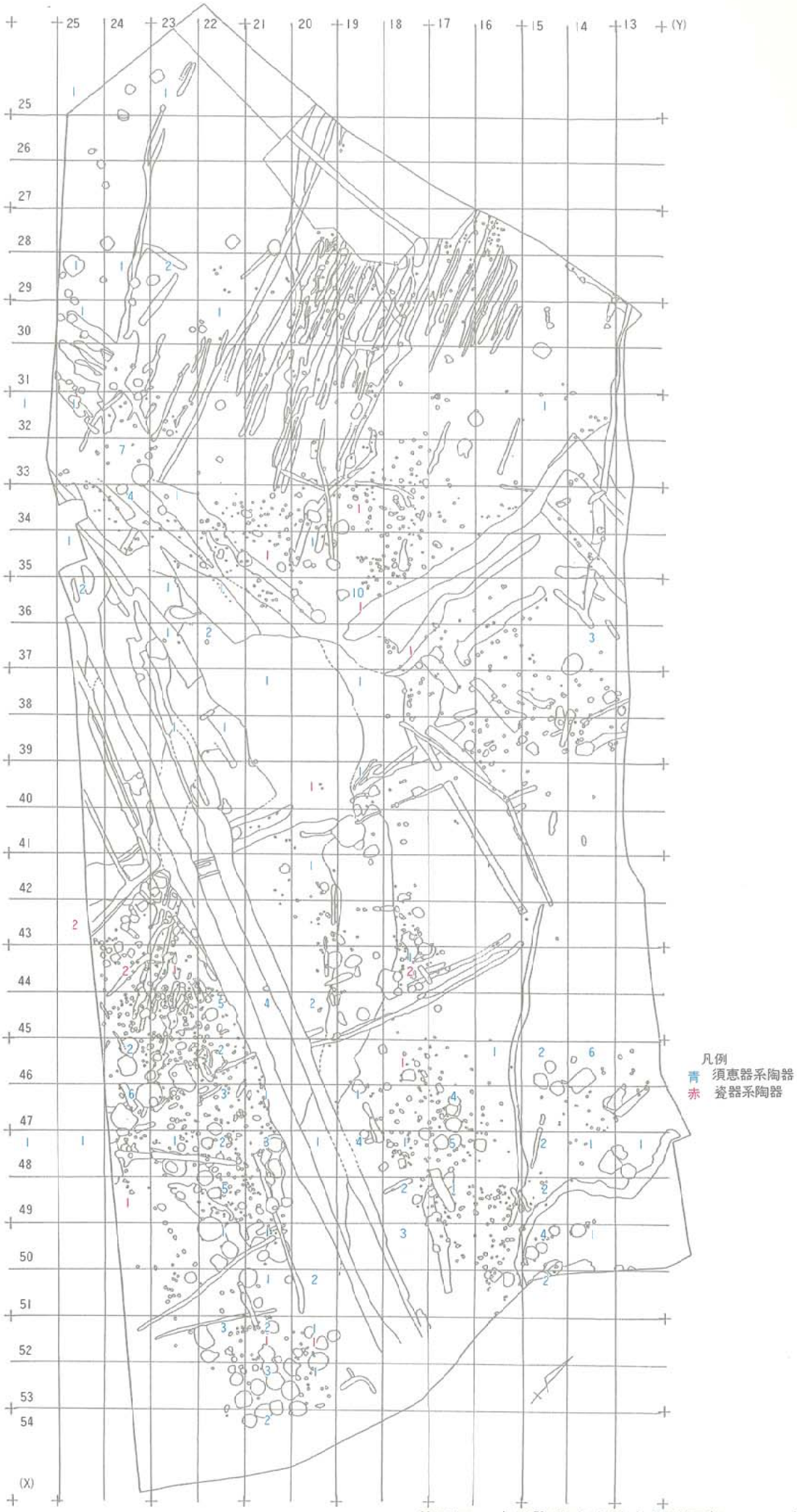
その後継続することなく、10世紀後葉には姿を消し、約200年間の空白を経て鎌倉時代にまた集落が営まれる。この時期、庄内平野の南端部には遺跡が急に増加している。興味深いことに、塔の腰遺跡から西方日本海までの間大泉地区には、土師質土器皿が出土する遺跡が点在して確認されている（第62図)。各遺跡はてづくね成形が主体で、塔の腰遺跡の土師質土器皿と技法・法量が類似する。西谷地遺跡では74点出土し、道路状遺構に掘立建物跡・竪穴建物状遺構（中世以降の所産とする大規模な溝に軸を等しくする建物）が伴う。大泉地区の西側は、平泉奥州藤原氏の郎従としての地位にあった田川氏の政治拠点田川がある。奥羽合戦の後、13世紀に入り田川地区の東には土師質土器皿を持つ集落がまとまって営まれている。存続期間は短く、14世紀前半には衰退している。これらの遺跡の12～14世紀の情報と田川地区のこれまでの研究成果を分析することにより、田川氏滅亡とその後の情勢を理解できると思われる。遺構の類似性・遺物組成・地理的特性を整理する機会を改めて得たいと考える。

検出された道路の東と西

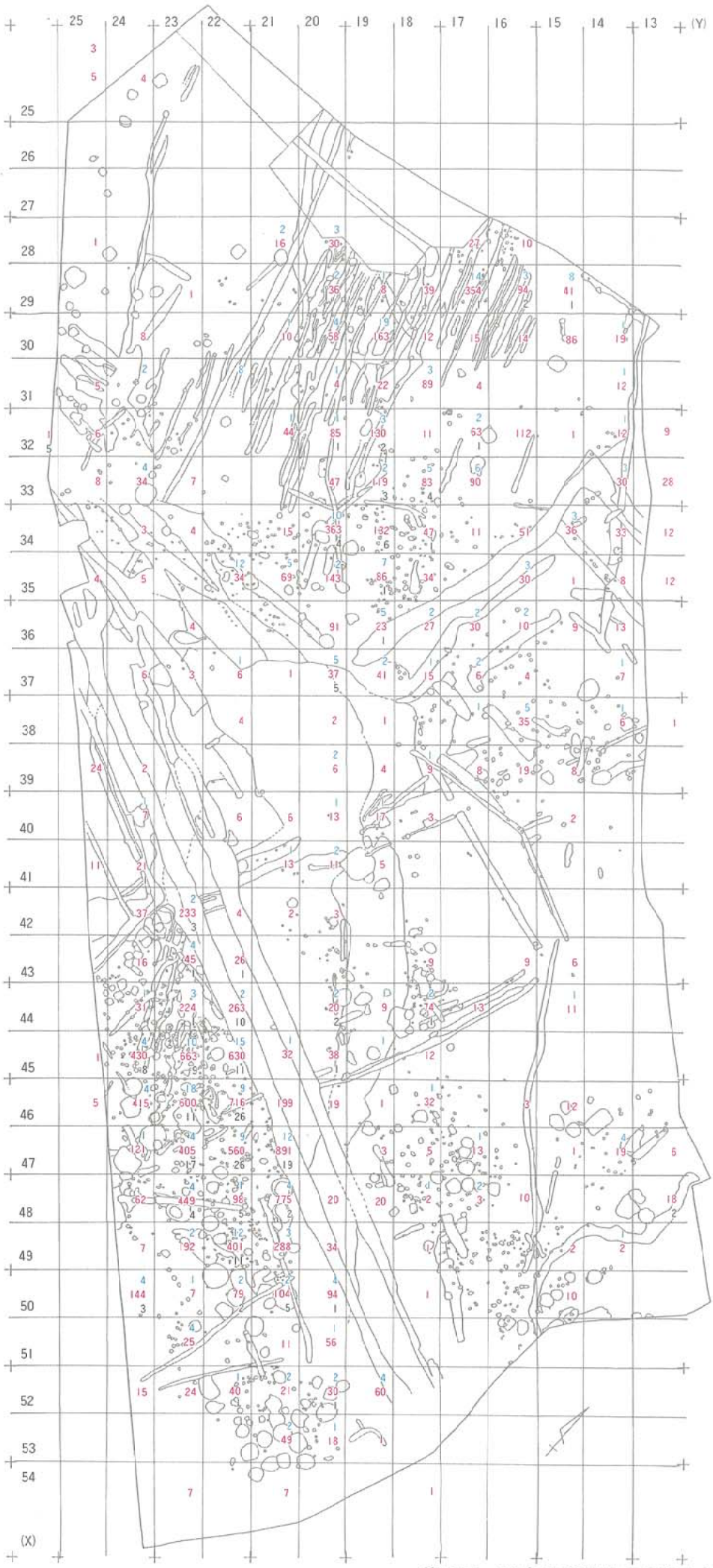
塔の腰遺跡の今回の調査では、鎌倉時代の道路が現在まで使用されていたことが分かった。現在は畑地を貫く農道となっているが、鎌倉時代は屋敷の並ぶ街道だったと考えられる。中世の景観が残されていることが、意外に多いのではないだろうかと改めて強く感じる。

農道は、東側の青龍寺川手前の堰で分断されているが、明治年間の地籍図によると、堰に沿って北側に折れていたようである。青龍寺川は、慶長年間に農業用水整備の目的で改修されており（文献３)、この際、道路にも手が加えられた可能性が高い。道路東側延長線上約１kmには、平成８年度に鶴岡市教育委員会が調査を行っている鳥居上遺跡がある。掘立柱建物跡が検出され、柱状高台等が出土し、12世紀末～13世紀の年代が想定されている（注４)。

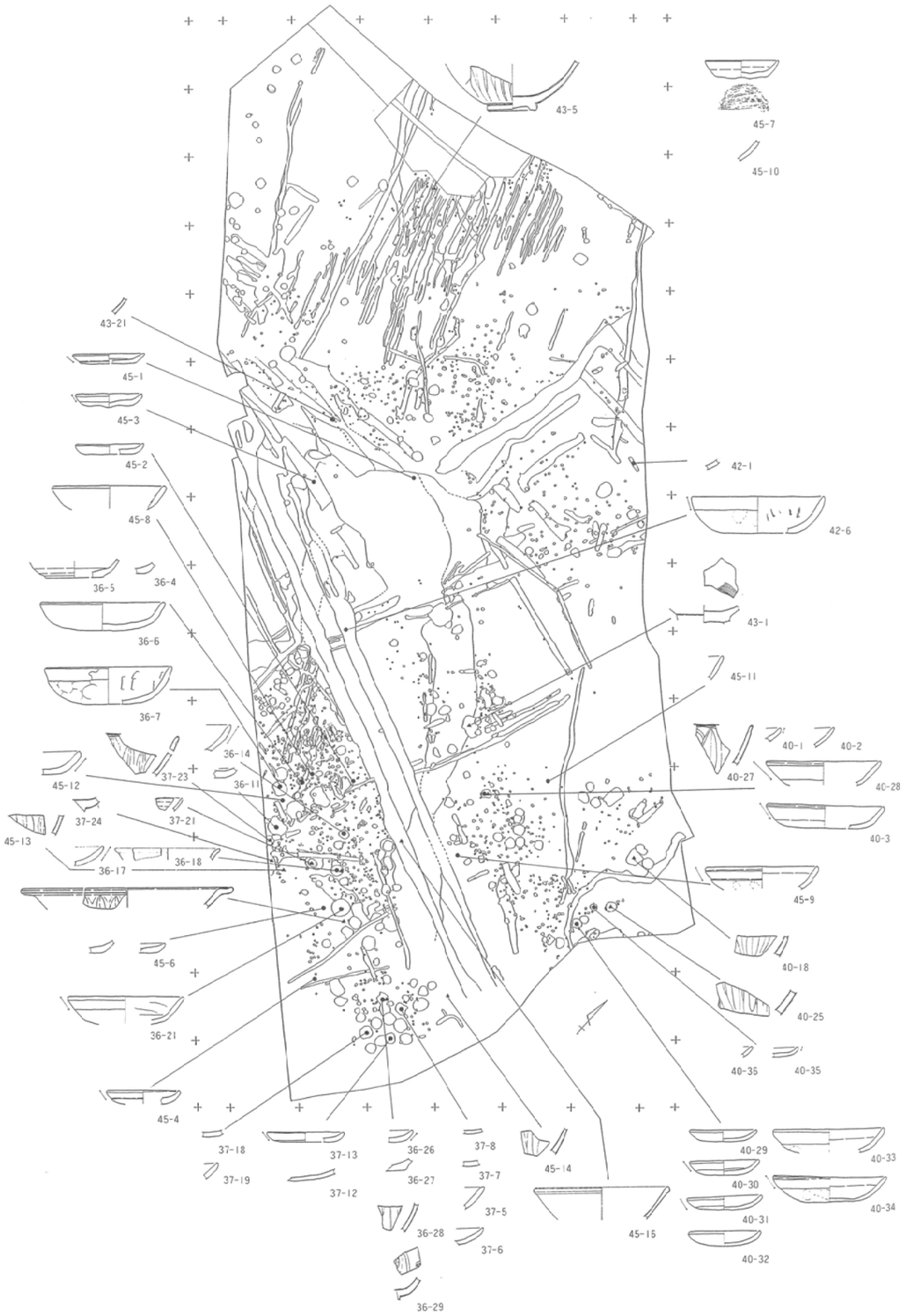
一方西側では、明治年間地籍図によると、道路は調査区西側の丘陵南裾を通り過ぎている。地元の聞き取り調査を行ったところ、昭和30年代の耕地整理が行われるまで、「塔ノ山」と呼ばれる小高い山があったとされる（図版24・25、注５)。頂上部には宝筐印塔、愛宕大権現の石塔が置かれていた。また、五重の塔が立っていたとの伝承が残る。「塔の腰」の字はその腰回りという意味である（文献８)。道路は、「塔ノ山」の南を通り、現湯田川街道越え、石鳥居をくぐり井岡寺参道に入る。道路の西方直線上、調査区から約200mのところに堂の山があり、その山腹に井岡寺が位置する。井岡寺は、天長２年（825年）淳和天皇の勅願所として開創され、鎌倉時代には幕府祈願所なったと言われる。延喜式内社の遠賀神社が中世に井岡寺南の現在地に移されている(文献25)。井岡寺裏山には、土塁が残り城館が営まれた時期もあったとされる。塔の腰遺跡は井岡寺・遠賀神社が臨む、東方の参道上に広がる。井岡寺は存続し、江戸時代には寺領172石（大字寺田・白山・森片周辺）を有する隆盛を極める（文献25)。その参道延長線上の、街道沿いにある塔の腰遺跡の中世集落は、何故か存続期間が13世紀～14世紀前半と短い。江戸時代に入り現国道345号が湯田川街道として栄えるようになっても、馬を葬った所との伝承が残るだけで遺構は確認できない。その限られた存続期間が、遺跡の性格を示すと考えられる。



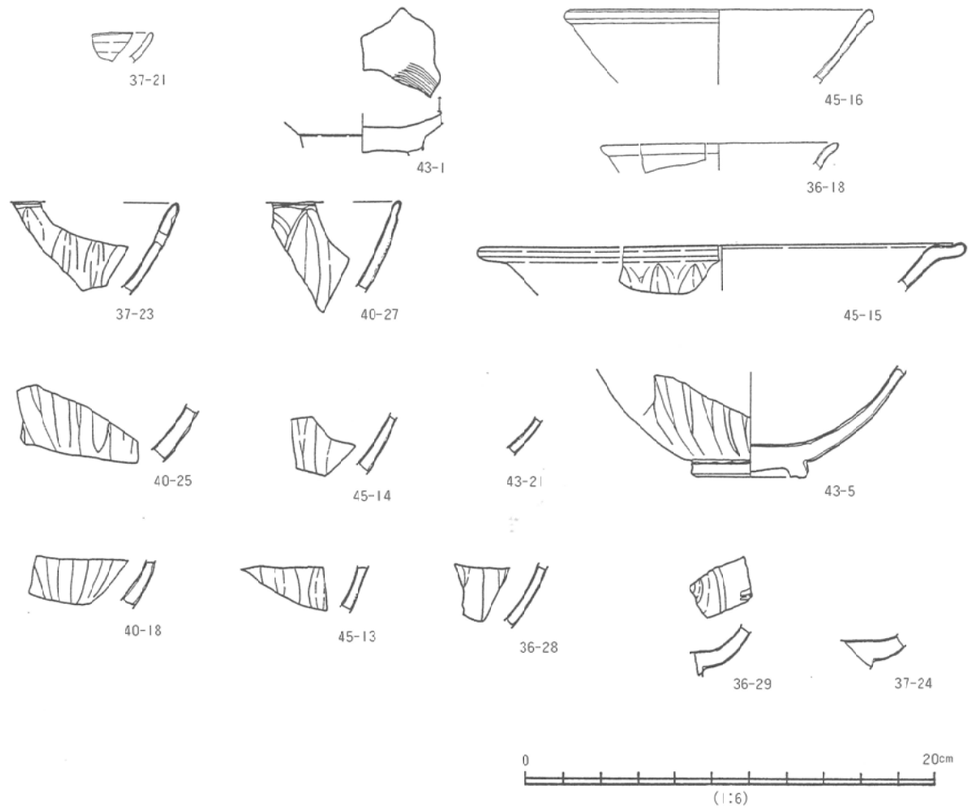
第57図　中世陶器出土地点集計図(S＝1:600)



第56図　平安時代遺物出土地点集計図(S=1:600)



第58図　土師質土器・磁器出土分布図(S=1:800)



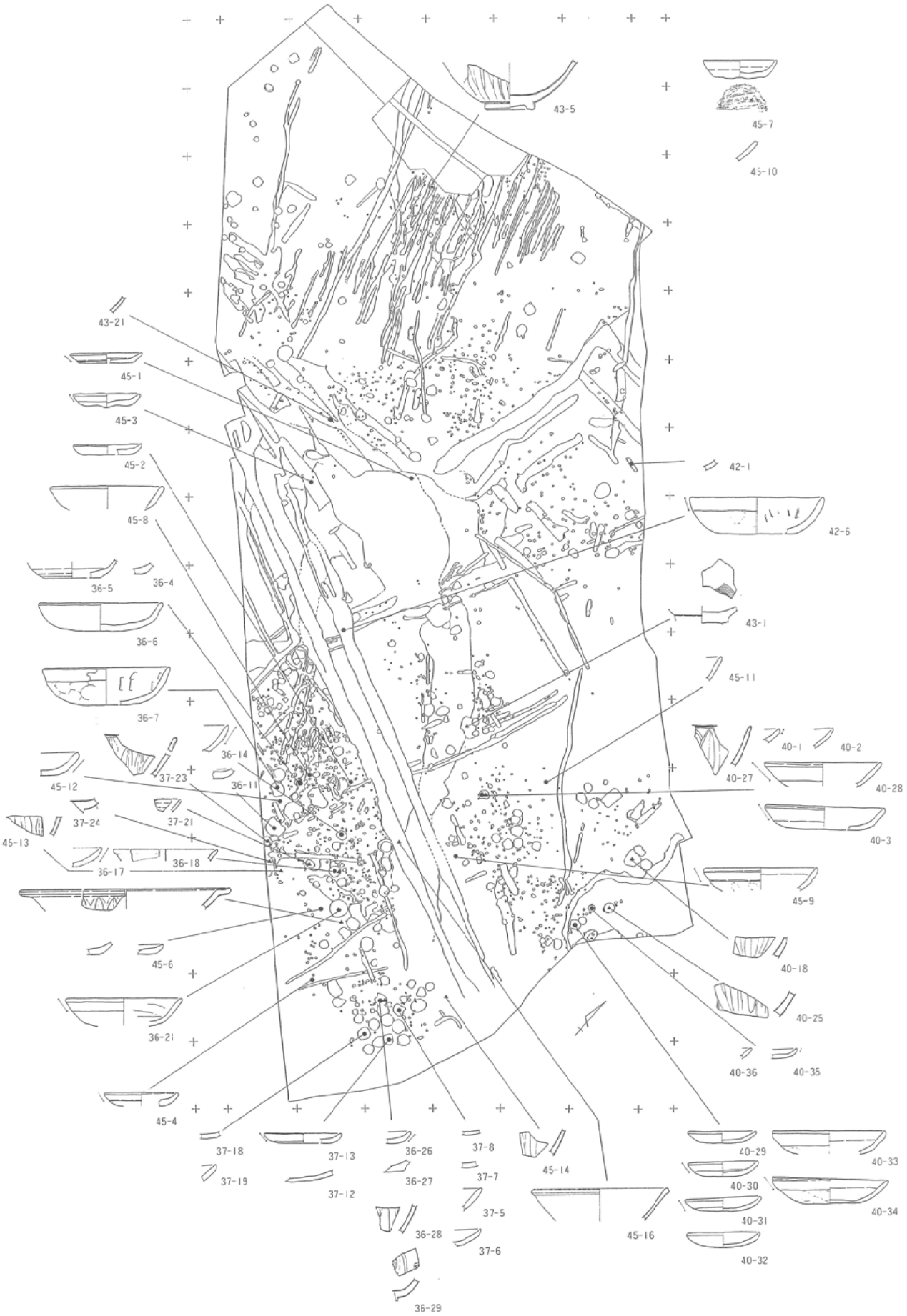
第59図　輸入磁器集成(1/3)

注

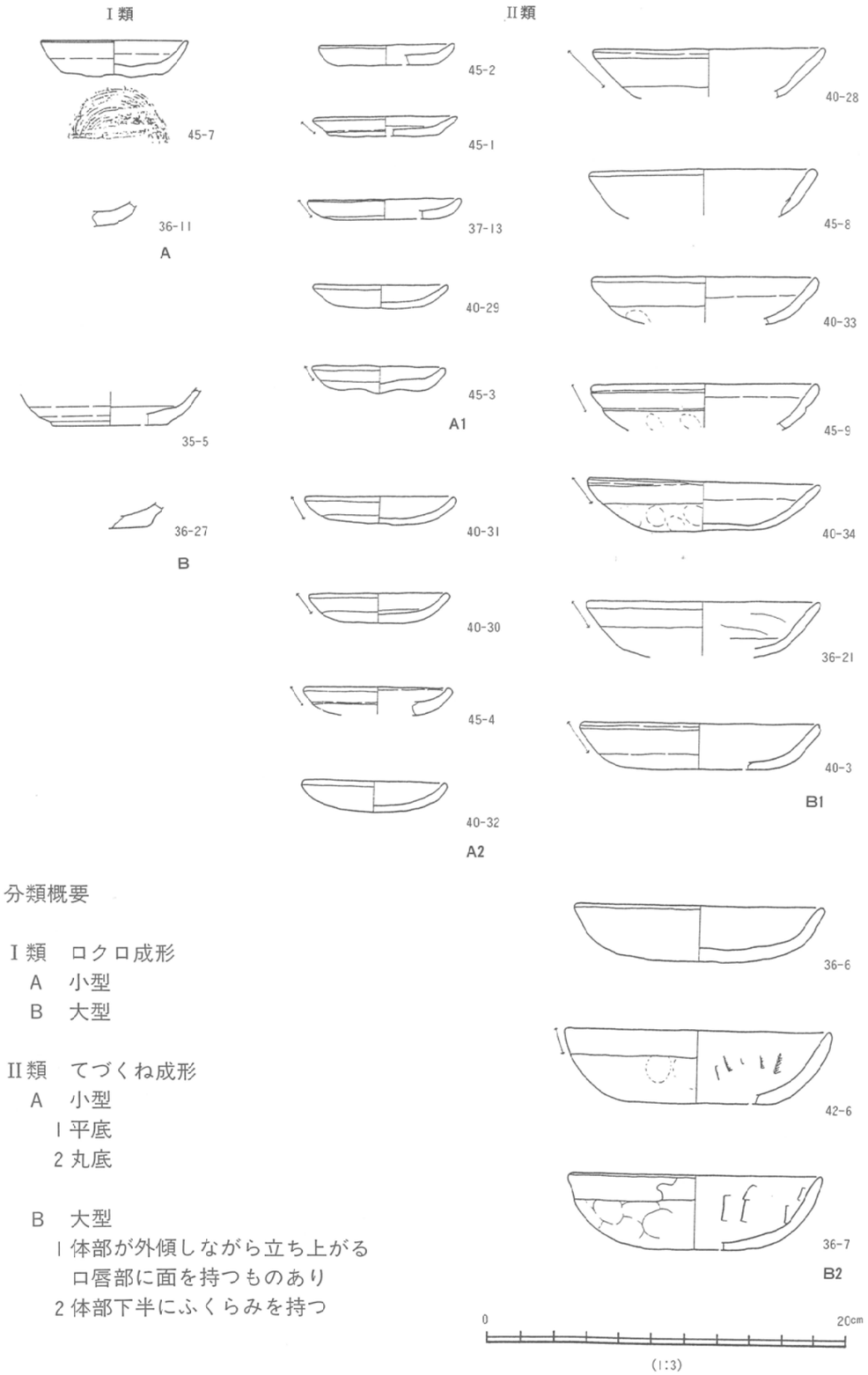
1　田中靖氏にご教示いただく。整理中の下ノ西遺跡遺物との類似性もご指摘いただく。
2　高橋博志氏に荒井猫田遺跡現地でご説明いただく。
3　八重樫忠郎氏にご教示いただく。
4　眞壁建氏に資料の提供をしていただく。
5　井岡寺住職大澤榮繕氏に、写真の提供と当時の詳しい説明をしていただく。大澤氏によると、昭和30年代後半、「塔ノ山」は重機で削平されている。その際、石塔の下から径15cm×高さ30cmの銅製の経筒と10cm大の木製弥勒菩薩が出土し埋め戻したとのことである。

主な参考文献

1　鶴岡市文化財愛護協会『つるおか田川　文化財散歩ーコース別案内ー』　1976
2　横田賢次郎・森田勉「太宰府出土の輸入中国陶磁器について－型式分類と編年を中心として－」『九州歴史資料館研究論集　4』　1978
3　高橋種芳『大泉掌故』江戸時代後期　鶴岡市史資料編庄内資料編荘内史料集19（1981）所収
4　菅田慶恩他編纂『角川日本地名大辞典　6　山形県』　1981
5　新潟県教育委員会『山三賀Ⅱ遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第53集　1989
6　山形県教育委員会『大道下・月記・大東遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財報告書第153集　1990
7　高橋與右衛門「発掘された中世の建物跡」『北の中世』　1992
8　大泉文化財愛護会『大泉地区　俗称地名調査表』　1993
9　北陸中世土器研究会『中世北陸の家・屋敷・暮らしぶり』　1993
10　吉岡康暢『中世須恵器の研究』　1994
11　財団法人山形県埋蔵文化財センター『塔の腰遺跡調査説明資料』　1994
12　財団法人山形県埋蔵文化財センター『後田遺跡・大道下遺跡調査説明資料』　1994
13　山形県教育委員会『分布調査報告書（22）』山形県埋蔵文化財調査報告書195集　1994
14　財団法人山形県埋蔵文化財センター『西谷地遺跡第２次・西ノ川遺跡発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第26集　1995
15　平泉町教育委員会『志羅山遺跡第35次発掘調査報告書－平泉郵便局庁舎建設に伴う調査－』岩手県平泉町文化財調査報告書第51集　1995
16　和島村教育委員会『県営圃場整備事業（桐原地区）に伴う埋蔵文化財調査報告書　門新遺跡』和島村埋蔵文化財調査報告書第４集　1995
17　和島村教育委員会『遺跡発掘事前総合調査に係る埋蔵文化財調査報告書　門新遺跡　外割田地区』和島村埋蔵文化財調査報告書第５集　1996
18　財団法人山形県埋蔵文化財センター『西谷地遺跡第３次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財センター調査報告書第33集1996
19　川崎利夫他『田川の歴史』1996
20　郡山市教育委員会・財団法人郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団『荒井猫田遺跡現地説明会資料』　1996
21　福島考古学会『福島考古　第38号』　1997
22　伊藤清郎『霊山と信仰の世界－奥羽の民衆と信仰－』　1997
23　植松暁彦「庄内高瀬川と月光川流域の平安時代の集落変遷について」『山形考古』第６巻第１号　1997
24　北陸古代土器研究会『シンポジウム北陸の10・11世紀代の土器様相』　1997
25　大澤榮繕「井岡寺の歴史」



第58図　土師質土器・磁器出土分布図(S=1:800)



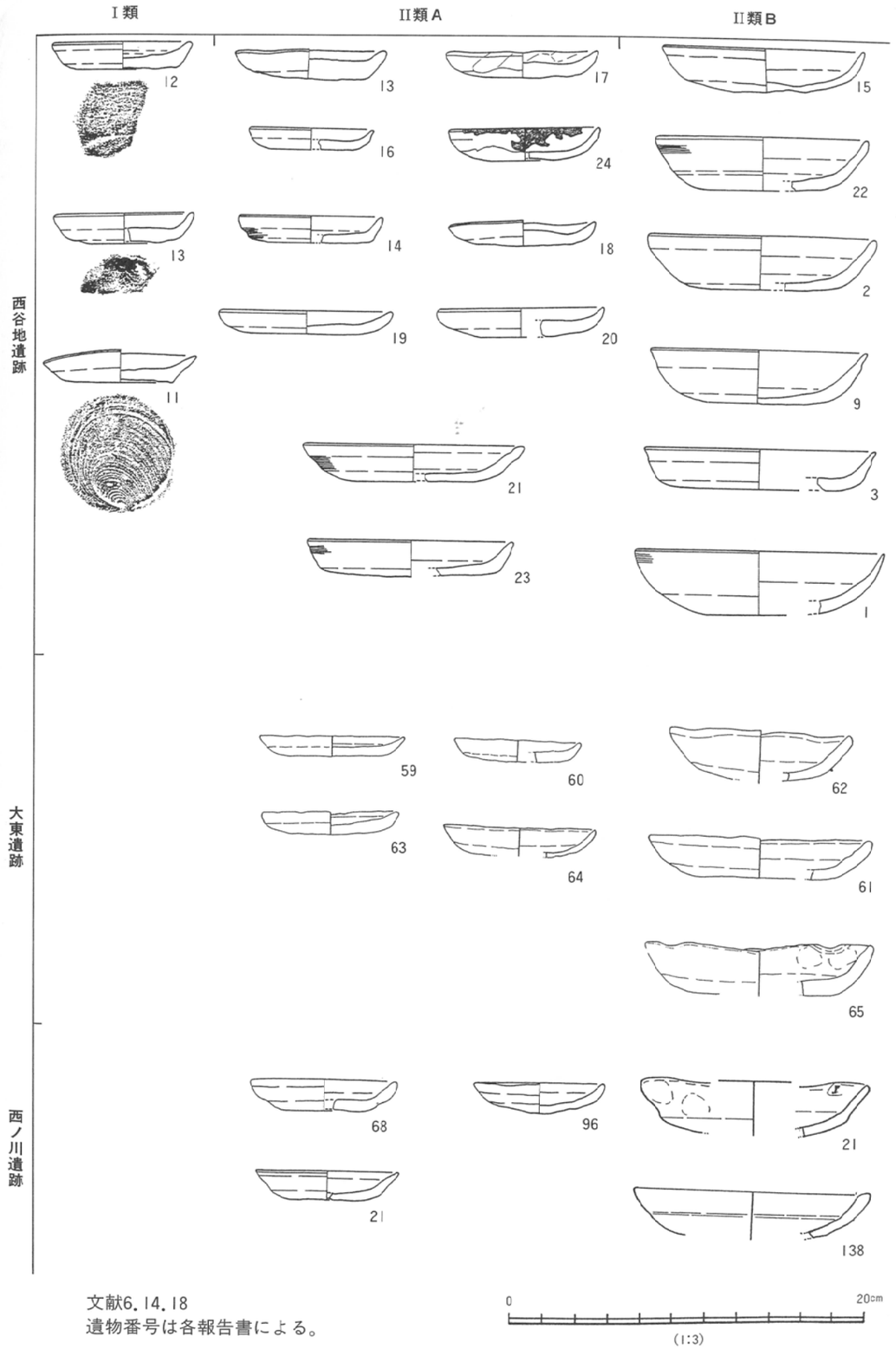
分類概要

I類　ロクロ成形
　A　小型
　B　大型

II類　てづくね成形
　A　小型
　　1 平底
　　2 丸底

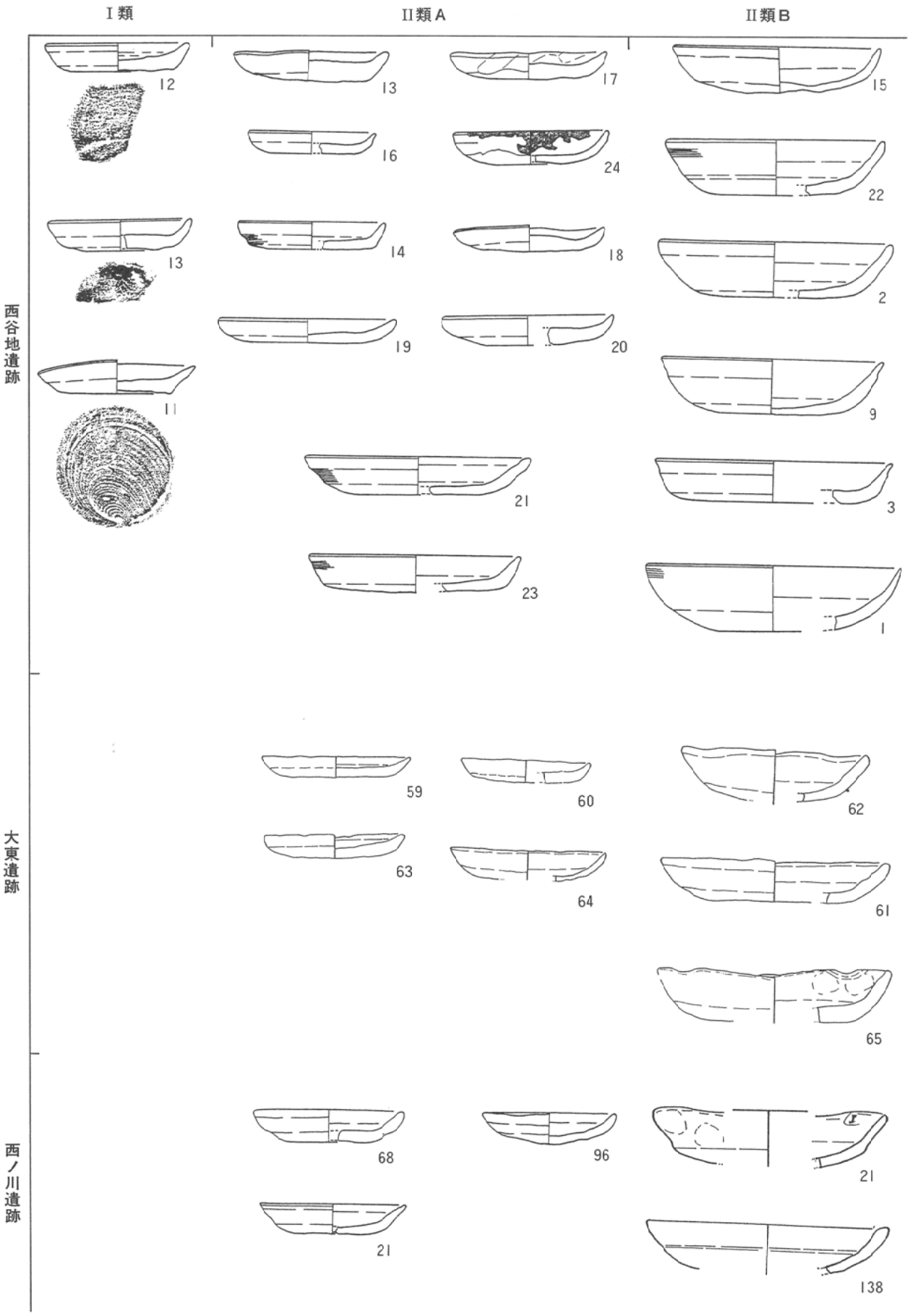
　B　大型
　　1 体部が外傾しながら立ち上がる
　　口唇部に面を持つものあり
　　2 体部下半にふくらみを持つ

第60図　土師質土器集成(1/3)



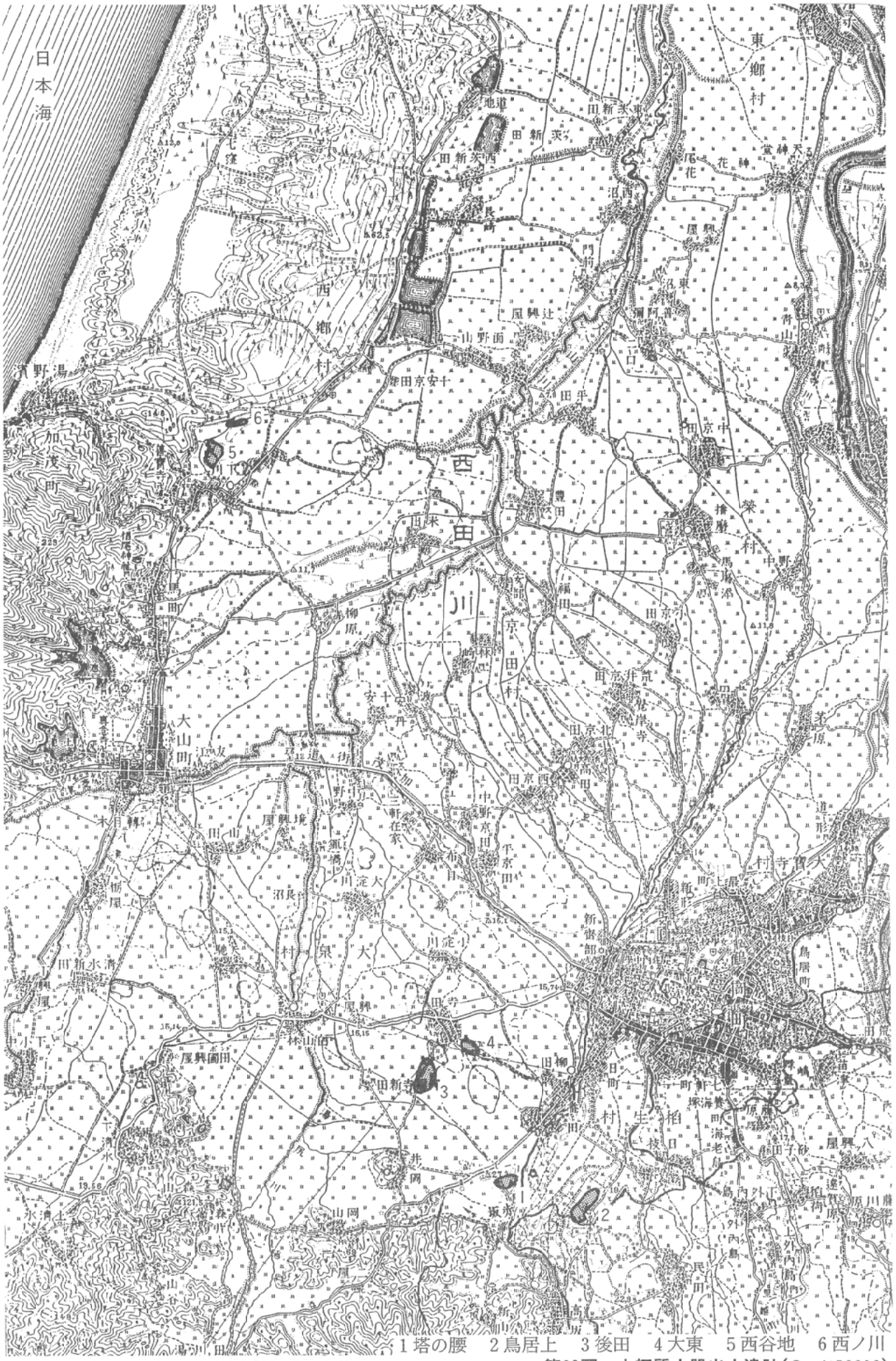
文献6.14.18
遺物番号は各報告書による。

第61図　周辺の遺跡出土土師質土器



文献6.14.18
遺物番号は各報告書による。

第61図　周辺の遺跡出土土師質土器



1 塔の腰　2 鳥居上　3 後田　4 大東　5 西谷地　6 西ノ川

大正２年測図　大正５年製版「鶴岡」に加筆。

第62図　土師質土器出土遺跡（S＝1:50000）

報告書抄録

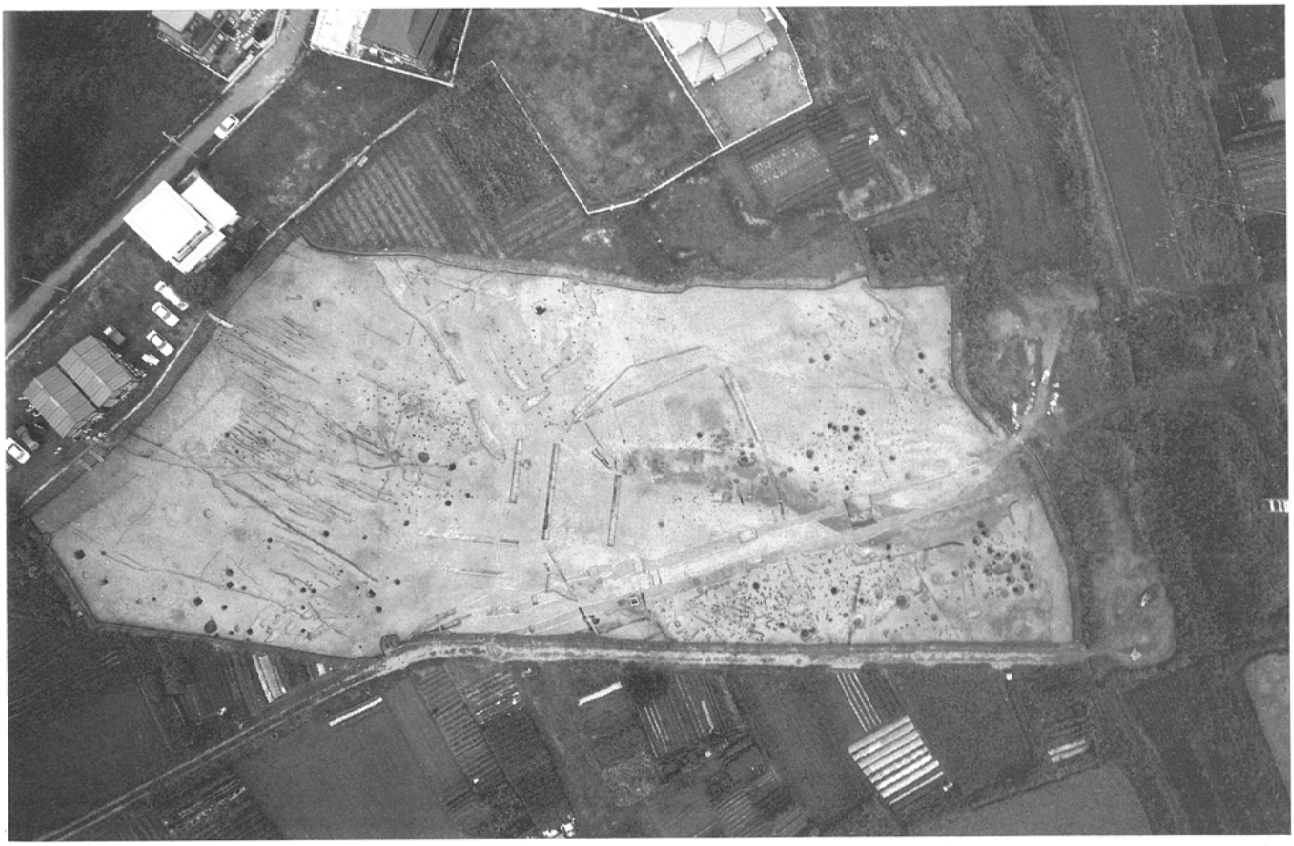
ふりがな	とうのこしいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	塔の腰遺跡発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第50集
編集者名	須賀井新人・水戸弘美・佐竹桂一
編集機関	財団法人　山形県埋蔵文化財センター
所在地	〒999-31　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL　0236-72-5301
発行年月日	西暦1997年10月31日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積（m²）	調査原因
塔の腰（とうのこし）	山形県（やまがたけん） 鶴岡市（つるおかし） 大字井岡（おおあざいのおか） 字塔の腰（あざとうのこし）	6203	昭和63年度 登録	38度 42分 30秒	139度 48分 33秒	19940509 ～ 19940914	9,200	東北横断自動車道酒田線（朝日～酒田間）建設工事

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
塔の腰	集落跡	平安時代	土坑　4 畝状遺構	須恵器（坏・甕・壺等） 赤焼土器（坏・甕・鍋等） 黒色土器（坏） 土製品（土錘）	
		鎌倉時代	掘立柱建物跡　1 溝跡　156 井戸跡　11 土坑　194	須恵器系陶器（甕・擂鉢等） 瓷器系陶器（甕） 瀬戸（壺） 青磁（碗・盤等） 土師質土器（皿） 石製品（石鉢・砥石等） 木製品（曲物・柄杓・箸等） 古銭（熙寧元宝？）	道路遺構に面し、区画溝を伴う中世の屋敷跡。

図　　版

遺跡遠景（南から）

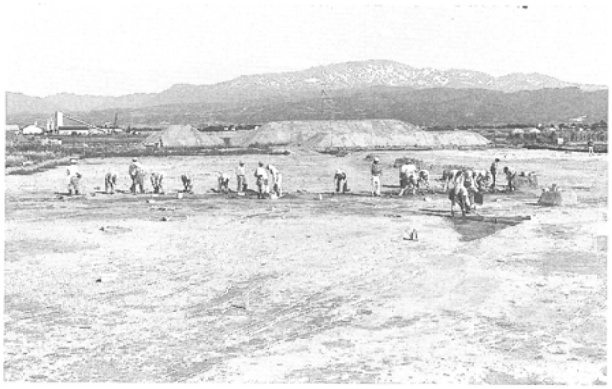


調査区全景（左上方が北）

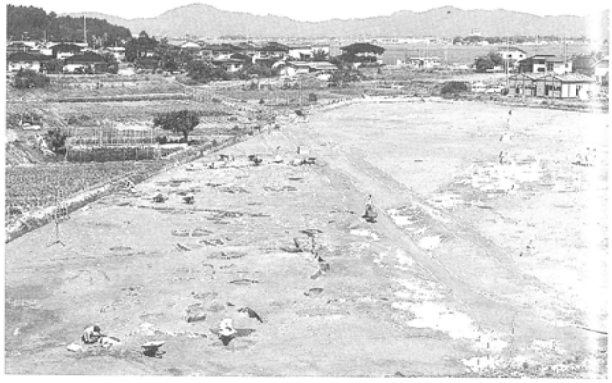
図版 2

トレンチ調査風景（西から）

重機稼動・面整理状況（東から）



面整理風景（西から）



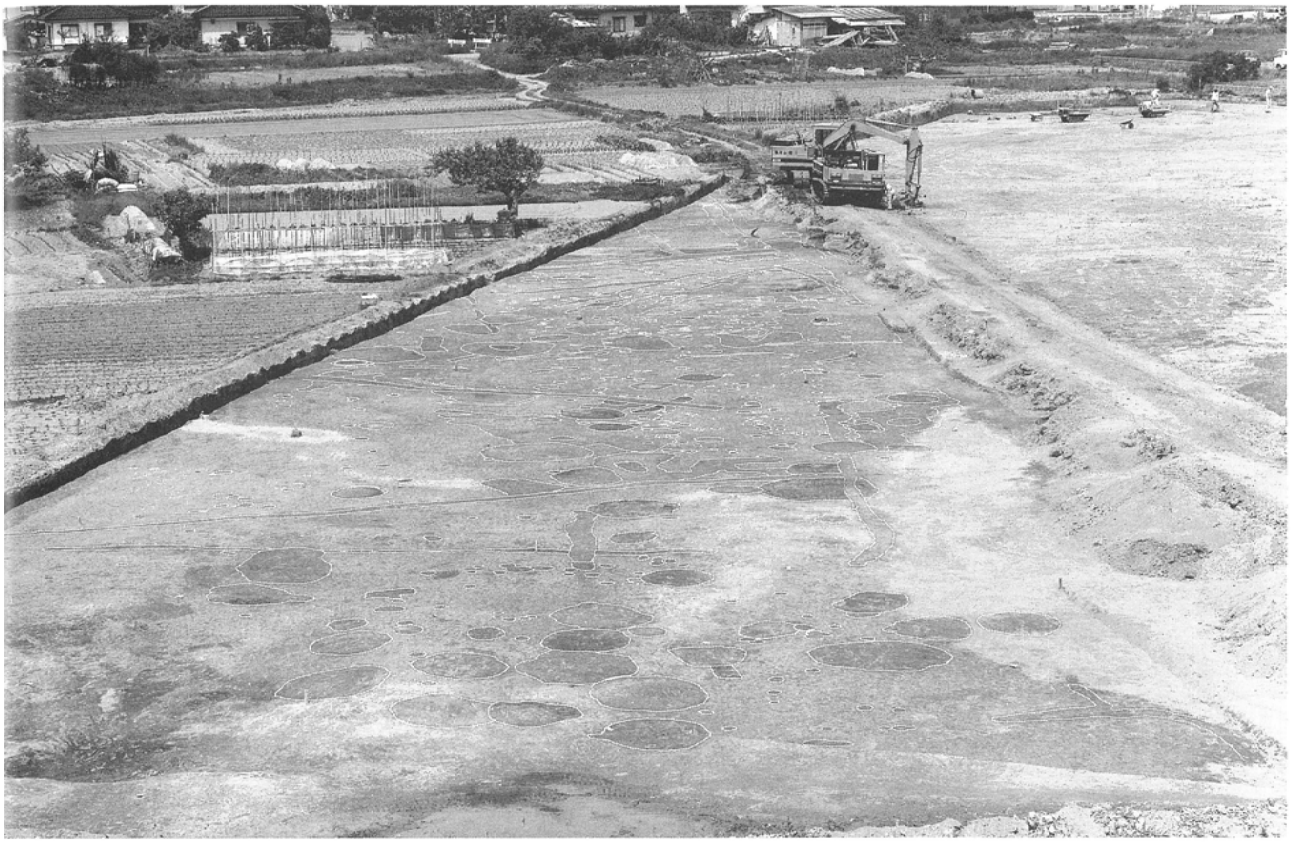
調査風景・遺構精査（東から）

土坑群精査状況（東から）

平面図作成作業風景

記録作業風景

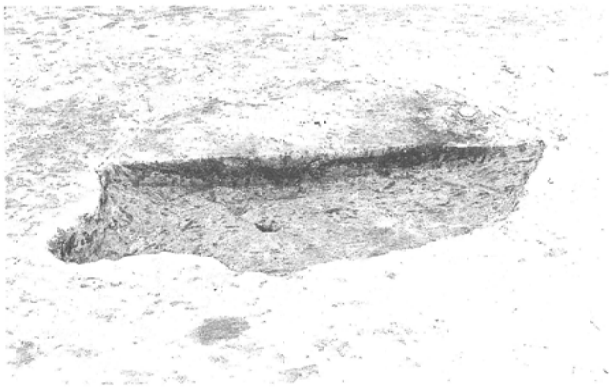
現地説明会風景



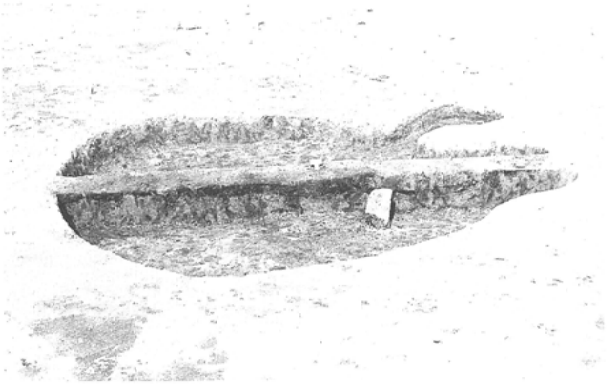
遺構プラン検出状況（南東から）

調査区全景（南東から）

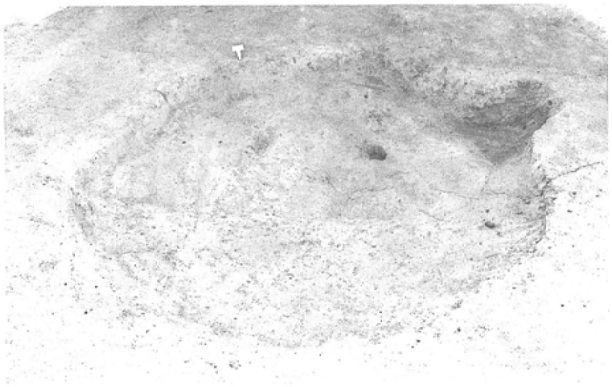
図版４



ＳＫ317土層断面（南から）

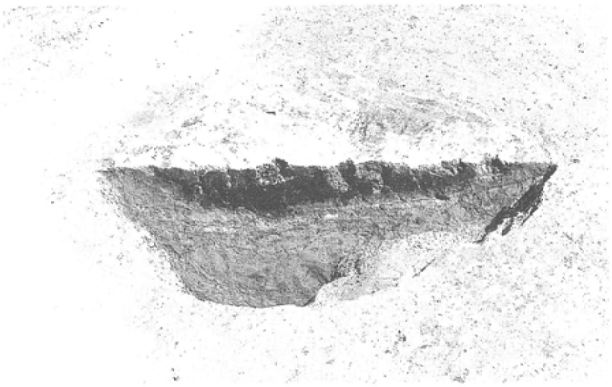


ＳＫ318土層断面（南から）



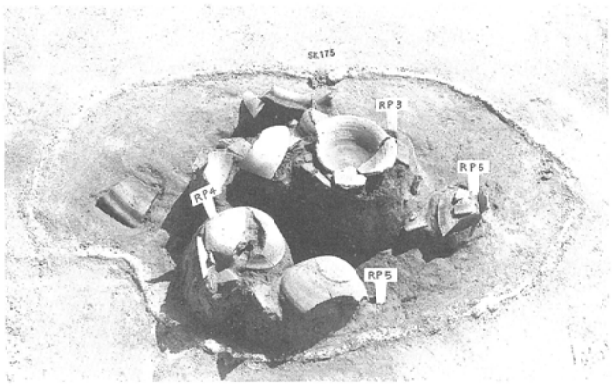
ＳＫ317完掘状況（北東から）

ＳＫ318完掘状況（北東から）

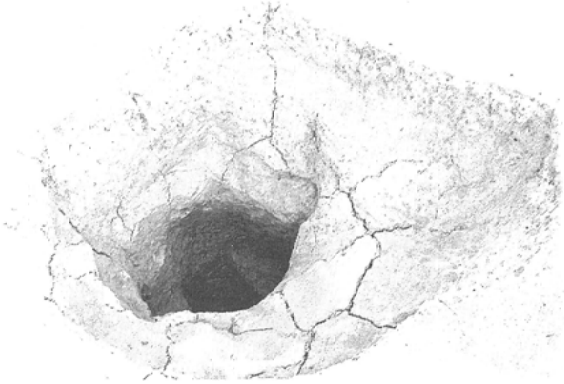


ＳＫ316土層断面（北西から）

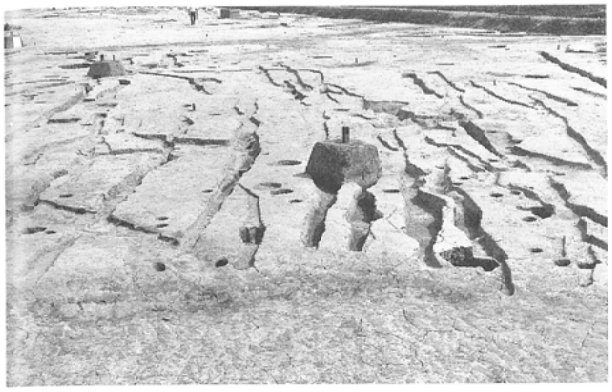
ＳＫ623・ＲＰ18出土状況（東から）



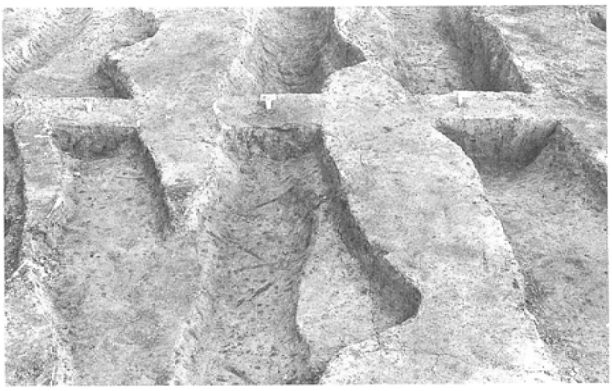
ＳＫ175・ＲＰ３～６出土状況（北東から）



ＳＫ316完掘状況（北西から）

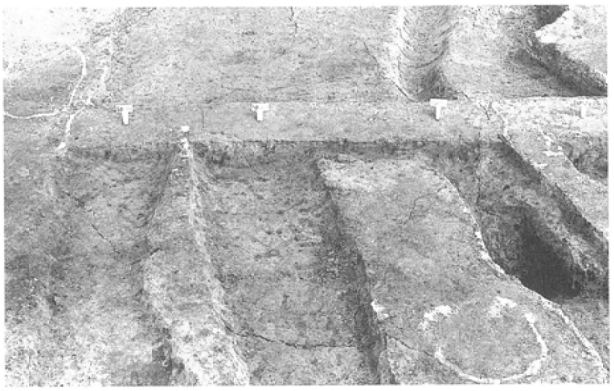


畝状遺構完掘状況（北西から）



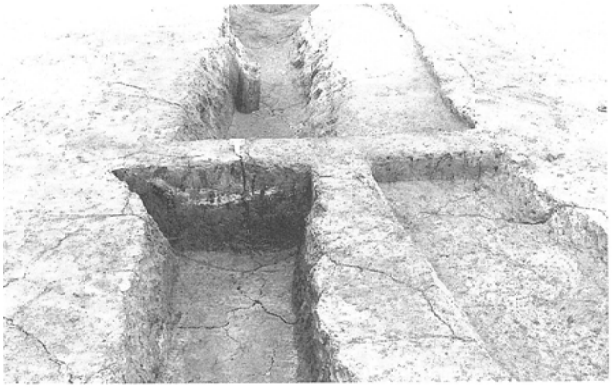
ＳＤ504～506土層断面（東から）

ＳＤ382・421・419土層断面（東から）



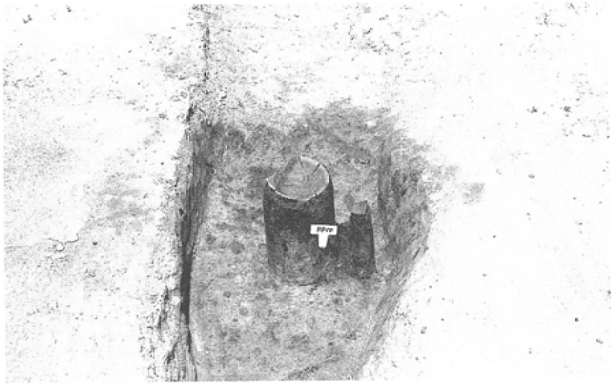
ＳＤ501～503土層断面（東から）

ＳＤ378完掘状況（北西から）



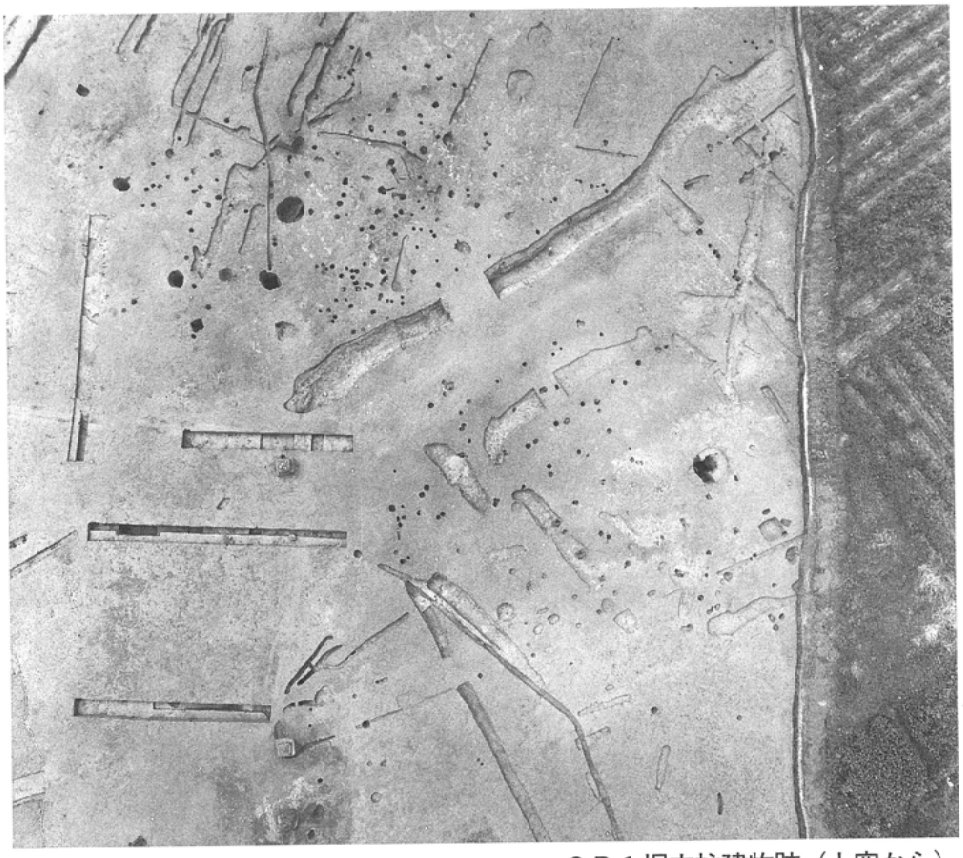
ＳＤ378土層断面　火山灰出土状況（東から）

ＳＤ378・ＲＰ11出土状況（東から）

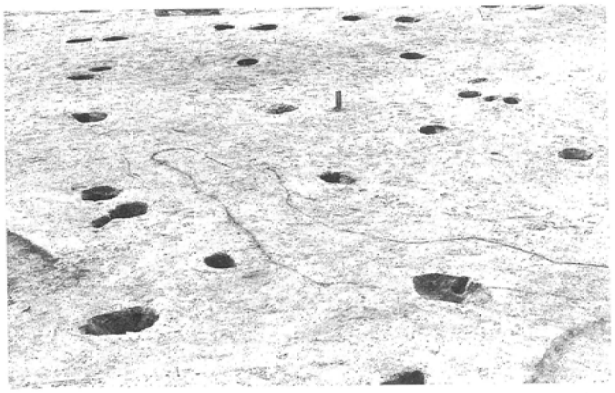


ＳＤ388・ＲＰ10出土状況（東から）

図版６

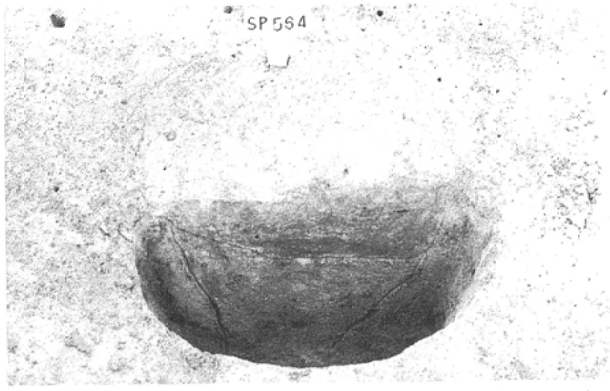


ＳＢ１掘立柱建物跡（上空から）



ＳＢ１掘立柱建物跡（東から）

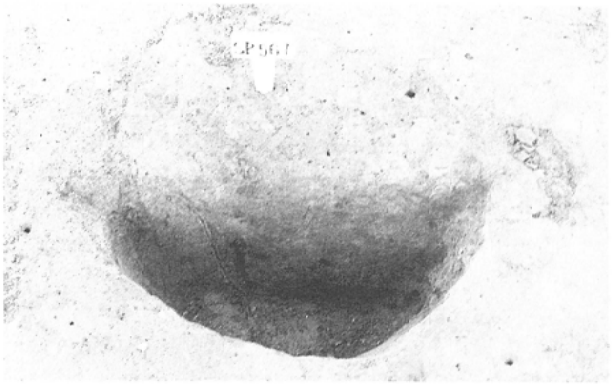
ＳＰ563土層断面（東から）



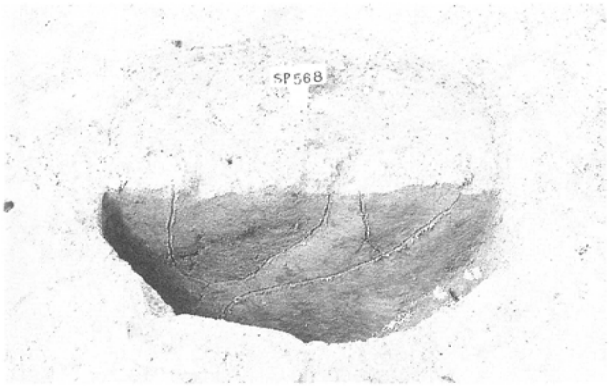
ＳＰ564土層断面（東から）

ＳＰ565土層断面（東から）

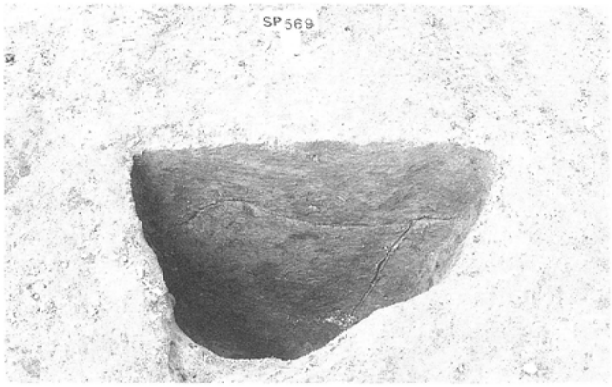
ＳＰ566土層断面（東から）



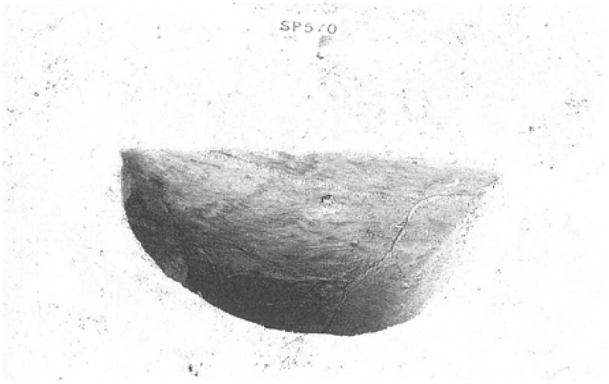
ＳＰ567土層断面（東から）



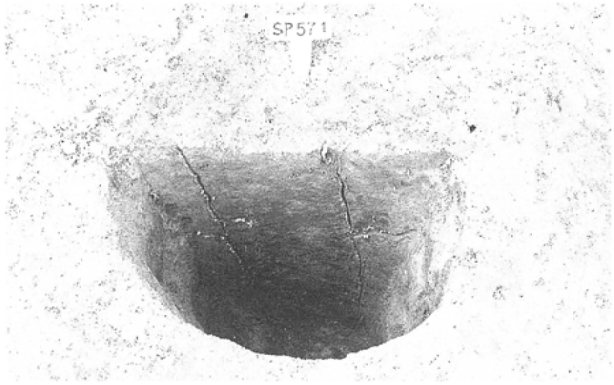
ＳＰ568土層断面（南から）



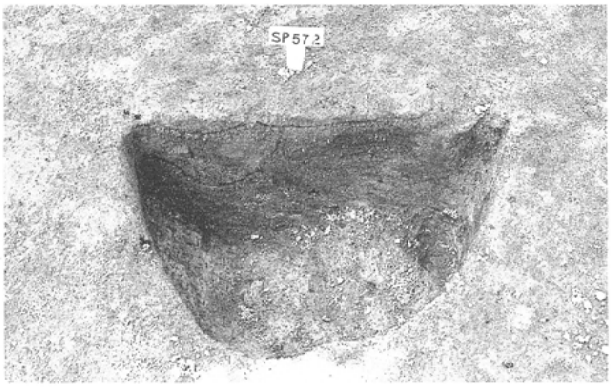
ＳＰ569土層断面（南東から）



ＳＰ570土層断面（南東から）



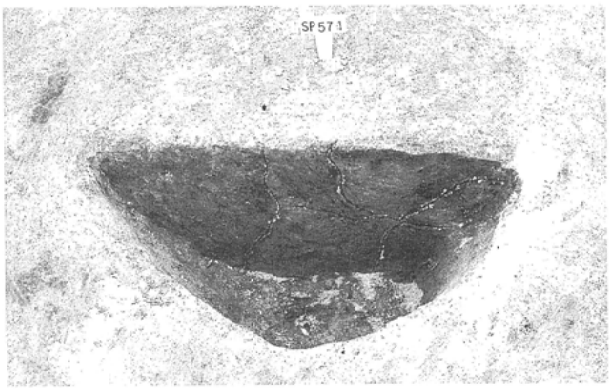
ＳＰ571土層断面（南東から）



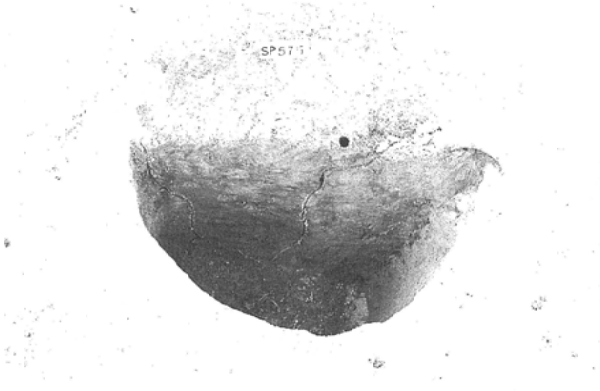
ＳＰ572土層断面（南東から）

ＳＰ573土層断面（南東から）

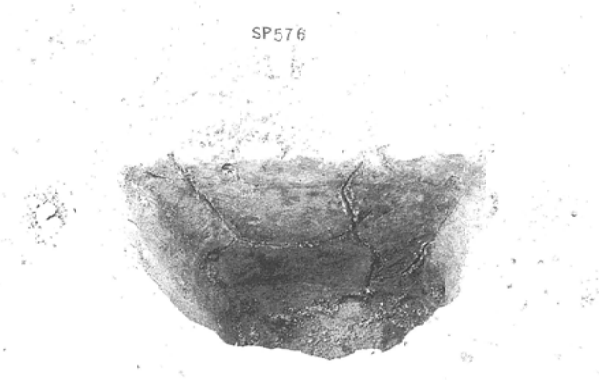
図版 8



ＳＰ574土層断面（北東から）

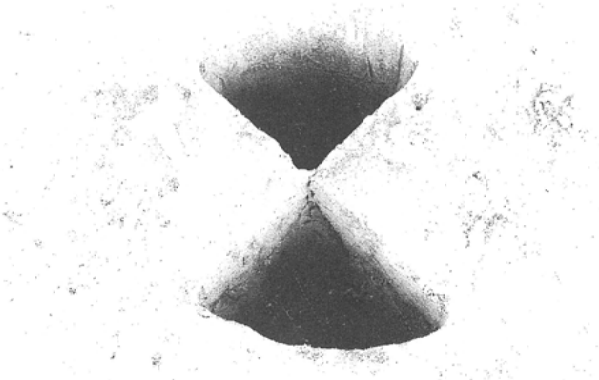


ＳＰ575土層断面（北東から）

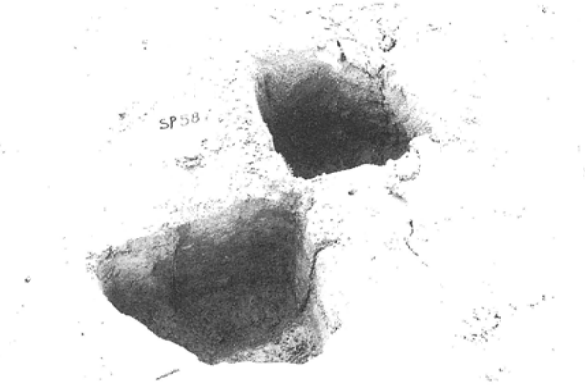


ＳＰ576土層断面（北東から）

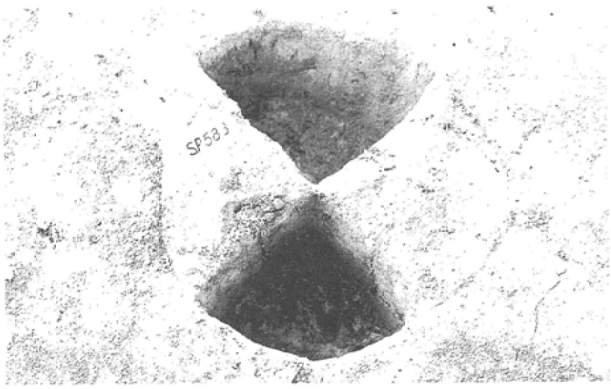
ＳＰ577土層断面（北東から）



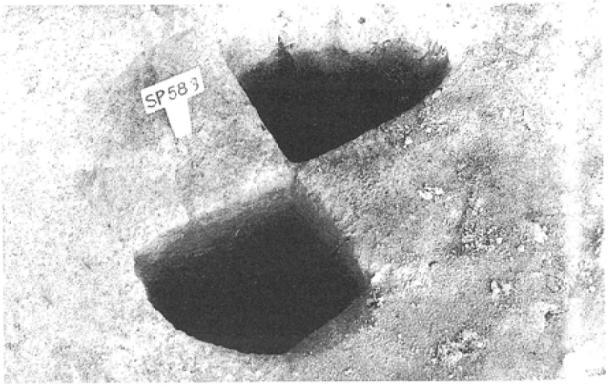
ＳＰ586土層断面（北東から）



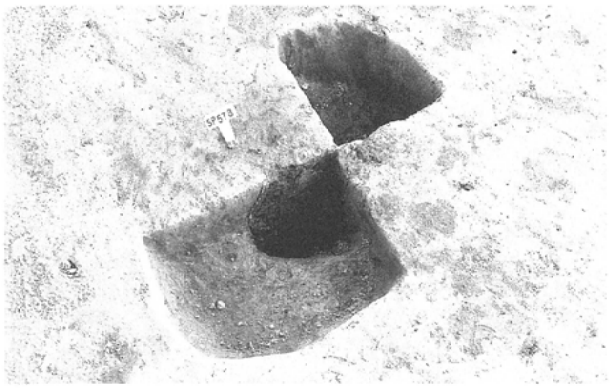
ＳＰ587土層断面（北東から）



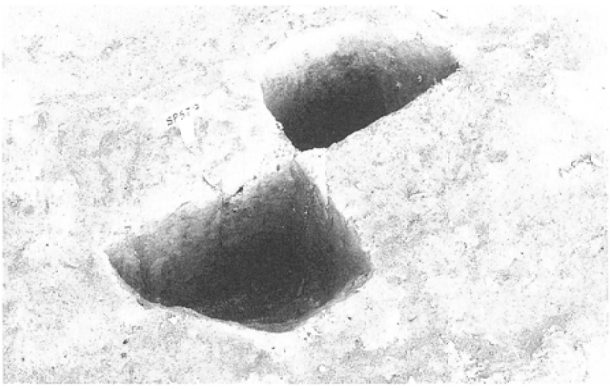
ＳＰ588土層断面（北東から）



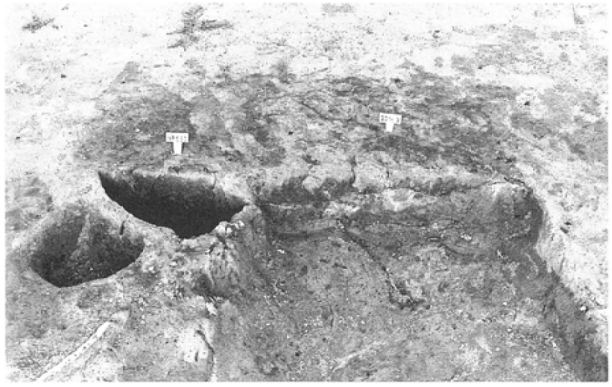
ＳＰ583土層断面（南西から）



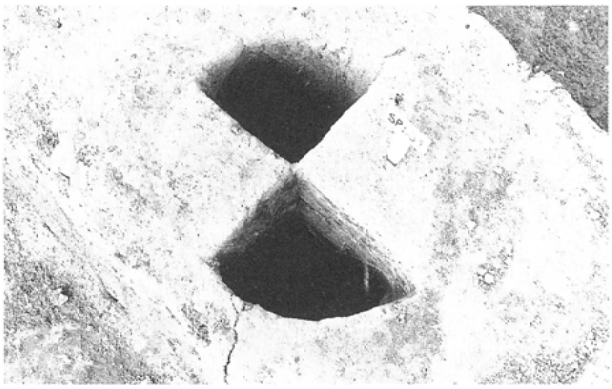
ＳＰ578土層断面（南から）



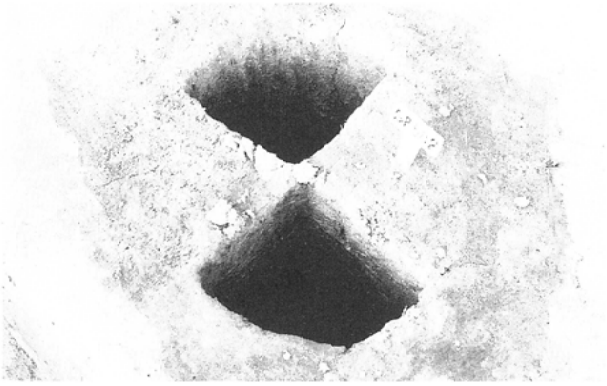
ＳＰ579土層断面（南から）



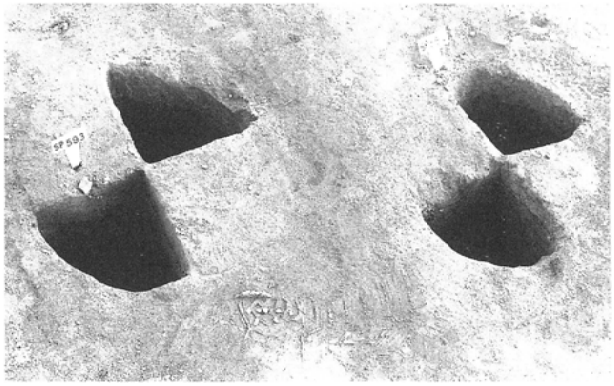
ＳＰ580・ＳＤ469土層断面（西から）



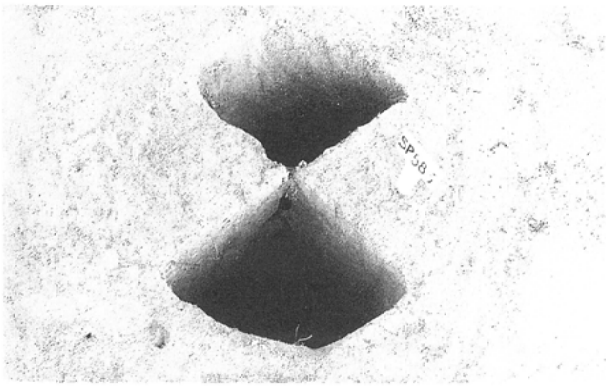
ＳＰ581土層断面（南東から）



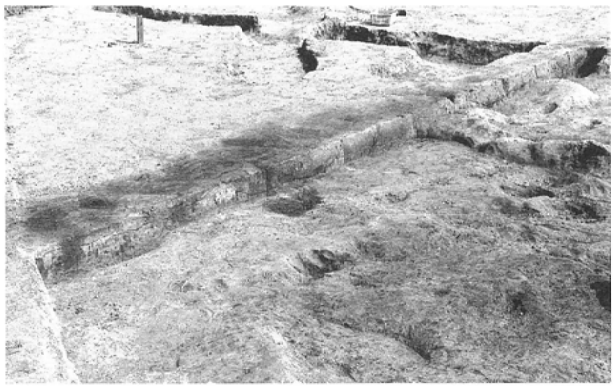
ＳＰ582土層断面（南から）



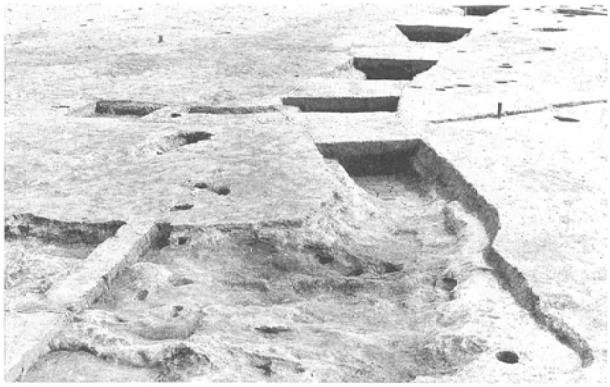
ＳＰ584・593土層断面（北東から）



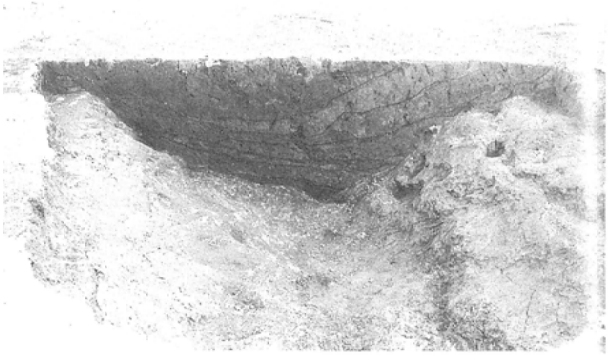
ＳＰ585土層断面（南西から）



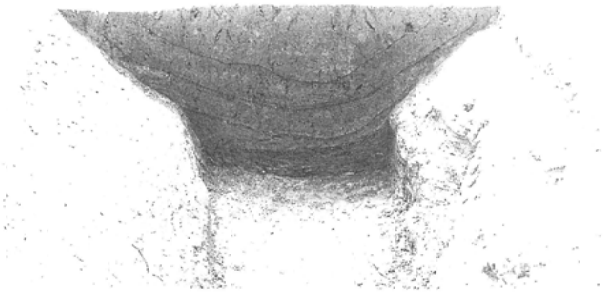
ＳＤ411・ＳＸ363土層断面（西から）



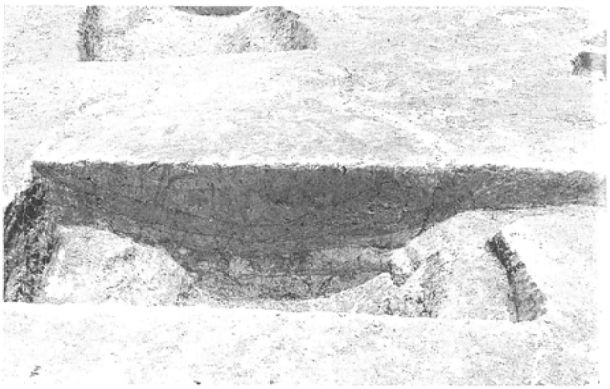
ＳＤ408北端部分（北から）



ＳＤ408土層断面　36―19Ｇ部分（南から）

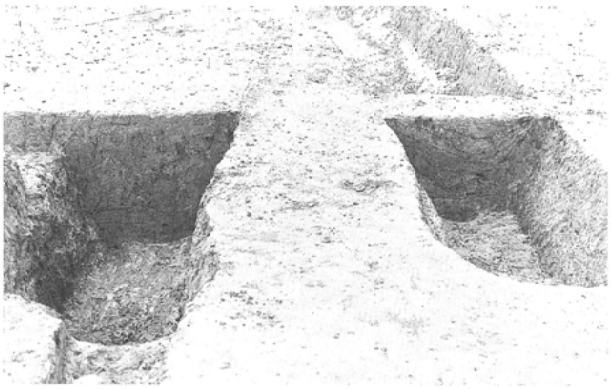


ＳＤ408土層断面　35―17Ｇ部分（南から）

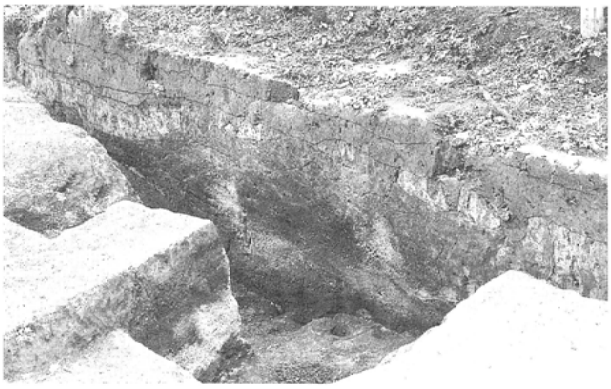


ＳＤ408土層断面　33―14・15Ｇ部分（南から）

調査区南辺部（付け替え農道部）
ＳＤ101・102完掘状況



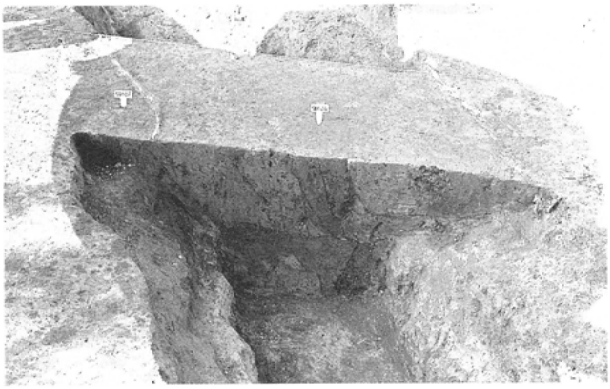
ＳＤ446・447土層断面（東から）



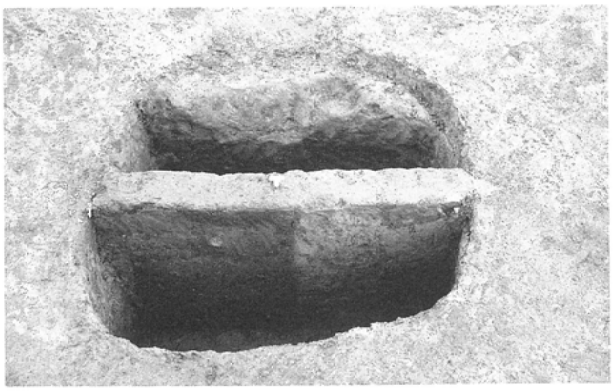
旧河道・基本層序（北から）

ＳＤ106・107完掘状況（北から）

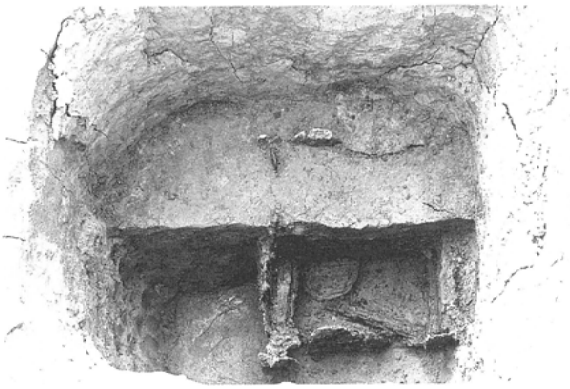
ＳＤ106底面ピット検出状況（南から）



ＳＤ106・107土層断面（南から）



ＳＥ301土層断面（西から）

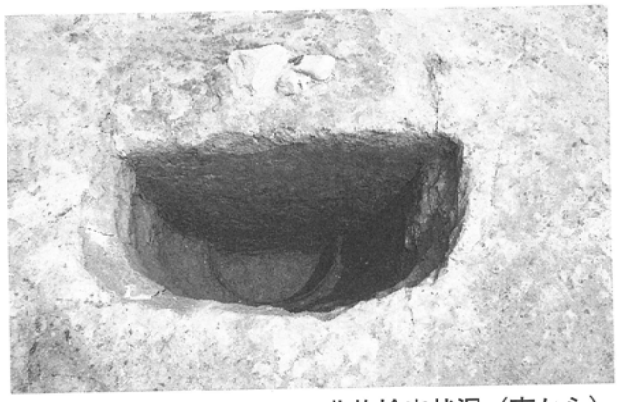


ＳＥ301土層断面（北東から）

ＳＥ301遺物出土状況（北東から）

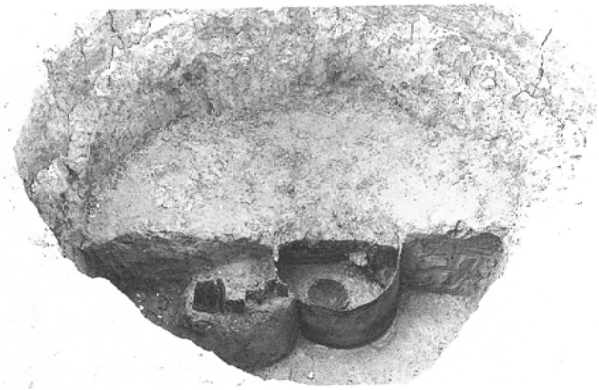
ＳＥ34土層断面（南から）

ＳＥ34井側検出状況（南から）

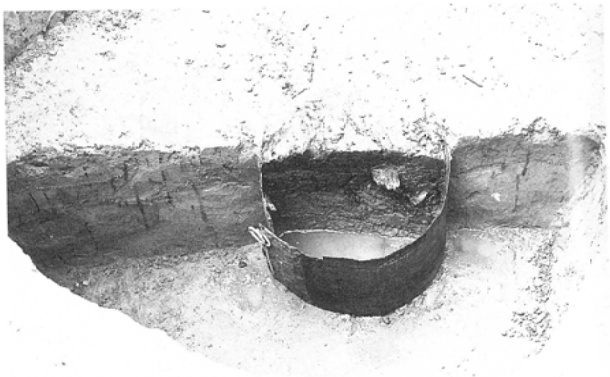


ＳＥ302曲物検出状況（南から）

ＳＥ302井筒検出状況（南から）

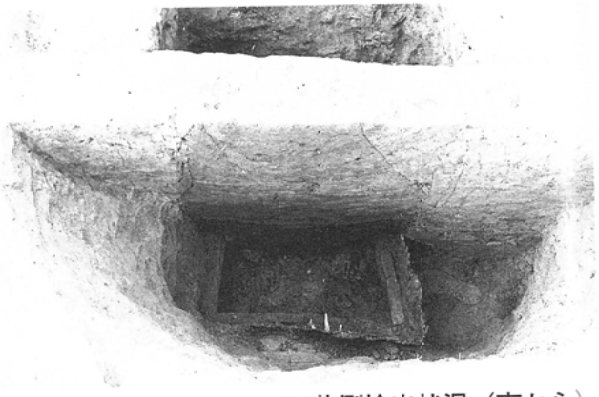


ＳＥ303井筒検出状況（南東から）

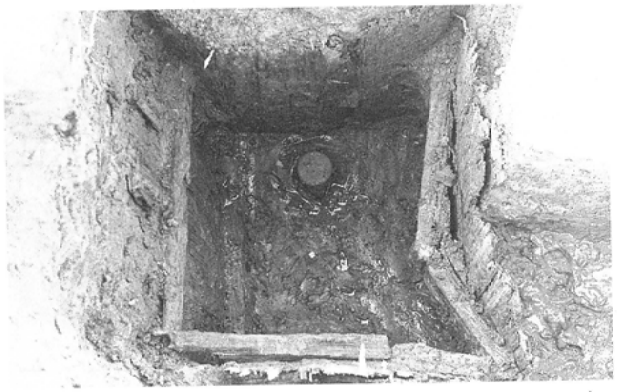


ＳＥ303井筒内土層断面（南東から）

ＳＥ520・ＳＫ519完掘状況（東から）



ＳＥ323井側検出状況（南から）

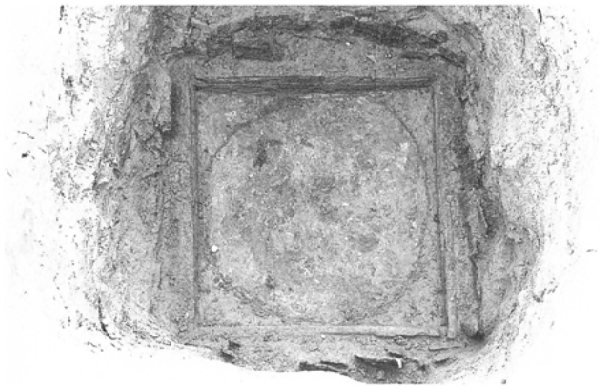


ＳＥ323曲物出土状況（南から）

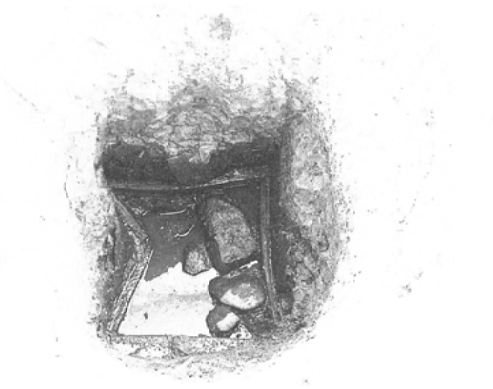
ＳＥ323井側検出状況（南から）

ＳＥ304土層断面（北から）

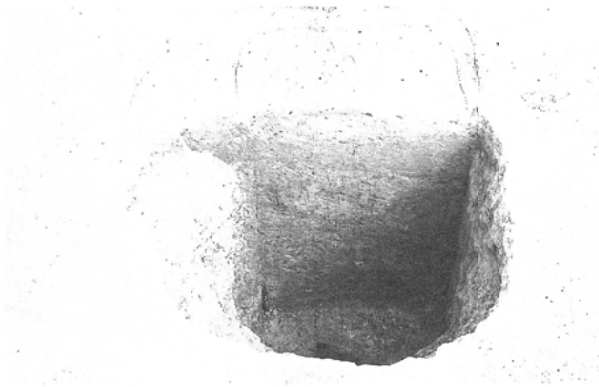
ＳＥ304遺物出土状況（北から）



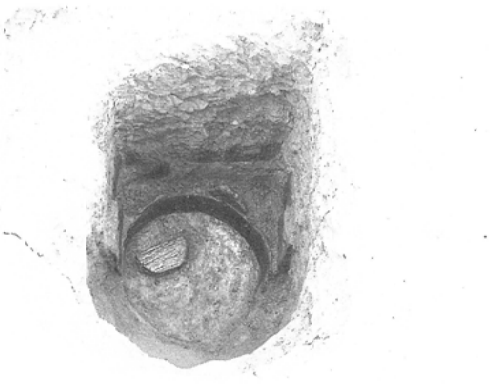
ＳＥ304井側内底部土色変化（北から）



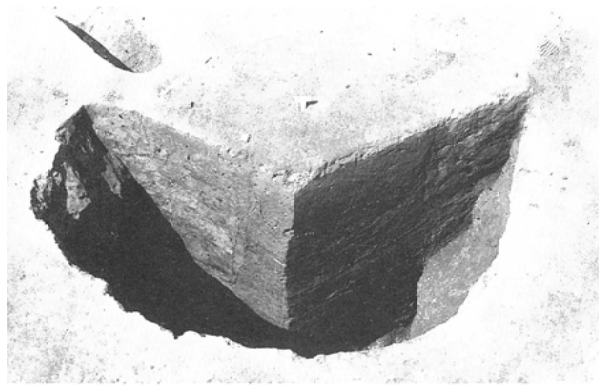
ＳＥ360井側検出状況（南から）



ＳＥ309土層断面（南から）



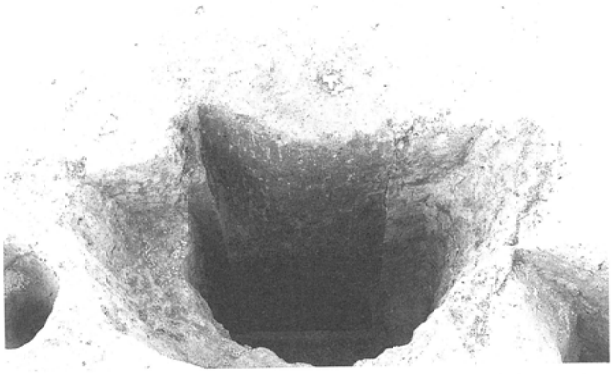
ＳＥ309井筒検出状況（南から）



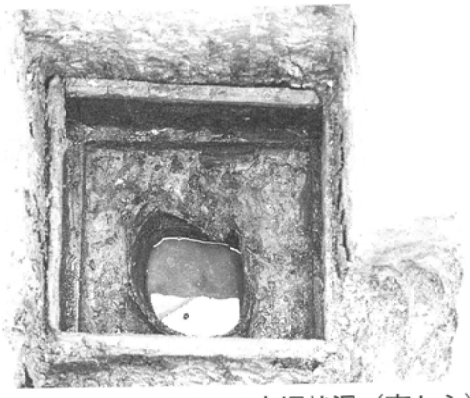
ＳＥ314土層断面（南東から）

ＳＥ314井側検出状況（南から）

図版14

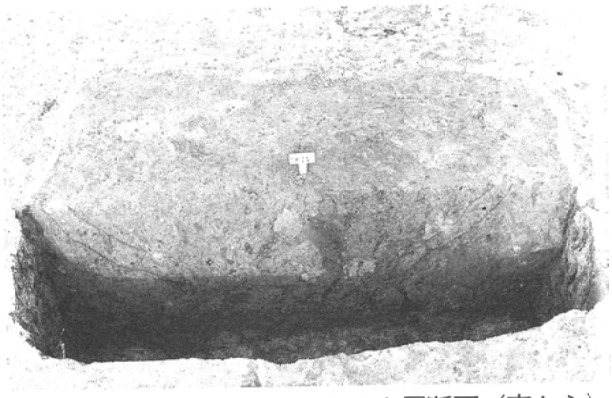


ＳＥ350土層断面（南から）

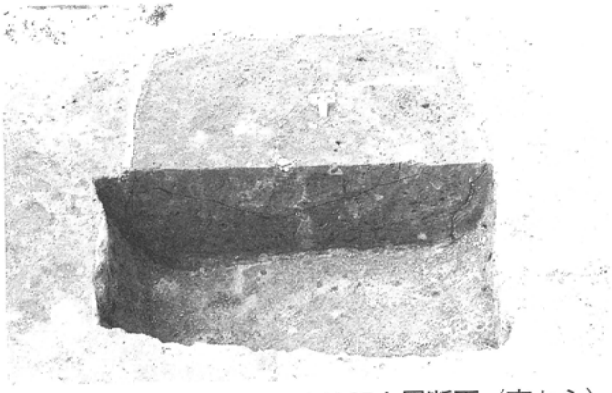


ＳＥ350完掘状況（南から）

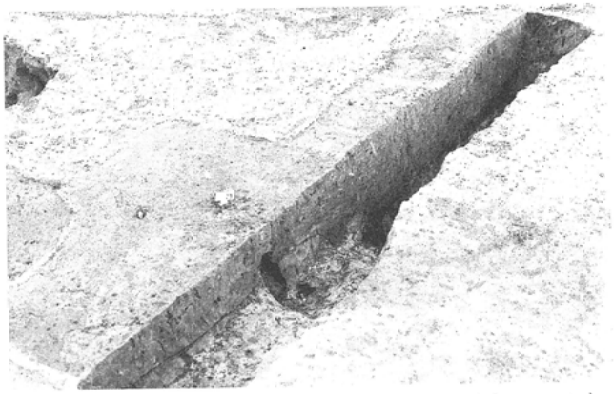
43・44―24Ｇ遺構群完掘状況（北東から）



ＳＫ21土層断面（東から）

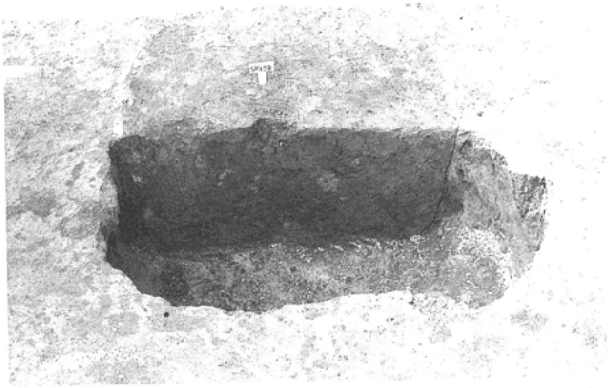


ＳＫ25土層断面（南から）

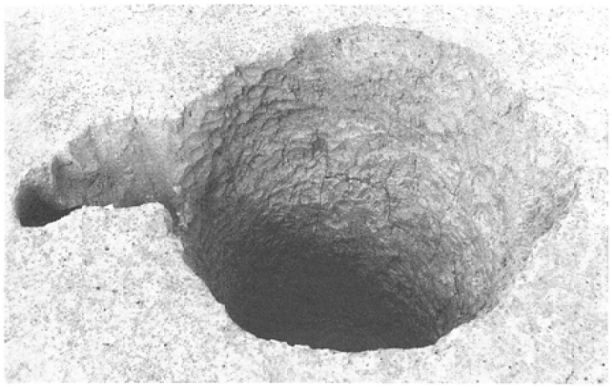


ＳＫ23土層断面（南西から）

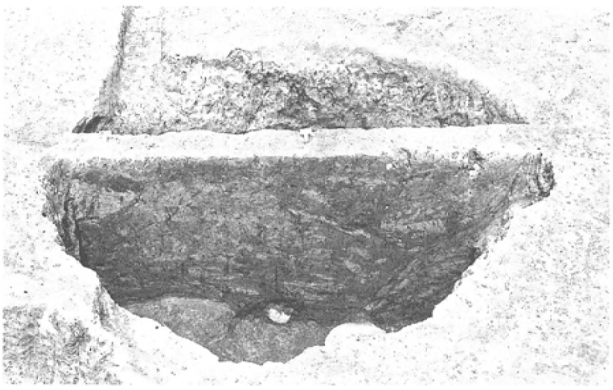
ＳＫ158土層断面（西から）



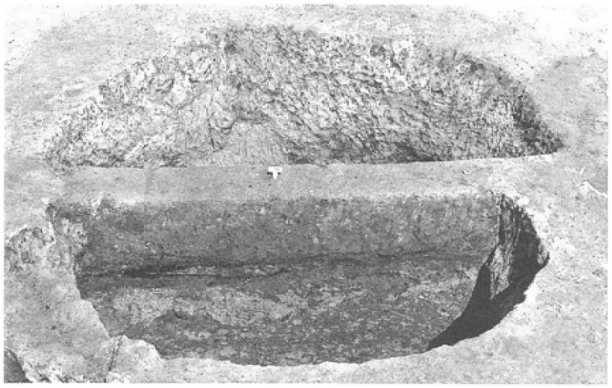
ＳＫ159土層断面（南から）



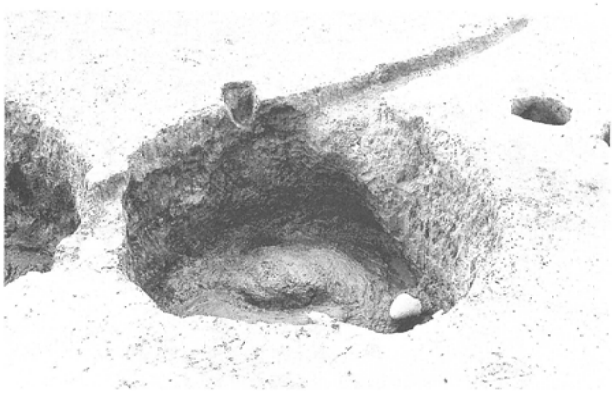
ＳＫ27完掘状況（南東から）



ＳＫ32・ＳＤ125土層断面（南東から）

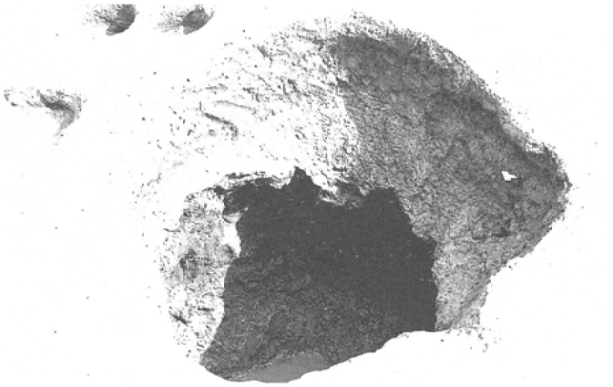


ＳＫ33土層断面（南東から）

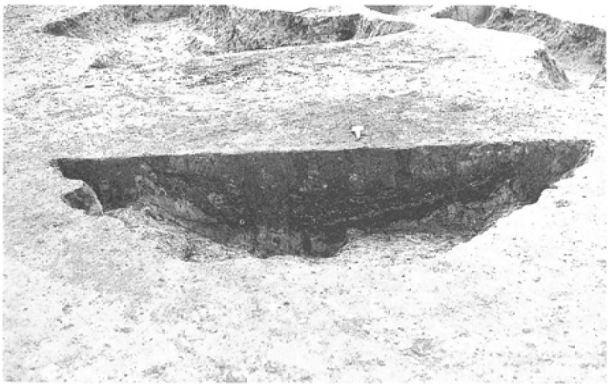


ＳＫ32完掘状況（東から）

ＳＫ33完掘状況（東から）

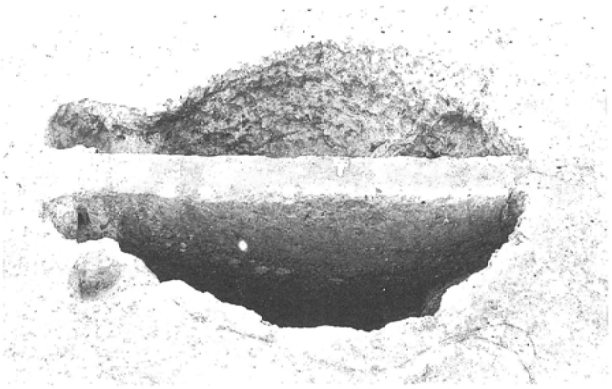


ＳＫ37完掘状況（南から）

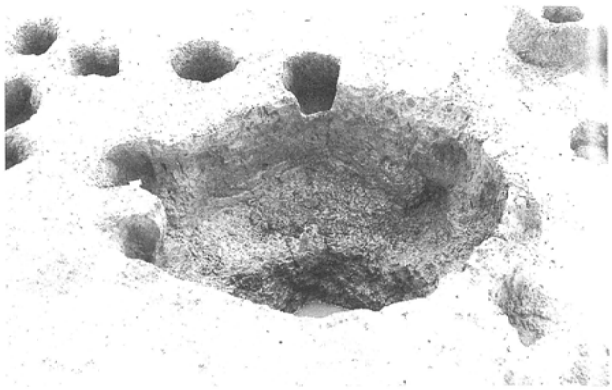


ＳＫ39土層断面（南東から）

ＳＫ44土層断面（南東から）

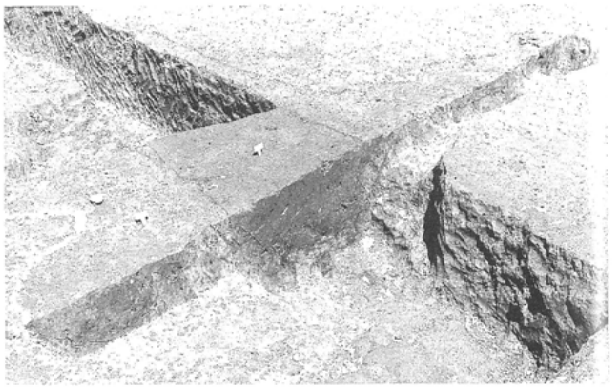


ＳＫ45土層断面（西から）



ＳＫ45完掘状況（西から）

ＳＸ77・ＳＤ140南端部完掘状況（北東から）

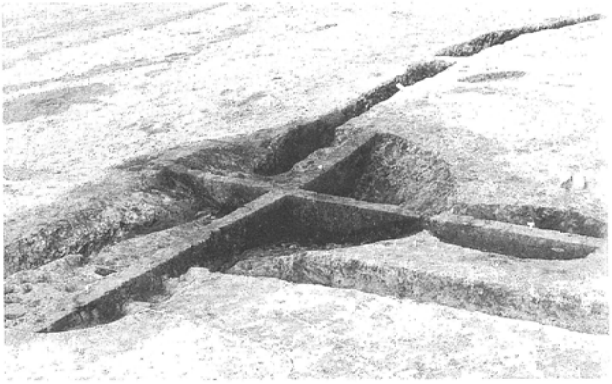


ＳＸ77・ＳＤ140土層断面（南西から）

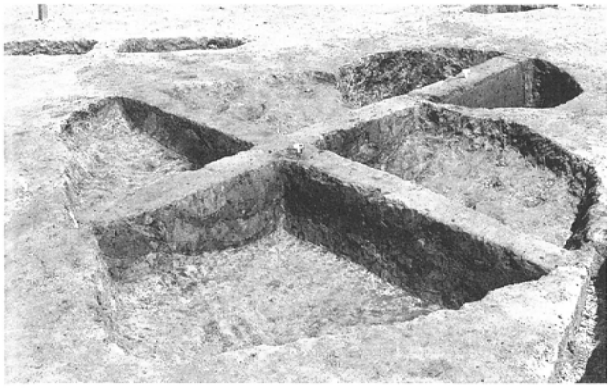
ＳＤ140・ＳＫ76土層断面（南西から）

ＳＫ88完掘状況（南から）

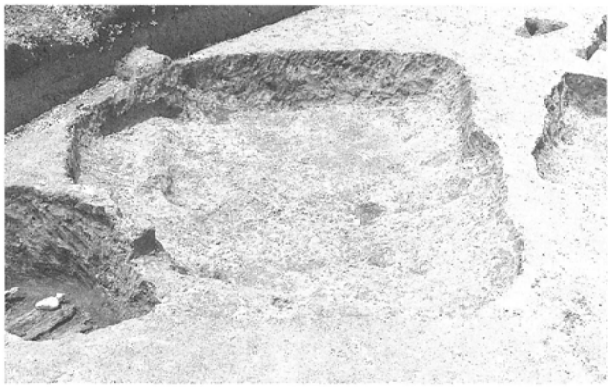
ＳＫ41土層断面（南東から）



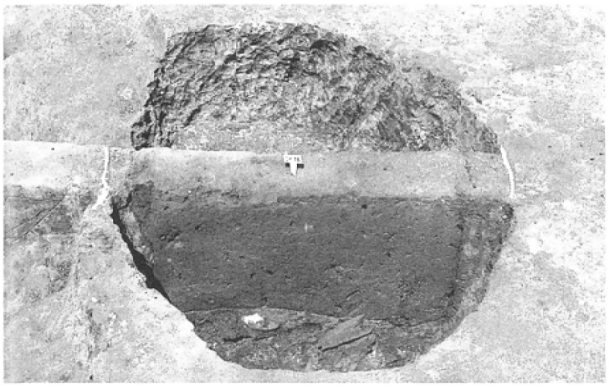
ＳＫ48・49・50土層断面（南西から）



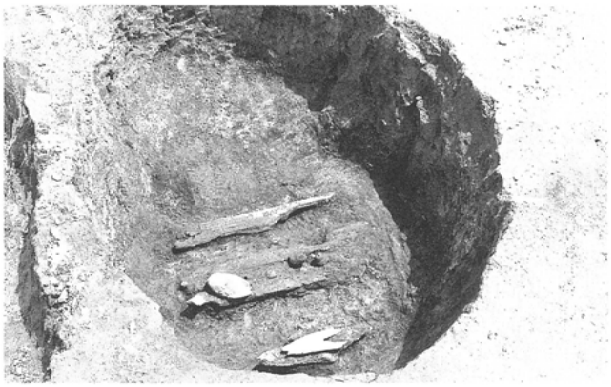
ＳＫ36・78土層断面（北西から）



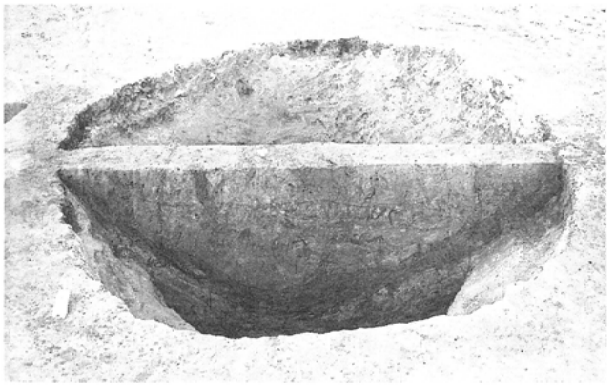
ＳＫ36完掘状況（東から）



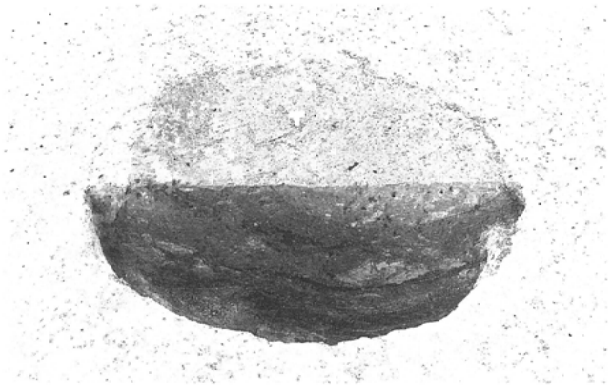
ＳＫ78土層断面（西から）



ＳＫ78木製品出土状況（西から）



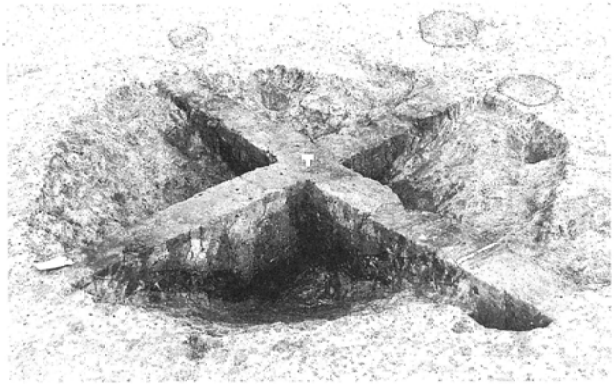
ＳＫ47土層断面（南西から）



ＳＫ56土層断面（西から）

ＳＫ57土層断面（西から）

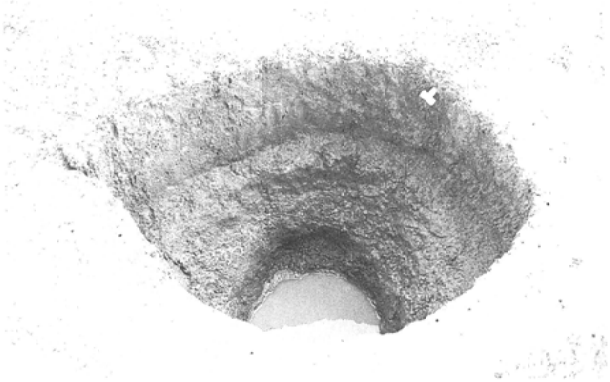
ＳＫ58土層断面（西から）



ＳＫ54土層断面（西から）

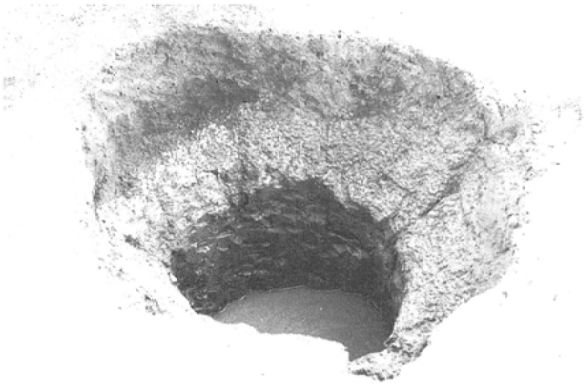
ＳＫ55土層断面（西から）

ＳＫ61土層断面（北西から）

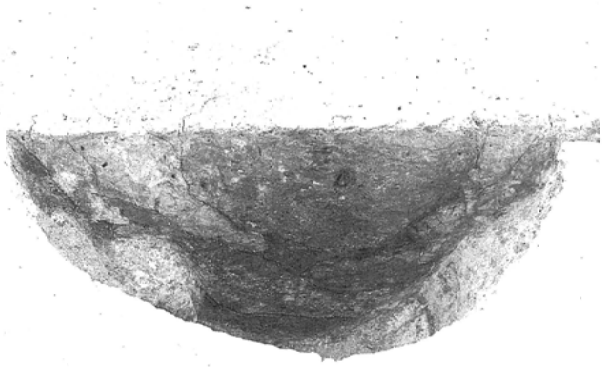


ＳＫ55完掘状況（西から）

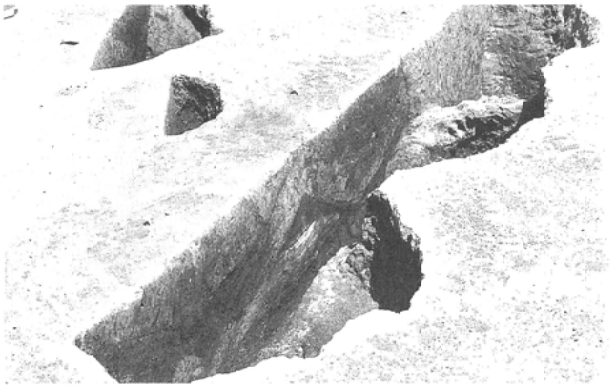
ＳＫ60土層断面（南西から）



ＳＫ60完掘状況（西から）



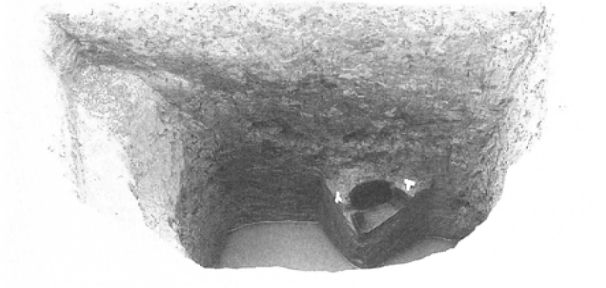
ＳＫ62土層断面（西から）



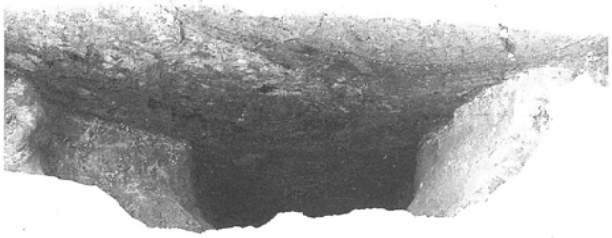
ＳＫ63・70・69土層断面（南西から）

ＳＫ66土層断面（西から）

ＳＫ66完掘状況（北西から）



ＳＫ67木製品出土状況（東から）

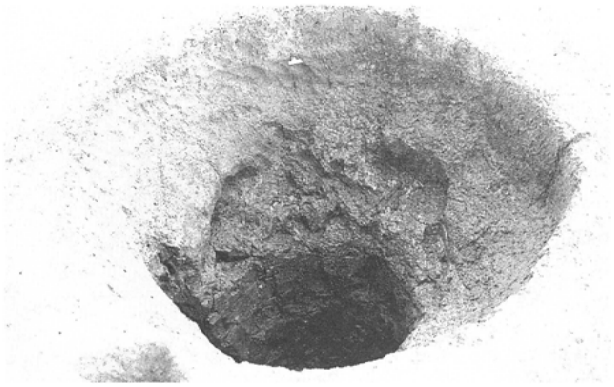


ＳＫ68土層断面（南から）

ＳＫ71・72土層断面（西から）

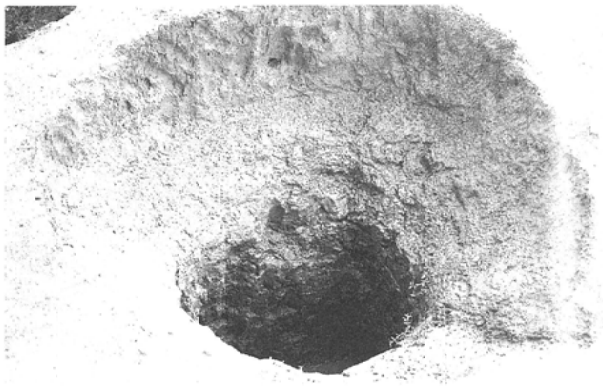
ＳＫ71・72完掘状況（北西から）

ＳＫ73土層断面（南西から）

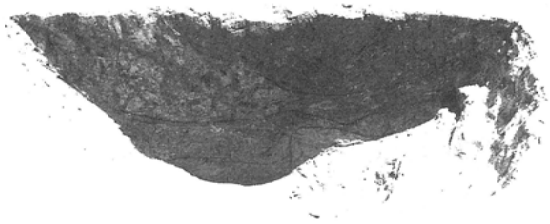


ＳＫ73完掘状況（南西から）

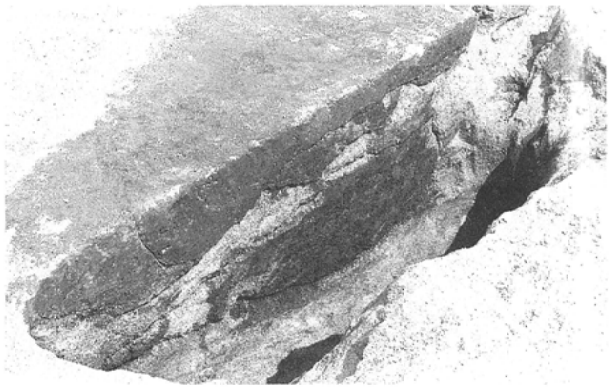
ＳＫ74土層断面（南西から）



ＳＫ74完掘状況（南西から）

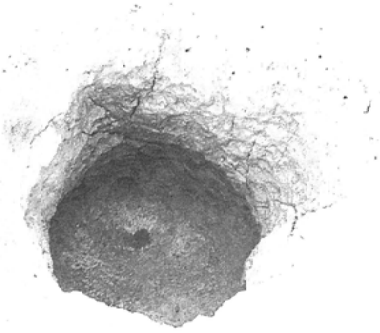


ＳＫ75土層断面（南西から）



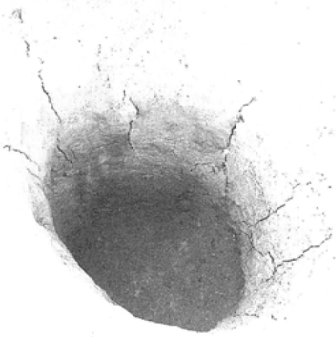
ＳＫ87土層断面（南から）

ＳＫ305土層断面（東から）



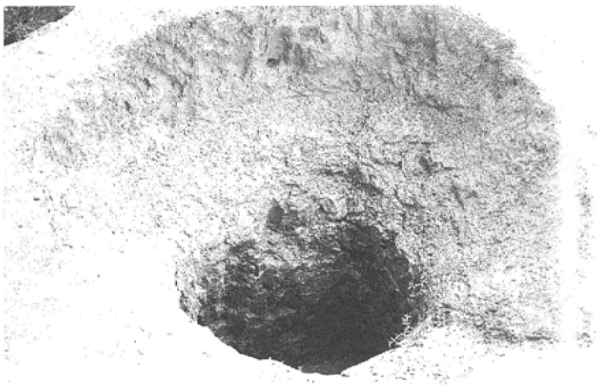
ＳＫ308完掘状況（東から）

ＳＫ310完掘状況（北西から）



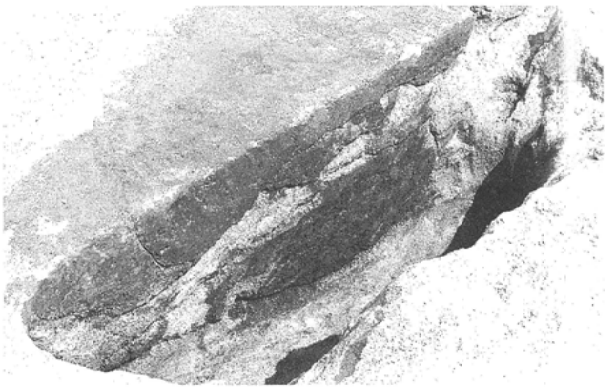
ＳＫ311・ＳＰ530完掘状況（東から）

ＳＫ74土層断面（南西から）



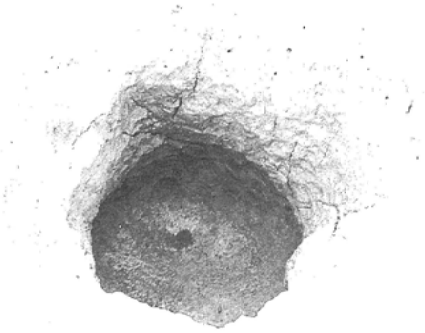
ＳＫ74完掘状況（南西から）

ＳＫ75土層断面（南西から）

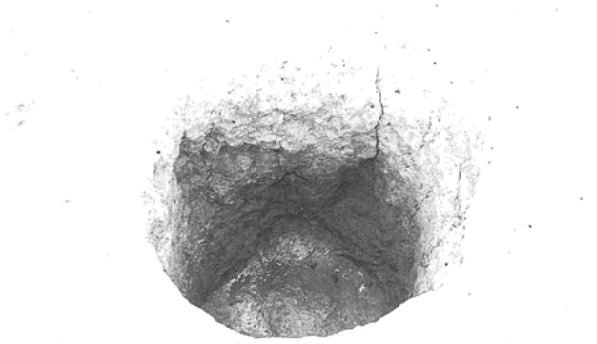


ＳＫ87土層断面（南から）

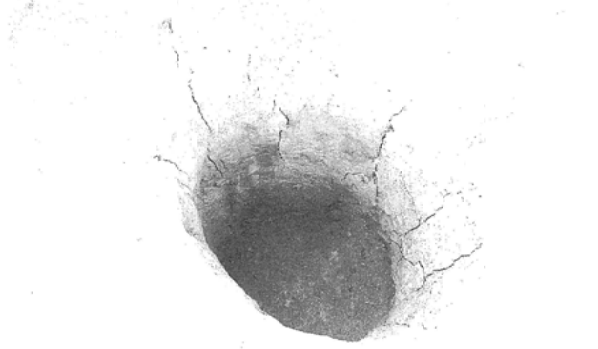
ＳＫ305土層断面（東から）



ＳＫ308完掘状況（東から）



ＳＫ310完掘状況（北西から）

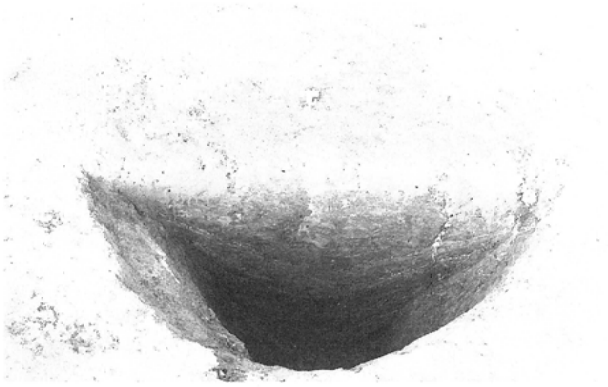


ＳＫ311・ＳＰ530完掘状況（東から）

ＳＫ324土層断面（南東から）

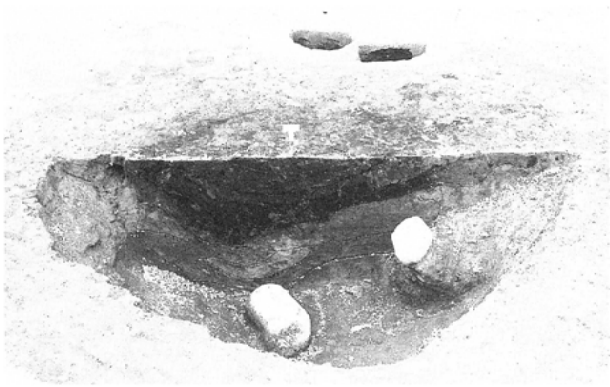
ＳＫ334土層断面（南から）

ＳＫ336完掘状況（西から）



ＳＫ337土層断面（南西から）

ＳＫ339完掘状況（南から）

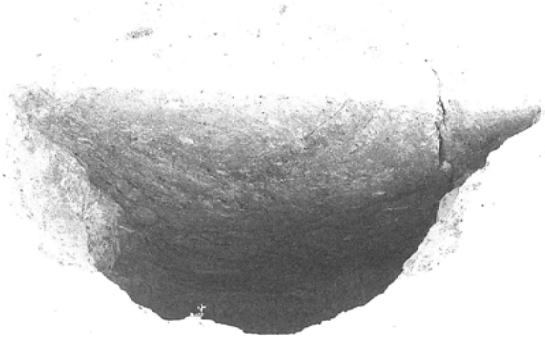


ＳＫ341土層断面（南から）

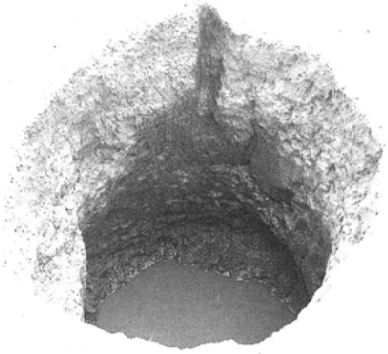
ＳＫ342礫出土状況（南西から）

ＳＫ342・344完掘状況（南西から）

図版22



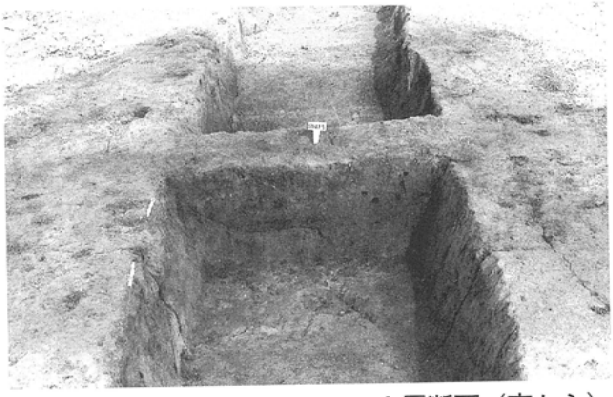
ＳＫ352土層断面（南西から）



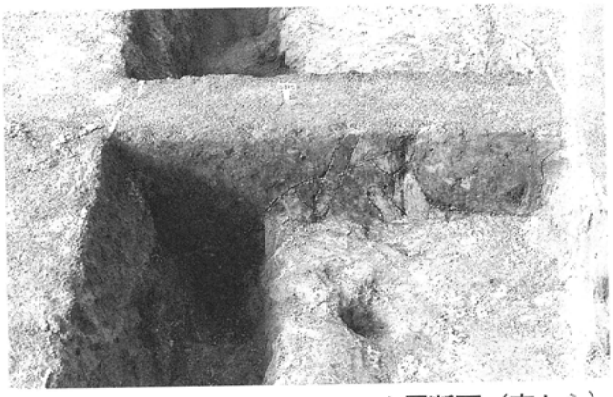
ＳＫ352完掘状況（西から）

ＳＰ483・484・370土層断面（南西から）

ＳＤ465土層断面（東から）

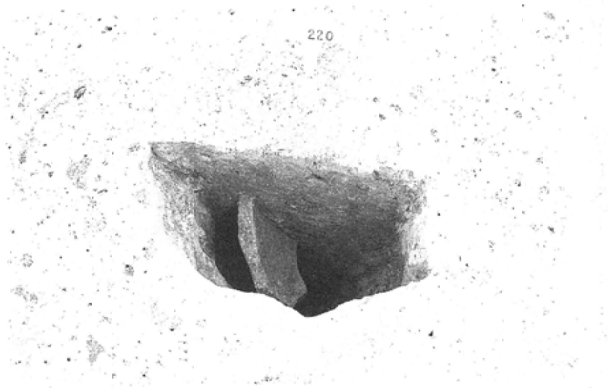


ＳＤ478土層断面（東から）



ＳＤ370土層断面（南から）

道路状遺構（東から）



ＳＰ220土層断面　38―３出土状況（南東から）

屋敷の区画B
42ー18G周辺（上空から）

土坑・井戸の集中
調査区南東部分（上空から）

井岡寺参道から井岡寺を臨む（東から）

遠賀神社と井岡寺

移転された石塔

追分石
「右ゐのをか寺道
左たがはみち」

塔ノ山頂上に置かれた石塔、奥が井岡寺と参道（北東から）。昭和30年代後半・大澤榮繕氏撮影

塔ノ山全景。裾中央に井岡寺街道の鳥居（北から）。昭和30年代後半・大澤榮繕氏撮影

塔ノ山頂上から北東を臨む。右端が調査区、中央現国道345号。昭和30年代後半・大澤榮繕氏撮影

図版26

29-1

29-2

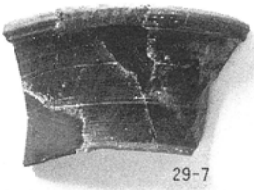
29-3

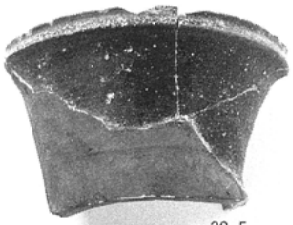
29-11

29-10

29-4

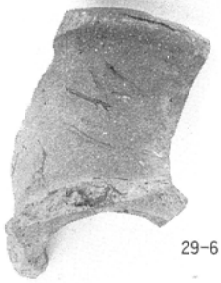
29-8

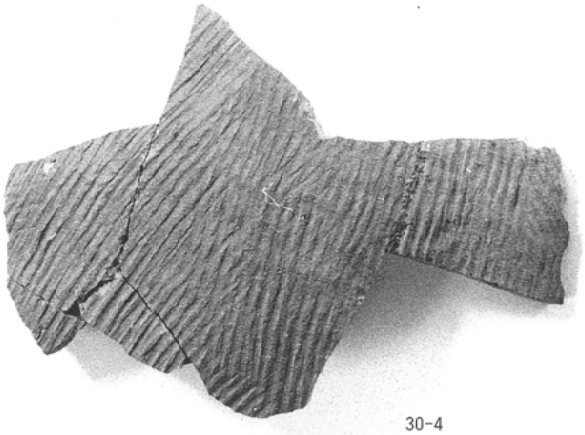

29-7

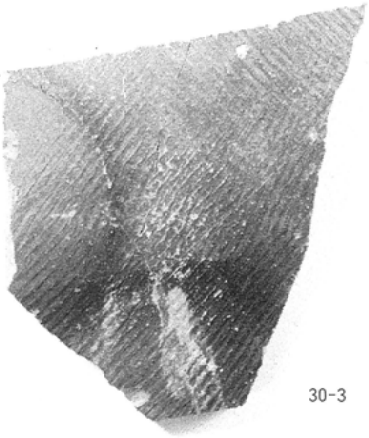

29-5

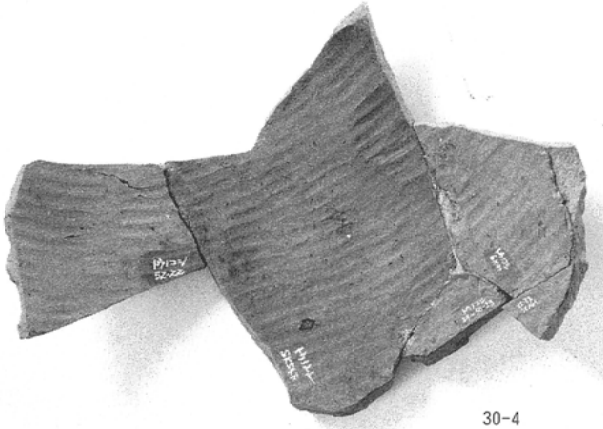
29-9

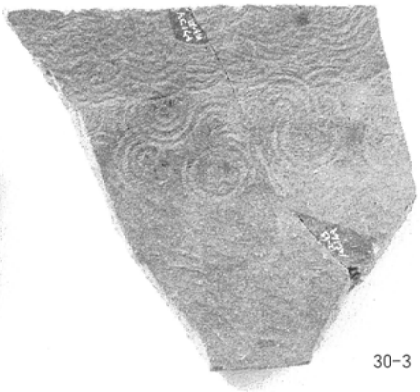
53-22G
52-20・21G

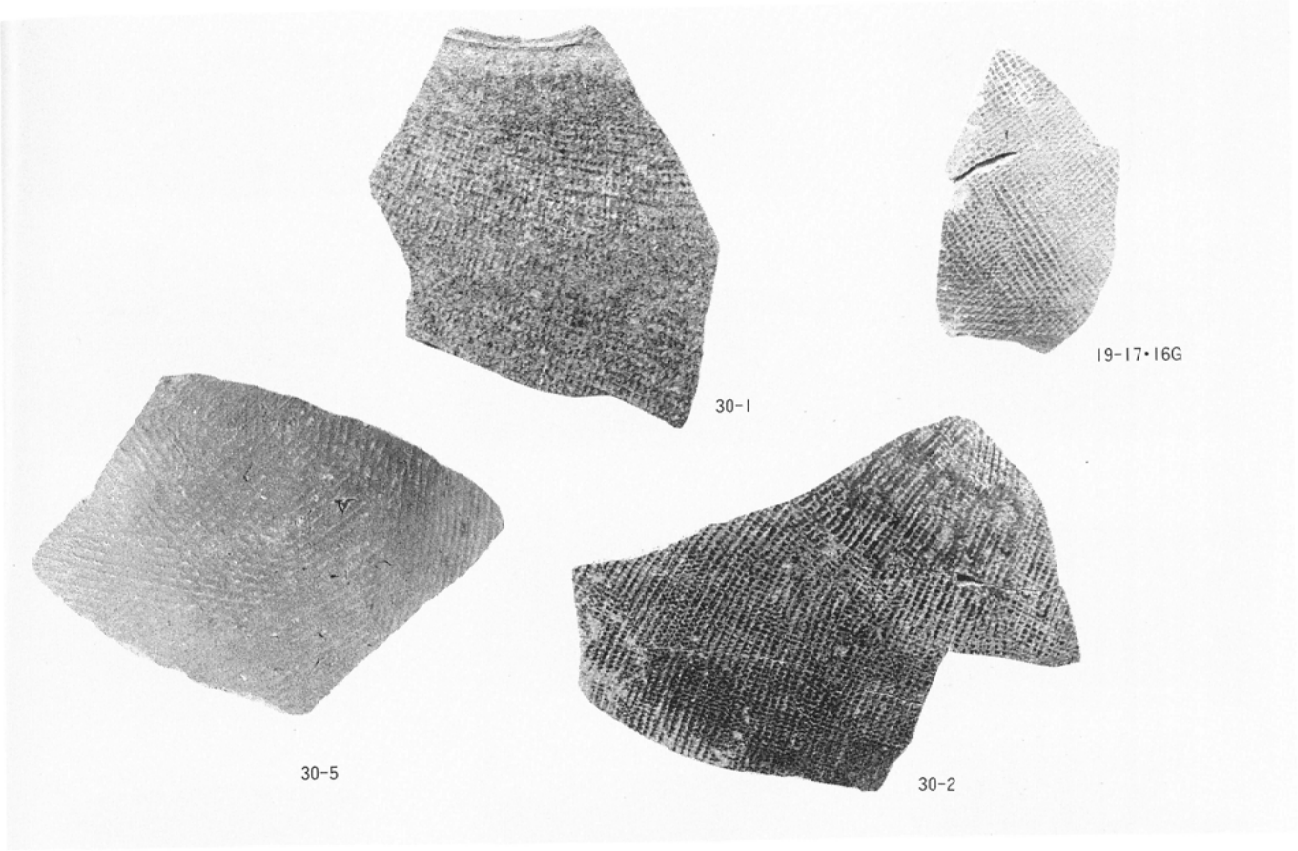

29-6


30-4


30-3


30-4


30-3


30-1
19-17・16G
30-5
30-2

30-1
SP674
19-17・16G
30-5
30-2

31-1

31-2

31-3

31-4

31-5

31-6

31-7

31-8

31-9

31-10

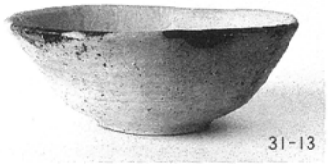
31-11

31-12

31-13

31-14

31-15


31-13

31-16

31-17

31-18

32-1

32-2

32-3

32-4

32-5

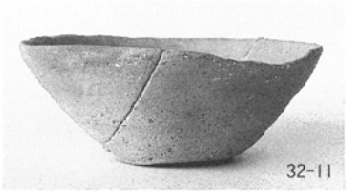
32-6

32-7

32-8

32-9

32-10


32-11

32-12

32-13

32-14

32-15

32-16

32-17

32-18

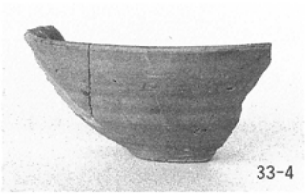
32-19

32-20

33-1

33-2

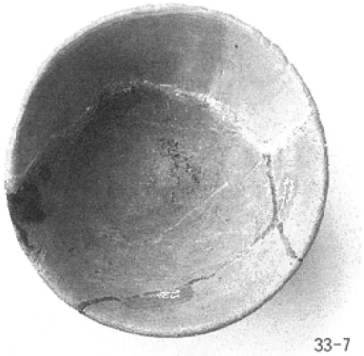
33-3


33-4

33-5

33-6

図版30


33-7

33-8

33-9

33-10

33-12

33-7

33-13

33-14

33-15

33-16

33-17

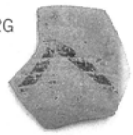
33-18

33-19

34-2

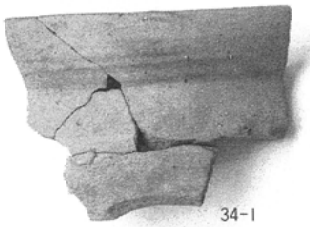
33-20

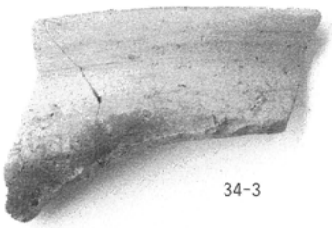
45・46-22G


33-11

48・49-19・20G

45・46-22G

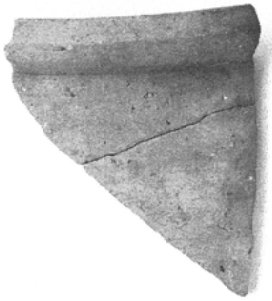

34-1


34-3

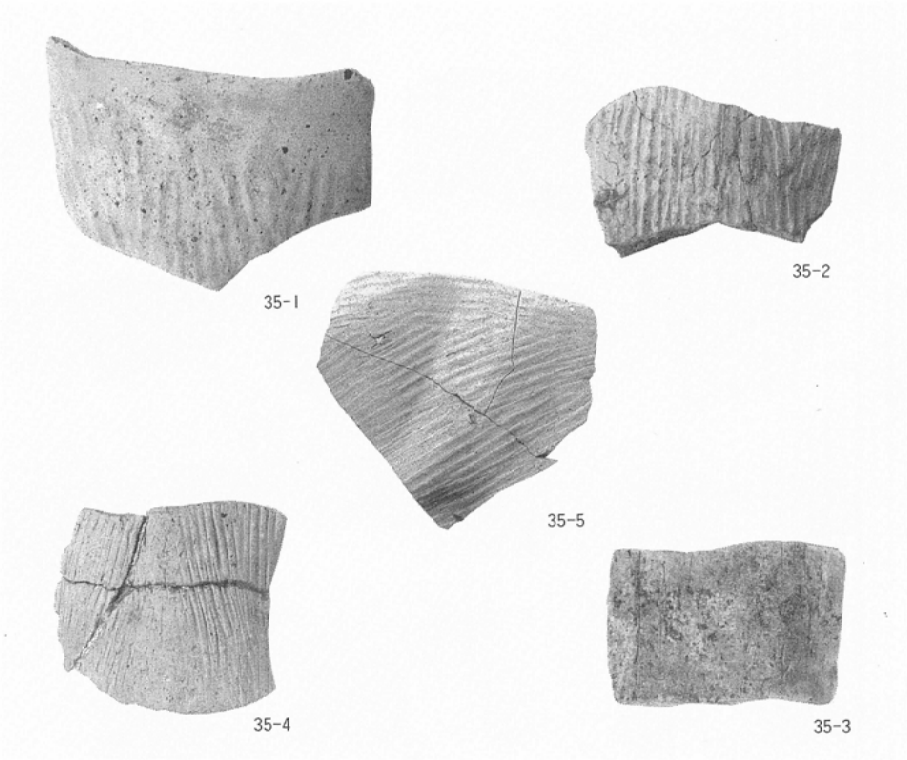
34-4

45-23G

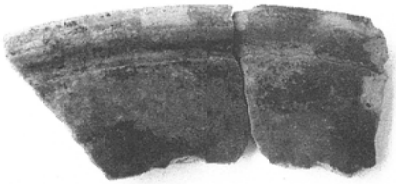
34-9

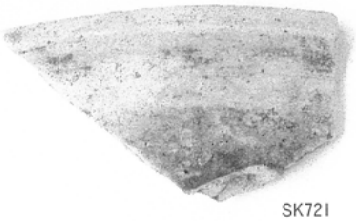

34-6

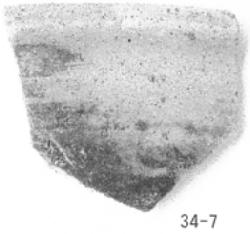
34-5


35-1
35-2
35-5
35-4
35-3

35-6


34-8


SK721


34-7

33-21

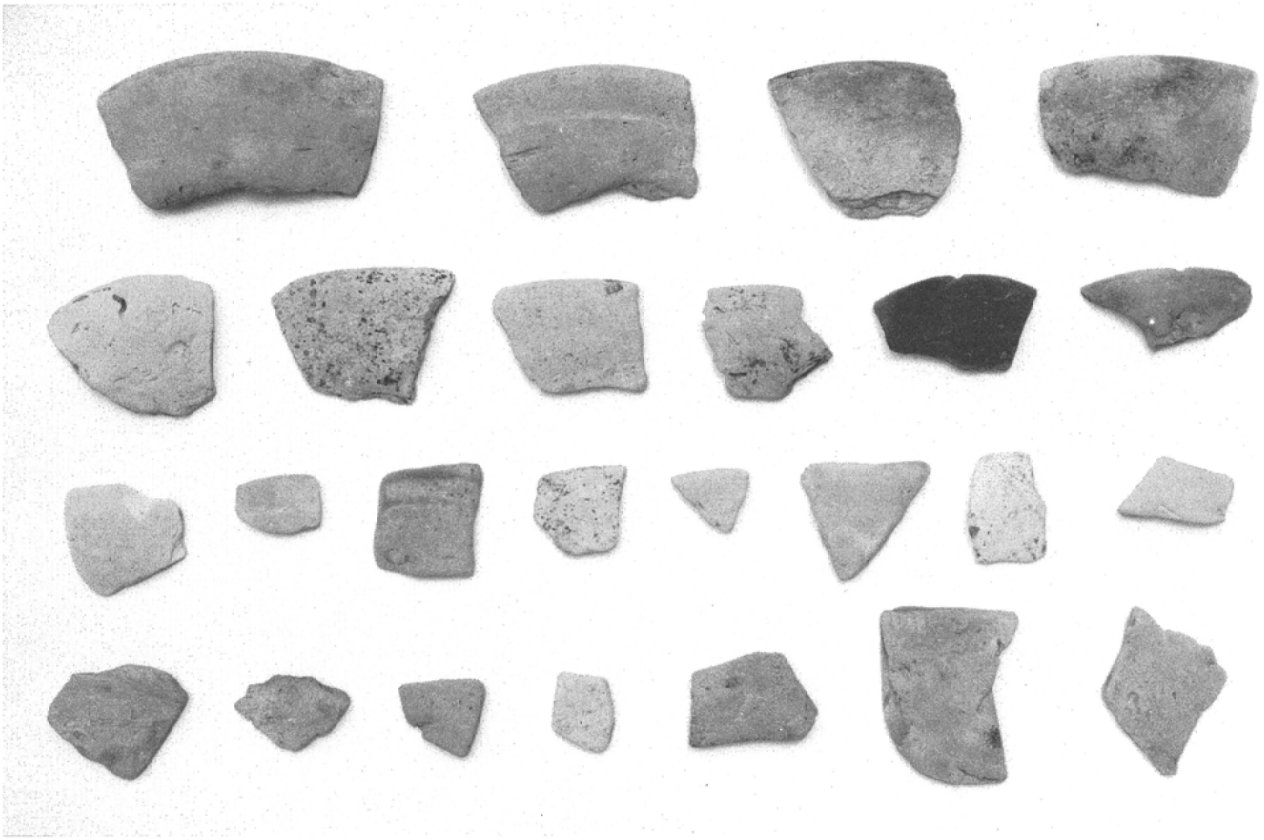
33-22

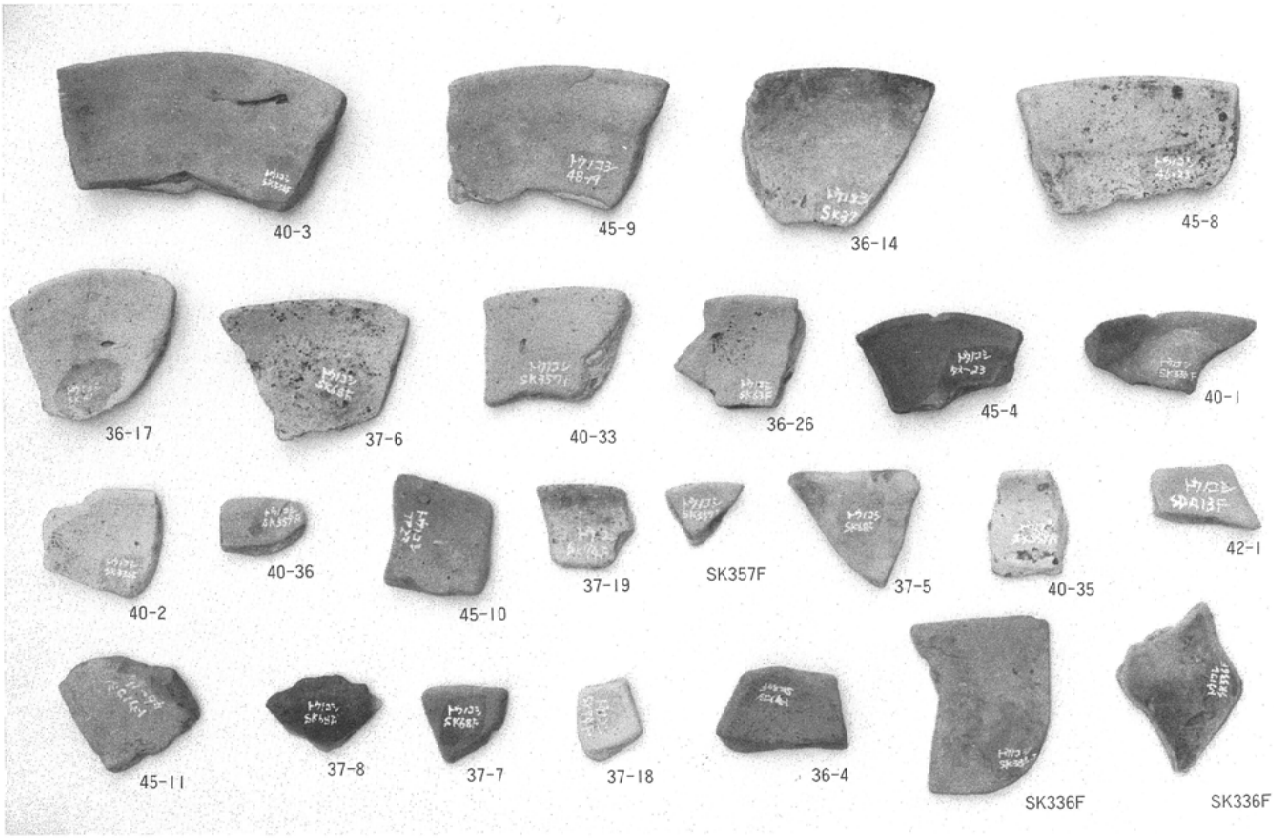
33-23

33-24

33-25

33-26




40-3
45-9
36-14
45-8
36-17
37-6
40-33
36-26
45-4
40-1
40-2
40-36
45-10
37-19
SK357F
37-5
40-35
42-1
45-11
37-8
37-7
37-18
36-4
SK336F
SK336F

36-4

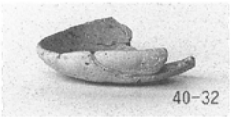
36-27

40-31

45-1

36-5

37-13


40-32

45-2

36-6

37-12

40-29

45-3

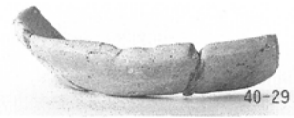
45-5

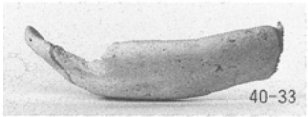
40-4

40-34

45-6

36-7


40-29


40-33

45-7

36-11

36-21

40-30

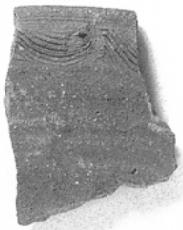
42-6

45-12

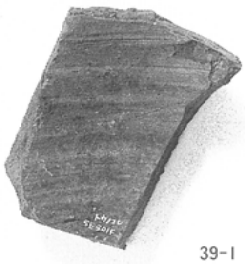
38-12

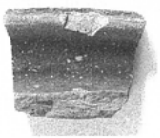
38-13

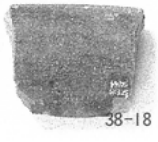
38-14



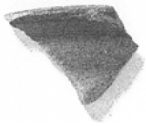
40-12

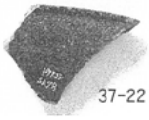

39-1



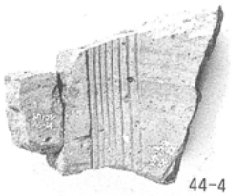

38-18

42-20

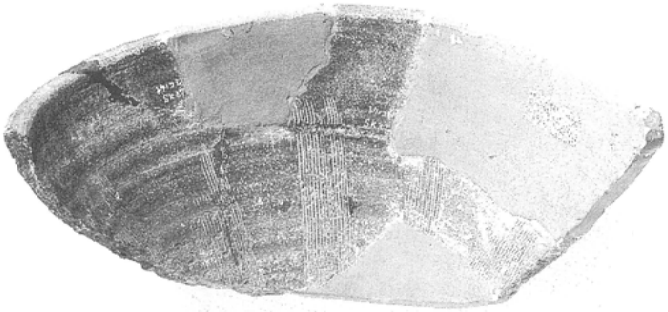



37-22

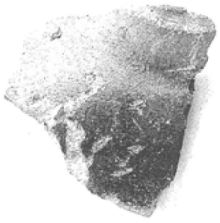
38-3

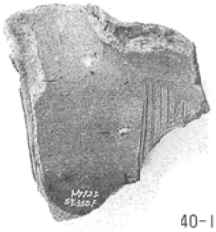


44-4



36-16





40-18

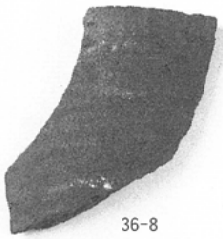
37-15

44-6

43-13

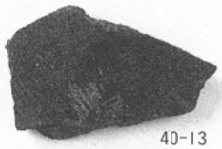
44-5

SK34


36-8

36-9

36-10


40-13

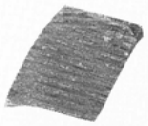
40-15

40-14

40-21

40-22

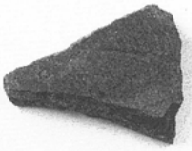
43-6


42-14

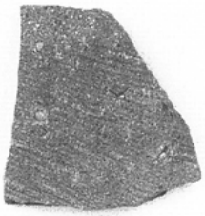
42-15

42-12

42-13

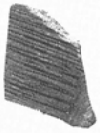

40-25

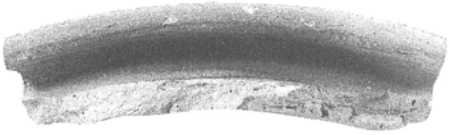
40-24


40-23

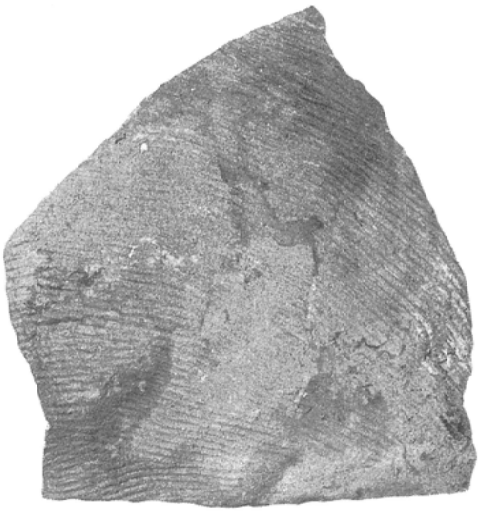
40-11

40-10

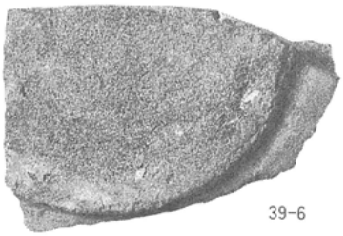

40-9



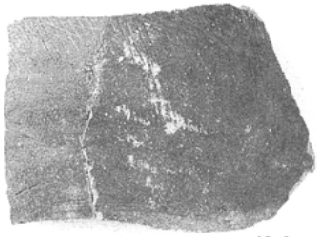
44-1



39-6



39-6



43-9

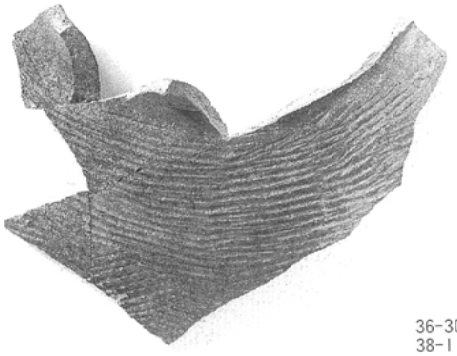
43-7

43-8

44-3

41-10

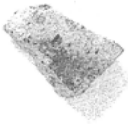
39-15

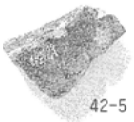


36-30
38-1

42-17

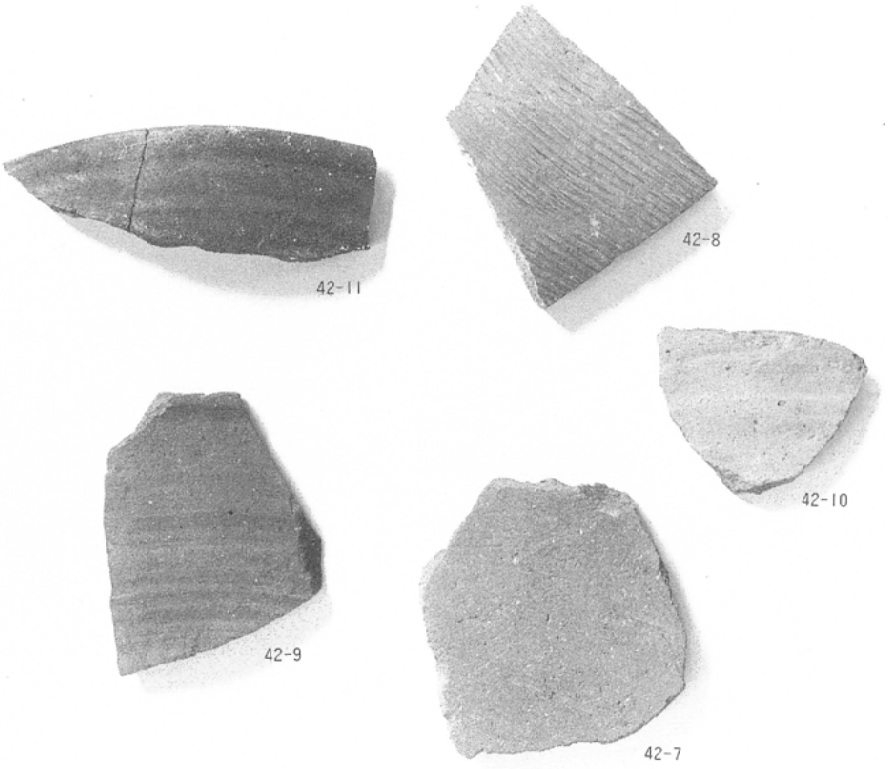
40-26





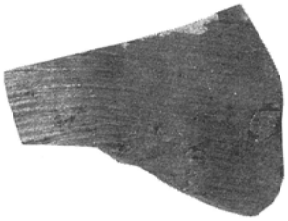
42-5

41-11


42-11
42-8
42-10
42-9
42-7

39-9

39-14

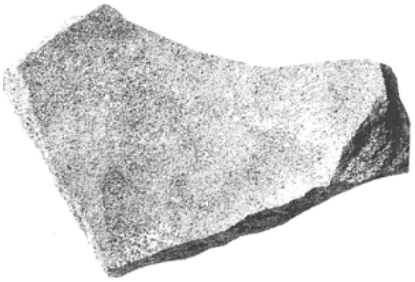


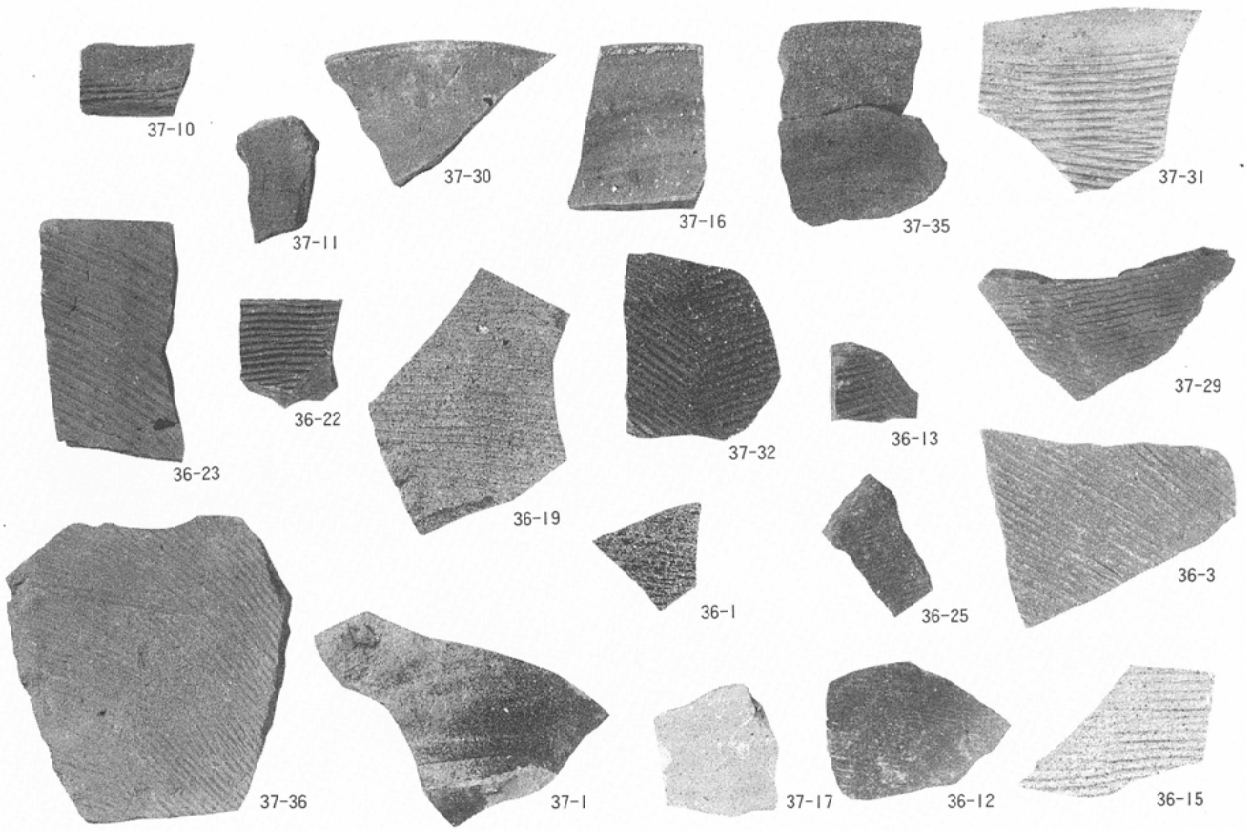
39-11

39-13

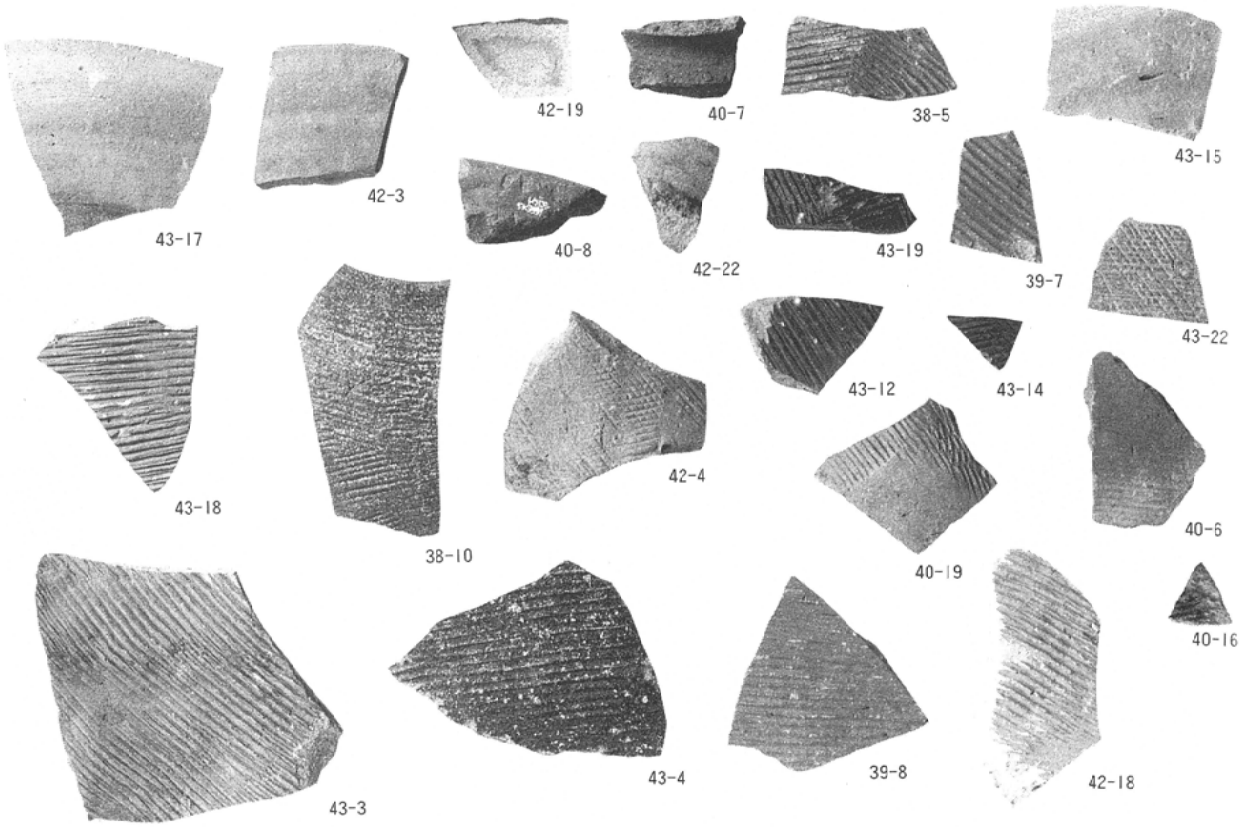
39-10

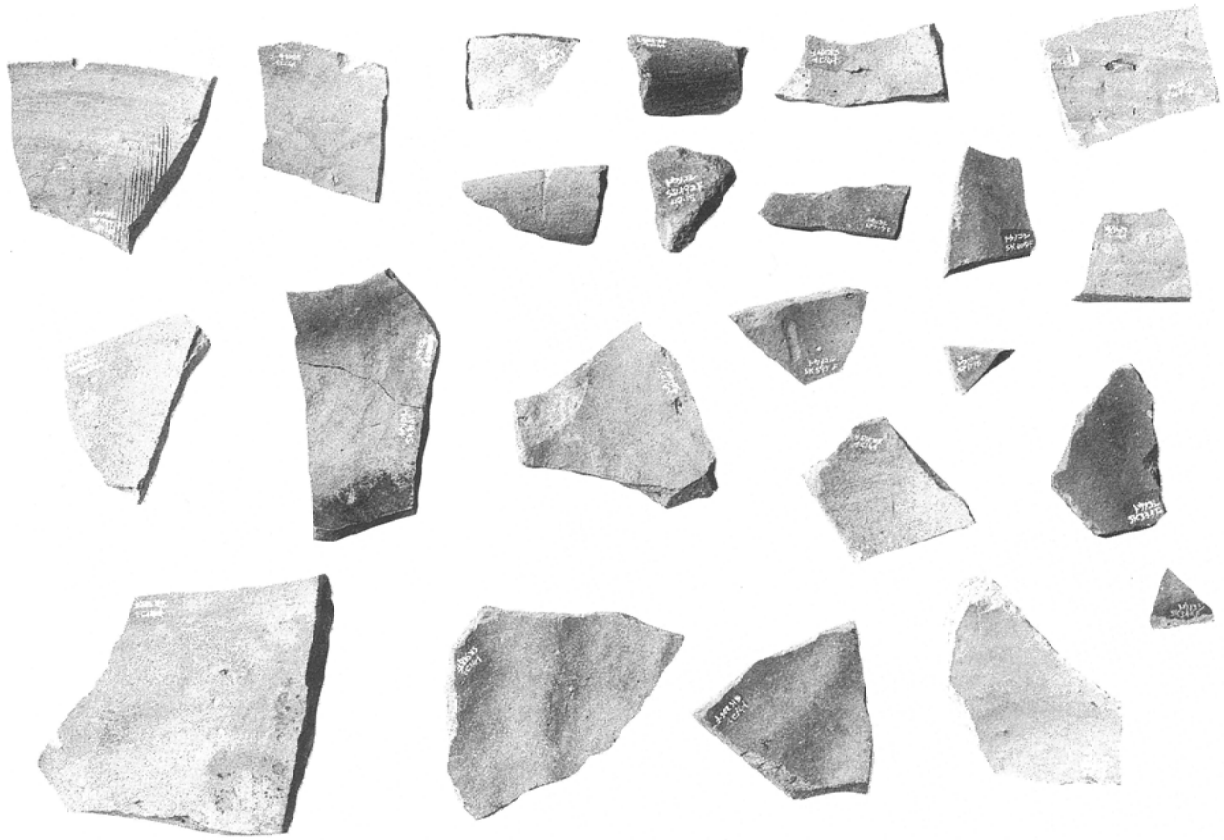
39-12

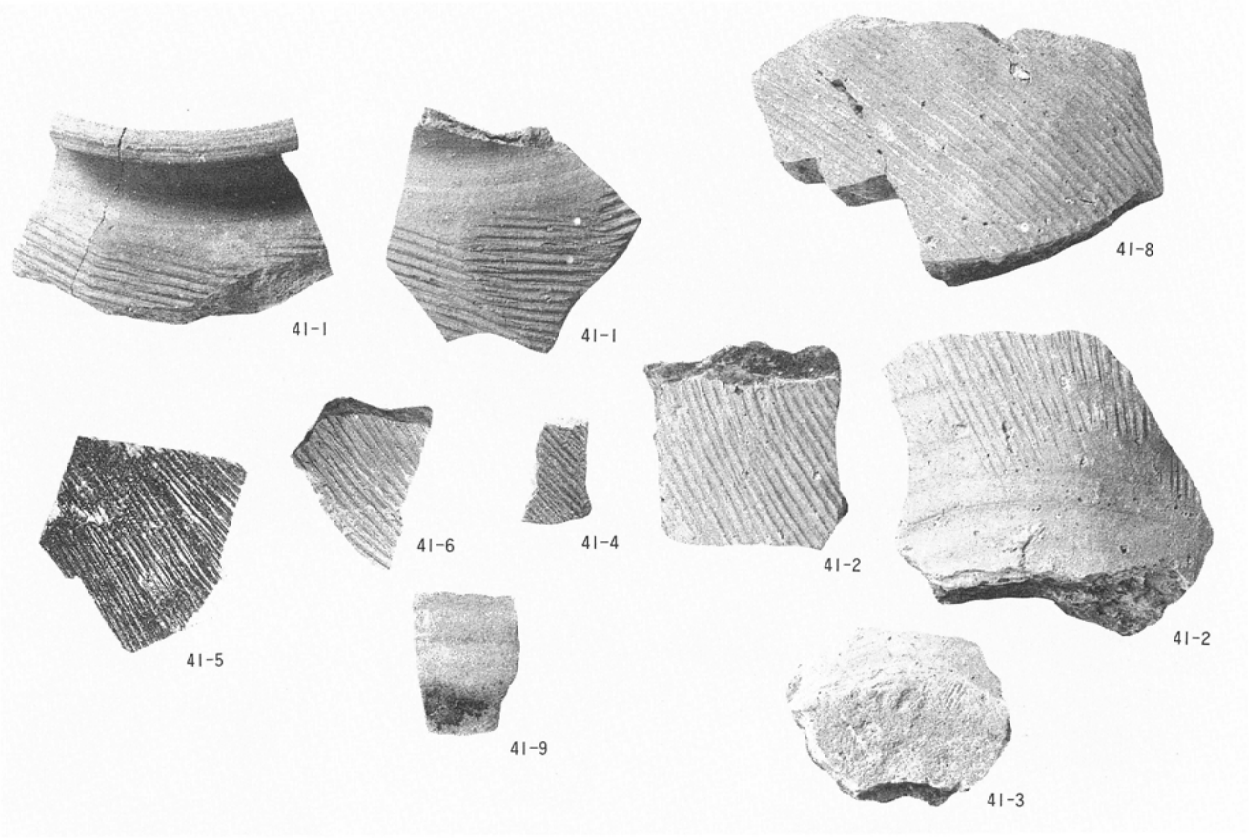



37-10
37-30
37-16
37-35
37-31
37-11
36-23
36-22
36-19
37-32
36-13
37-29
36-3
36-1
36-25
37-36
37-1
37-17
36-12
36-15

図版40

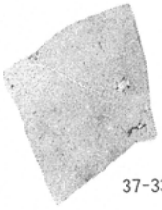

42-19
40-7
38-5
43-15
43-17
42-3
40-8
42-22
43-19
39-7
43-22
43-18
38-10
42-4
43-12
43-14
40-6
40-19
40-16
43-3
43-4
39-8
42-18

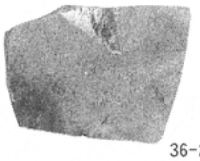



41-1
41-1
41-8
41-6
41-4
41-2
41-2
41-5
41-9
41-3

43-10

38-6


37-33

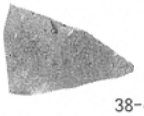

36-2

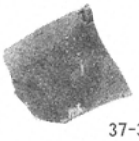
38-2

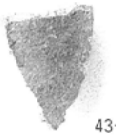
36-24

43-16

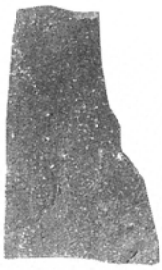
38-11


38-4

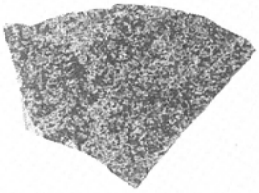

37-34


43-2

41-12

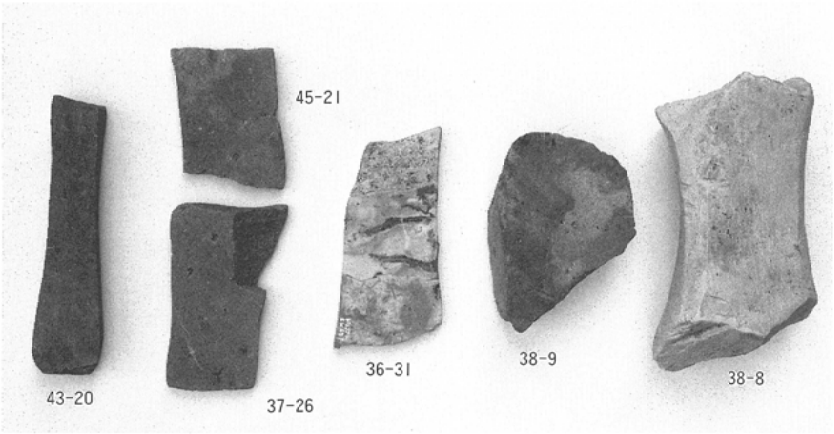


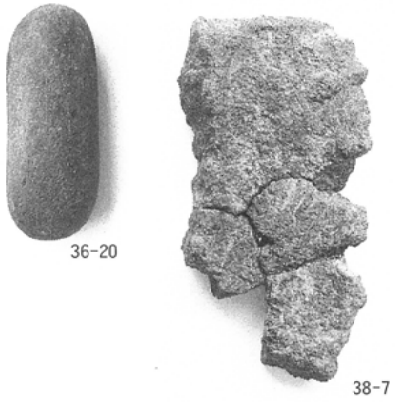
SD408(37-19G)

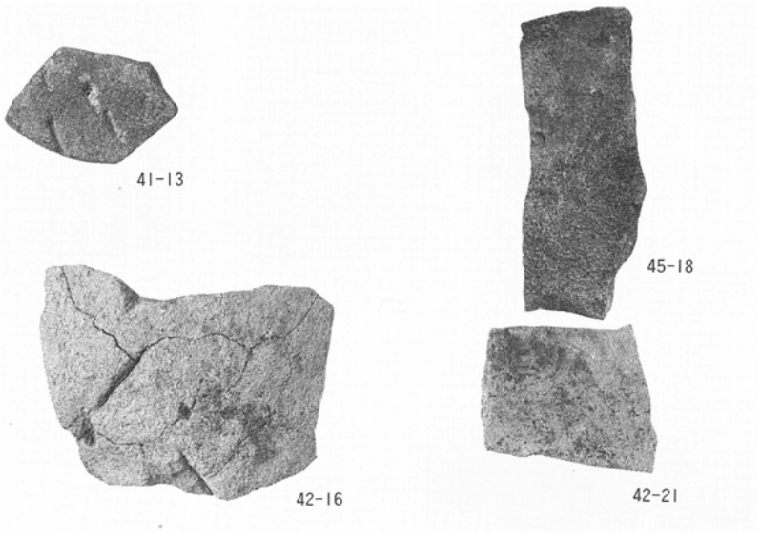


SD408(36-19G)

43-23


45-21
43-20
37-26
36-31
38-9
38-8


36-20
38-7

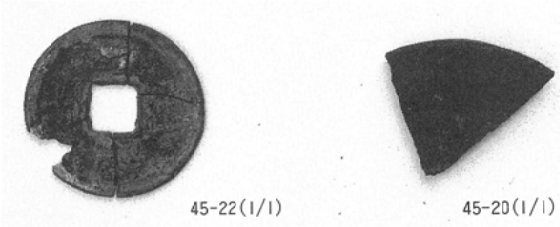

41-13
45-18
42-16
42-21

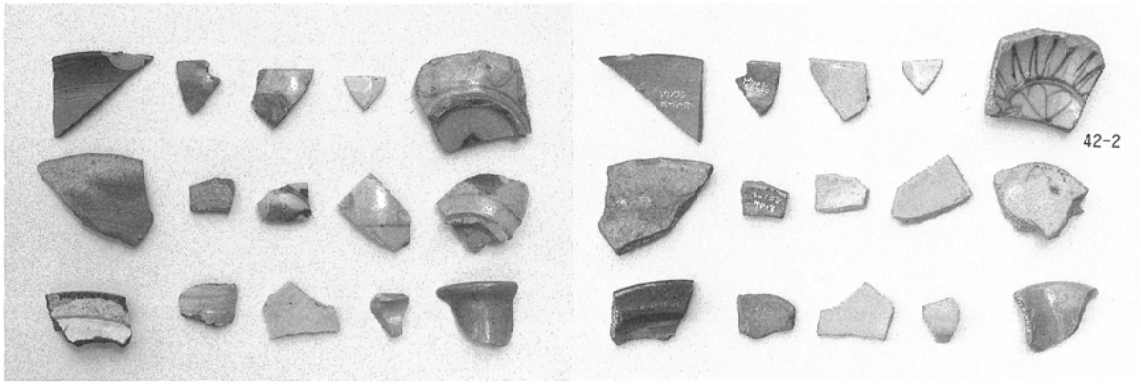
45-17(1/4)

37-20(1/4)

41-14(1/4)

43-11


45-22(1/1)
45-20(1/1)


42-2

II層出土近世の遺物

46-1

46-2

46-3

46-4

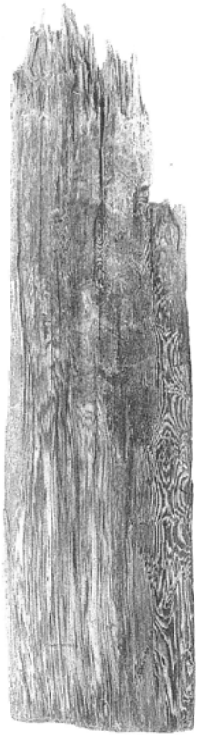
46-5

46-6

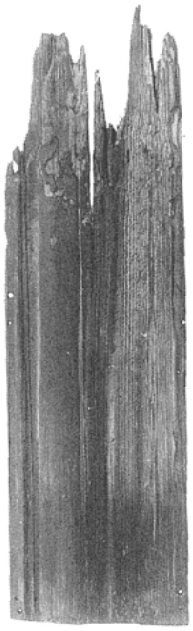
46-7

46-8

46-9


46-10

46-11


47-1

47-2

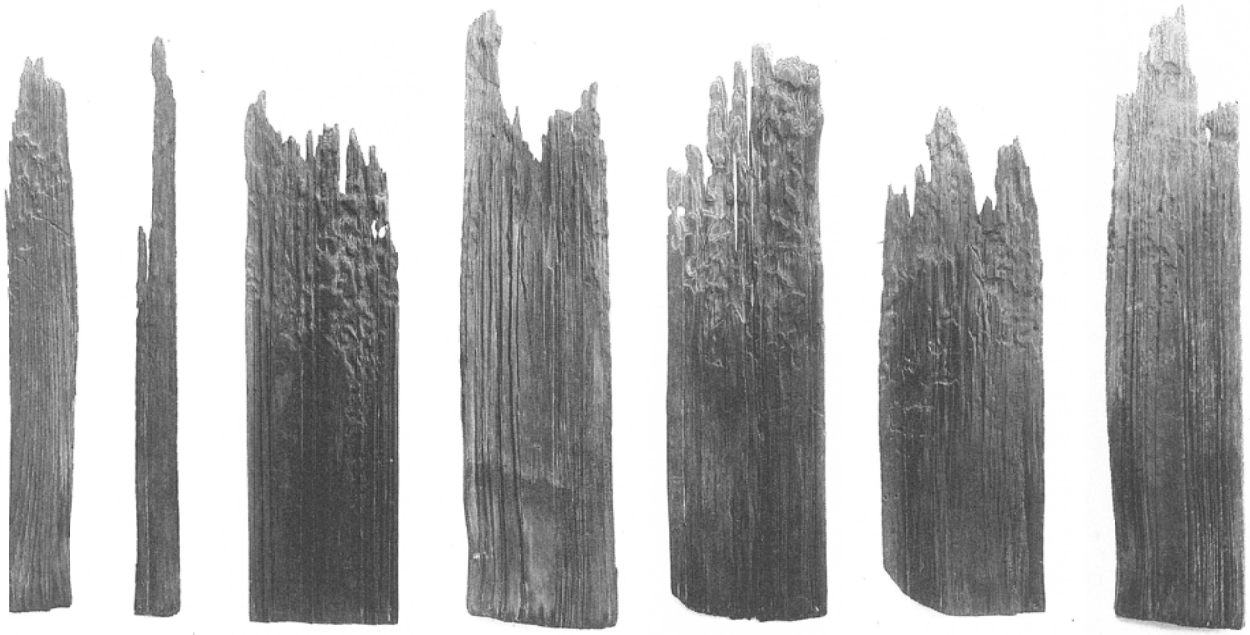
47-3

47-4

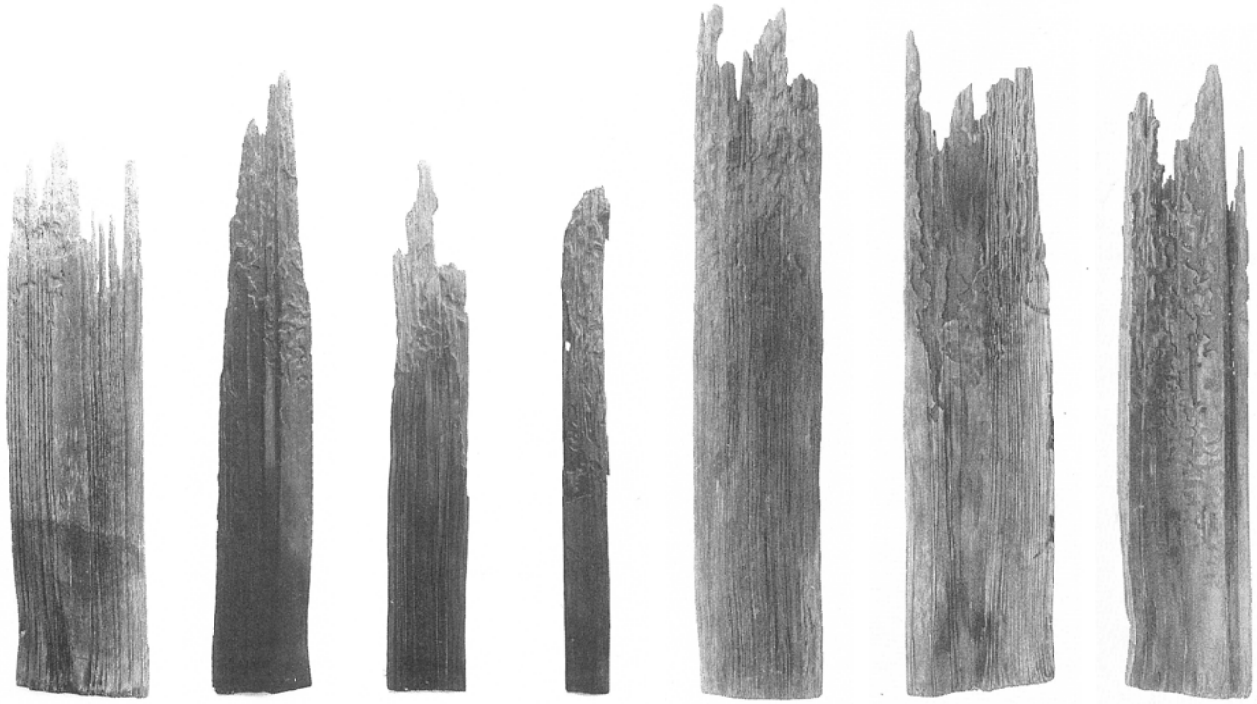
47-5

47-6

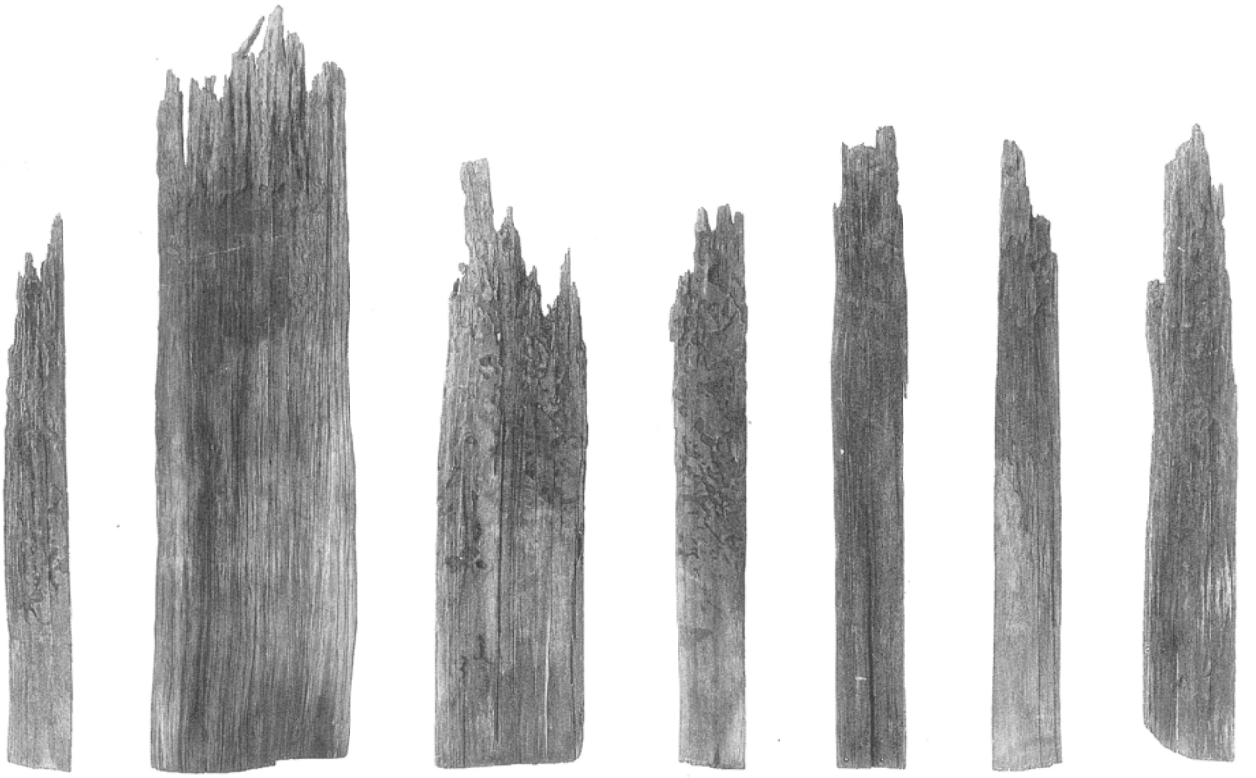
47-7



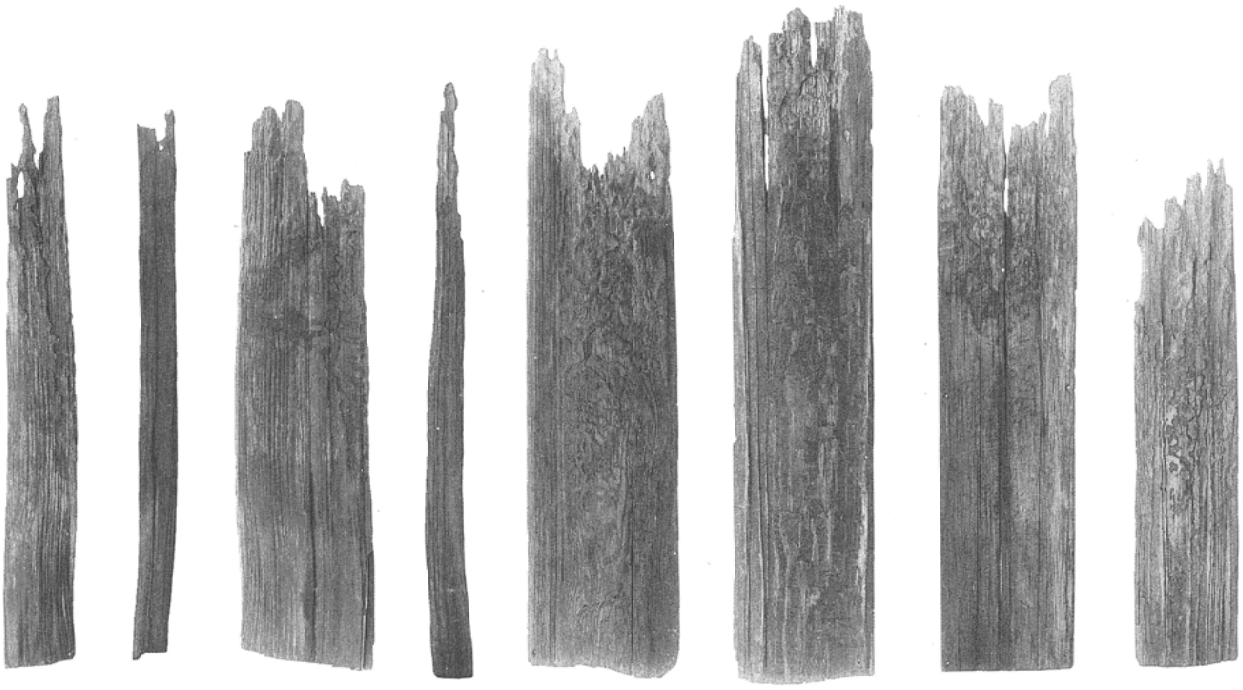
48-1　48-2　48-3　48-4　48-5　48-6　48-7



48-8　48-9　48-10　48-11　49-1　49-2　49-3

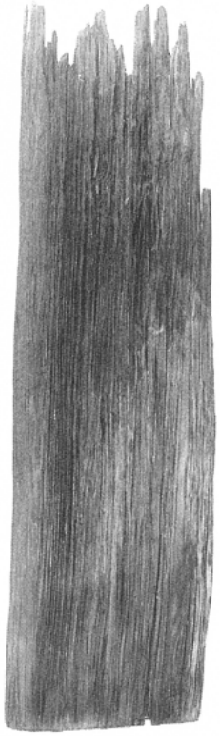


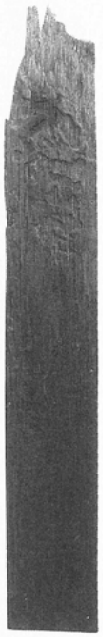
49-4　49-5　49-6　49-7　49-8　50-1　50-2



50-3　50-4　50-5　50-6　50-7　50-8　50-9　50-10

51-1


51-2


51-3

51-4

51-5

51-6

51-7

51-8

51-9

52-4

52-5

52-6

52-7

52-8

52-9

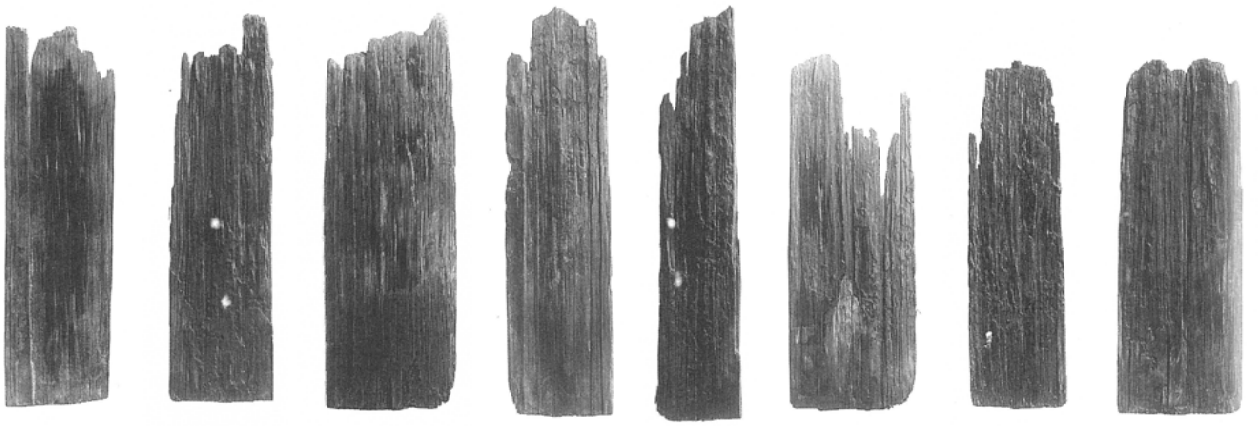
52-1

52-10

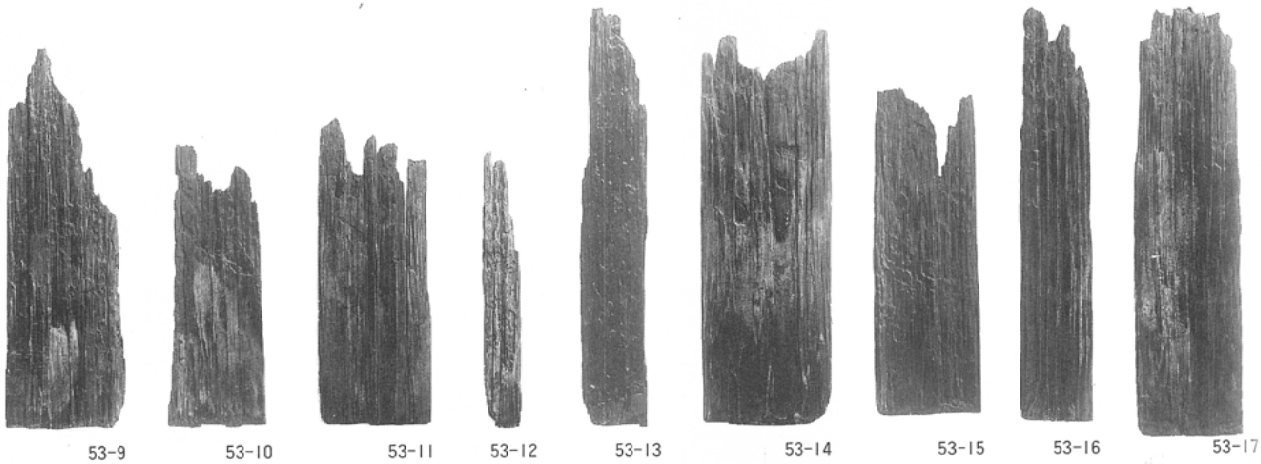
52-2

52-11

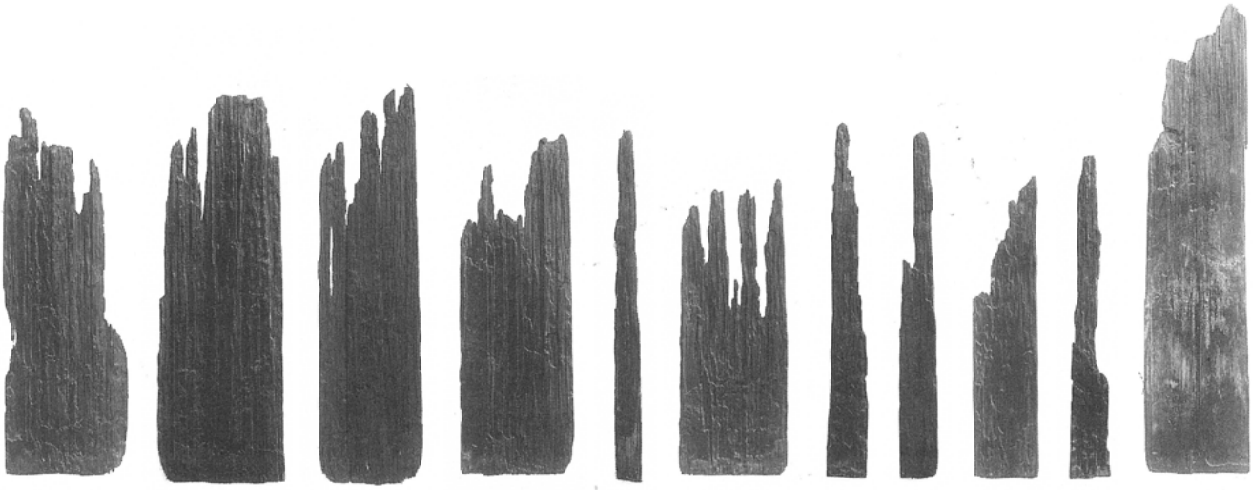
52-3



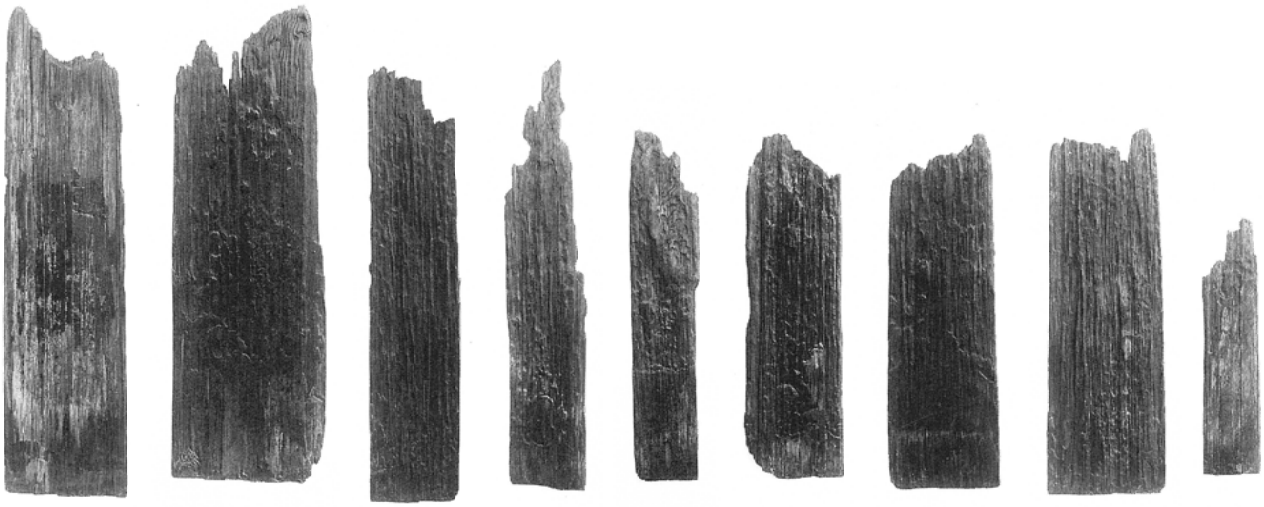
53-1　53-2　53-3　53-4　53-5　53-6　53-7　53-8



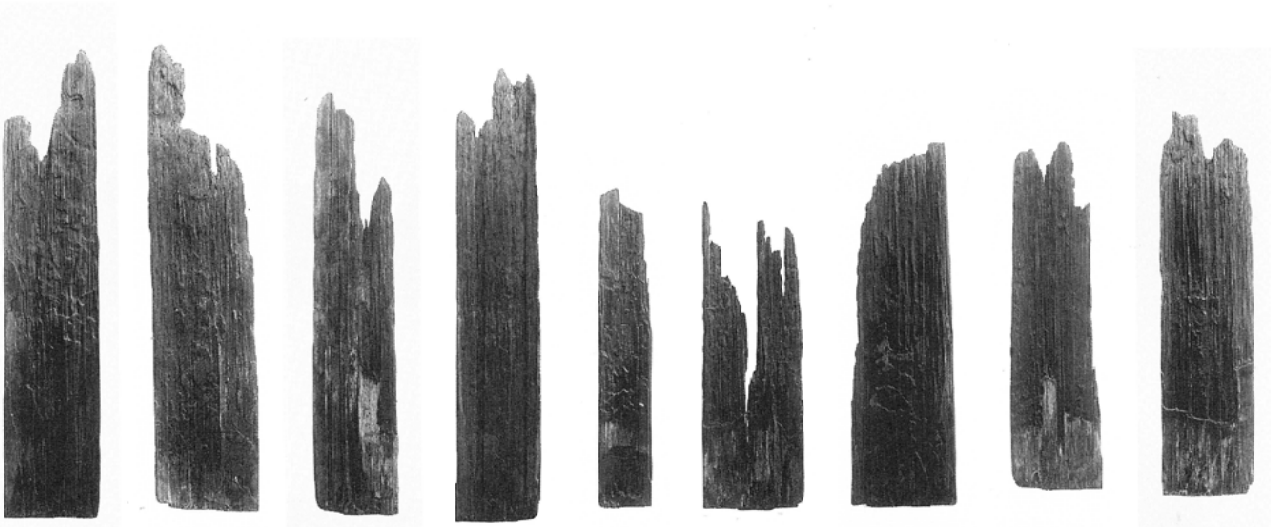
53-9　53-10　53-11　53-12　53-13　53-14　53-15　53-16　53-17



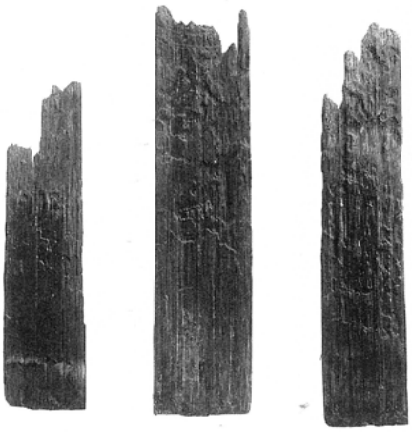
54-1　54-2　54-3　54-4　54-5　54-6　54-7　54-8　54-9　54-10　54-11



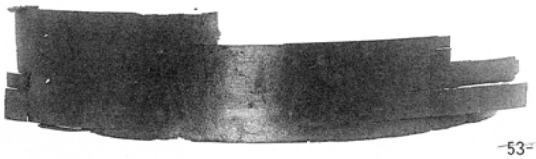
54-12 54-13 54-14 54-15 54-16 54-17 54-18 54-19 54-20



55-1 55-2 55-3 55-4 55-5 55-6 55-7 55-8 55-9



55-10 55-11 55-12

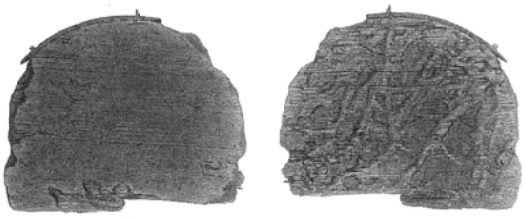


53-13

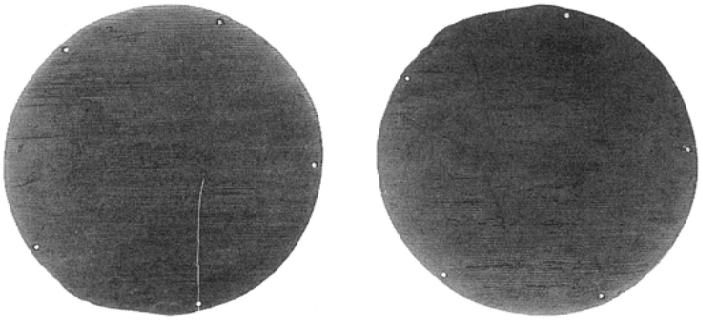
55-14

図版50

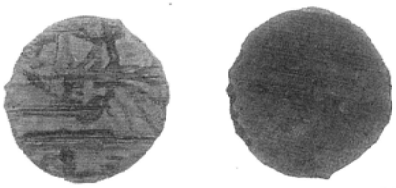
37-3



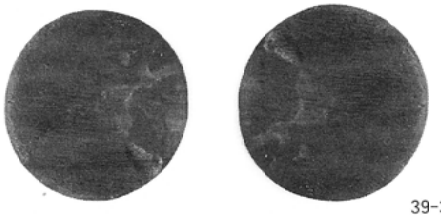
38-16



39-2

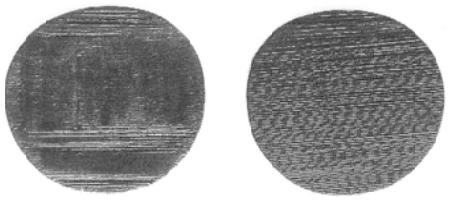


39-5

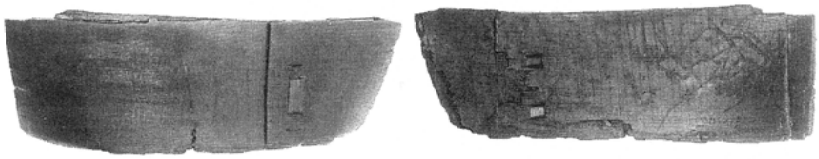


39-3

39-16



40-28



37-4

38-15

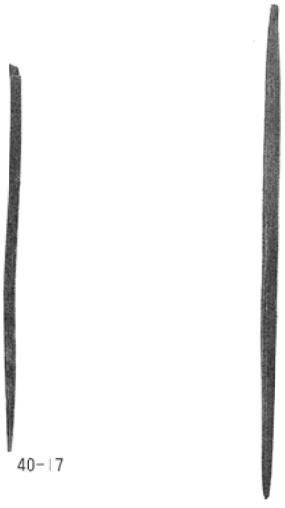
38-17

37-28

40-37

37-27

45-19



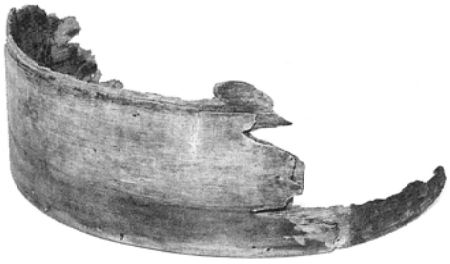
40-17

37-9

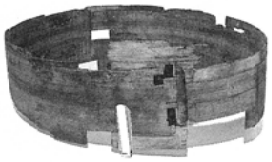
37-14

37-2

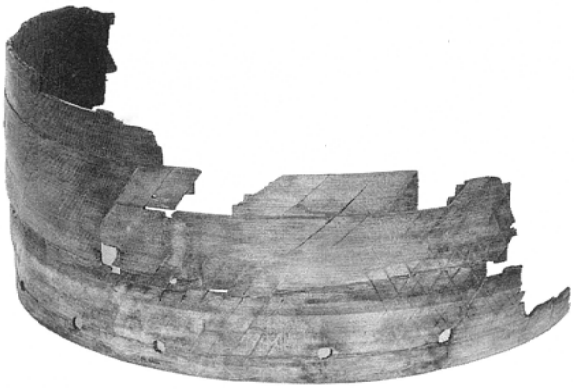
37-25



55-13



39-17



55-14

39-4

付　　編

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

塔の腰遺跡は、出土した遺物から12世紀後半～13世紀初頭頃の集落と考えられているが、遺構に伴う遺物が非常に少ないため、遺構の年代や性格については課題とされている部分が少なくない。その中で一部の遺構には、覆土中にテフラと考えられる堆積物が認められている。本報告では、これらの堆積物について分析を行い、テフラであればテフラの同定をする。それによりテフラの噴出年代との関係から遺構の年代について考察する。

また、発掘調査により多数検出された井戸跡の井戸枠および曲物について、それらの樹種同定を行い、当時の木材利用について考察する。

Ⅰ．テフラの同定

1．試　　料

試料は、ＳＫ316の覆土Ｆ５層中に認められたレンズ状の堆積物１点とＳＤ378の覆土Ｆ６層およびＦ７層の各層から１点ずつ採取されたブロック状またはレンズ状の堆積物の合計３点である。それぞれ順に試料番号１～３が付されている。

2．分析方法

試料に水を加え、小型超音波洗浄装置により分散、上澄みを流し去る。この操作を繰り返すことにより泥分を除去する。得られた砂分を実体顕微鏡および偏光顕微鏡下で観察し、テフラの本質物質である軽石、スコリア、火山ガラスの産状を調べる。さらに、必要ならば火山ガラスの屈折率の測定を行う。これらの観察および測定結果からテフラの同定を行う。なお、屈折率の測定は、新井（1972）に示された浸液法に従って行う。

3．分析結果

各試料の分析結果を表１に示す。試料番号１には多量、試料番号２には少量、試料番号３には中量の細砂～極細砂径の火山ガラスが含まれる。火山ガラスは、全て同様の特徴を示す。火山ガラスは、薄手平板状のいわゆるバブル型と気泡の長く伸びたものが集まった繊維束型およびスポンジ状に発泡した軽石型の３形態が混在する。この中では、繊維束型と軽石型が非常に多く、バブル型は少量であった。また、どの形態の火山ガラスもほとんどは無色透明であるが、微量の褐色のものも含まれる。火山ガラスの屈折率は、ｎ1.499～1.504であった。

4．考　　察

試料中に認められた火山ガラスは、町田ほか（1981）、Arai et.al.（1986）、町田・新井（1992）等の記載から、十和田ａテフラ（Ｔｏ－ａ：町田ほか、1981；町田・新井，1992）に由来すると考えられる。Ｔｏ－ａは、Ａ．Ｄ．915年に十和田カルデラから噴出したテフラで、東北地方一帯で認められている（町田・新井，1992）。

表１　テフラ分析結果

試料番号	スコリア		火山ガラス			軽石	
	量	色調・発泡度 最大粒径	量	色調	形態	量	色調・発泡度 粒径
1	－		＋＋＋＋	cl>>br	pm>>bw	－	
2	－		＋＋	cl>>br	pm>>bw	－	
3	－		＋＋＋	cl>>br	pm>>bw	－	

＋＋＋＋：多量　＋＋＋：中量　＋＋：少量　＋：微量　－：なし
cl：無色透明　br：褐色　pm：軽石型　bw：バブル型
w：白色　g：良好

試料番号１が採取されたレンズ状堆積物は、土坑の覆土中であることと火山ガラスの多さから、降灰時に土坑覆土上に堆積したものが、ある程度の攪乱は受けたにしても、そのまま覆土中に保存されたものと考えられる。したがって、ＳＫ316土坑は、Ｔｏ－ａ降灰以前に構築された可能性が高い。

試料番号２および３の採取された堆積物は、溝の覆土であることとテフラとは由来の異なる砕屑物（黒雲母の細片や石英粒など）が比較的多く含まれることから、Ｔｏ－ａの一次降下堆積物である可能性は低い。おそらく、降灰後にある時間間隙をもって周囲より取り込まれて溝内に堆積したものと考えられる。ただし、その場合でも、溝はＴｏ－ａ降灰以前に構築されていた可能性が高い。

以上のことより、本遺跡ではＴｏ－ａ降灰以前すなわち10世紀初頭よりも古いと考えられる遺構が存在する可能性がある。このことは、これまで遺物から推定されてきた年代よりも200年以上遡ることになる。今後、周辺の遺跡の年代ともあわせて検討する必要があろう。

II．木材利用に関する検討

1．試　　料

試料は、井戸枠など10点（試料番号４～13）である。各試料の出土遺構・用途等の詳細は、樹種同定結果と共に表２に示した。

2．方　　法

剃刀の刃を用いて、試料の木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の徒手切片を作製し、ガム・クロラール（抱水クロラール・アラビアゴム粉末・グリセリン・蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で

木材組織の特徴を観察し、種類を同定する。

3．結　　果

10点の試料は、全てスギに同定された（表２）。スギの解剖学的特徴などを以下に記す。

・スギ（Cryptomeria japonica（L.f.）D.Don）
スギ科スギ属

早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に限って認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は滑らか、分野壁孔はスギ型で２～４個。放射組織は単列、１～15細胞高。

表２　樹種同定結果

試料番号	出土遺構	用途など	樹種名
4	SE34	井戸枠縦板	スギ
5	SE301	井戸枠横桟	スギ
6	SE303	井戸眼(曲物)	スギ
7	SE304	井戸枠縦板	スギ
8	SE314	井戸枠縦板	スギ
9	SE323	井戸枠縦板	スギ
10	SE323	井戸枠横桟	スギ
11	SE350	井戸枠縦板	スギ
12	SE350	井戸眼(曲物)	スギ
13	SE360	井戸枠横桟	スギ

4．考　　察

井戸枠等の木材は、全てスギであった。スギは、各地の遺跡で出土した井戸材に同定されており（島地・伊東，1988；伊東，1991）、井戸枠材として一般的な樹木であったことがうかがえる。山形県内では、遊佐町筋田遺跡、石田遺跡、木原遺跡で井戸材の樹種同定が行われ、筋田遺跡と木原遺跡では全点がスギに同定され（未公表）、山形県内においてもスギが多用されていたことが推定される。一方、石田遺跡では井戸材が全てクリに同定され（未公表）、スギ以外にも使用された木材があったことを示している。クリは耐朽性に優れた材質を有しており、このことが使用された背景に挙げられる。現在の植生などから、いずれの木材も周辺山地で入手可能であったと推定される。井戸材は、周辺で入手可能な木材の中から、耐朽性・耐水性の優れたものを選択・使用したことが推定される。

〈引用文献〉

新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定―テフロクロノロジーの基礎的研究―．第四紀研究，11，p.254―269．

Arai,F.,Machida,H.,Okumura,K.,Miyauchi,T.,Soda,T.,andYamagata,K.（1986）Catalog for Late Quaternary Marker―Tephras in japan II―Tephras occurring in Northeast Honshu and Hokkaido―．　Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, 21,p.223-250.

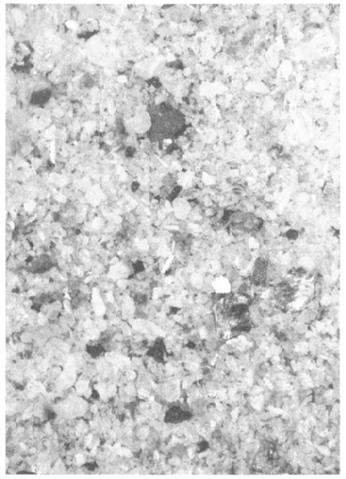
伊東隆夫（1991）日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途II．木材研究・資料，26,p.91―189．

町田　洋・新井房夫（1992）「火山灰アトラス」．276p.,東京大学出版会．

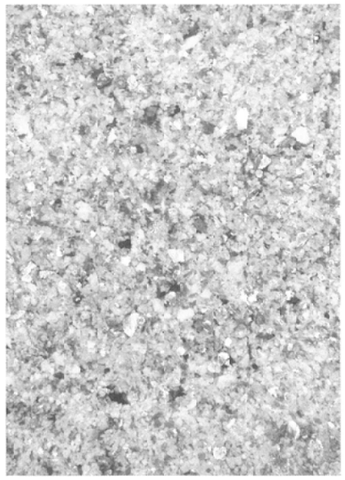
町田　洋・新井房夫・森脇　広（1981）日本海を渡ってきたテフラ．科学，51,p.562―569．

島地　謙・伊東隆夫編（1988）日本の遺跡出土木製品総覧．296p.,雄山閣．

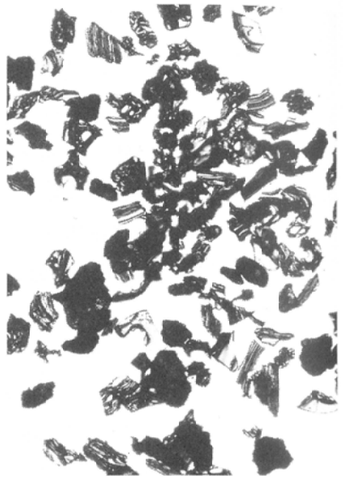
図版１　試料中の砂分の状況および火山ガラス



１．砂分の状況（試料番号１）



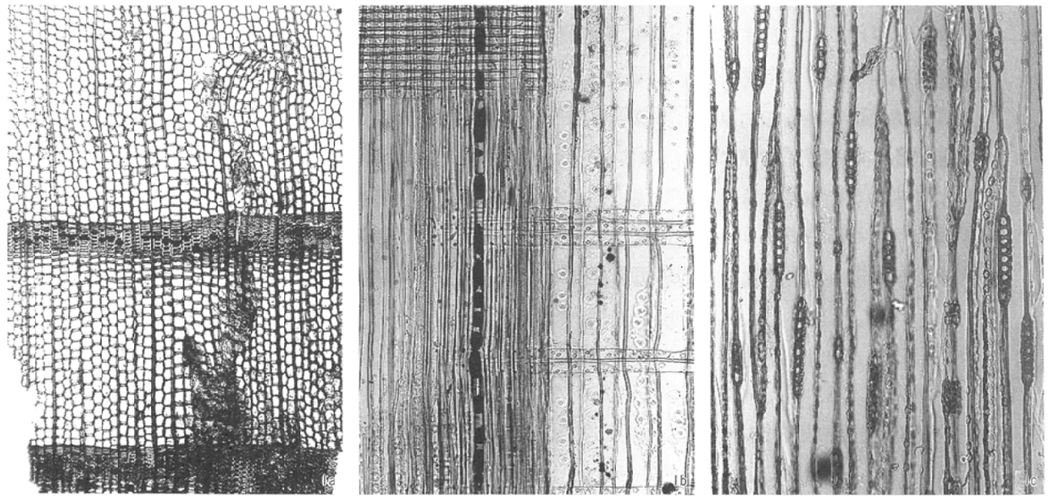
２．砂分の状況（試料番号２）



３．火山ガラス（試料番号１）

1.0mm　1.0mm　0.5mm

図版２　塔の腰遺跡・木材



１．スギ（試料番号１）

a：木口，b：柾目，c：板目

200μm：a

200μm：b，c

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第50集

塔の腰遺跡発掘調査報告書

1997年10月31日発行

発行　財団法人　山形県埋蔵文化財センター
〒999—31　山形県上山市弁天二丁目15番１号
電話　0236—72—5301
印刷　大場印刷株式会社

1997 — 1719